

第43回 河内長野市民意識調査

＜公共交通＞と ＜公共施設＞について



平成28年度

河内長野市

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	1
II. 回答者の属性	2
1. 性別（問1）	2
2. 年齢（問2）	2
3. 家族構成（問3）	3
4. 結婚（問4）	3
5. 職業（問5）	4
6. 居住地区（問8）	5
7. 通算居住年数（問9）	6
8. 前居住地（問10）	6
9. 地域のまちづくり活動への参加頻度（問6）	7
10. 地域のまちづくり活動への参加意向（問7）	9
III. 調査結果の分析	11
1. 公共交通について	11
（1）近所付き合いの程度	11
（2）直近1年間で近所の人と出かけた有無	13
（3）近所の人への支援	15
（4）運転免許の保有状況	17
（5）車・バイクの保有状況	19
（6）ふだんの外出状況	21
（7）外出時の同伴者	28
（8）一人に比べて誰かと外出した場合の滞在時間	30
（9）一人に比べて誰かと外出した場合の消費行動	32
（10）誰かと一緒に外出で感じる事	34
（11）最寄りの鉄道駅及びバス停について	36
（12）日常生活における外出の満足度	38
（13）日常生活における外出で不満とを感じる理由	40
（14）日常生活における路線バス等の利便性	41
（15）日常生活で路線バス等が不便に感じる理由	43
（16）日常生活において路線バス等の地域公共交通の必要性	45

(17) 本市のバス路線網について	47
(18) バスを利用しない理由	49
(19) バスを利用するのに改善を強く望むもの	52
(20) 改善されて利便性の高いバスが運行された場合の利用有無	55
(21) 利便性の高いバスを利用する場合の主目的	57
(22) 拠点として施設を集約すべき地域	59
(23) 徒歩圏内に必要な都市機能	61
2. 公共施設について	63
(1) 公共施設の利用頻度	63
(2) 公共施設の利用頻度が低い理由	65
(3) 今後の公共施設の整備の方向性	67
(4) 今後の取組みとして必要な対策	69
(5) 維持管理費の削減や財源確保の面から必要だと思う取組み	71
(6) 機能集約や複合化により施設数を減らす対象となる公共施設	73
(7) 機能集約や複合化の対象とすべき公共施設とその理由	75
(8) 機能集約や複合化を行う場合に充実させるべき機能等	77
(9) 小中学校と周辺の公共施設との複合化に対する考え	78
(10) 学校へ複合化してもよいと考える公共施設の種類	80
(11) 学校への複合化を反対する理由	83
(12) 公共施設への取組みについて	84
3. 市政全般について	85
(1) 現在の満足度	85
(2) 今後の重要度	97
(3) 河内長野市に関する意識	101
IV. まとめ	107
1. 公共交通について	107
2. 公共施設について	108
3. 市政全般について	109
4. 経年比較	110
(1) 満足度	110
(2) 重要度	112
V. 資料（調査票）	114

I. 調査の概要

1. 調査の目的

＜公共交通＞と＜公共施設＞について、それぞれに対する市民意識を把握し、今後の施策推進のための参考資料とする。

2. 調査の設計

(1) 調査対象

住民基本台帳（基準日：平成28年6月30日）から無作為に抽出した満18歳以上90歳未満の市民 2,000人

(2) 調査方法 郵送配布、郵送回収

(3) 調査期間 平成28年8月5日～平成28年8月22日

(4) 調査内容

- ・公共交通について
- ・公共施設について
- ・市政全般について

3. 回収結果

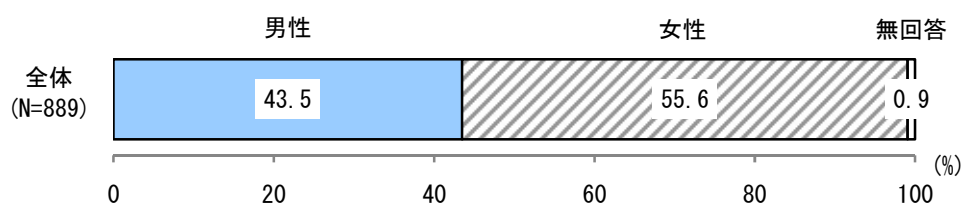
配布数	回収数		有効回収数			有効回収率
2,000票	890票		889票			44.5%
		うち無効票	男性	女性	不明	
		1票	387票 43.5%	494票 55.6%	8票 0.9%	

4. 報告書の見方

- (1) 図表のN (Number of case) は、設問に対する回答者数のことである。
- (2) 回答比率(%)は回答者数(N)を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがある。また、一人の対象者に複数の回答を求める設問では、回答比率(%)の計は100.0%を超える。
- (3) 設問によっては長文の項目が含まれるため、30文字以内にまとめて表記した。
- (4) クロス集計の表内の「全体」には、性別不明、年齢不明、地域不明も含む。
- (5) 無回答には不明も含む。

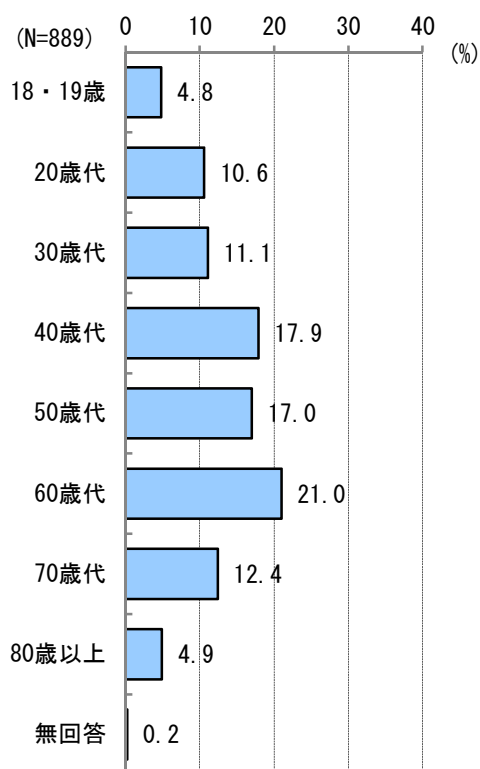
Ⅱ. 回答者の属性

1. 性別（問1）



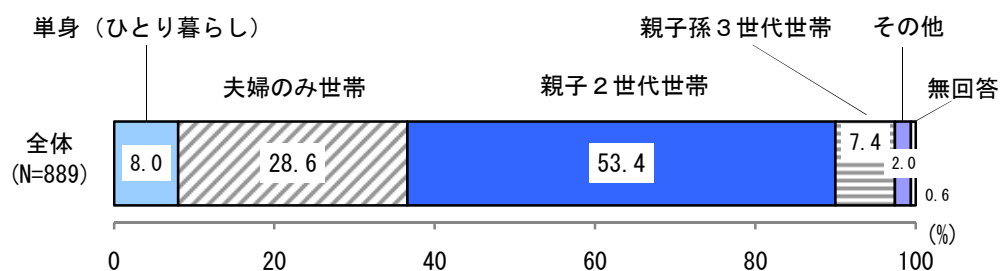
回答者の性別では、「男性」が43.5%、「女性」は55.6%で、女性の回答のほうが多くなっている。

2. 年齢（問2）



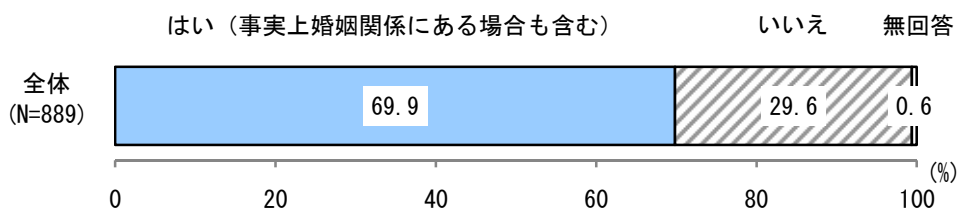
回答者の年代別では、「60歳代」が21.0%で最も多く、次いで「40歳代」が17.9%、「50歳代」が17.0%となっている。

3. 家族構成（問3）



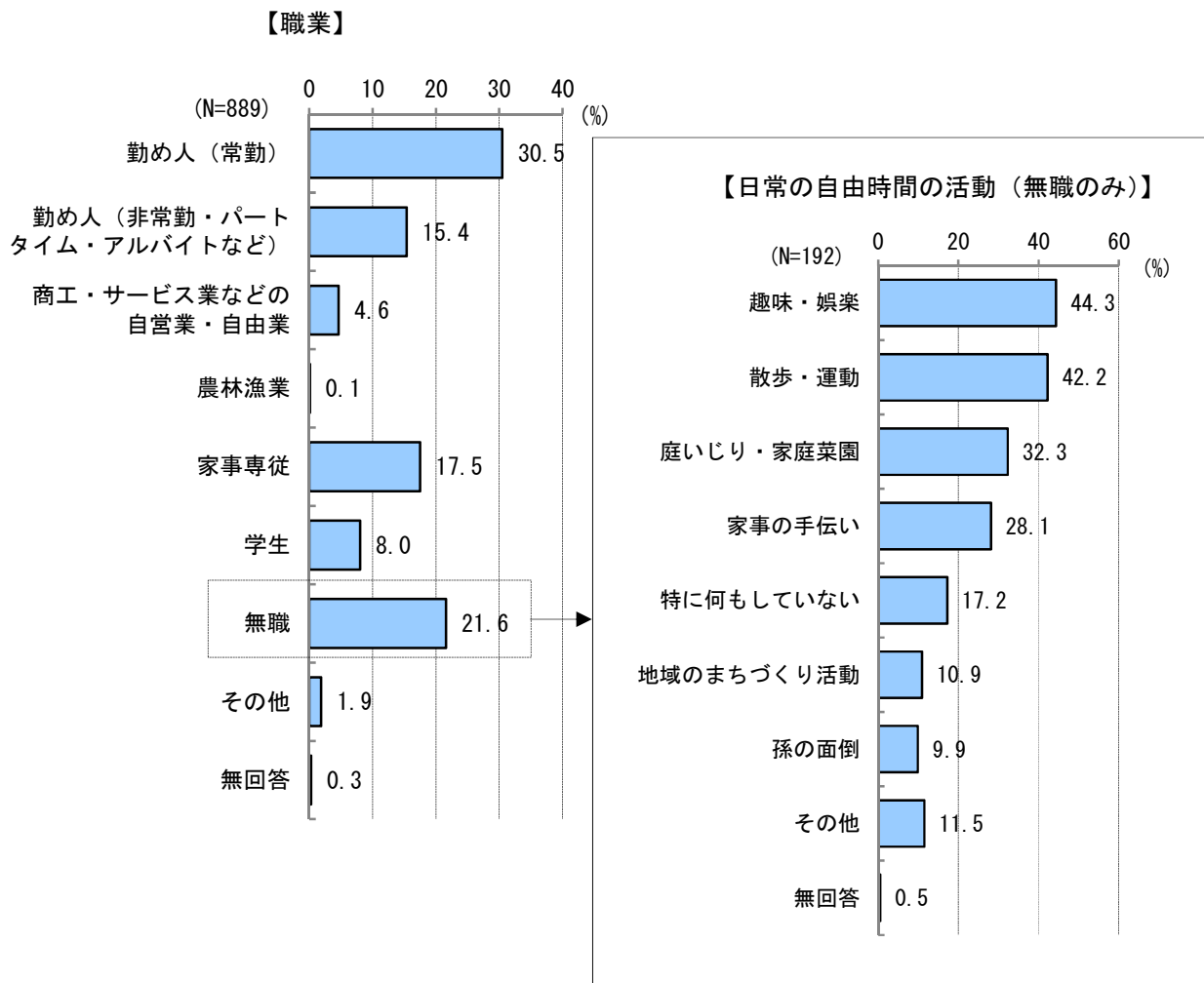
回答者の家族構成は、「親子2世代世帯」が53.4%で最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が28.6%、「単身（ひとり暮らし）」が8.0%となっている。

4. 結婚（問4）



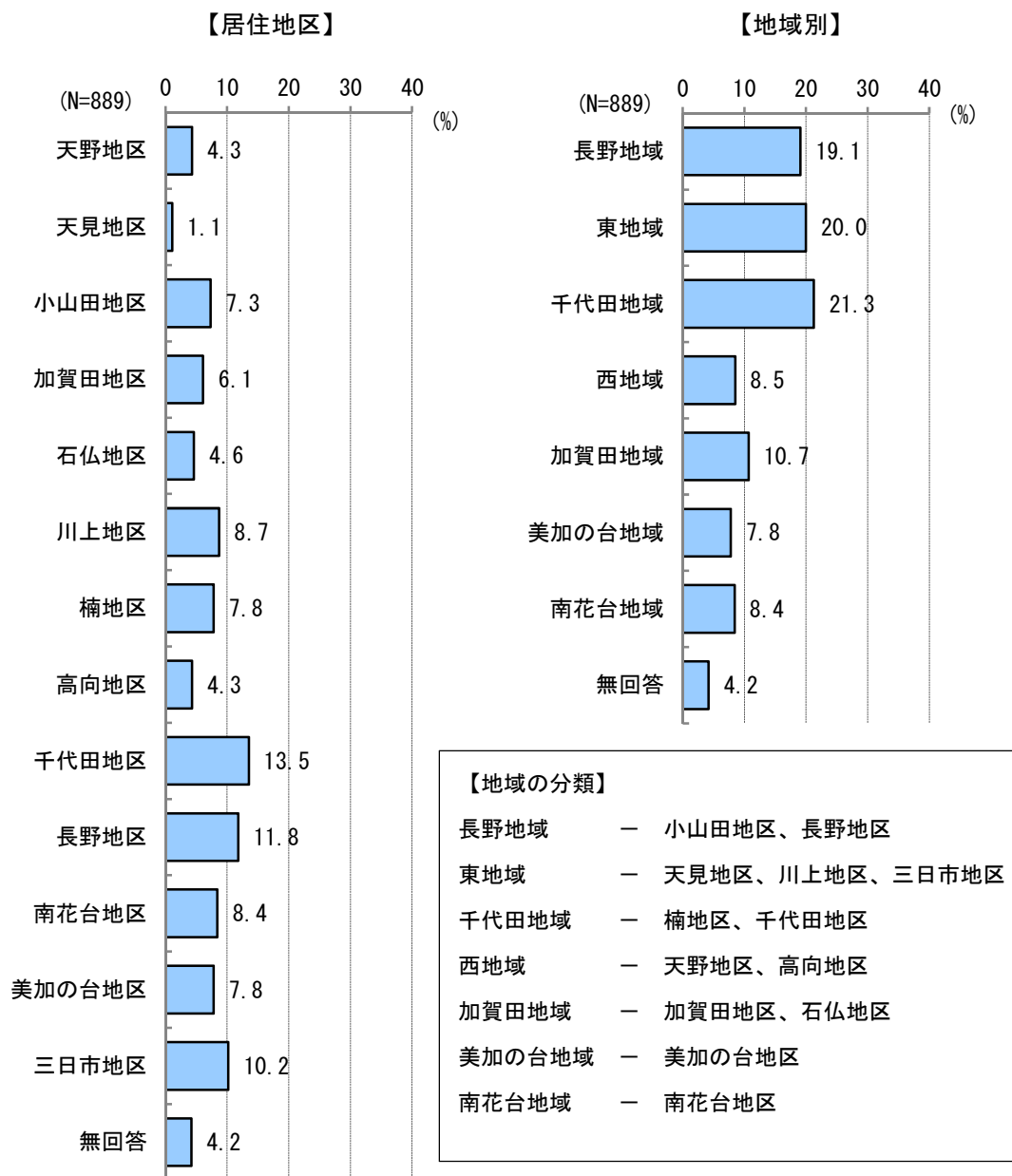
回答者の結婚について、結婚している割合（「はい（事実上婚姻関係にある場合も含む）」）は69.9%、結婚していない割合（「いいえ」）は29.6%となっている。

5. 職業（問5）



回答者の職業では、「勤め人（常勤）」が30.5%で最も多く、次いで「無職」が21.6%、「家事専従」が17.5%となっている。無職の人に、日常の自由時間の活動をたずねると、「趣味・娯楽」が44.3%で最も多く、次いで「散歩・運動」が42.2%、「庭いじり・家庭菜園」が32.3%となっている。

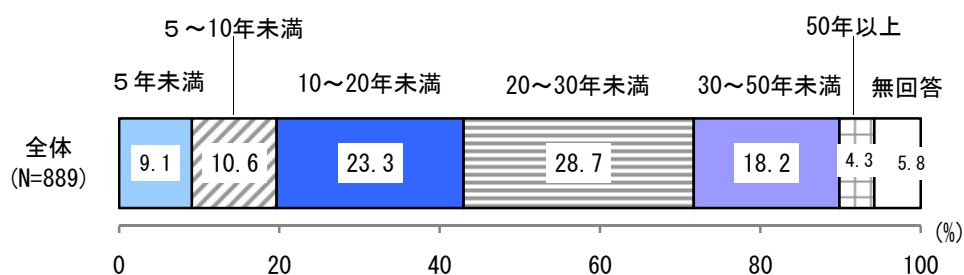
6. 居住地区（問8）



回答者の居住地区では、「千代田地区」が13.5%で最も多く、次いで「長野地区」が11.8%、「三日市地区」が10.2%となっている。

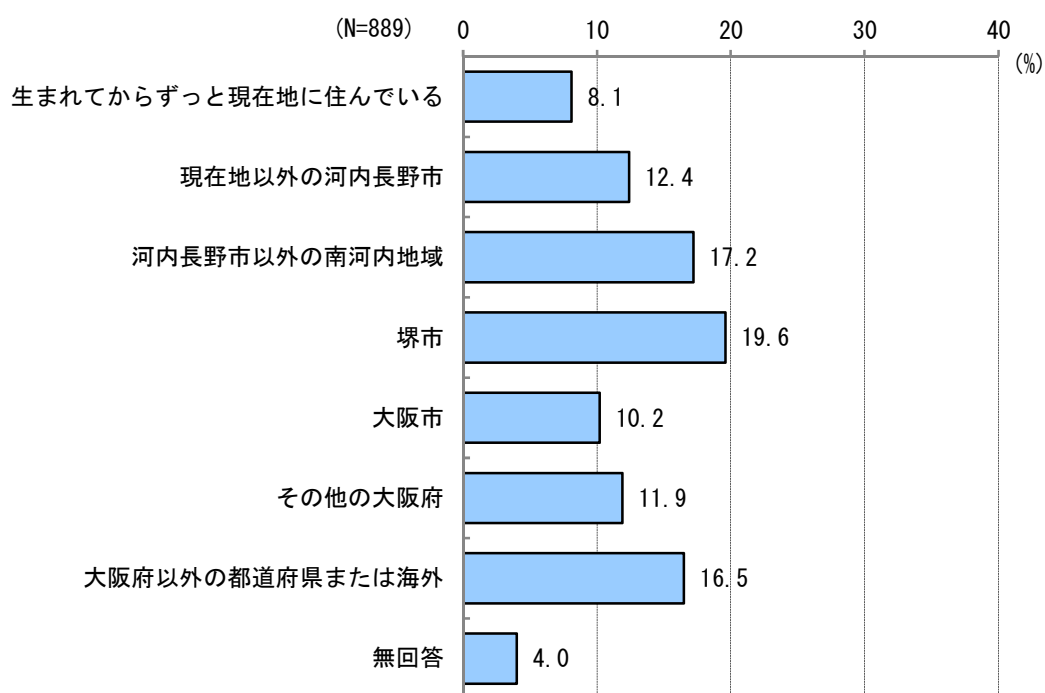
中学校区を基本として7地域に分類したところ、「千代田地域」が21.3%で最も多く、次いで「東地域」が20.0%、「長野地域」が19.1%となっている。

7. 通算居住年数（問9）



回答者の通算居住年数では、「20～30年未満」が28.7%で最も多く、次いで「10～20年未満」が23.3%、「30～50年未満」が18.2%となっており、10年以上の長期居住者は74.5%を占める。

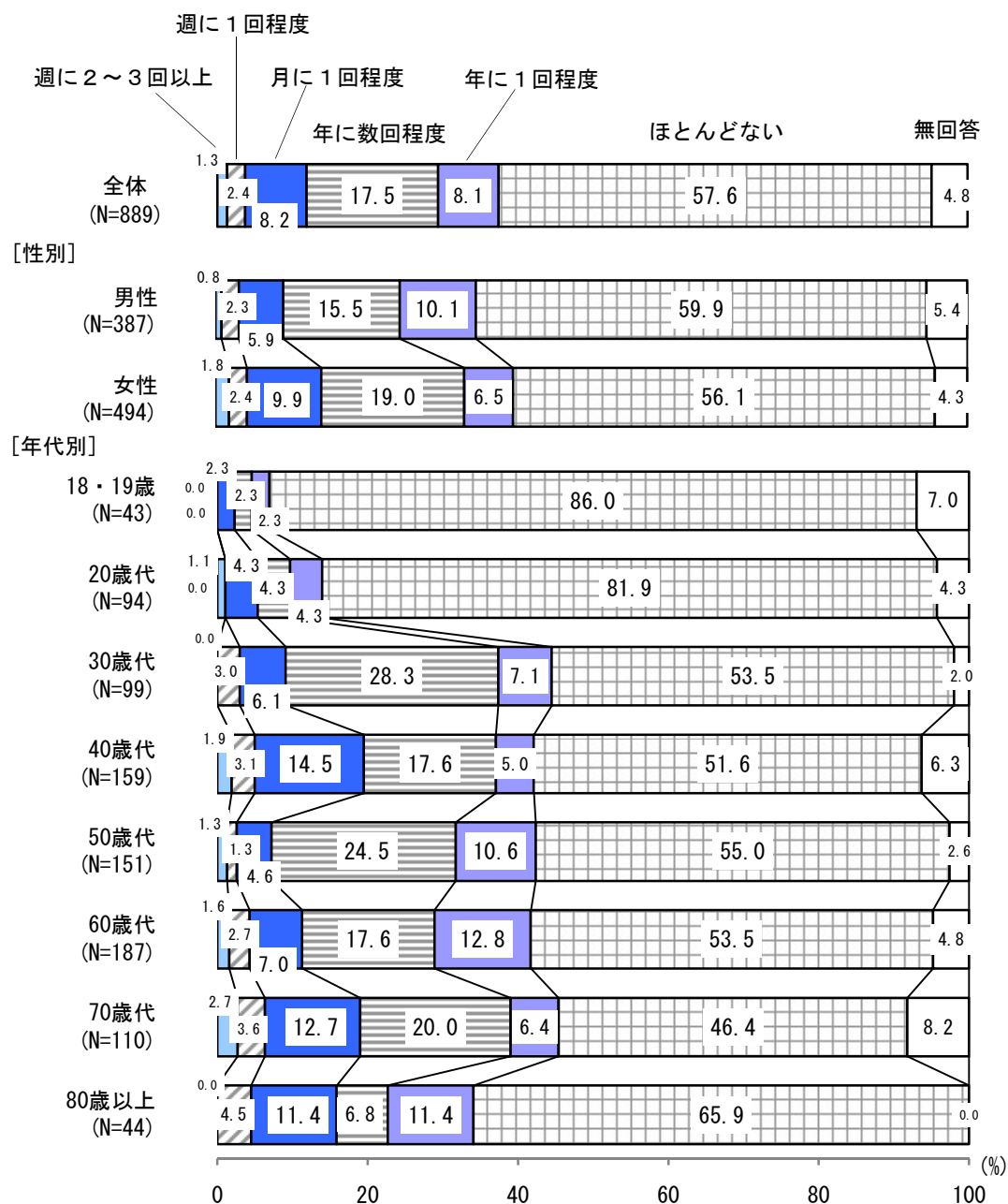
8. 前居住地（問10）



回答者の前居住地については、「堺市」が19.6%で最も多く、次いで「河内長野市以外の南河内地域」が17.2%、「大阪府以外の都道府県または海外」が16.5%となっており、「生まれてからずっと現在地に住んでいる」は8.1%となっている。

9. 地域のまちづくり活動への参加頻度（問6）

■ 性別・年代別

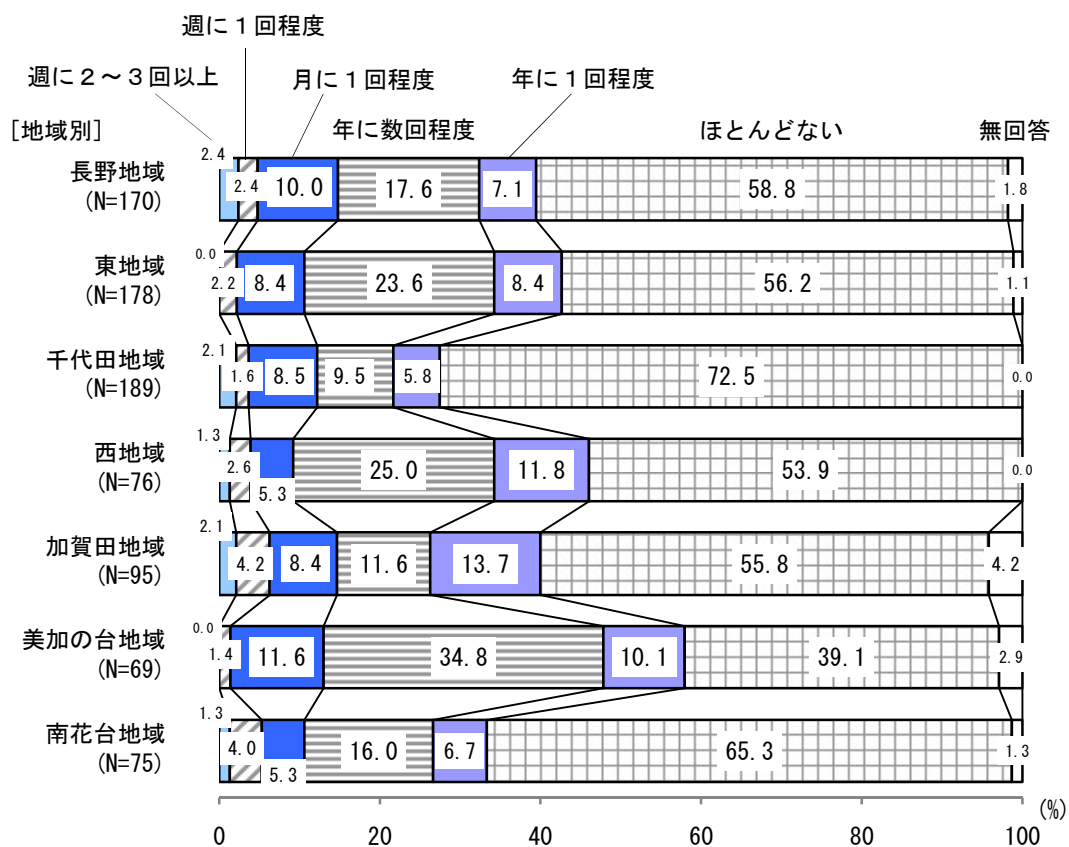


地域のまちづくり活動への参加頻度については、「ほとんどない」が57.6%で最も多く、次いで「年に数回程度」が17.5%となっており、年に1回以上参加している割合は37.5%となっている。

性別でみると、男女とも「ほとんどない」が5割台を占めるが、年に数回以上参加している割合では女性のほうが多くなっている。

年代別でみると、18・19歳と20歳代は「ほとんどない」が8割台と高くなっているが、30歳以上の年代になると年に1回以上参加している割合が上昇しており、30～70歳代は4割台、80歳以上では34.1%となっている。

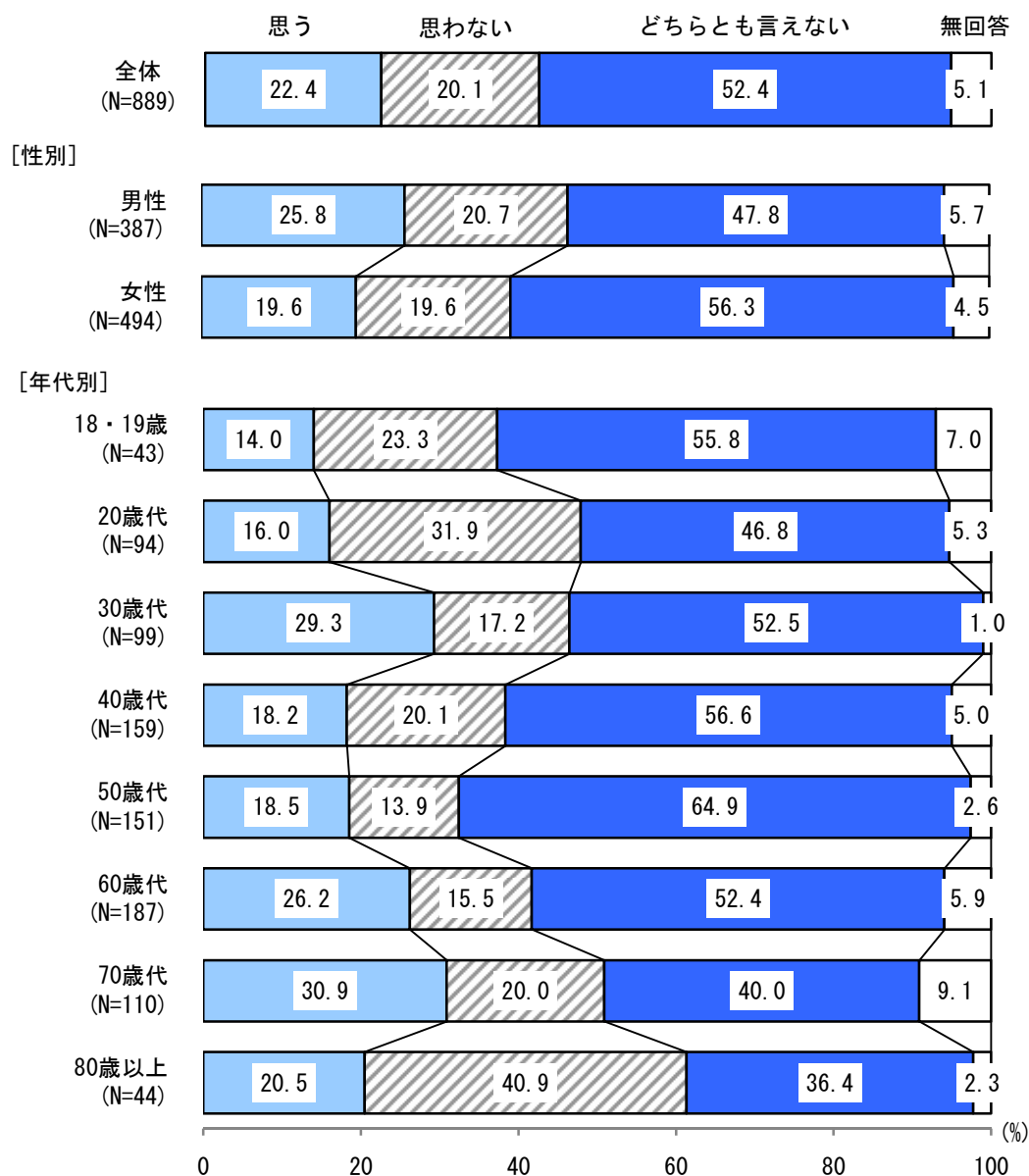
■ 地域別



地域別でみると、年に1回以上参加している割合では、美加の台地域が57.9%で最も高く、次いで西地域が46.0%、東地域が42.6%となっている。一方の「ほとんどない」では、千代田地域が72.5%、南花台地域が65.3%と高い。

10. 地域のまちづくり活動への参加意向（問7）

■ 性別・年代別

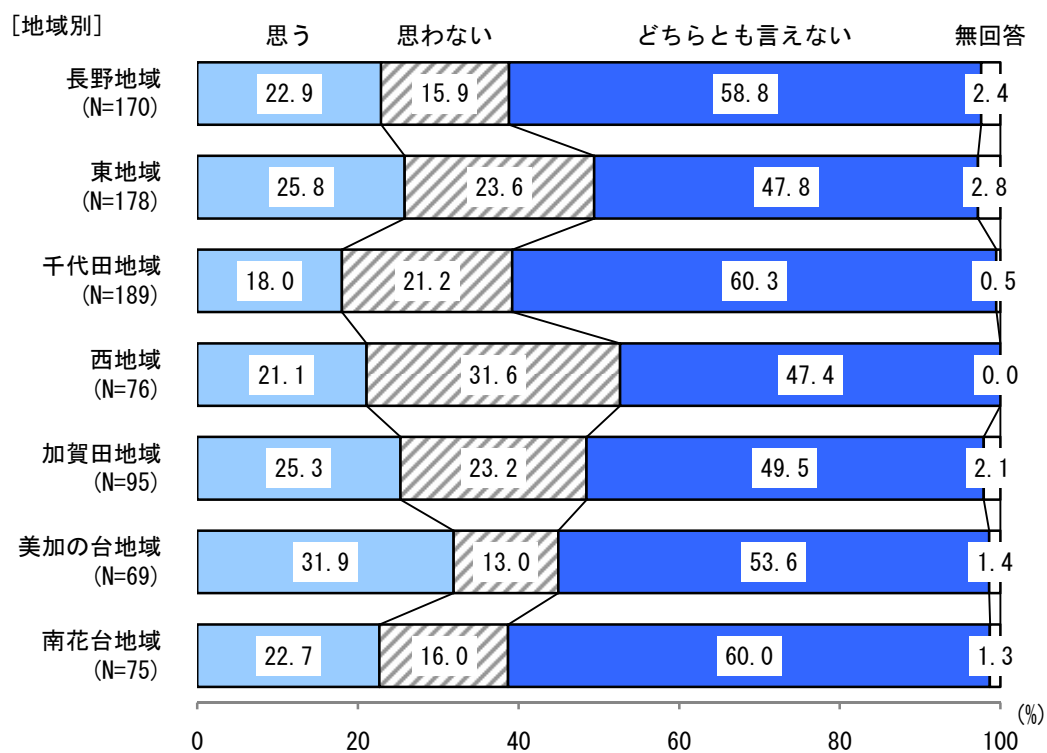


地域のまちづくり活動への参加意向について、参加したいと思う割合が22.4%に対し、参加したいと思わない割合は20.1%となっている。

性別でみると、参加したいと思う割合は、男性が25.8%に対し、女性は19.6%で、男性のほうが6.2ポイント高くなっている。

年代別でみると、参加したいと思う割合は、70歳代が30.9%で最も高く、次いで30歳代が29.3%、60歳代が26.2%となっている。

■ 地域別



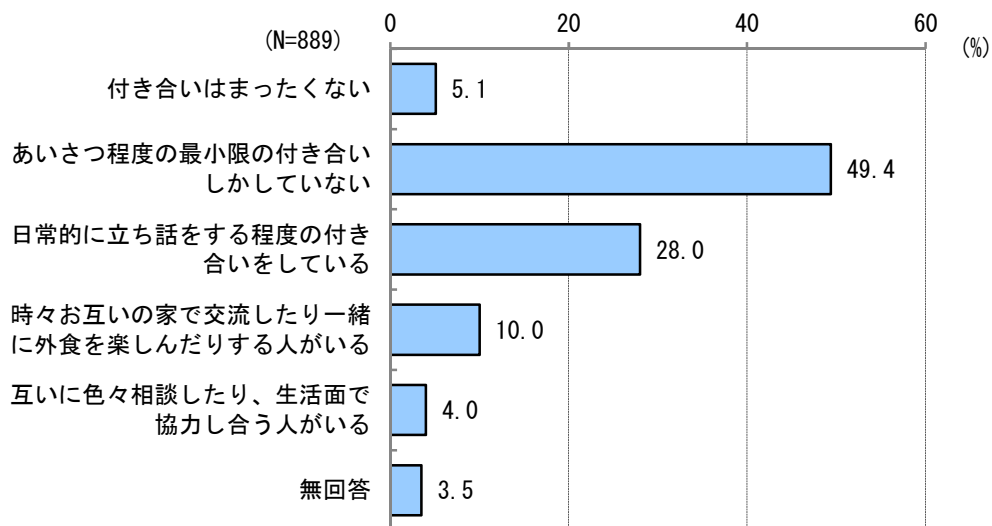
地域別でみると、参加したいと思う割合は、美加の台地域が31.9%で最も高く、次いで東地域が25.8%、加賀田地域が25.3%となっている。一方の参加したいと思わない割合では、西地域が31.6%で他の地域に比べ高くなっている。

Ⅲ. 調査結果の分析

1. 公共交通について

(1) 近所付き合いの程度

問11 ご近所の方とどの程度つながりを持たれていますか。(○は1つ)



近所付き合いの程度については、「あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない」が49.4%で最も多く、次いで「日常的に立ち話をする程度の付き合いをしている」が28.0%、「時々お互いの家で交流したり一緒に外食を楽しんだりする人がある」が10.0%となっている。一方、「付き合いはまったくない」は5.1%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

									(%)
		N	付き合いはまったくない	あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない	日常的に立ち話をしている程度の付き合いをする	だりする人がいる	時々お互いの家で交流したり一緒に外食を楽しんだりする人がいる	互いに色々相談したり、生活面で協力し合う人がいる	無回答
全体		889	5.1	49.4	28.0	10.0	4.0	3.5	
性別	男性	387	5.4	55.3	28.2	5.4	1.3	4.4	
	女性	494	4.9	44.9	27.9	13.6	5.9	2.8	
年代別	18・19歳	43	7.0	74.4	9.3	2.3	－	7.0	
	20歳代	94	11.7	64.9	12.8	6.4	1.1	3.2	
	30歳代	99	6.1	67.7	11.1	9.1	5.1	1.0	
	40歳代	159	5.7	53.5	27.0	6.3	2.5	5.0	
	50歳代	151	2.6	49.0	31.8	11.9	3.3	1.3	
	60歳代	187	3.7	41.7	34.8	11.8	4.8	3.2	
	70歳代	110	0.9	24.5	43.6	17.3	7.3	6.4	
	80歳以上	44	9.1	34.1	40.9	9.1	6.8	－	
地域別	長野地域	170	5.3	50.0	31.2	8.2	5.3	－	
	東地域	178	5.6	46.6	29.2	12.4	6.2	－	
	千代田地域	189	5.8	60.3	19.0	12.7	2.1	－	
	西地域	76	2.6	43.4	39.5	7.9	6.6	－	
	加賀田地域	95	4.2	43.2	32.6	14.7	4.2	1.1	
	美加の台地域	69	2.9	56.5	30.4	8.7	1.4	－	
	南花台地域	75	9.3	54.7	29.3	4.0	2.7	－	

性別でみると、男女とも「あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない」が最も多く、その割合は女性で4割、男性では5割を超えている。また、「時々お互いの家で交流したり一緒に外食を楽しんだりする人がいる」や「互いに色々相談したり、生活面で協力し合う人がいる」では、女性のほうが高い傾向にある。

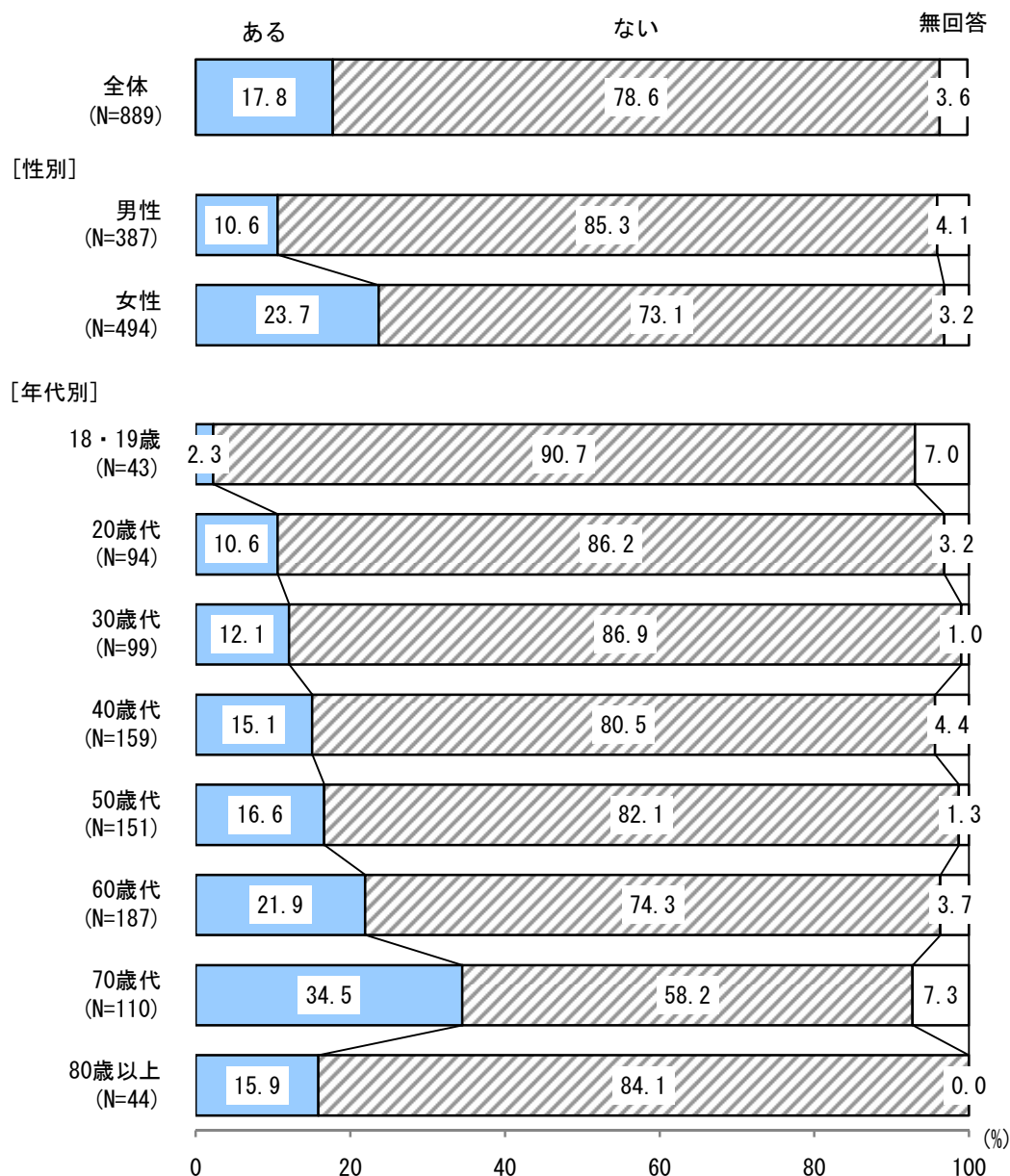
年代別でみると、18～60歳代は「あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない」が最も多くなっているが、年代が下がるほど増加傾向にある。70歳以上の年代になると「日常的に立ち話をしている程度の付き合いをしている」が4割台で最も多くなっている。また、70歳代では「時々お互いの家で交流したり一緒に外食を楽しんだりする人がいる」が17.3%と他の年代に比べ高くなっている。

地域別でみると、いずれの地域も「あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない」が最も多くなっている。「時々お互いの家で交流したり一緒に外食を楽しんだりする人がいる」では、加賀田地域（14.7%）や千代田地域（12.7%）、東地域（12.4%）が1割台と他の地域に比べ高くなっている。一方、「付き合いはまったくない」では、南花台地域が9.3%で他の地域に比べ最も高くなっている。

(2) 直近1年間で近所の人と出かけた有無

問12 あなたは、この1年にご近所の方と一緒に出かけられたことがありますか。
(○は1つ) ある方は、主にどちらに行かれたのかを具体的に教えてください。

■ 性別・年代別

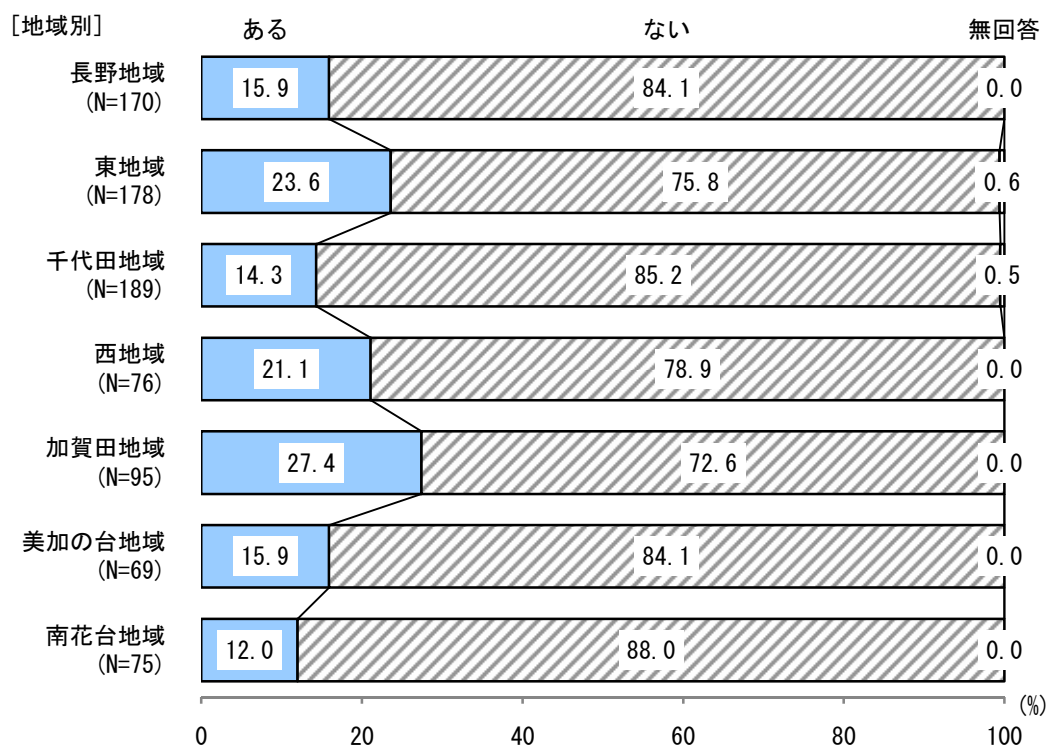


直近1年間で近所の人と出かけたことがある割合は17.8%、一方の割合は78.6%となっている。

性別でみると、出かけたことがある割合は、男性10.6%に比べ、女性23.7%で、女性のほうが13.1ポイント高くなっている。

年代別でみると、出かけたことがある割合は、年代が上がるほど上昇傾向にあり、70歳代では34.5%となっているが、80歳以上になると15.9%に下がっている。

■ 地域別

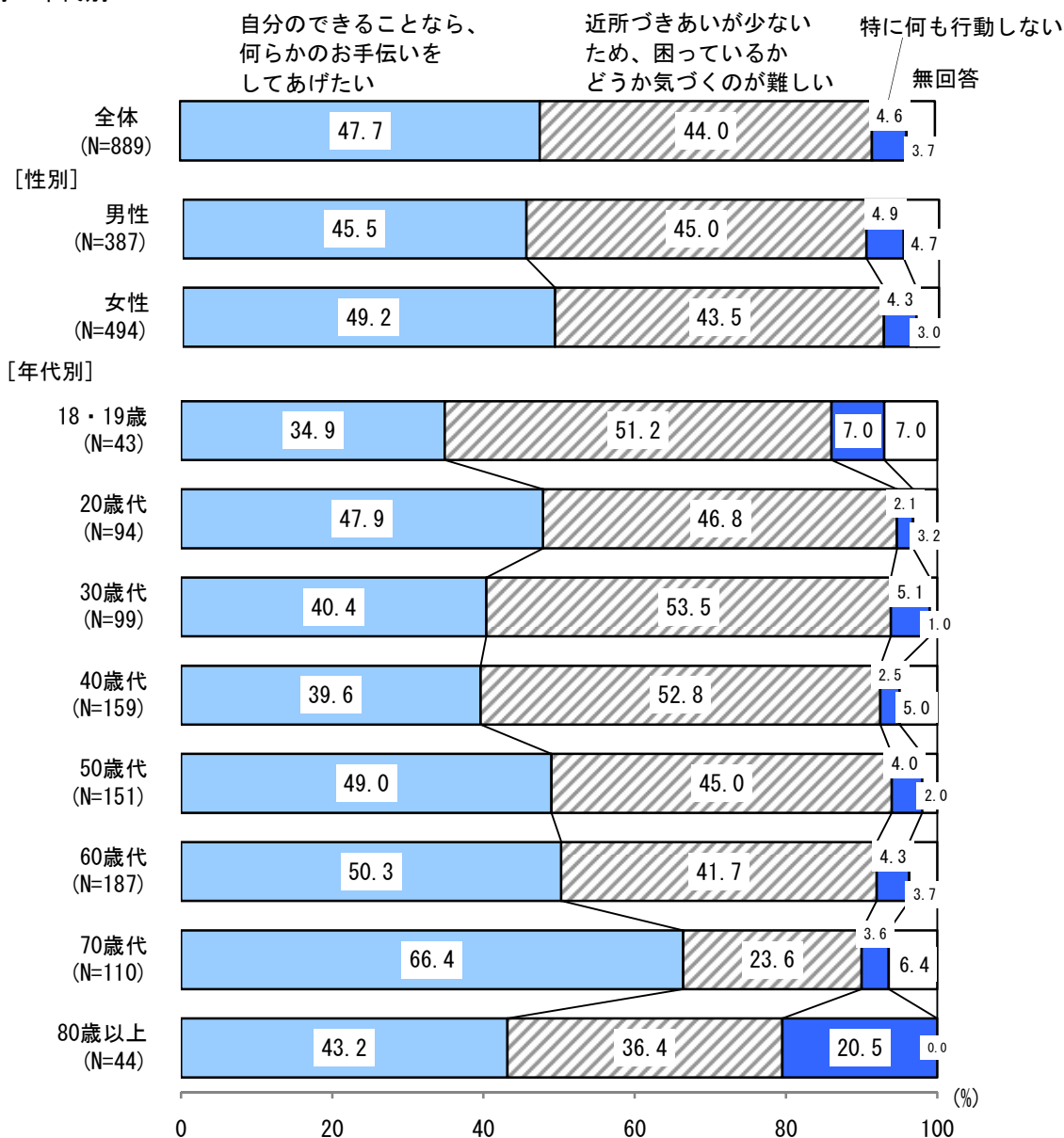


地域別でみると、出かけたことがある割合は、加賀田地域が27.4%で最も高く、次いで東地域が23.6%、西地域が21.1%となっている。

(3) 近所の人への支援

問13 ご近所で困っておられる方がいた場合、ご自身ならどのような行動を行えると思いますか。(〇は1つ)

■ 性別・年代別

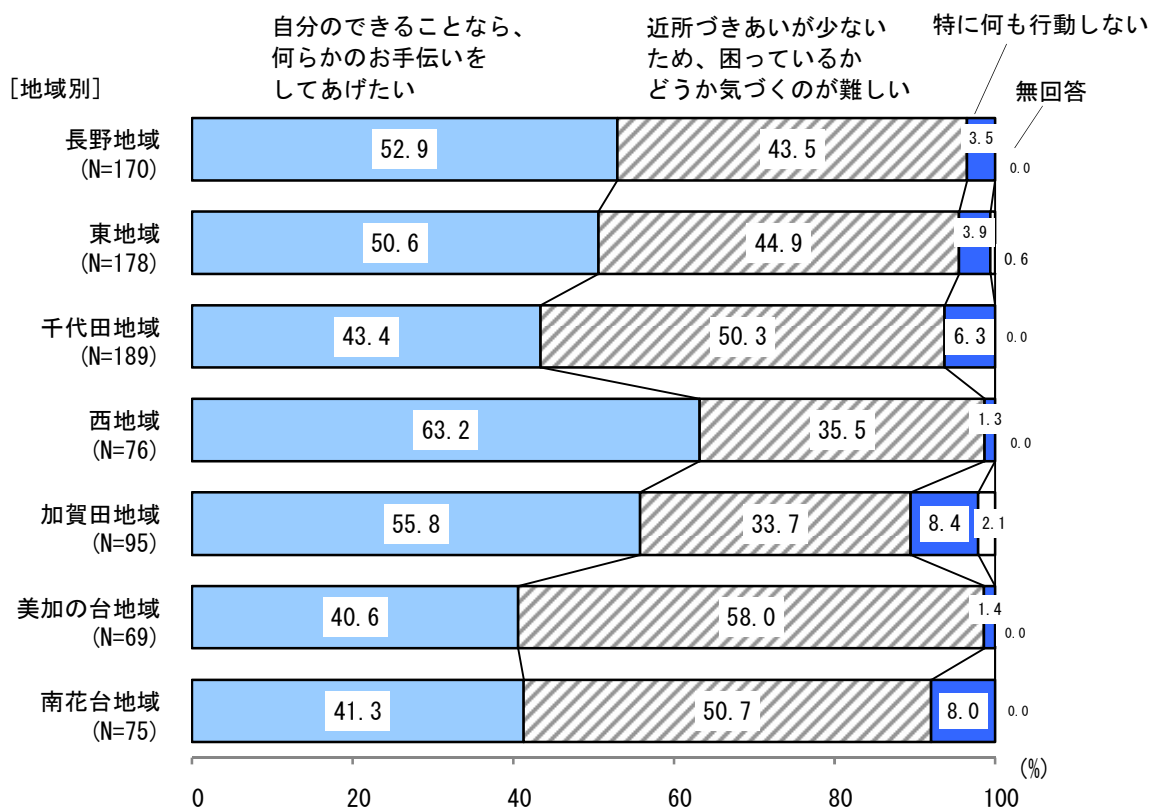


近所の人への支援については、「自分のできることなら、何らかのお手伝いをしてあげたい」が47.7%を占めており、「近所づきあいが少ないため、困っているかどうか気づくのが難しい」は44.0%、「特に何も行動しない」は4.6%となっている。

性別でみると、男女とも「自分のできることなら、何らかのお手伝いをしてあげたい」が最も多く、女性49.2%に比べ男性45.5%で、女性のほうが3.7ポイント高い。

年代別でみると、20歳代と50歳以上の年代は「自分のできることなら、何らかのお手伝いをしてあげたい」が最も多く、なかでも70歳代は66.4%と他の年代に比べ高くなっている。18・19歳と30～40歳代では「近所づきあいが少ないため、困っているかどうか気づくのが難しい」が最も多い。また、80歳以上は「特に何も行動しない」が20.5%と上昇している。

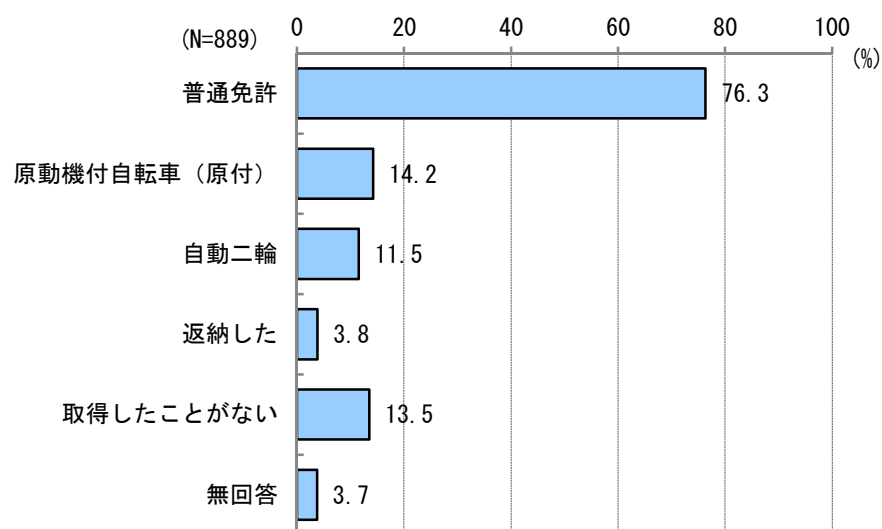
■ 地域別



地域別でみると、長野地域や東地域、西地域、加賀田地域は「自分のできることなら、何らかのお手伝いをしてあげたい」が5割以上で最も多く、なかでも西地域が63.2%と他の地域に比べ高くなっている。千代田地域や美加の台地域、南花台地域は「近所づきあいが少ないため、困っているかどうか気づくのが難しい」が5割台となっている。

(4) 運転免許の保有状況

問14 あなたは運転免許を持っていますか。(〇はいくつでも)



運転免許の保有状況については、「普通免許」が76.3%で最も多く、次いで「原動機付自転車 (原付)」が14.2%、「取得したことがない」は13.5%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

(%)

		N	普通 免許	付 原 動 機 付 自 転 車 (原	自 動 二 輪	返 納 し た	取 得 し た こ と が な い	無 回 答
	全体	889	76.3	14.2	11.5	3.8	13.5	3.7
性 別	男性	387	84.5	13.4	20.7	4.4	5.7	4.1
	女性	494	70.6	15.0	4.0	3.2	19.0	3.4
年 代 別	18・19歳	43	20.9	11.6	－	－	62.8	9.3
	20歳代	94	83.0	16.0	9.6	1.1	10.6	3.2
	30歳代	99	93.9	17.2	13.1	－	1.0	1.0
	40歳代	159	92.5	17.0	18.2	－	1.9	5.7
	50歳代	151	89.4	17.9	11.9	0.7	7.3	1.3
	60歳代	187	78.6	12.8	8.6	2.7	12.8	3.2
	70歳代	110	57.3	7.3	13.6	15.5	16.4	6.4
	80歳以上	44	13.6	6.8	4.5	22.7	56.8	－
地 域 別	長野地域	170	79.4	16.5	13.5	5.3	12.9	－
	東地域	178	80.3	12.9	7.9	3.9	12.9	0.6
	千代田地域	189	80.4	16.4	12.2	1.1	13.2	1.1
	西地域	76	72.4	17.1	9.2	6.6	17.1	－
	加賀田地域	95	75.8	16.8	17.9	5.3	15.8	－
	美加の台地域	69	89.9	8.7	4.3	－	10.1	－
	南花台地域	75	74.7	10.7	20.0	5.3	17.3	－

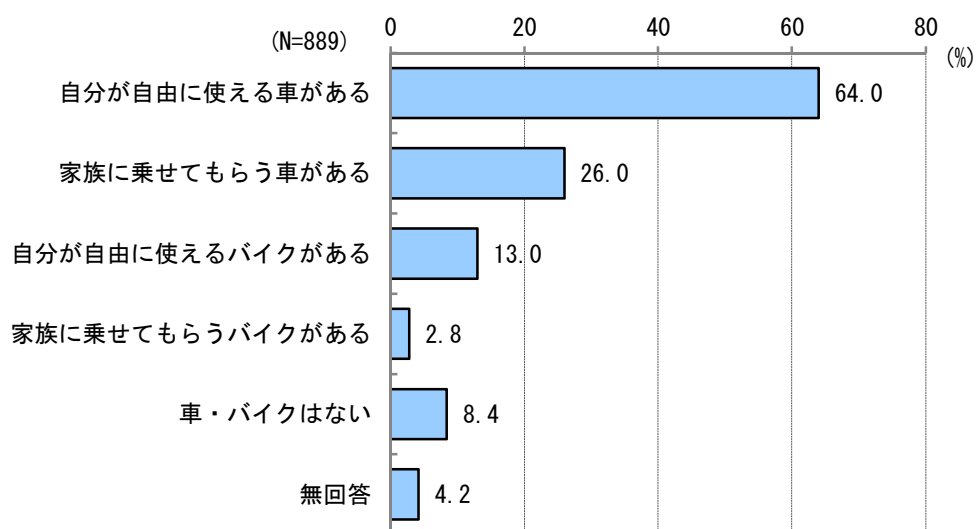
性別でみると、「普通免許」が男性84.5%、女性70.6%で、男女とも最も多くなっている。これに次いで、男性は「自動二輪」が20.7%、女性は「取得したことがない」が19.0%となっている。

年代別でみると、18・19歳は「取得したことがない」が62.8%で最も多く、次いで「普通免許」が20.9%となっている。20～70歳代は「普通免許」が最も多く、20～60歳代は7～9割台と高くなっている。80歳以上では「取得したことがない」が56.8%で最も多く、次いで「返納した」が22.7%となっている。

地域別でみると、いずれの地域も「普通免許」が7～8割台で最も多くなっている。

(5) 車・バイクの保有状況

問15 車・バイクの保有状況について。(〇はいくつでも)



車・バイクの保有状況については、「自分が自由に使える車がある」が64.0%で最も多く、次いで「家族に乗せてもらう車がある」が26.0%、「自分が自由に使えるバイクがある」が13.0%となっている。一方、「車・バイクはない」は8.4%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

(%)

		N	が自分 がある 自由に 使える 車	が家族 に乗せ てもら う車	自分 が自 由に 使え るバ イク	家族 に乗 せて もら うバ イク	車・ バイ クは ない	無 回 答
全体		889	64.0	26.0	13.0	2.8	8.4	4.2
性別	男性	387	72.1	16.3	17.8	1.6	8.0	5.4
	女性	494	58.5	33.2	9.3	3.8	8.5	3.2
年代別	18・19歳	43	4.7	76.7	7.0	11.6	14.0	7.0
	20歳代	94	46.8	45.7	21.3	3.2	8.5	3.2
	30歳代	99	80.8	23.2	14.1	4.0	2.0	1.0
	40歳代	159	78.0	15.7	15.1	1.3	4.4	4.4
	50歳代	151	80.1	19.2	15.9	5.3	2.6	1.3
	60歳代	187	73.3	17.6	7.0	1.1	8.0	3.7
	70歳代	110	51.8	23.6	13.6	0.9	13.6	9.1
	80歳以上	44	9.1	40.9	6.8	－	40.9	6.8
地域別	長野地域	170	62.9	30.6	14.7	4.1	7.6	1.2
	東地域	178	68.0	28.1	14.0	2.2	10.1	0.6
	千代田地域	189	64.6	23.3	14.3	3.2	11.1	－
	西地域	76	64.5	32.9	13.2	3.9	6.6	－
	加賀田地域	95	71.6	25.3	12.6	3.2	2.1	1.1
	美加の台地域	69	76.8	17.4	8.7	－	4.3	1.4
	南花台地域	75	62.7	26.7	14.7	2.7	16.0	1.3

性別でみると、男女とも「自分が自由に使える車がある」が最も多くなっており、男性72.1%に対し、女性58.5%で、女性は男性に比べ13.6ポイント低い。これに次いで、男性は「自分が自由に使えるバイクがある」が17.8%、女性は「家族に乗せてもらう車がある」が33.2%となっている。

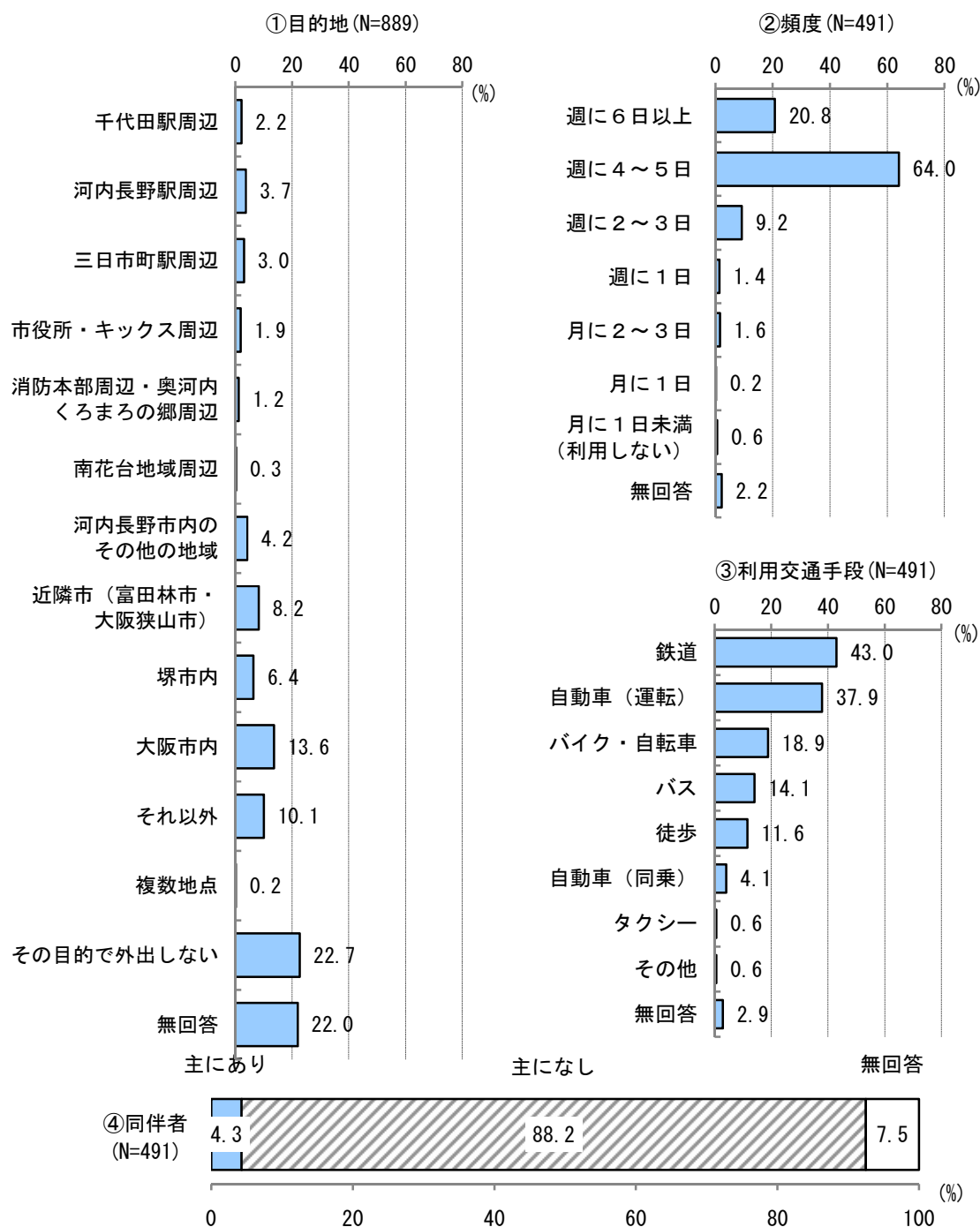
年代別でみると、18・19歳は「家族に乗せてもらう車がある」が76.7%で最も多くなっている。20歳代は「自分が自由に使える車がある」が46.8%、「家族に乗せてもらう車がある」は45.7%で、ほぼ同数となっている。30～70歳代では「自分が自由に使える車がある」が5割以上で最も多くなっている。80歳以上になると、「家族に乗せてもらう車がある」と「車・バイクはない」がともに40.9%で最も多く、「自分が自由に使える車がある」は9.1%となっている。

地域別でみると、いずれの地域も「自分が自由に使える車がある」が6～7割台で最も多くなっている。また、美加の台地域は、自分が自由に使える車以外で、車・バイクを保有している割合が他の地域に比べ低くなっている。南花台地域では、「車・バイクはない」が16.0%で他の地域に比べ高くなっている。

(6) ふだんの外出状況

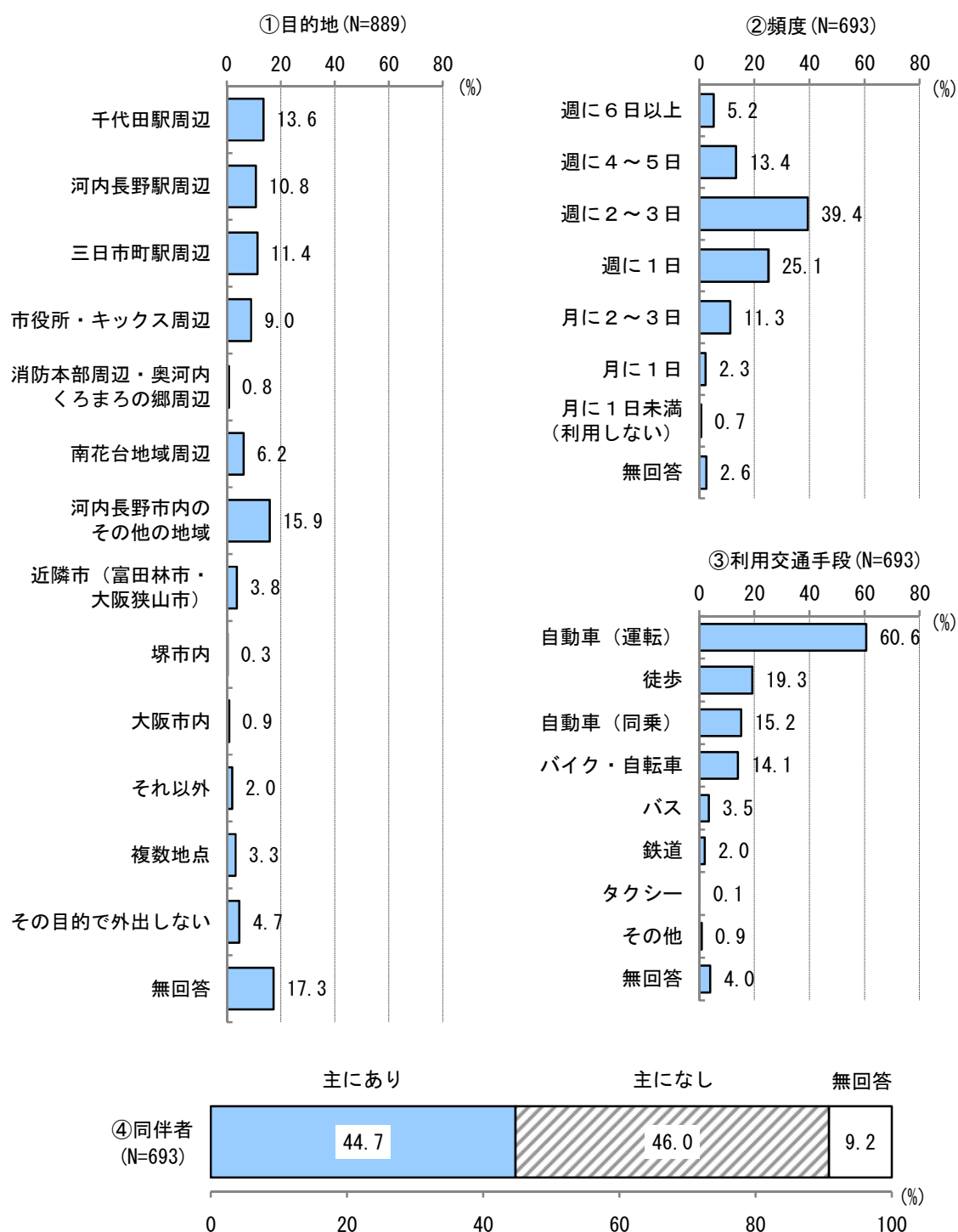
問16 日常生活での主な外出について、次のア)～ク)の外出目的ごとに「①目的地」「②頻度」「③利用交通手段」「④同伴者の有無」のそれぞれについて該当するものの番号を記入するか、番号に○印をつけてください。

ア) 通勤・通学



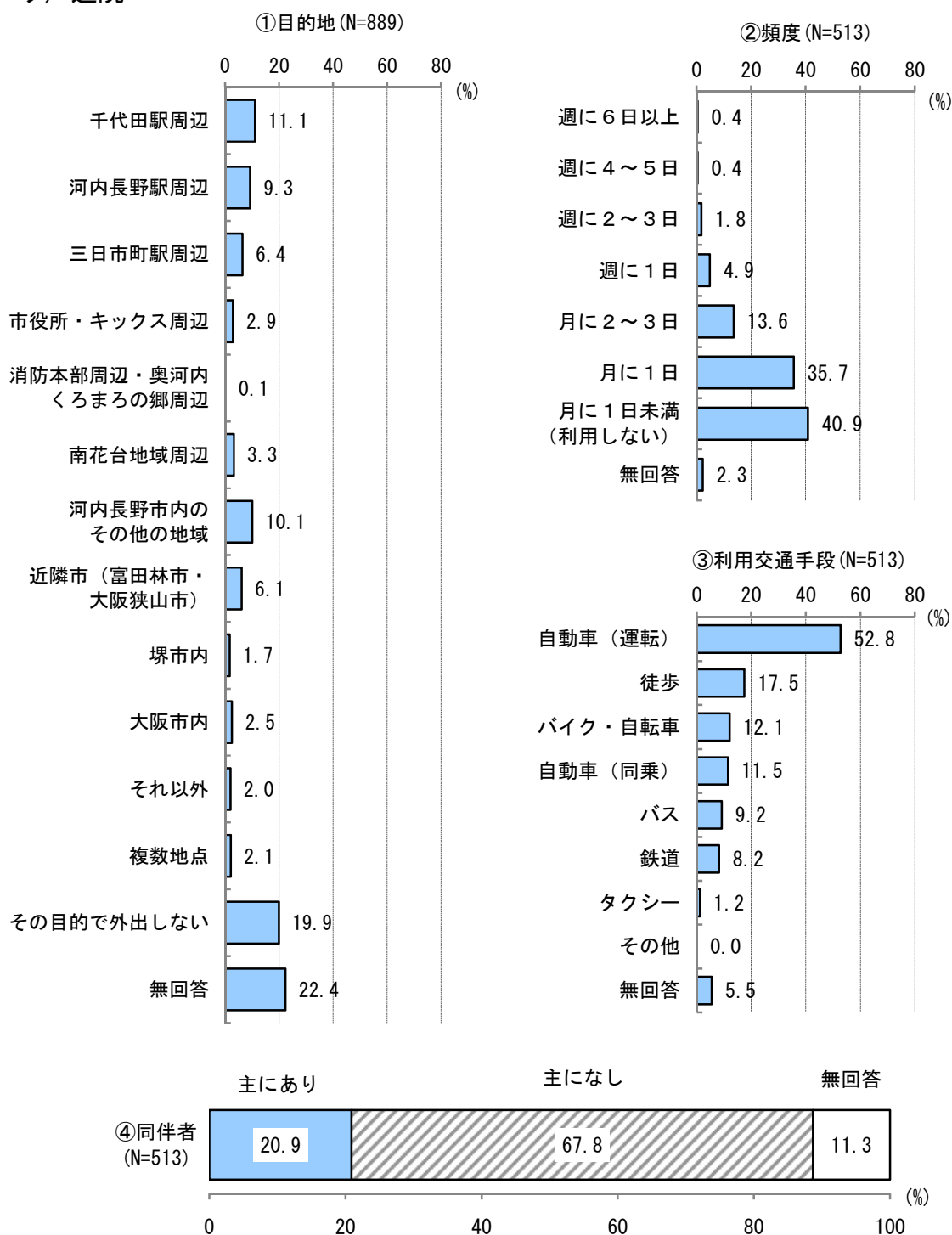
通勤・通学の状況では、①目的地は「大阪市内」が13.6%で最も多く、②頻度は「週4～5日」が64.0%を占め、③利用交通手段は「鉄道」が43.0%で最も多く、次いで「自動車（運転）」が37.9%となっており、④同伴者は「主になし」が88.2%となっている。

イ) 食料品・日用品等の買物



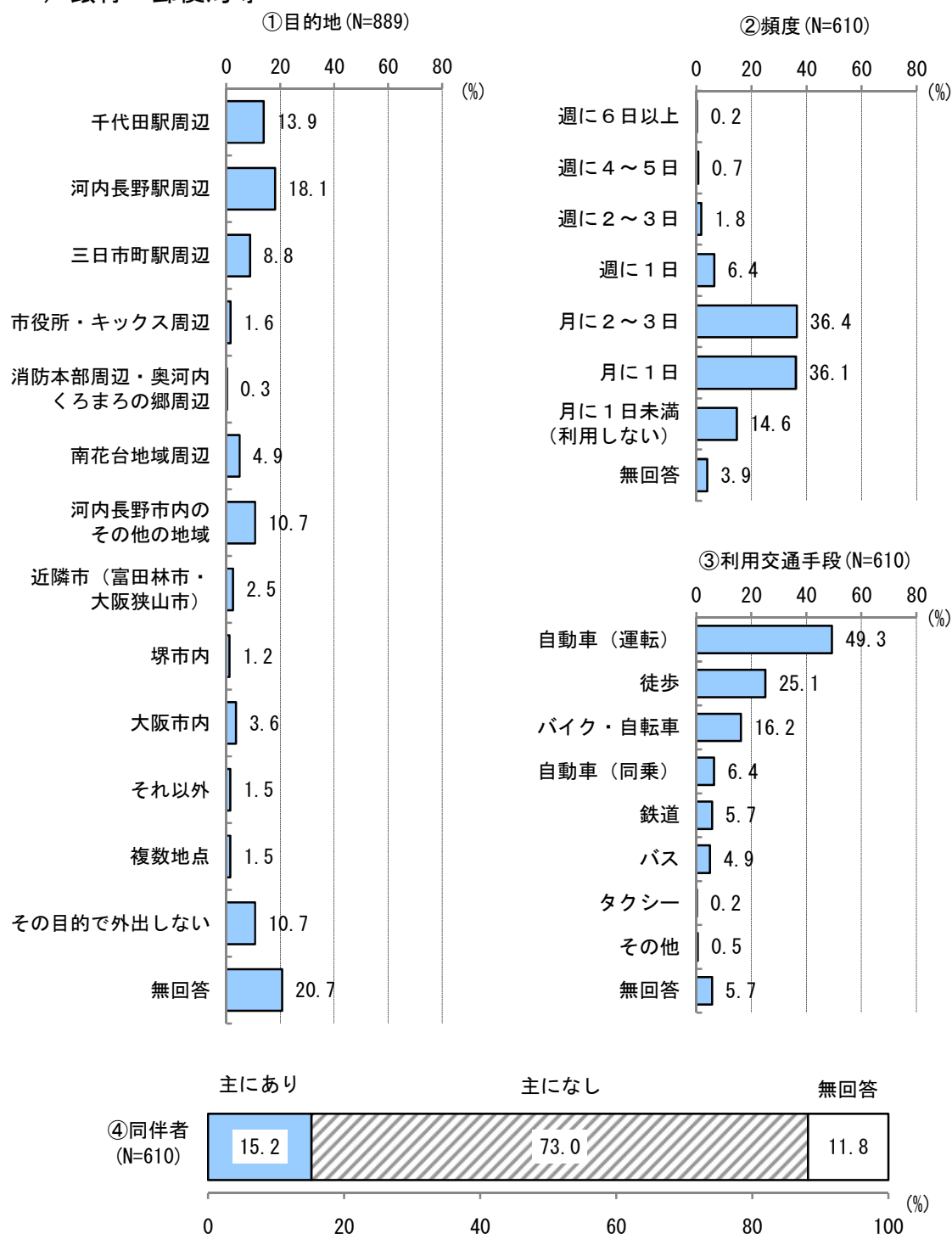
食料品・日用品等の買物の外出状況では、①目的地は「河内長野市内のその他の地域」が15.9%で最も多く、次いで「千代田駅周辺」が13.6%となっている。②頻度は「週に2～3日」が39.4%、「週に1日」が25.1%と多く、③利用交通手段では「自動車 (運転)」が60.6%で最も多く、次いで「徒歩」が19.3%、「自動車 (同乗)」が15.2%となっている。④同伴者は「主により」が44.7%、「主になし」は46.0%とほぼ半々となっている。

ウ) 通院



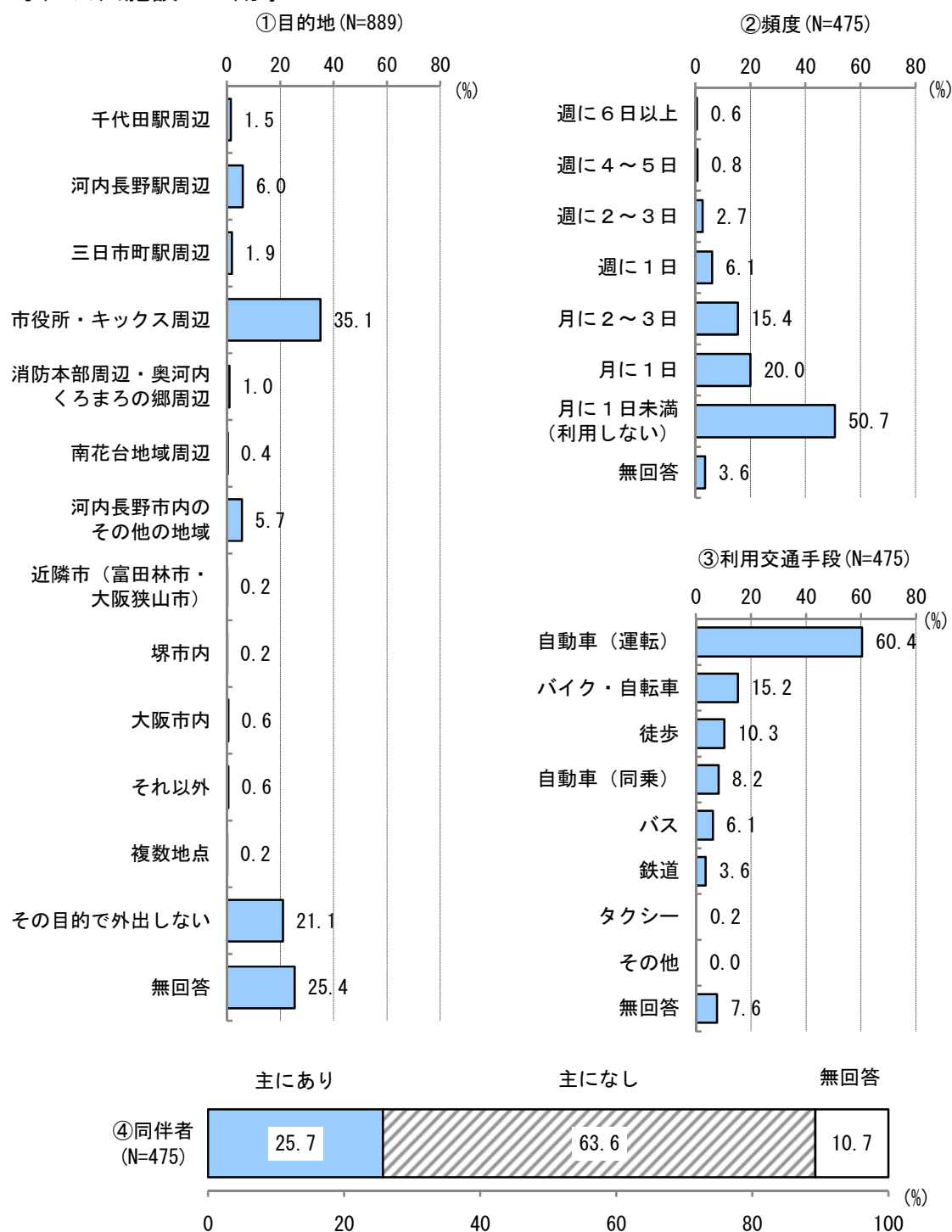
通院の状況では、①目的地は「その目的で外出しない」が19.9%を占めているが、外出する人では「千代田駅周辺」が11.1%で最も多く、次いで「河内長野市内のその他の地域」が10.1%となっている。②頻度は「月に1日未満（利用しない）」が40.9%で最も多く、次いで「月に1日」が35.7%となっている。③利用交通手段では「自動車（運転）」が52.8%で最も多く、次いで「徒歩」が17.5%となっている。④同伴者は「主にあり」が20.9%となっている。

エ) 銀行・郵便局等



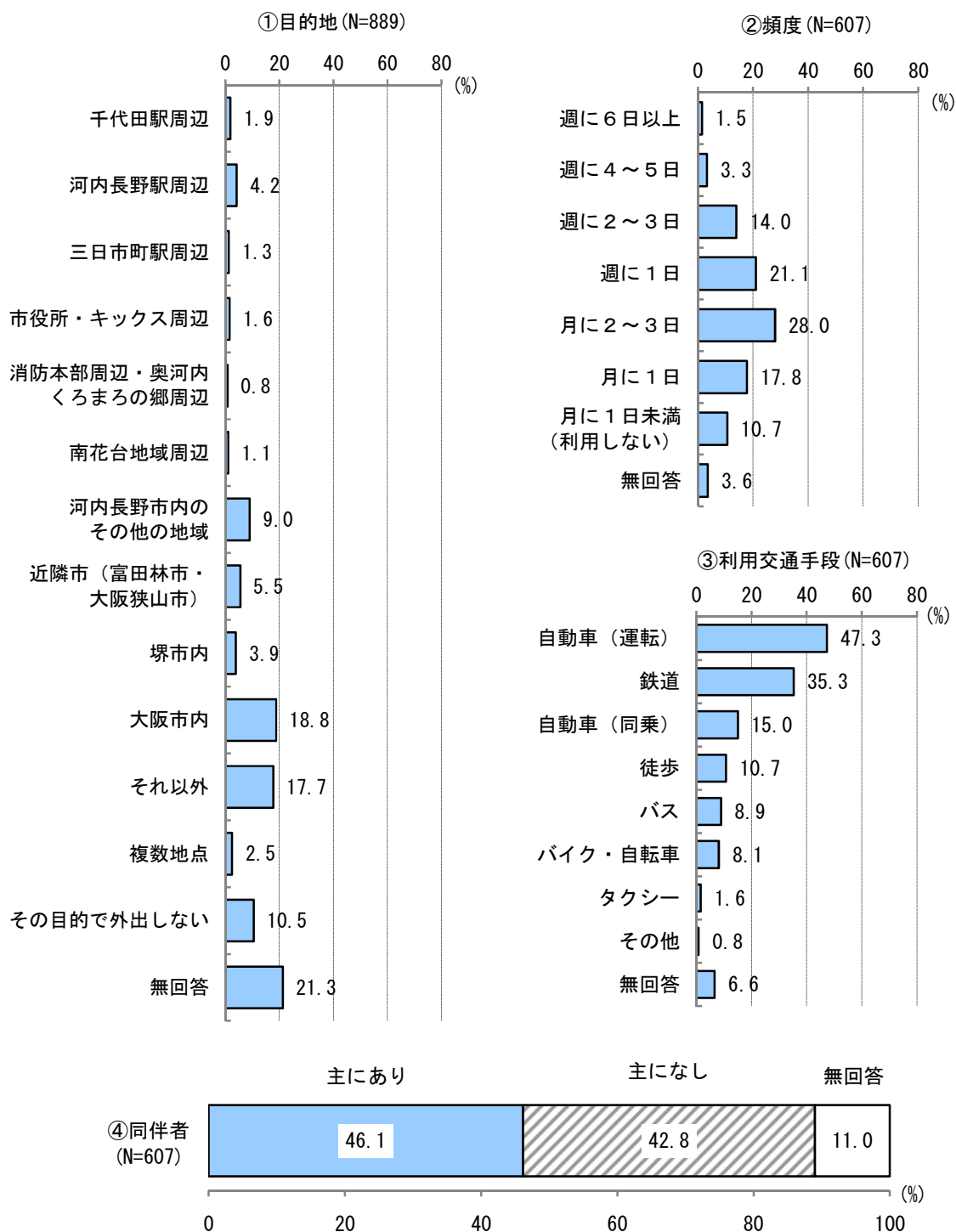
銀行・郵便局等の外出状況では、①目的地は「河内長野駅周辺」が18.1%で最も多く、次いで「千代田駅周辺」が13.9%、「河内長野市内のその他の地域」が10.7%となっている。②頻度は「月に2～3日」が36.4%、「月に1日」が36.1%と多くなっている。③利用交通手段では「自動車（運転）」が49.3%で最も多く、次いで「徒歩」が25.1%となっている。④同伴者は「主にあり」が15.2%となっている。

オ) 公共施設への用事



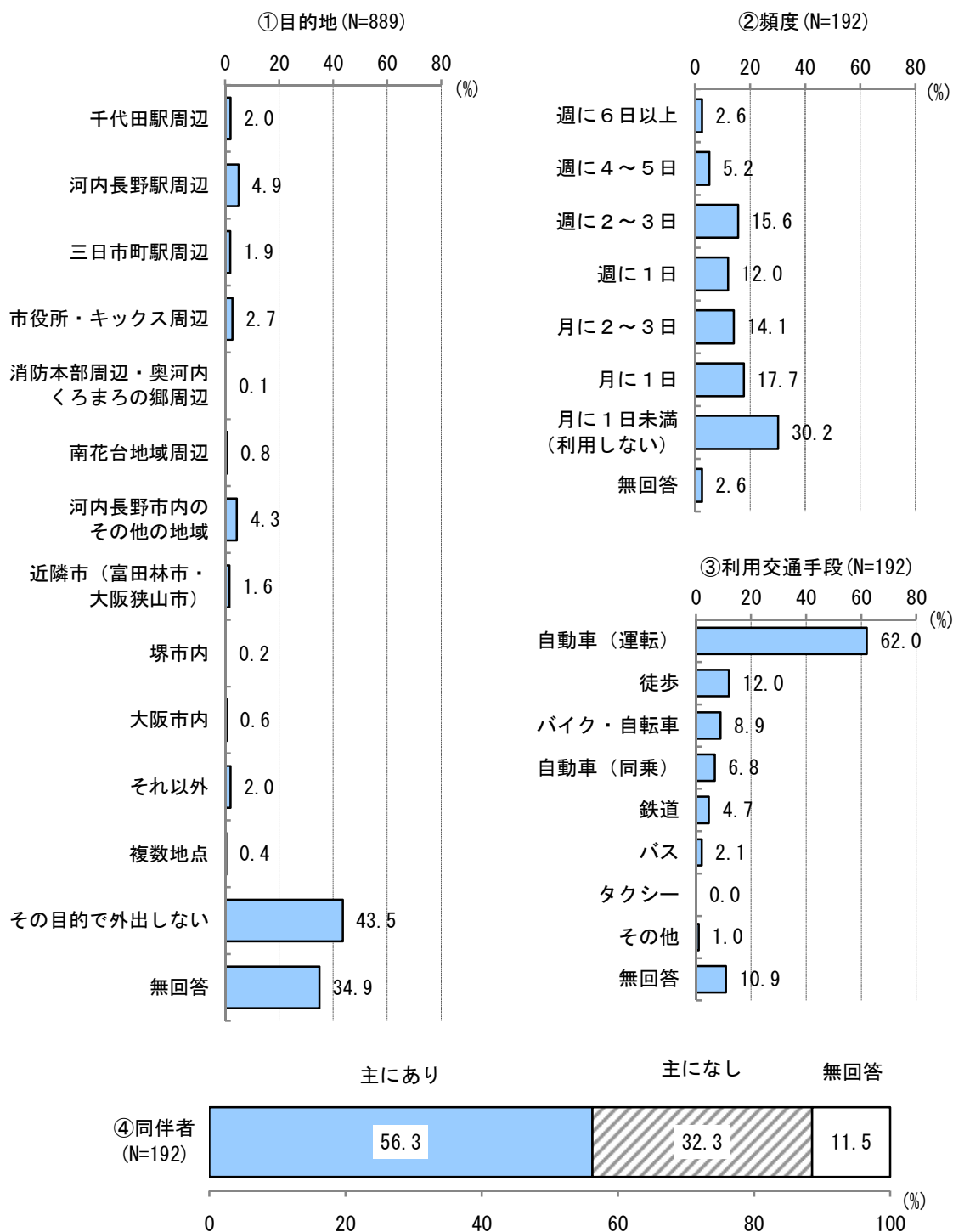
公共施設への用事の外出状況では、①目的地は「市役所・キックス周辺」が35.1%で最も多く、「その目的で外出しない」は21.1%となっている。②頻度は「月に1日未満（利用しない）」が50.7%を占め、次いで「月に1日」が20.0%、「月に2～3日」が15.4%となっている。③利用交通手段では「自動車（運転）」が60.4%で最も多く、次いで「バイク・自転車」が15.2%、「徒歩」が10.3%となっている。④同伴者は「主にあり」が25.7%となっている。

カ) 遊び・趣味・娯楽



遊び・趣味・娯楽の外出状況では、①目的地は「大阪市内」が18.8%で最も多く、次いで「それ以外」が17.7%、「その目的で外出しない」が10.5%、「河内長野市内のその他の地域」が9.0%となっている。②頻度は「月に2～3日」が28.0%で最も多く、次いで「週に1日」が21.1%となっている。③利用交通手段では「自動車（運転）」が47.3%で最も多く、次いで「鉄道」が35.3%、「自動車（同乗）」が15.0%となっている。④同伴者は「主にあり」が46.1%と多くなっている。

キ) 子育て関係の用事



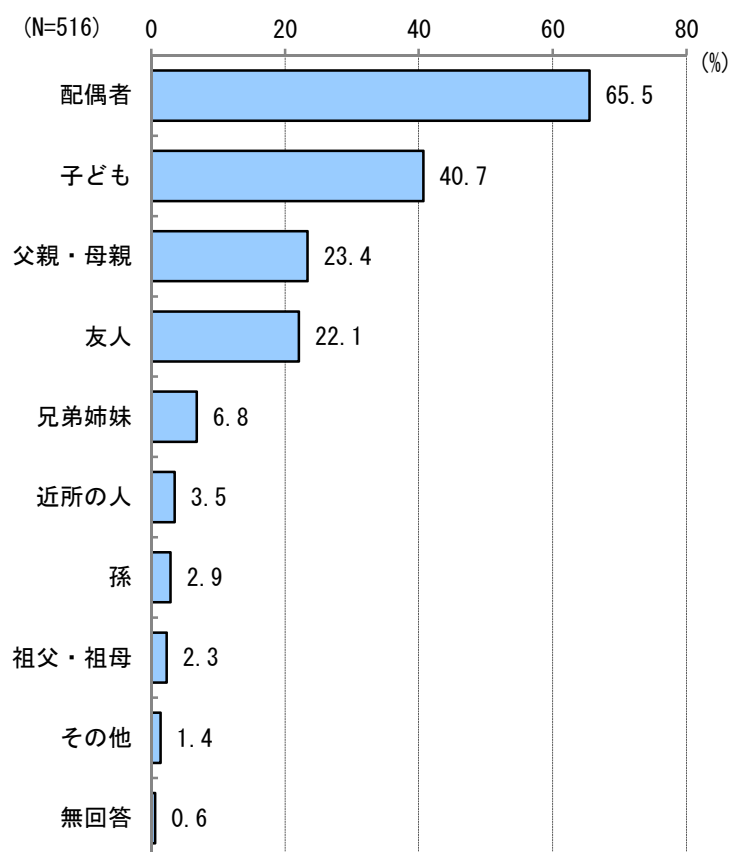
子育て関係の用事の外出状況では、①目的地は「その目的で外出しない」が43.5%を占めるが、外出している人は「河内長野駅周辺」が4.9%で最も多く、次いで「河内長野市内のその他の地域」が4.3%となっている。②頻度は「月に1日未満（利用しない）」が30.2%で最も多く、次いで「月に1日」が17.7%、「週に2～3日」が15.6%となっている。③利用交通手段では「自動車（運転）」が62.0%で最も多く、次いで「徒歩」が12.0%、「バイク・自転車」が8.9%となっている。④同伴者は「主にあり」が56.3%を占めている。

※注意「ク）その他日常の移動」については、回答者数が少ないので省く。

(7) 外出時の同伴者

【問16で回答された「同伴者の有無」のうち、1つでも「同伴者あり」に○印をつけられた方におうかがいします。】

問17 主にどなたと一緒に外出（移動）されますか。（○はいくつでも）



ふだんの外出状況で同伴者ありと回答した人に、主な同伴者をたずねると、「配偶者」が65.5%で最も多く、次いで「子ども」が40.7%、「父親・母親」が23.4%、「友人」が22.1%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

(%)

		N	配偶者	子ども	父親・母親	友人	兄弟姉妹	近所の人	孫	祖父・祖母	その他	無回答
	全体	516	65.5	40.7	23.4	22.1	6.8	3.5	2.9	2.3	1.4	0.6
性別	男性	222	78.4	33.8	17.1	14.4	4.5	1.8	3.2	1.4	1.8	0.9
	女性	293	55.6	46.1	28.3	28.0	8.5	4.8	2.7	3.1	1.0	0.3
年代別	18・19歳	24	－	－	87.5	45.8	8.3	－	－	－	－	－
	20歳代	55	16.4	7.3	61.8	56.4	27.3	1.8	－	5.5	5.5	－
	30歳代	72	73.6	75.0	25.0	13.9	5.6	－	－	4.2	－	－
	40歳代	116	63.8	68.1	24.1	19.0	6.0	4.3	－	5.2	2.6	0.9
	50歳代	87	77.0	47.1	17.2	21.8	－	2.3	2.3	－	－	－
	60歳代	98	87.8	17.3	4.1	11.2	6.1	4.1	9.2	－	－	－
	70歳代	55	83.6	16.4	1.8	18.2	1.8	10.9	5.5	－	－	3.6
	80歳以上	9	33.3	66.7	－	－	－	－	11.1	－	11.1	－
地域別	長野地域	115	64.3	48.7	28.7	27.0	7.8	4.3	0.9	2.6	1.7	－
	東地域	105	62.9	38.1	14.3	23.8	5.7	1.9	1.9	1.9	1.9	1.0
	千代田地域	113	60.2	43.4	24.8	20.4	7.1	3.5	3.5	1.8	2.7	1.8
	西地域	42	64.3	26.2	28.6	26.2	4.8	4.8	7.1	4.8	－	－
	加賀田地域	50	76.0	42.0	22.0	16.0	8.0	8.0	4.0	－	－	－
	美加の台地域	41	80.5	36.6	17.1	17.1	4.9	2.4	4.9	2.4	－	－
	南花台地域	32	68.8	37.5	25.0	21.9	9.4	－	3.1	3.1	－	－

性別でみると、男女とも「配偶者」が最も多くなっており、男性78.4%に対し、女性55.6%で、男性のほうが22.8ポイント高くなっている。しかし、女性は「子ども」や「父親・母親」、「友人」の割合が男性に比べ10ポイント以上高くなっている。

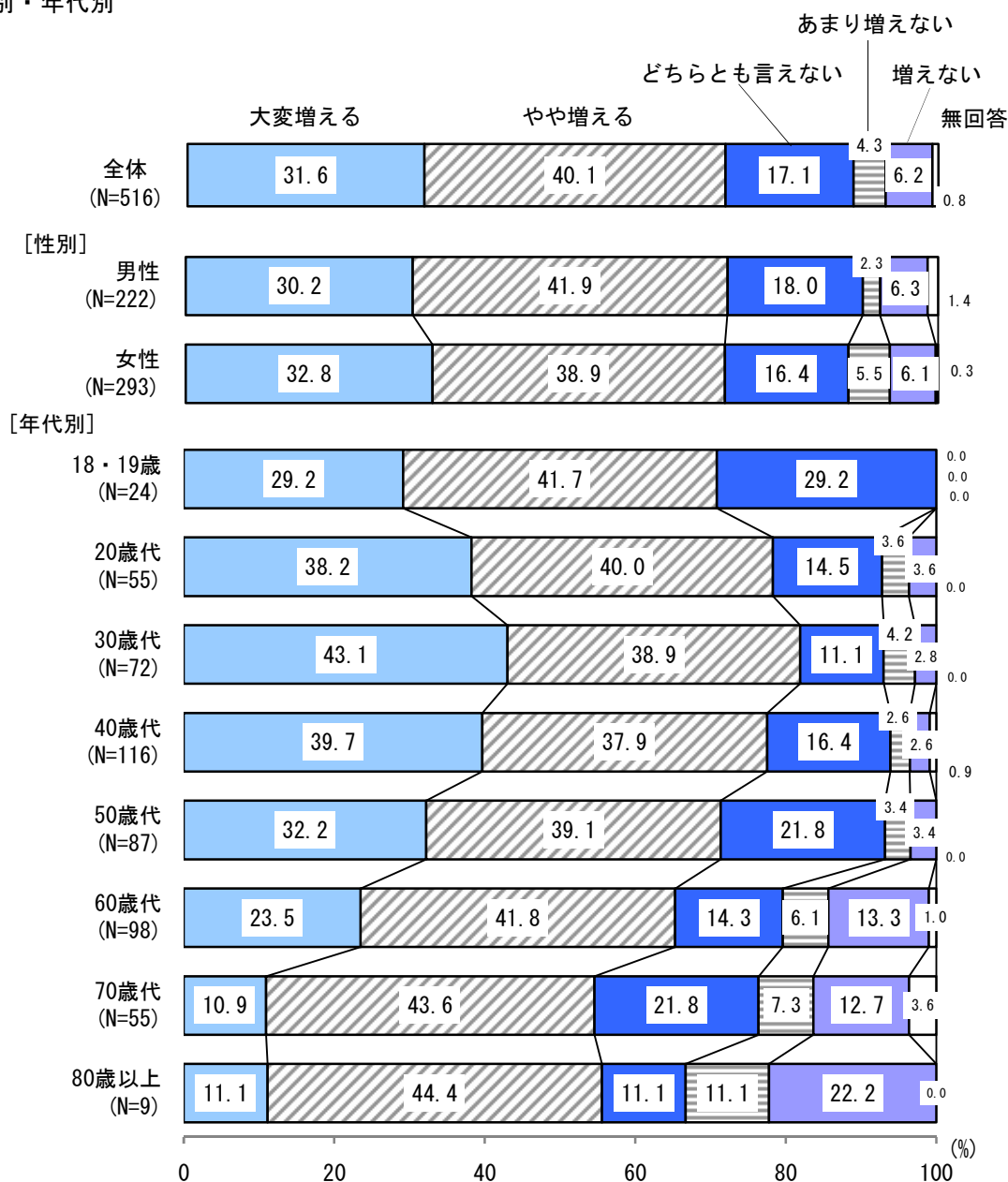
年代別でみると、18～20歳代は「父親・母親」が最も多く、次いで「友人」が多くなっている。30～40歳代は「子ども」が最も多いが、「配偶者」も同様に多くなっている。50～70歳代は「配偶者」が7～8割台で最も多く、80歳以上になると「子ども」が66.7%で最も多くなっている。

地域別でみると、いずれの地域も「配偶者」が6～8割台で最も多く、次いで西地域を除く地域は「子ども」が3～4割台で多くなっている。西地域では「父親・母親」が28.6%、「子ども」と「友人」がともに26.2%と続いている。

(8) 一人に比べて誰かと外出した場合の滞在時間

問18 1人で外出される場合と比べて、誰かと一緒に外出した場合、外での滞在時間は増えますか。(〇は1つ)

■ 性別・年代別

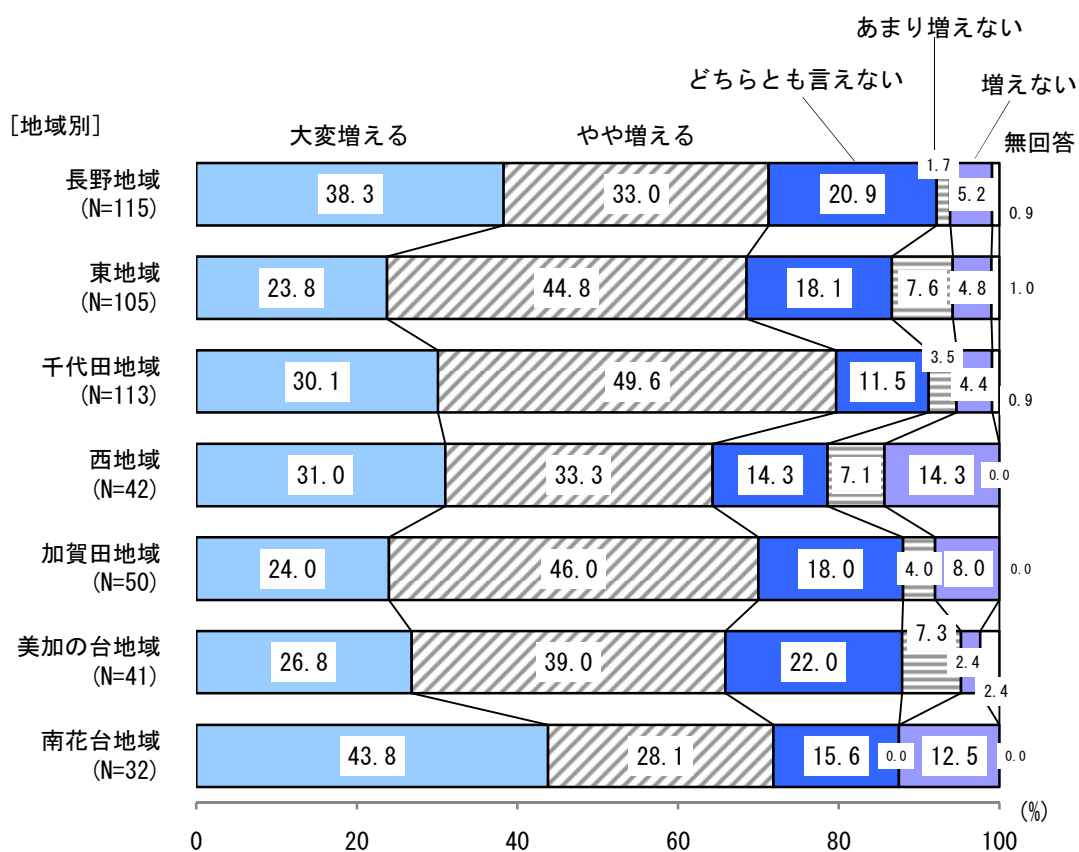


一人に比べて誰かと外出した場合の滞在時間については、「やや増える」が40.1%で最も多く、次いで「大変増える」が31.6%となっており、両者を合わせた『増える』(以下同じ)割合は71.7%を占めている。

性別でみると、男女とも『増える』割合は7割台を占めるが、一方の『増えない』(「あまり増えない」と「増えない」の合計：以下同じ)割合は、男性8.6%、女性11.6%で、女性のほうが3.0ポイント高くなっている。

年代別でみると、いずれの年代も『増える』割合が過半数を占めており、「大変増える」では20～40歳代が4割前後と高い。しかし、『増えない』割合は、60～70歳代が約2割を占めており、60歳未満の年代に比べ大幅に上昇している。

■ 地域別

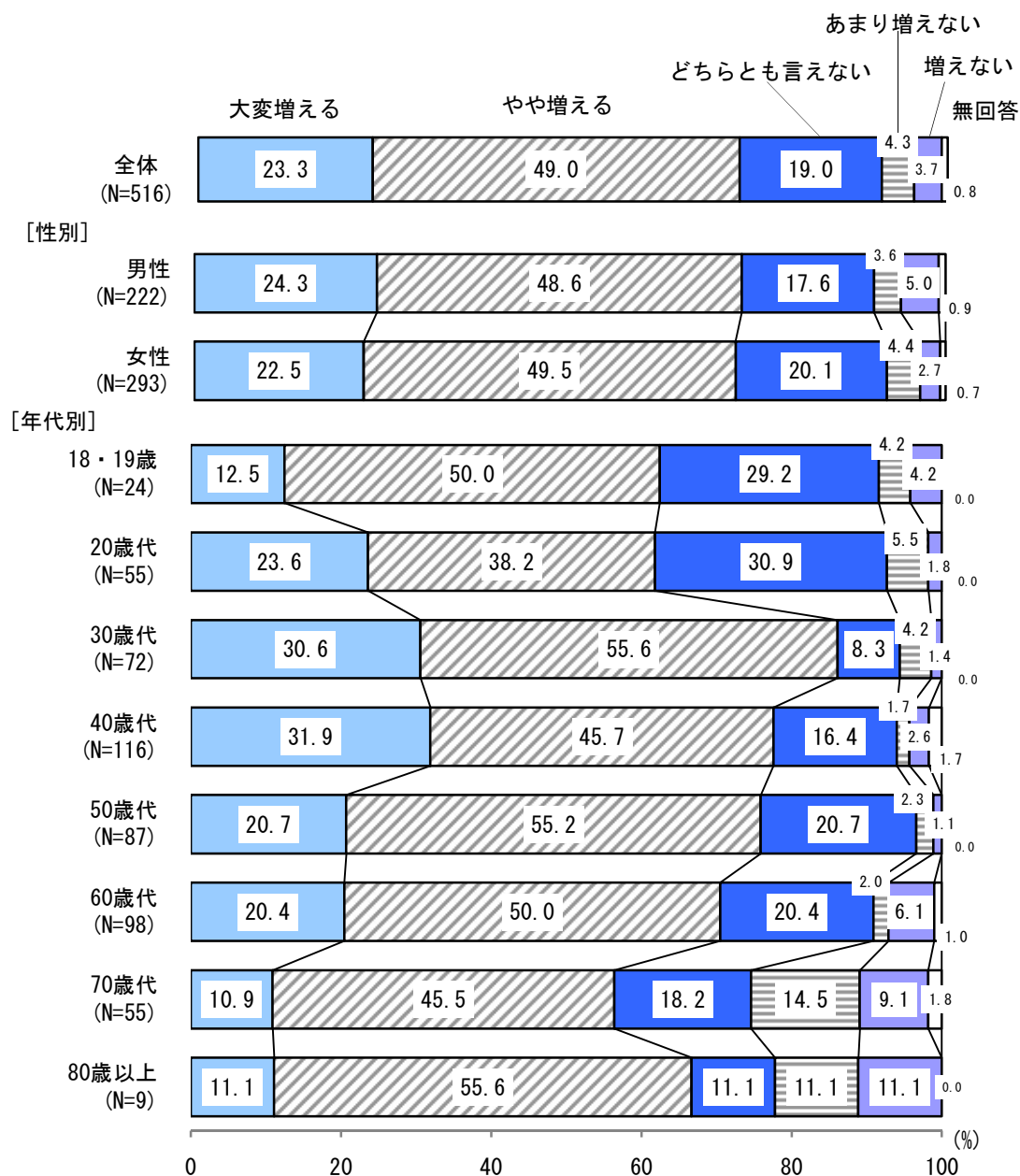


地域別でみると、いずれの地域も『増える』割合が6～7割台を占めており、「大変増える」は南花台地域が43.8%で最も高く、次いで長野地域が38.3%となっている。一方、『増えない』割合では、西地域が21.4%と他の地域に比べ高くなっている。

(9) 一人に比べて誰かと外出した場合の消費行動

問19 1人で外出される場合と比べて、誰かと一緒に外出した場合、消費行動は増えますか。(○は1つ)

■ 性別・年代別

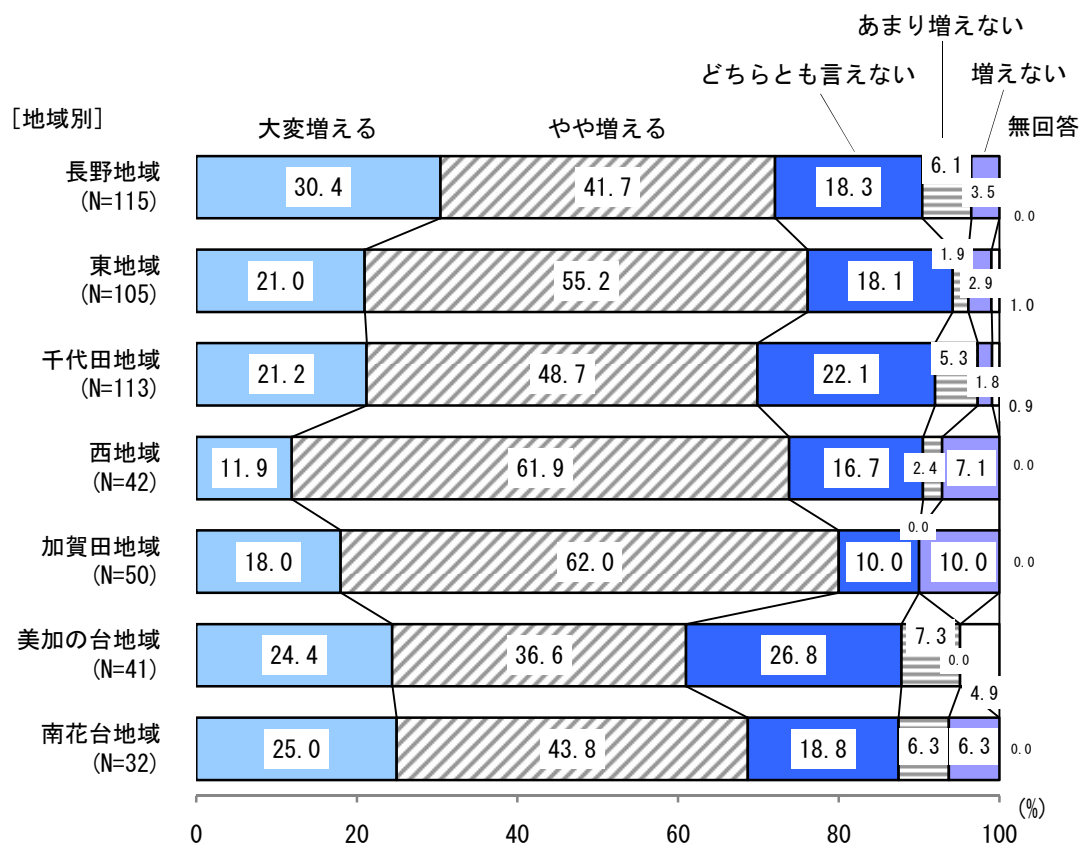


一人に比べて誰かと外出した場合の消費行動については、「やや増える」が49.0%で最も多く、次いで「大変増える」が23.3%となっており、『増える』割合は72.3%を占めている。

性別でみると、男女とも『増える』割合が7割台を占め、差はほとんどみられない。

年代別でみると、いずれの年代も『増える』割合が過半数を占めており、「大変増える」では30～40歳代が3割程度となっている。一方、『増えない』割合は、70歳代が23.6%で他の年代に比べ高くなっている。

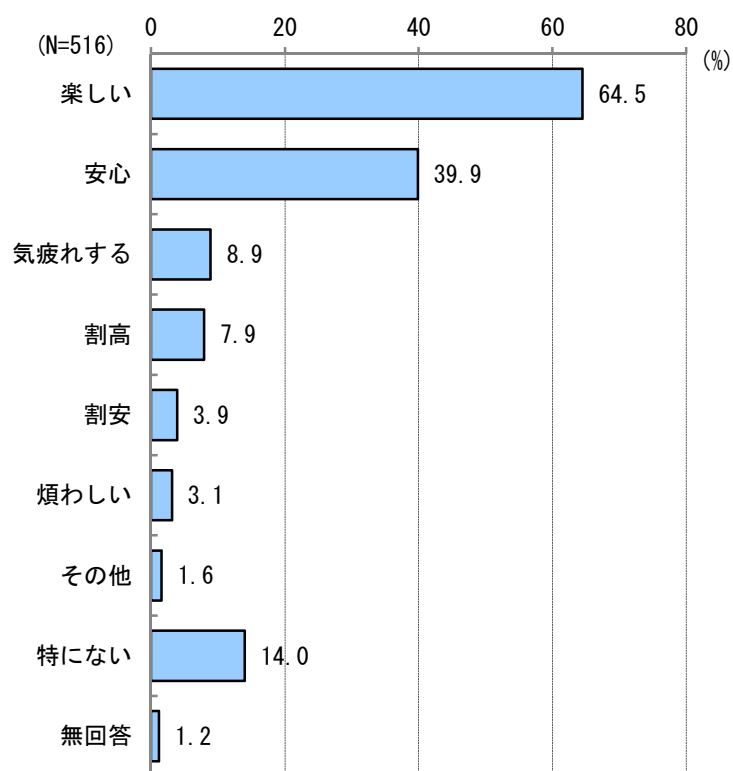
■ 地域別



地域別でみると、いずれの地域も『増える』割合が過半数を占めており、なかでも長野地域が「大変増える」で30.4%と高くなっている。

(10) 誰かと一緒に外出で感じる事

問20 誰かと一緒に外出について、感じられることはありますか。(〇はいくつでも)



誰かと一緒に外出で感じる事について、「楽しい」が64.5%で最も多く、次いで「安心」が39.9%、「特にない」は14.0%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

(%)

		N	楽しい	安心	気 疲 れ す る	割 高	割 安	煩 わ し い	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体		516	64.5	39.9	8.9	7.9	3.9	3.1	1.6	14.0	1.2
性別	男性	222	56.8	34.2	5.4	7.2	3.6	2.7	1.8	18.9	1.4
	女性	293	70.6	44.4	11.6	8.5	4.1	3.4	1.4	9.9	1.0
年代別	18・19歳	24	70.8	45.8	－	－	4.2	－	－	20.8	－
	20歳代	55	81.8	36.4	18.2	5.5	3.6	1.8	1.8	3.6	－
	30歳代	72	81.9	40.3	12.5	13.9	6.9	5.6	2.8	5.6	1.4
	40歳代	116	78.4	32.8	7.8	12.9	3.4	0.9	1.7	8.6	0.9
	50歳代	87	65.5	35.6	5.7	4.6	2.3	2.3	1.1	18.4	1.1
	60歳代	98	44.9	44.9	8.2	7.1	4.1	4.1	2.0	20.4	2.0
	70歳代	55	32.7	45.5	9.1	3.6	3.6	7.3	－	25.5	1.8
	80歳以上	9	22.2	88.9	－	－	－	－	－	11.1	－
地域別	長野地域	115	65.2	39.1	11.3	8.7	1.7	5.2	1.7	14.8	－
	東地域	105	65.7	37.1	9.5	8.6	6.7	1.9	－	11.4	2.9
	千代田地域	113	70.8	43.4	11.5	8.0	1.8	1.8	3.5	9.7	0.9
	西地域	42	57.1	50.0	14.3	4.8	2.4	9.5	－	9.5	－
	加賀田地域	50	58.0	36.0	2.0	10.0	8.0	4.0	－	20.0	－
	美加の台地域	41	56.1	39.0	2.4	7.3	4.9	－	－	17.1	4.9
	南花台地域	32	65.6	37.5	6.3	3.1	6.3	－	6.3	21.9	－

性別でみると、男女とも「楽しい」が最も多く、次いで「安心」となっており、どちらの項目も男性に比べ女性のほうが10ポイント以上高くなっている。しかし、「気疲れする」も、男性5.4%に対し、女性11.6%で、女性のほうが高くなっている。

年代別でみると、18～50歳代は「楽しい」が6～8割台で最も多くなっている。60歳代では「楽しい」と「安心」がともに44.9%で最も多くなっており、70歳代になると「安心」が45.5%で最も多くなっている。

地域別でみると、いずれの地域も「楽しい」が5割以上で最も多く、なかでも千代田地域は70.8%と高くなっている。また、「安心」では、西地域が50.0%で他の地域に比べ高い。

(11) 最寄りの鉄道駅及びバス停について

問21 ご自宅から最寄りの鉄道駅及びバス停の名称と、現在の所要時間、望ましい所要時間をお答えください。また、鉄道については、最寄り駅までに行くためによく利用する交通手段の番号に○印をつけてください。

①鉄道駅

最寄り駅	現在の所要時間		望ましい所要時間		最寄りの鉄道駅までによく利用する交通手段（人）								
	N	平均（分）	N	平均（分）	N	バス	自動車（運転）	自動車（同乗）	バイク・自転車	徒歩	タクシー	その他	無回答
河内長野駅	182	13.0	142	8.2	191	46	26	8	25	82	1	0	3
千代田駅	173	12.6	126	8.7	182	46	4	14	12	104	0	1	1
滝谷駅	38	12.8	29	7.2	38	0	0	0	5	32	0	0	1
金剛駅	1	15.0	1	10.0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
汐ノ宮駅	18	7.6	14	5.9	18	0	0	0	1	17	0	0	0
三日市町駅	257	12.6	185	8.8	274	102	35	18	12	96	3	1	7
美加の台駅	58	11.2	38	7.9	60	20	0	5	4	31	0	0	0
千早口駅	2	7.5	1	10.0	2	0	0	0	0	2	0	0	0
天見駅	4	15.0	0	—	4	0	0	2	0	2	0	0	0
河内長野駅、千代田駅	7	17.1	6	9.2	8	5	1	0	1	1	0	0	0
河内長野駅、三日市町駅	1	13.0	0	—	2	0	1	0	0	1	0	0	0
千代田駅、滝谷駅	1	15.0	1	10.0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
千代田駅、汐ノ宮駅	3	7.7	3	6.0	3	0	0	0	1	2	0	0	0
美加の台駅、三日市町駅	1	15.0	1	15.0	2	0	1	0	0	1	0	0	0
不明（複数回答含む）	3	43.3	2	22.5	4	0	0	0	1	3	0	0	0

最寄りの鉄道駅について、現在の所要時間及び望ましい所要時間、最寄りの鉄道駅までによく利用する交通手段は、上表の通りである。

②バス停

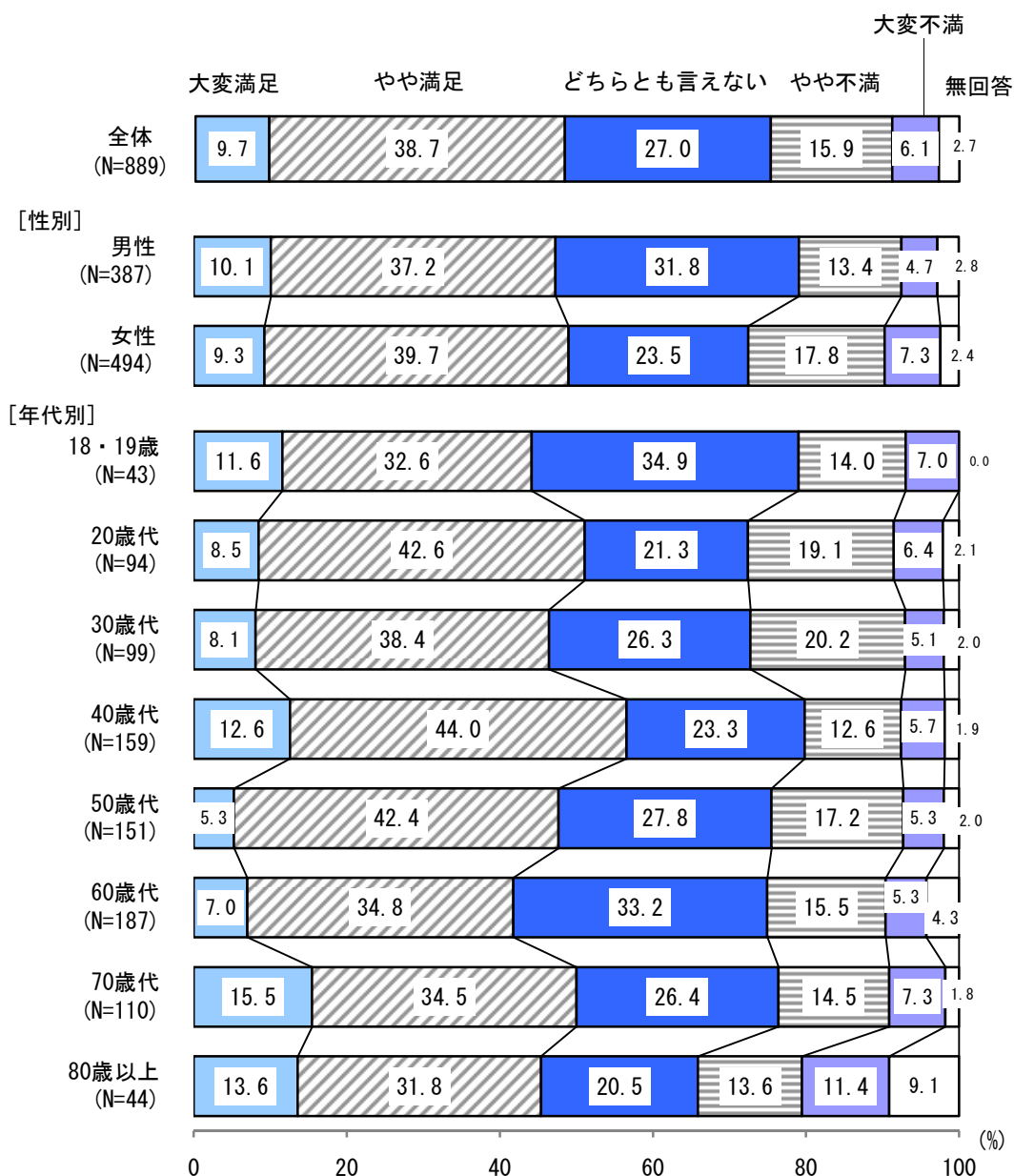
最寄りのバス停	現在の所要時間		望ましい所要時間		最寄りのバス停	現在の所要時間		望ましい所要時間		最寄りのバス停	現在の所要時間		望ましい所要時間	
	N	平均(分)	N	平均(分)		N	平均(分)	N	平均(分)		N	平均(分)	N	平均(分)
木戸東町	7	6.0	3	4.3	東中学校前	1	2.0	0	-	大矢船北町	7	5.1	7	3.1
大阪南医療センター玄関口	1	10.0	1	5.0	日東町東口	3	3.0	1	4.0	大矢船西町	7	4.1	6	3.8
大阪南医療センター前	1	6.0	1	6.0	清見台東口	1	5.0	1	5.0	南ヶ丘	7	7.0	4	2.5
千代田南町	2	2.0	0	-	観心寺	1	5.0	0	-	大矢船南町	7	3.1	4	3.3
千代田駅前	6	8.0	5	4.8	太井	1	5.0	0	-	大矢船中町	4	6.3	3	3.0
南海西友前	5	8.8	3	4.0	小深口	1	2.0	0	-	加賀田小学校前	2	5.0	1	5.0
南貴望ヶ丘	4	3.5	1	3.0	野作	7	10.1	5	3.0	神納	1	40.0	1	10.0
貴望ヶ丘	12	9.8	10	5.2	上原口	2	4.0	1	5.0	加塩	3	7.3	0	-
市民グランド前	4	4.3	4	6.3	水落	2	5.5	2	3.0	新町橋	4	3.5	3	5.0
千代田台	3	3.7	2	3.0	清崎	1	1.0	1	1.0	青葉台センター前	11	3.9	7	4.3
赤峯	3	3.7	2	4.0	旭ヶ丘口	6	3.8	4	3.5	青葉台会館前	4	4.8	2	4.0
小山田口	13	6.0	9	3.7	旭ヶ丘	8	2.6	6	2.8	南青葉台口	2	2.5	1	2.0
荘園橋	3	2.7	1	2.0	広野	2	5.0	1	5.0	南青葉台	7	3.0	4	2.3
荘園町	5	7.6	2	3.0	天野山	1	10.0	1	5.0	南青葉台中央	5	3.8	0	-
荘園センター	4	3.3	3	1.7	滝畑ダム	1	10.0	1	5.0	美加の台西	1	5.0	1	5.0
小山田集会所前	3	1.3	2	1.5	日野	2	4.0	1	5.0	上之山神社前	4	6.8	2	2.0
小山田南	3	6.0	2	5.0	中日野	2	5.0	1	3.0	第一公園前	2	4.0	1	3.0
緑ヶ丘北町	5	6.6	3	3.7	高向	1	1.0	1	1.0	美加の台北	1	1.0	0	-
緑ヶ丘中町	8	4.9	4	5.0	上高向	1	5.0	0	-	美加の台小学校前	3	5.0	3	5.0
緑ヶ丘南町	7	5.4	5	4.0	下高向	3	3.3	2	4.0	神ヶ丘口	2	2.0	2	2.0
東峯	0	-	1	5.0	長野車庫	9	5.9	7	5.9	美加の台東	1	1.0	0	-
神社前	5	3.4	3	3.0	むくの本	5	3.2	5	2.8	延命寺口	5	3.2	1	2.0
配水池前	2	2.0	1	1.0	郵便局前	2	12.5	2	7.5	美加の台	9	3.1	4	2.8
市民交流センター前	5	9.6	1	8.0	上田	4	4.8	2	2.5	美加の台南	3	2.7	3	2.0
市役所前	1	5.0	1	5.0	三日市町駅筋	1	3.0	1	2.0	美加の台中	5	3.2	3	2.3
河内長野警察署前	2	2.5	1	2.0	鳥帽子台	1	3.0	1	3.0	美加の台口	5	2.8	5	2.2
ラブリーホール前	1	15.0	1	5.0	三日市町駅前	7	12.4	5	11.0	近隣センター前	6	4.2	5	2.8
石坂	2	1.5	1	1.0	南花台一丁目北	14	4.8	10	3.6	清見台3丁目	8	4.8	3	1.3
本多町	1	3.0	1	1.0	南花台一丁目南	3	3.7	2	4.0	川上小学校前	9	4.3	5	4.2
河内長野駅前	11	9.0	7	9.0	南花台三丁目北	11	3.5	4	4.3	清見台2丁目	3	4.3	3	4.3
河合寺	5	6.6	2	2.5	南花台三丁目南	10	2.5	8	3.0	清見台1丁目	3	4.0	2	2.0
大師町	9	4.7	4	2.0	南花台四丁目	20	4.6	12	3.2	不明(複数回答含む)	48	6.4	33	4.8

最寄りのバス停について、徒歩での現在の所要時間及び望ましい所要時間は、上表の通りである。

(12) 日常生活における外出の満足度

問22 あなたは、日常生活における外出（移動）についてどの程度満足されていますか。
（○は1つ）

■ 性別・年代別

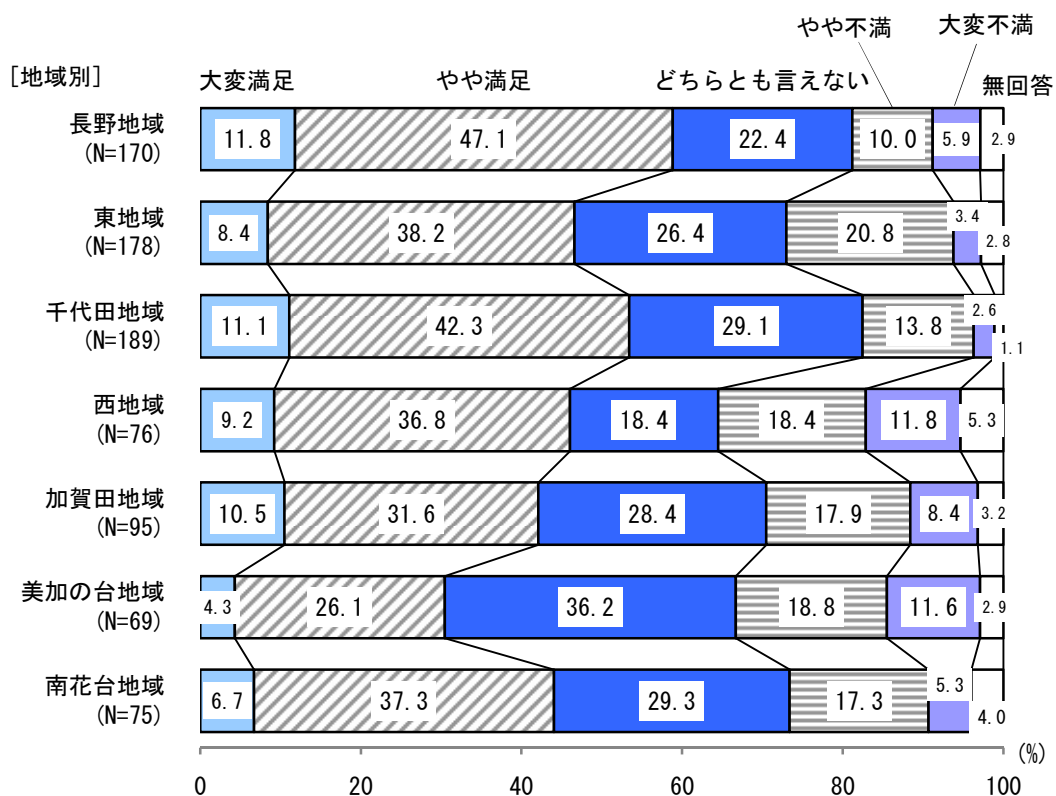


日常生活における外出の満足度については、「やや満足」が38.7%で最も多く、「やや不満」が15.9%となっている。『満足』（「大変満足」と「やや満足」の合計：以下同じ）割合では48.4%を占めている。

性別でみると、男女とも『満足』割合が4割台でほとんど差はみられないが、『不満』（「やや不満」と「大変不満」の合計：以下同じ）割合では、男性18.1%に対し、女性25.1%で、女性のほうが7.0ポイント高くなっている。

年代別でみると、いずれの年代も『満足』割合は4～5割台、『不満』割合は2割前後を占めている。また、80歳以上は「大変不満」が11.4%と他の年代に比べ高い。

■ 地域別



地域別でみると、美加の台地域を除く地域では『満足』割合が4割以上を占めており、なかでも長野地域と千代田地域は5割台となっている。美加の台地域では、『満足』・『不満』の両割合とも30.4%を占め、「どちらとも言えない」が36.2%で最も多くなっており、西地域は『不満』割合が30.2%と、美加の台地域に次いで高くなっている。なお、両地域の「大変不満」は、西地域が11.8%、美加の台地域が11.6%で、他の地域に比べ高くなっている。

(13) 日常生活における外出で不満と感じる理由

【問22で「4. やや不満」もしくは「5. 大変不満」を選んだ方におうかがいします。】
問22-1 不満を感じておられることについて、具体的にご記入ください。

■ バスに対する不満	件数
バスの本数が少ない	58
自分が利用するのに都合のよい路線がない（増やしてほしい）	13
バス停が遠い	12
バスと電車の乗り継ぎ、接続が悪く時間がかかる	12
バスの運行時間帯（朝が遅い、最終が早い等）	9
利用できるバスがほぼない（なくなった）	8
バスの運賃が高い	7
バス停が少ない	3
コミュニティ・バスの路線を拡大してほしい	3

■ 鉄道に対する不満	件数
駅が遠い	15
電車の本数が少ない	9
三日市町駅行き等、もっと先まで運行してほしい	5

■ 自動車利用などによる道路に対する不満	件数
登り坂、下り坂が多い	13
高速道路までが遠い	9
歩道が整備されていなかったり、道路状況がよくない	6
道幅が狭い	5
渋滞がひどい	5
どこへ行くにも車が必要	4
道が暗い	2

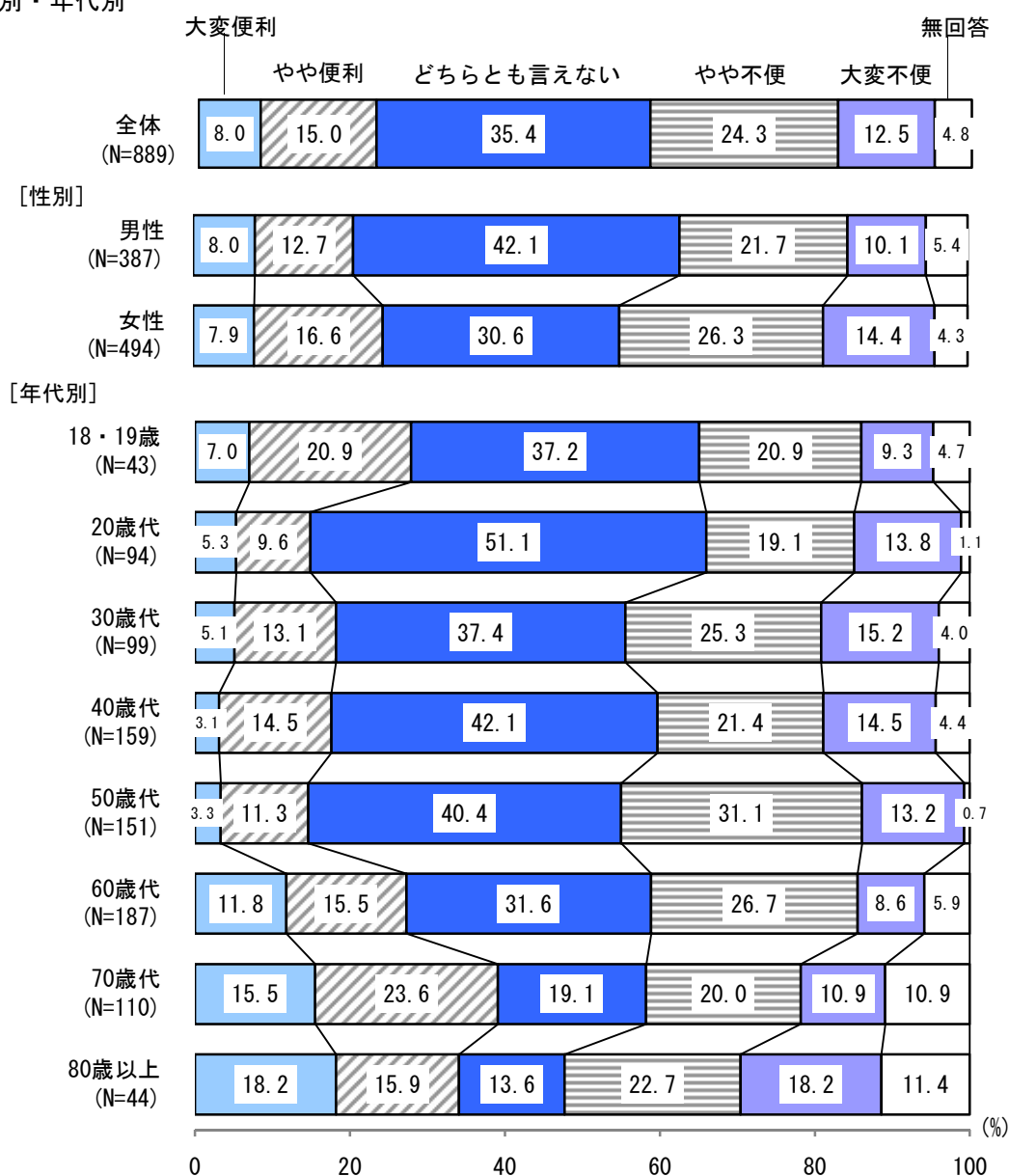
■ その他	件数
大阪市内まで時間がかかる	3
スーパー、商業施設等が近くにないので不便	3
自分の身体の問題	3
駐車料金が高い	2

日常生活における外出で不満を感じると回答した人に、その理由をたずねると、「バスの本数が少ない」が58件で最も多く、次いで「駅が遠い」が15件、「自分が利用するのに都合のよいバス路線がない（増やしてほしい）」と「登り坂、下り坂が多い」がともに13件となっている。

(14) 日常生活における路線バス等の利便性

問23 あなたの日常生活において、路線バス等の利便性についてどのように感じていますか。(〇は1つ)

■ 性別・年代別

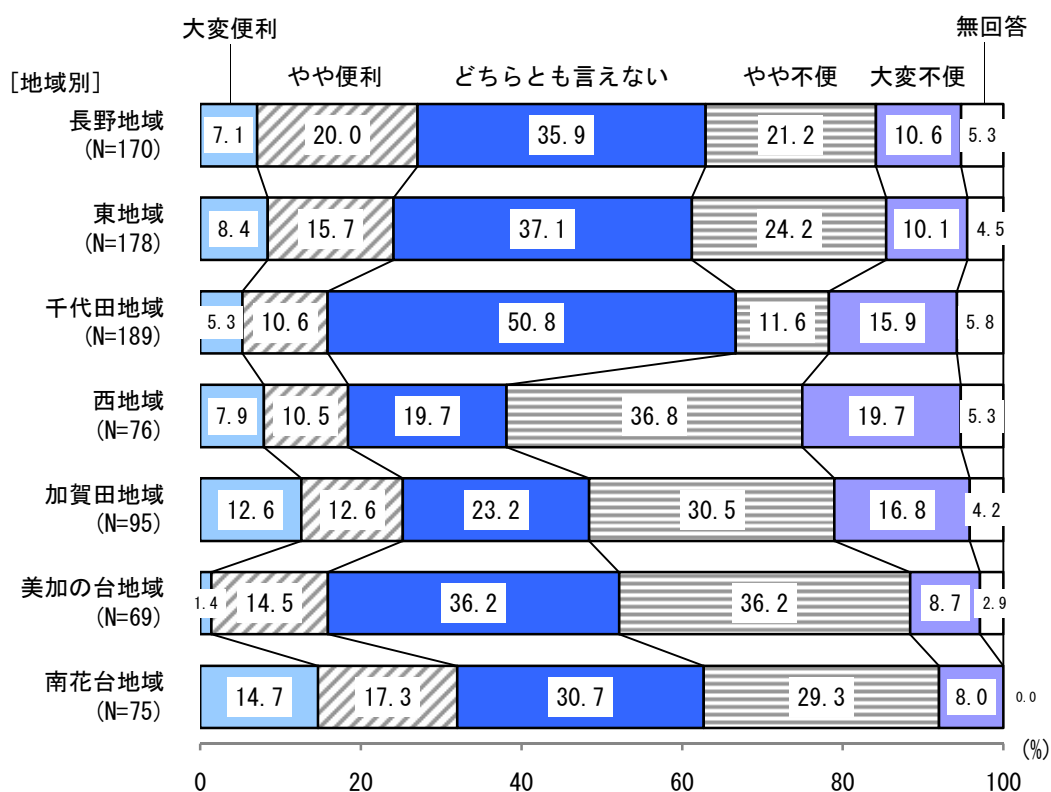


日常生活における路線バス等の利便性について、「どちらとも言えない」が35.4%で最も多く、次いで「やや不便」が24.3%となっている。また、『便利』（「大変便利」と「やや便利」の合計：以下同じ）割合が23.0%に対し、『不便』（「やや不便」と「大変不便」の合計：以下同じ）割合は36.8%で、『不便』割合のほうが多くなっている。

性別でみると、男性は「どちらとも言えない」が42.1%で最も多くなっているが、女性は『不便』割合が40.7%を占めており、男性の『不便』割合は31.8%で、女性のほうが8.9ポイント高くなっている。

年代別でみると、いずれの年代も『不便』割合が3～4割台を占めている。しかし、70歳以上の年代になると『便利』割合が3割台に上昇し、特に70歳代は39.1%と高い。

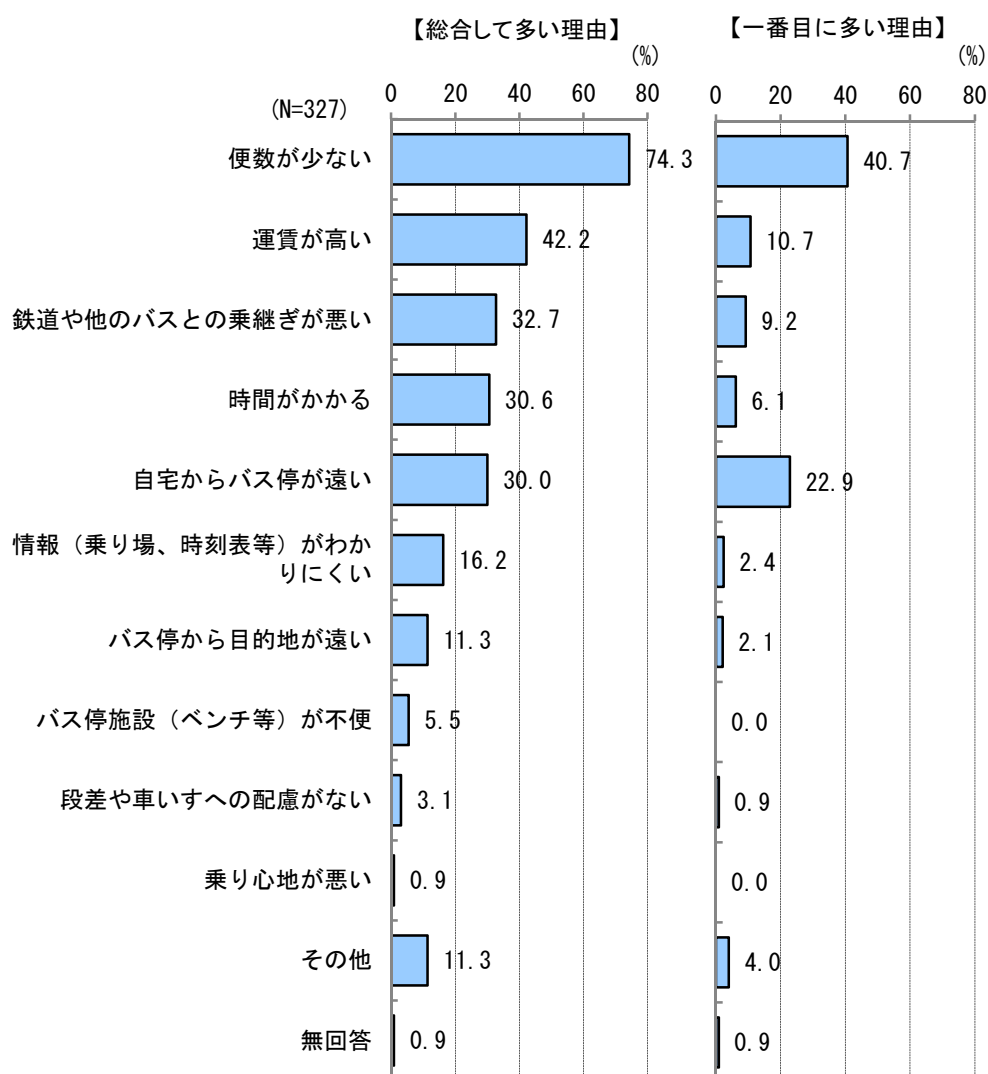
■ 地域別



地域別でみると、長野地域や東地域、千代田地域は「どちらとも言えない」が最も多くなっている。西地域や加賀田地域、美加の台地域は『不便』割合が4割以上と高く、なかでも西地域は56.5%を占めている。南花台地域では『便利』割合が32.0%で他の地域に比べ高くなっているが、『不便』割合（37.3%）のほうが多くなっている。

(15) 日常生活で路線バス等が不便に感じる理由

【問23で「4. やや不便」もしくは「5. 大変不便」を選んだ方におうかがいします。】
 問23－1 不便を感じる理由は何ですか。下の選択肢の中から不便を強く感じているものを順に3つ選んで、下欄に番号を記入してください。



日常生活で路線バス等が不便に感じると回答した人に、その理由をたずねると、総合して多い理由は、「便数が少ない」が74.3%で最も多く、次いで「運賃が高い」が42.2%、「鉄道や他のバスとの乗継ぎが悪い」が32.7%となっている。一番目の理由としては、「便数が少ない」が40.7%で最も多く、次いで「自宅からバス停が遠い」が22.9%、「運賃が高い」が10.7%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

														(%)
		N	便数が少ない	運賃が高い	鉄道や他のバスとの乗継ぎが悪い	時間がかかる	自宅からバス停が遠い	情報（乗り場、時刻表等）がわかりにくい	バス停から目的地が遠い	バス停施設（ベンチ等）が不便	段差や車いすへの配慮がない	乗り心地が悪い	その他	無回答
総合	全体	327	74.3	42.2	32.7	30.6	30.0	16.2	11.3	5.5	3.1	0.9	11.3	0.9
	性別													
	男性	123	77.2	39.8	34.1	27.6	24.4	16.3	13.0	6.5	3.3	-	13.8	0.8
	女性	201	72.6	43.3	31.3	32.3	33.3	16.4	10.4	5.0	2.5	1.5	10.0	1.0
	年代別													
	18・19歳	13	76.9	30.8	38.5	23.1	30.8	23.1	7.7	7.7	-	-	15.4	-
	20歳代	31	77.4	45.2	35.5	48.4	19.4	12.9	16.1	3.2	-	3.2	9.7	-
	30歳代	40	67.5	27.5	17.5	40.0	35.0	25.0	12.5	7.5	2.5	2.5	15.0	-
	40歳代	57	73.7	38.6	31.6	40.4	31.6	21.1	5.3	1.8	-	1.8	8.8	-
	50歳代	67	71.6	47.8	28.4	32.8	40.3	14.9	16.4	-	1.5	-	9.0	-
	60歳代	66	80.3	48.5	42.4	21.2	24.2	12.1	10.6	9.1	-	-	10.6	1.5
	70歳代	34	70.6	44.1	32.4	14.7	29.4	14.7	11.8	11.8	17.6	-	14.7	-
	80歳以上	18	77.8	38.9	38.9	11.1	16.7	5.6	5.6	11.1	11.1	-	16.7	11.1
	地域別													
	長野地域	54	75.9	22.2	37.0	46.3	24.1	20.4	9.3	11.1	1.9	-	13.0	-
	東地域	61	75.4	31.1	29.5	18.0	36.1	13.1	9.8	4.9	6.6	1.6	14.8	1.6
	千代田地域	52	57.7	30.8	13.5	23.1	67.3	30.8	17.3	3.8	1.9	1.9	7.7	-
	西地域	43	88.4	60.5	37.2	30.2	16.3	4.7	9.3	4.7	2.3	-	16.3	2.3
	加賀田地域	45	84.4	60.0	31.1	37.8	17.8	15.6	13.3	4.4	-	-	4.4	-
	美加の台地域	31	77.4	54.8	54.8	25.8	19.4	9.7	-	3.2	3.2	-	6.5	3.2
	南花台地域	28	57.1	50.0	46.4	25.0	3.6	17.9	21.4	7.1	7.1	-	17.9	-
1番目の理由	全体	327	40.7	10.7	9.2	6.1	22.9	2.4	2.1	-	0.9	-	4.0	0.9
	性別													
	男性	123	43.1	11.4	8.1	6.5	20.3	1.6	3.3	-	0.8	-	4.1	0.8
	女性	201	39.8	10.0	9.5	6.0	24.4	3.0	1.5	-	1.0	-	4.0	1.0
	年代別													
	18・19歳	13	53.8	-	7.7	7.7	23.1	-	-	-	-	-	7.7	-
	20歳代	31	48.4	9.7	6.5	12.9	16.1	3.2	-	-	-	-	3.2	-
	30歳代	40	42.5	5.0	2.5	10.0	25.0	7.5	2.5	-	-	-	5.0	-
	40歳代	57	42.1	8.8	7.0	10.5	22.8	1.8	3.5	-	-	-	3.5	-
	50歳代	67	34.3	11.9	9.0	4.5	34.3	1.5	1.5	-	-	-	3.0	-
	60歳代	66	47.0	13.6	13.6	1.5	15.2	1.5	3.0	-	-	-	3.0	1.5
	70歳代	34	20.6	17.6	11.8	2.9	23.5	2.9	2.9	-	8.8	-	8.8	-
	80歳以上	18	50.0	5.6	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	-	11.1
	地域別													
	長野地域	54	44.4	3.7	7.4	16.7	16.7	5.6	1.9	-	1.9	-	1.9	-
	東地域	61	37.7	6.6	8.2	3.3	29.5	1.6	1.6	-	-	-	9.8	1.6
	千代田地域	52	26.9	3.8	1.9	1.9	59.6	1.9	-	-	-	-	3.8	-
	西地域	43	60.5	18.6	-	9.3	7.0	-	-	-	2.3	-	-	2.3
	加賀田地域	45	57.8	11.1	11.1	2.2	13.3	-	-	-	-	-	4.4	-
	美加の台地域	31	29.0	19.4	32.3	3.2	9.7	3.2	-	-	-	-	-	3.2
	南花台地域	28	21.4	25.0	14.3	3.6	3.6	3.6	17.9	-	3.6	-	7.1	-

総合した理由を、年代別でみると、いずれの年代も「便数が少ない」が最も多く、これに次いで、20～40歳代は「時間がかかる」、50～70歳代は「運賃が高い」が多くなっている。

地域別でみると、千代田地域は「自宅からバス停が遠い」が67.3%で他の地域に比べ高くなっており、千代田地域以外の地域では「便数が少ない」が最も多い。

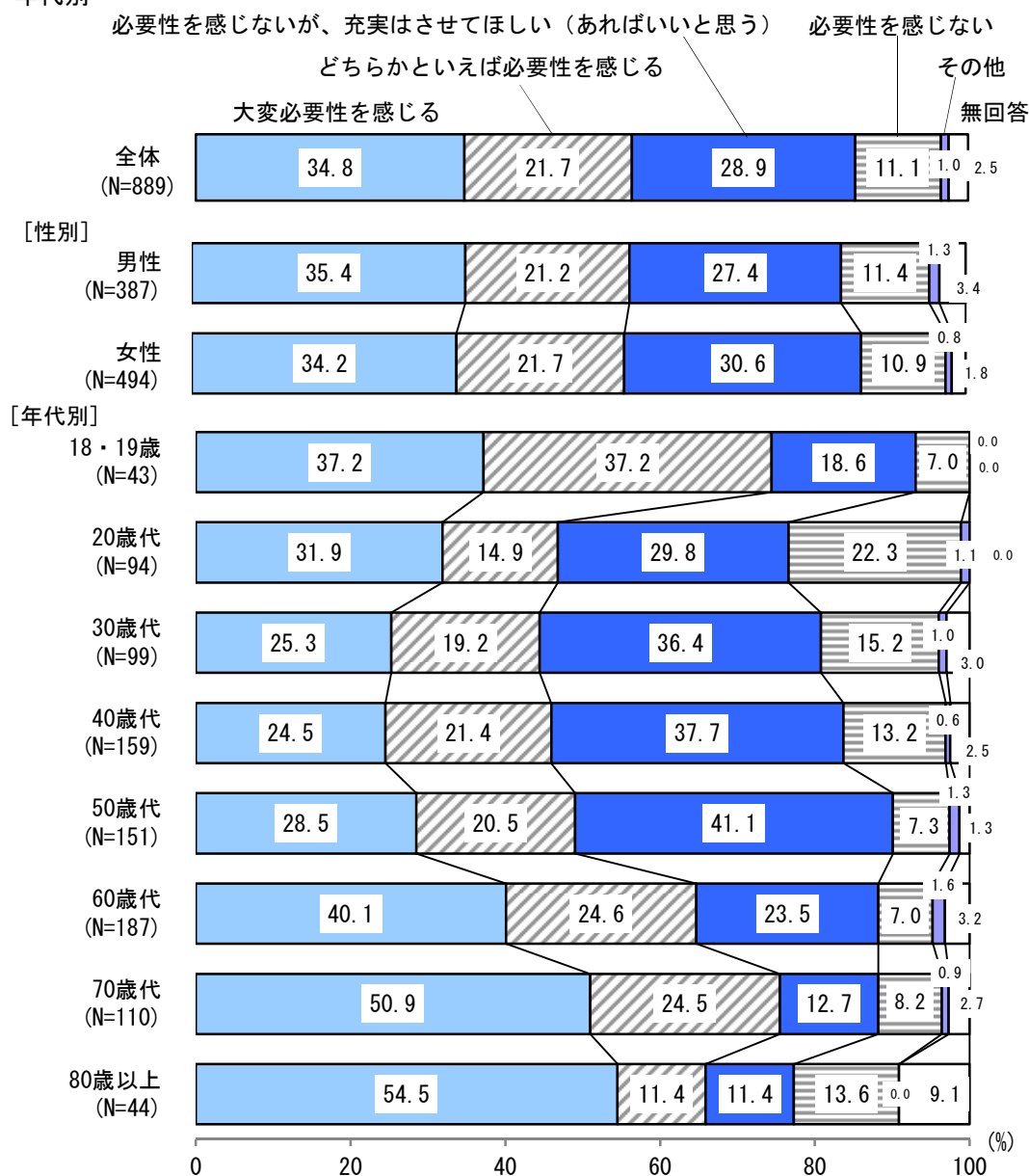
1番目の理由を、年代別でみると、70歳代は「自宅からバス停が遠い」が23.5%で最も多くなっている。50歳代は「便数が少ない」と「自宅からバス停が遠い」がともに34.3%で最も多く、70歳代を除く年代では「便数が少ない」が最も多くなっている。

地域別でみると、長野地域や東地域、西地域、加賀田地域は「便数が少ない」、千代田地域は「自宅からバス停が遠い」、美加の台地域は「鉄道や他のバスとの乗継ぎが悪い」、南花台地域は「運賃が高い」が、それぞれ最も多くなっている。

(16) 日常生活において路線バス等の地域公共交通の必要性

問24 あなたの現時点での日常生活において、路線バス等の地域公共交通の必要性を感じていますか。(〇は1つ)

■ 性別・年代別

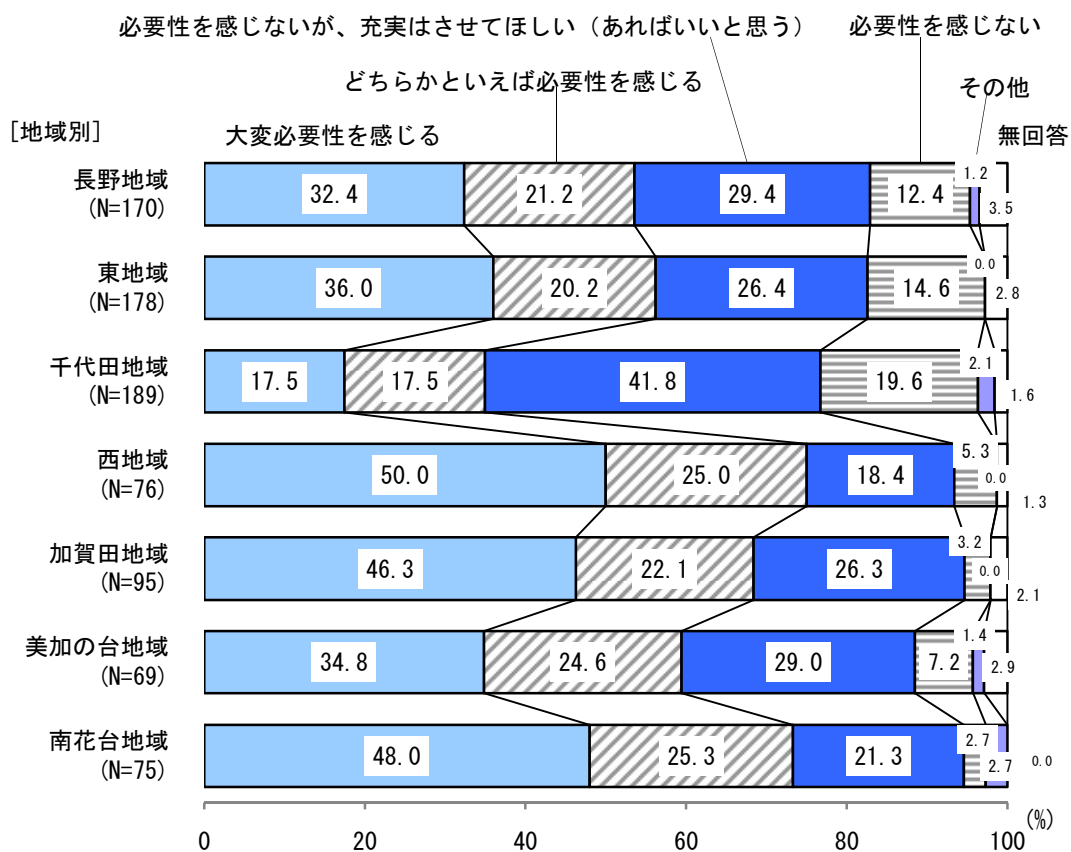


日常生活において路線バス等の地域公共交通の必要性について、「大變必要性を感じる」が34.8%で最も多く、次いで「必要を感じないが、充実させてほしい（あればいいと思う）」が28.9%となっている。また、『必要性を感じる』（「大變必要性を感じる」と「どちらかといえば必要性を感じる」の合計：以下同じ）割合では56.5%を占める。

性別でみると、男女とも『必要性を感じる』割合が5割台を占め、ほとんど差はみられない。

年代別でみると、『必要性を感じる』割合は、18・19歳と60歳以上の年代で6～7割台を占めるが、20～50歳代は4割台と比較的に低い。また、70歳以上の年代になると「大變必要性を感じる」が5割台を占めている。

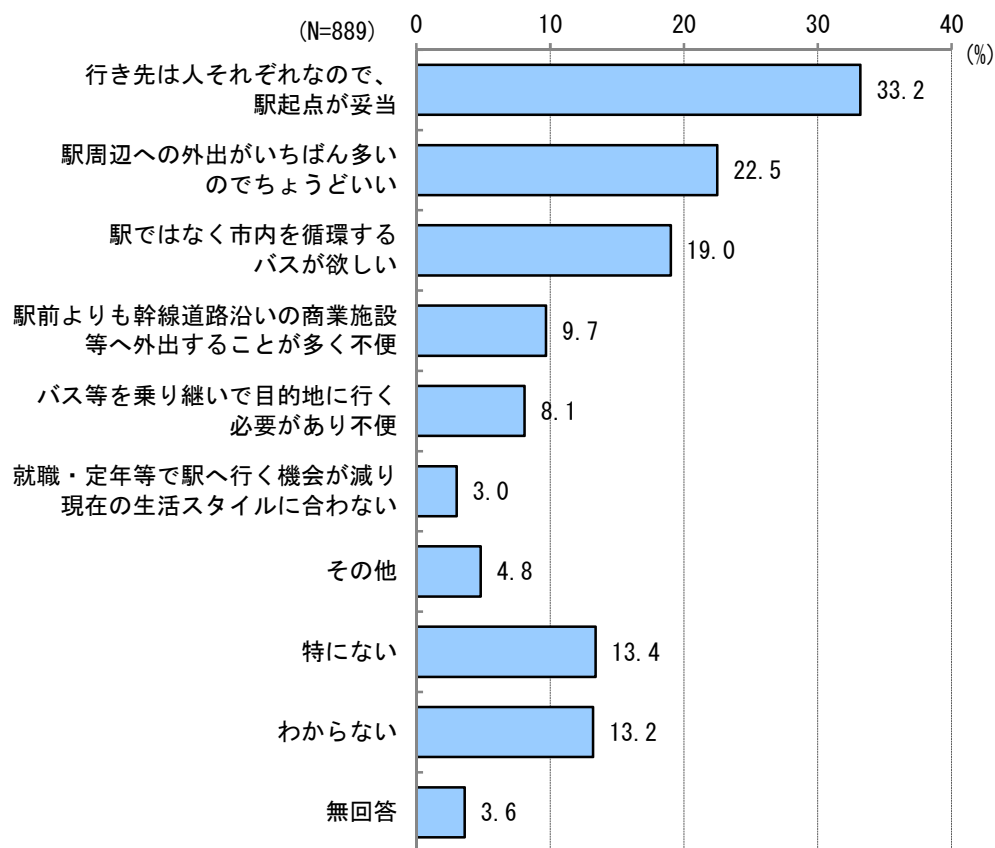
■ 地域別



地域別でみると、千代田地域以外の地域は「大変必要性を感じる」が最も多く、西地域は50.0%、南花台地域は48.0%、加賀田地域は46.3%となっている。また、西地域では『必要性を感じる』割合が75.0%となっている。

(17) 本市のバス路線網について

問25 本市では、主に鉄道駅を起点に各住宅団地へバス路線網が形成されています。あなたは、この路線網についてどのように感じていますか。(〇はいくつでも)



本市のバス路線網については、「行き先は人それぞれなので、駅起点が妥当」が33.2%で最も多く、次いで「駅周辺への外出がいちばん多いのでちょうどいい」が22.5%、「駅ではなく市内を循環するバスが欲しい」が19.0%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

												(%)
		N	で、 駅 先 は 人 そ れ ぞ れ な の で、 駅 起 点 が 妥 当	駅 周 辺 の 外 出 が い ち ば ん 多 い の で ち よ う ど い い ば	駅 は な く 市 内 を 循 環 す る バ ス が 欲 し い	駅 前 よ り も 幹 線 道 路 沿 い の 商 業 施 設 等 へ 外 出 す る こ と が 多 く 不 便	バ ス 等 を 乗 り 継 い で 目 的 地 に 行 く 必 要 が あ り 不 便	就 職 ・ 定 年 等 で 駅 へ 行 く 機 会 が 減 り 現 在 の 生 活 ス タ イ ル に 合 わ な い	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		889	33.2	22.5	19.0	9.7	8.1	3.0	4.8	13.4	13.2	3.6
性別	男性	387	34.4	21.4	17.6	10.6	7.0	4.9	3.9	14.2	10.6	4.4
	女性	494	32.4	22.7	20.0	9.1	8.7	1.4	5.5	13.0	15.2	3.0
年代別	18・19歳	43	30.2	37.2	4.7	—	2.3	—	4.7	7.0	25.6	—
	20歳代	94	37.2	25.5	17.0	7.4	8.5	1.1	3.2	13.8	19.1	—
	30歳代	99	38.4	22.2	17.2	9.1	5.1	—	3.0	12.1	18.2	3.0
	40歳代	159	37.7	17.6	19.5	9.4	8.8	1.9	3.1	13.2	17.0	3.1
	50歳代	151	25.8	22.5	17.2	11.3	6.0	0.7	7.9	16.6	12.6	3.3
	60歳代	187	35.8	19.3	20.3	11.2	8.0	9.1	4.8	12.8	7.5	5.9
	70歳代	110	29.1	24.5	24.5	10.9	13.6	3.6	5.5	10.9	6.4	4.5
	80歳以上	44	25.0	27.3	25.0	11.4	9.1	—	4.5	20.5	6.8	6.8
地域別	長野地域	170	31.2	24.7	12.4	7.6	8.8	1.8	5.3	17.6	16.5	4.7
	東地域	178	34.3	20.8	14.0	7.3	7.3	2.2	3.9	12.4	15.7	3.4
	千代田地域	189	27.0	10.1	20.1	6.3	4.2	3.2	7.4	15.9	19.6	4.8
	西地域	76	42.1	38.2	10.5	7.9	9.2	2.6	2.6	10.5	3.9	2.6
	加賀田地域	95	34.7	24.2	24.2	16.8	6.3	3.2	4.2	11.6	7.4	3.2
	美加の台地域	69	42.0	18.8	20.3	14.5	8.7	4.3	2.9	14.5	8.7	1.4
	南花台地域	75	28.0	37.3	37.3	17.3	18.7	5.3	5.3	6.7	5.3	—

性別でみると、男女とも「行き先は人それぞれなので、駅起点が妥当」が3割台で最も多く、ほとんど差はみられない。

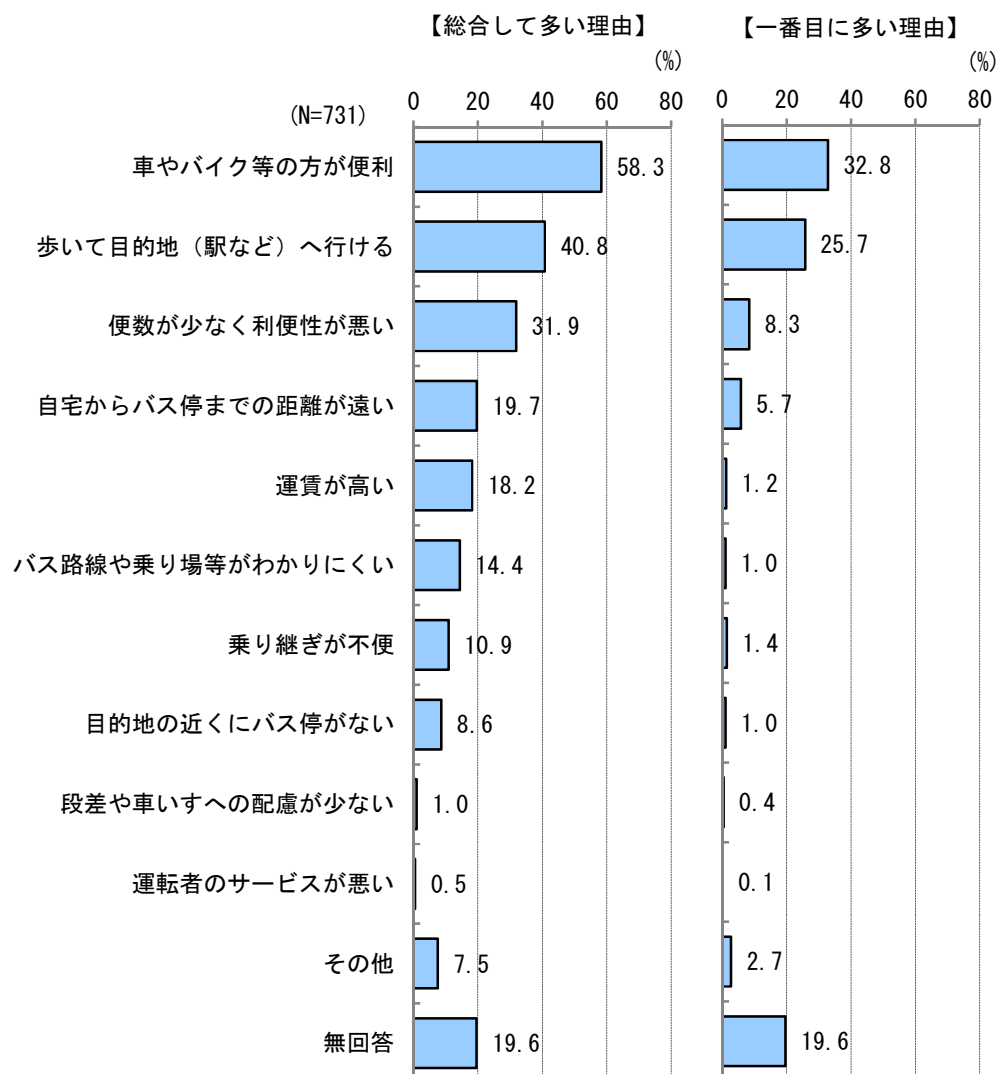
年代別でみると、18・19歳と80歳以上は「駅周辺への外出がいちばん多いのでちょうどいい」が最も多く、20～70歳代では「行き先は人それぞれなので、駅起点が妥当」が最も多くなっている。また、60歳以上の年代になると「駅ではなく市内を循環するバスが欲しい」が2割台に上昇しており、70歳代では「バス等を利用し、目的地に行く必要があり不便」が13.6%と他の年代に比べ高くなっている。

地域別でみると、南花台地域は「駅周辺への外出がいちばん多いのでちょうどいい」と「駅ではなく市内を循環するバスが欲しい」がともに37.3%で最も多くなっており、「バス等を利用し、目的地に行く必要があり不便」が18.7%で他の地域に比べ高くなっている。南花台地域以外の地域では「行き先は人それぞれなので、駅起点が妥当」が最も多くなっている。

(18) バスを利用しない理由

【ふだんバスを利用していない方におうかがいします。】

問26 あなたがバスを利用しない理由は何ですか。下の選択肢の中から理由として大きいものを順に3つ選んで、下欄に番号を記入してください。



ふだんバスを利用していない人に、その理由をたずねると、総合して多い理由は、「車やバイク等の方が便利」が58.3%で最も多く、次いで「歩いて目的地（駅など）へ行ける」が40.8%、「便数が少なく利便性が悪い」が31.9%となっている。一番目の理由も総合して多い理由とほぼ同順となっており、「車やバイク等の方が便利」が32.8%で最も多く、次いで「歩いて目的地（駅など）へ行ける」が25.7%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

		(%)												
		N	利車 やバイク 等の方が便	歩いて目的 地（駅な ど）へ行ける	便数 が少なく利便性 が悪い	自宅からバス停 までの距離が遠い	運賃 が高い	バス路線や乗り場 等がわかりにくい	乗り継ぎが不便	目的地の近くにバス停 がない	段差や車いすへの配慮 が少ない	運転者のサービスが 悪い	その他	無回答
総合	全体	731	58.3	40.8	31.9	19.7	18.2	14.4	10.9	8.6	1.0	0.5	7.5	19.6
	性別													
	男性	322	59.9	43.2	29.2	17.1	15.8	14.6	11.5	9.9	0.6	0.6	7.5	19.9
	女性	402	58.0	38.6	34.3	22.1	20.1	14.4	10.4	7.7	1.0	0.5	7.7	19.2
	年代別													
	18・19歳	29	34.5	62.1	34.5	6.9	13.8	27.6	6.9	17.2	-	-	6.9	20.7
	20歳代	79	65.8	54.4	30.4	26.6	16.5	12.7	16.5	12.7	1.3	-	10.1	12.7
	30歳代	86	73.3	46.5	33.7	23.3	19.8	18.6	5.8	2.3	-	-	15.1	12.8
	40歳代	139	66.9	46.8	42.4	22.3	16.5	18.7	12.2	10.8	0.7	-	5.8	12.9
	50歳代	126	66.7	43.7	32.5	24.6	21.4	14.3	7.9	7.9	0.8	0.8	4.8	15.9
	60歳代	147	56.5	33.3	26.5	15.6	18.4	12.2	11.6	11.6	0.7	2.0	5.4	21.1
	70歳代	90	37.8	23.3	26.7	12.2	18.9	6.7	11.1	2.2	3.3	-	7.8	36.7
	80歳以上	34	20.6	20.6	17.6	14.7	11.8	8.8	14.7	5.9	-	-	8.8	41.2
	地域別													
	長野地域	136	62.5	45.6	36.0	11.0	12.5	19.9	8.8	4.4	-	0.7	7.4	21.3
	東地域	149	56.4	53.7	29.5	19.5	12.8	12.1	6.0	8.7	1.3	0.7	9.4	18.1
	千代田地域	177	58.8	59.9	20.3	33.9	9.6	20.9	8.5	11.9	1.1	-	10.7	13.0
	西地域	55	58.2	1.8	54.5	23.6	40.0	3.6	10.9	7.3	-	1.8	3.6	25.5
加賀田地域	77	62.3	13.0	42.9	10.4	32.5	16.9	16.9	7.8	2.6	-	3.9	20.8	
美加の台地域	59	61.0	39.0	40.7	10.2	27.1	5.1	22.0	8.5	-	1.7	8.5	10.2	
南花台地域	48	54.2	18.8	25.0	8.3	27.1	6.3	22.9	8.3	2.1	-	2.1	31.3	
1 番 目 の 理 由	全体	731	32.8	25.7	8.3	5.7	1.2	1.0	1.4	1.0	0.4	0.1	2.7	19.6
	性別													
	男性	322	35.1	26.7	6.8	4.3	0.9	1.2	0.9	1.2	-	-	2.8	19.9
	女性	402	31.6	24.4	9.5	7.0	1.5	0.7	1.7	0.7	0.7	0.2	2.7	19.2
	年代別													
	18・19歳	29	6.9	41.4	17.2	-	3.4	-	-	6.9	-	-	3.4	20.7
	20歳代	79	30.4	38.0	3.8	3.8	1.3	1.3	3.8	1.3	-	-	3.8	12.7
	30歳代	86	38.4	26.7	5.8	9.3	-	2.3	1.2	-	-	-	3.5	12.8
	40歳代	139	37.4	27.3	9.4	5.8	2.2	-	1.4	0.7	-	-	2.9	12.9
	50歳代	126	32.5	29.4	10.3	6.3	2.4	-	0.8	-	0.8	-	1.6	15.9
	60歳代	147	42.9	18.4	7.5	4.1	-	0.7	1.4	1.4	0.7	0.7	1.4	21.1
	70歳代	90	25.6	15.6	6.7	5.6	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	-	4.4	36.7
	80歳以上	34	5.9	20.6	11.8	11.8	-	5.9	-	-	-	-	2.9	41.2
	地域別													
	長野地域	136	36.0	24.3	10.3	2.2	-	1.5	0.7	-	-	0.7	2.9	21.3
	東地域	149	26.8	34.2	7.4	5.4	0.7	0.7	-	0.7	0.7	-	5.4	18.1
	千代田地域	177	23.2	41.2	5.1	9.0	-	2.3	0.6	2.8	0.6	-	2.3	13.0
	西地域	55	43.6	1.8	14.5	7.3	1.8	-	1.8	-	-	-	3.6	25.5
加賀田地域	77	51.9	7.8	7.8	6.5	-	-	2.6	-	1.3	-	1.3	20.8	
美加の台地域	59	32.2	28.8	10.2	5.1	8.5	-	1.7	1.7	-	-	1.7	10.2	
南花台地域	48	43.8	4.2	8.3	2.1	4.2	-	6.3	-	-	-	-	31.3	

総合して多い理由を、年代別でみると、18・19歳は「歩いて目的地（駅など）へ行ける」が最も多くなっており、また「バス路線や乗り場等がわかりにくい」（27.6%）が他の年代に比べ高い。20～70歳代は「車やバイク等の方が便利」が最も多くなっており、40歳代では「便数が少なく利便性が悪い」（42.4%）が他の年代に比べ高い。80歳以上になると「車やバイク等の方が便利」と「歩いて目的地（駅など）へ行ける」が同率で最も多くなっているが、年代が上がるほど低下傾向にある。

地域別でみると、いずれの地域も「車やバイク等の方が便利」が多く、ほぼ同数で千代田地域は「歩いて目的地（駅など）へ行ける」（59.9%）が最も多い。また、千代田地域は「自宅からバス停までの距離が遠い」（33.9%）が他の地域に比べ高く、西地域では「便数が少なく利便性が悪い」（54.5%）と「運賃が高い」（40.0%）が他の地域に比べ高くなっている。

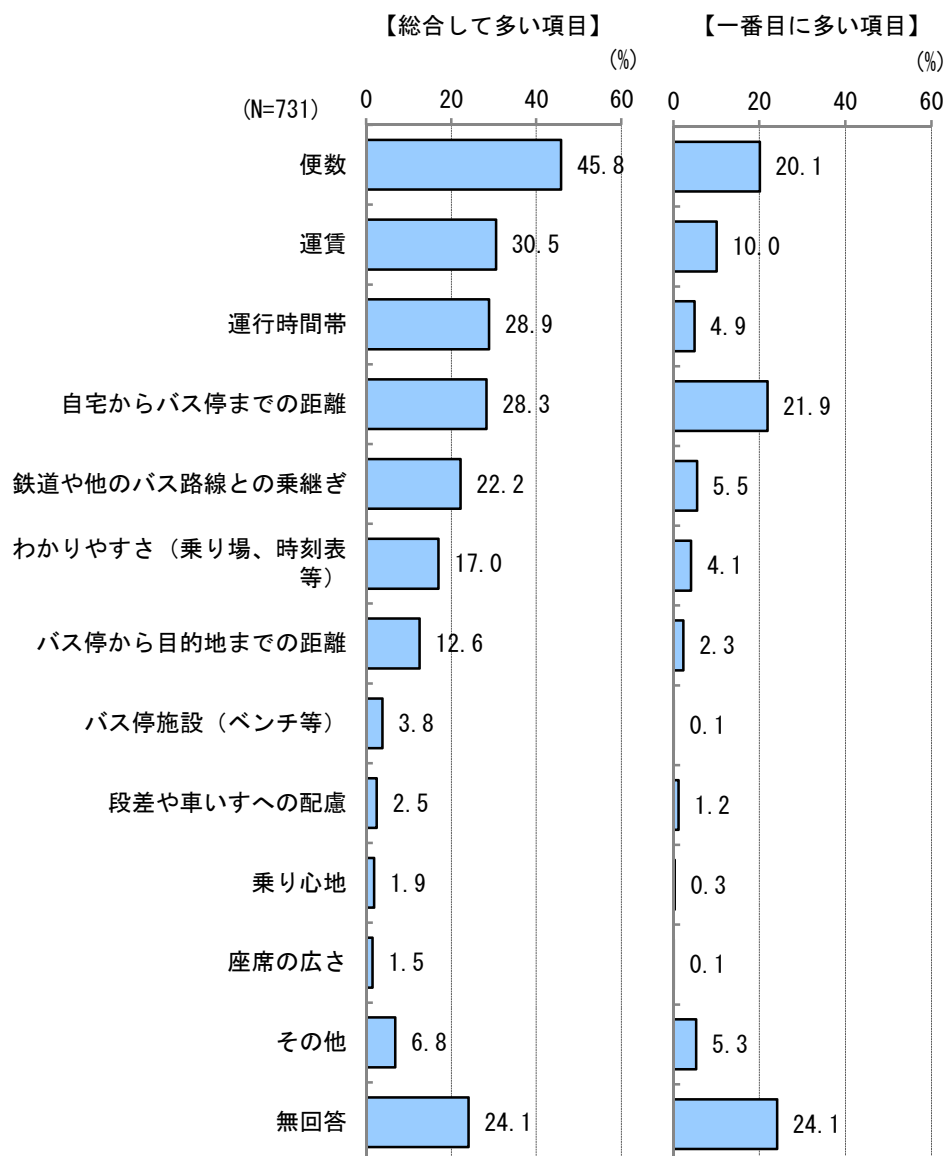
1番目の理由を、性別でみると、大きな差はほとんどみられない。

年代別でみると、18～20歳代と80歳以上は「歩いて目的地（駅など）へ行ける」が最も多く、30～70歳代は「車やバイク等の方が便利」が最も多くなっている。

地域別でみると、長野地域や西地域、加賀田地域、美加の台地域、南花台地域は「車やバイク等の方が便利」が最も多く、東地域と千代田地域は「歩いて目的地（駅など）へ行ける」が最も多い。

(19) バスを利用するのに改善を強く望むもの

問27 あなたは、どのような点が改善されれば、バスを利用しますか。下の選択肢の中から利用するのに改善を強く望むものを順に3つ選んで、下欄に番号を記入してください。



バスを利用するのに改善を強く望むものについて、総合して多いものは、「便数」が45.8%で最も多く、次いで「運賃」が30.5%、「運行時間帯」が28.9%、「自宅からバス停までの距離」が28.3%となっている。一番目に多いものでは、「自宅からバス停までの距離」が21.9%で最も多く、次いで「便数」が20.1%、「運賃」が10.0%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

		N	便数	運賃	運行時間帯	自宅からバス停までの距離	鉄道や他のバス路線との乗継ぎ	わかりやすさ（乗り場、時刻表等）	バス停から目的地までの距離	バス停施設（ベンチ等）	段差や車いすへの配慮	乗り心地	座席の広さ	その他	無回答
総合	全体	731	45.8	30.5	28.9	28.3	22.2	17.0	12.6	3.8	2.5	1.9	1.5	6.8	24.1
	性別 男性	322	44.7	28.0	34.8	25.2	22.4	12.7	12.1	3.4	1.9	2.5	1.9	8.7	25.8
	性別 女性	402	47.0	32.8	24.4	31.3	22.4	20.6	13.2	4.2	3.0	1.5	1.2	5.2	22.1
	年代別 18・19歳	29	51.7	24.1	31.0	27.6	3.4	27.6	—	17.2	3.4	3.4	3.4	6.9	24.1
	年代別 20歳代	79	40.5	35.4	38.0	40.5	25.3	20.3	19.0	3.8	2.5	2.5	5.1	6.3	13.9
	年代別 30歳代	86	54.7	33.7	31.4	31.4	20.9	23.3	5.8	3.5	1.2	3.5	—	12.8	16.3
	年代別 40歳代	139	51.8	34.5	34.5	33.1	28.8	22.3	17.3	2.2	—	3.6	2.9	5.0	15.1
	年代別 50歳代	126	52.4	32.5	29.4	37.3	26.2	19.0	15.1	4.0	1.6	2.4	1.6	4.0	19.0
	年代別 60歳代	147	42.9	30.6	29.3	17.7	18.4	10.9	15.0	3.4	4.1	—	—	10.2	25.2
	年代別 70歳代	90	33.3	20.0	12.2	17.8	21.1	7.8	5.6	2.2	5.6	—	—	4.4	47.8
	年代別 80歳以上	34	26.5	17.6	14.7	14.7	11.8	5.9	5.9	5.9	2.9	—	—	2.9	55.9
	地域別 長野地域	136	50.7	27.2	33.1	19.1	25.0	18.4	11.0	4.4	2.2	4.4	2.2	5.9	25.7
	地域別 東地域	149	43.6	26.8	30.9	31.5	18.8	17.4	13.4	4.7	2.7	2.0	2.0	6.0	23.5
	地域別 千代田地域	177	39.0	20.3	22.6	49.2	21.5	24.9	19.2	5.1	2.3	1.7	2.8	10.2	18.1
	地域別 西地域	55	49.1	41.8	41.8	23.6	14.5	3.6	10.9	3.6	3.6	—	—	1.8	29.1
	地域別 加賀田地域	77	55.8	45.5	26.0	10.4	23.4	14.3	3.9	2.6	3.9	—	—	7.8	24.7
	地域別 美加の台地域	59	50.8	40.7	28.8	15.3	39.0	11.9	10.2	1.7	1.7	—	—	8.5	18.6
	地域別 南花台地域	48	35.4	50.0	25.0	10.4	22.9	10.4	8.3	2.1	2.1	—	—	4.2	33.3
1 番 目	全体	731	20.1	10.0	4.9	21.9	5.5	4.1	2.3	0.1	1.2	0.1	0.3	5.3	24.1
	性別 男性	322	20.8	8.4	7.1	19.9	4.0	3.1	2.8	0.3	0.9	—	0.3	6.5	25.8
	性別 女性	402	19.4	11.4	3.2	23.9	6.7	5.0	2.0	—	1.5	0.2	0.2	4.2	22.1
	年代別 18・19歳	29	20.7	20.7	10.3	13.8	—	3.4	—	—	—	—	—	6.9	24.1
	年代別 20歳代	79	15.2	7.6	12.7	25.3	3.8	8.9	3.8	1.3	2.5	—	—	5.1	13.9
	年代別 30歳代	86	22.1	11.6	7.0	24.4	3.5	7.0	—	—	—	—	—	8.1	16.3
	年代別 40歳代	139	21.6	10.8	3.6	25.9	7.9	5.0	3.6	—	—	0.7	1.4	4.3	15.1
	年代別 50歳代	126	22.2	10.3	4.0	31.0	6.3	2.4	0.8	—	0.8	—	—	3.2	19.0
	年代別 60歳代	147	23.8	9.5	4.1	13.6	6.1	2.7	4.8	—	2.0	—	—	8.2	25.2
	年代別 70歳代	90	11.1	7.8	1.1	16.7	6.7	2.2	—	—	3.3	—	—	3.3	47.8
	年代別 80歳以上	34	17.6	5.9	—	14.7	—	—	2.9	—	—	—	—	2.9	55.9
	地域別 長野地域	136	30.1	8.1	4.4	11.8	3.7	7.4	3.7	—	—	—	—	5.1	25.7
	地域別 東地域	149	11.4	12.8	8.7	24.8	3.4	4.0	2.7	0.7	2.0	—	0.7	5.4	23.5
	地域別 千代田地域	177	11.9	4.0	1.7	42.9	3.4	6.2	1.7	—	1.7	0.6	0.6	7.3	18.1
	地域別 西地域	55	34.5	7.3	7.3	16.4	1.8	—	—	—	1.8	—	—	1.8	29.1
	地域別 加賀田地域	77	29.9	16.9	6.5	6.5	6.5	1.3	1.3	—	1.3	—	—	5.2	24.7
	地域別 美加の台地域	59	23.7	10.2	6.8	8.5	18.6	1.7	5.1	—	1.7	—	—	5.1	18.6
	地域別 南花台地域	48	16.7	25.0	—	4.2	12.5	2.1	2.1	—	—	—	—	4.2	33.3

総合して多いものを、性別で見ると、男性は「便数」が44.7%で最も多く、次いで「運行時間帯」が34.8%、「運賃」が28.0%となっている。一方、女性では「便数」が47.0%で最も多く、次いで「運賃」が32.8%、「自宅からバス停までの距離」が31.3%となっている。

年代別で見ると、いずれの年代も「便数」が最も多くなっている。また、「運賃」や「運行時間帯」は60歳未満の年代で高く、「自宅からバス停までの距離」は20～50歳代で高い傾向にある。

地域別で見ると、千代田地域は「自宅からバス停までの距離」（49.2%）、南花台地域は「運賃」（50.0%）が最も多く、それら以外の地域では「便数」が4～5割台で最も多い。また、千代田地域は「自宅からバス停までの距離」や「わかりやすさ（乗り場、時刻表等）」（24.9%）、「バス停から目的地までの距離」（19.2%）が他の地域に比べ高くなっており、西地域は「運行時間帯」（41.8%）が、美加の台地域は「鉄道や他のバス路線との乗継ぎ」（39.0%）が、それぞれ他の地域に比べ高い。

一番目に多いものを、性別で見ると、男性は「便数」（20.8%）、女性は「自宅からバス停までの距離」（23.9%）が最も多くなっている。

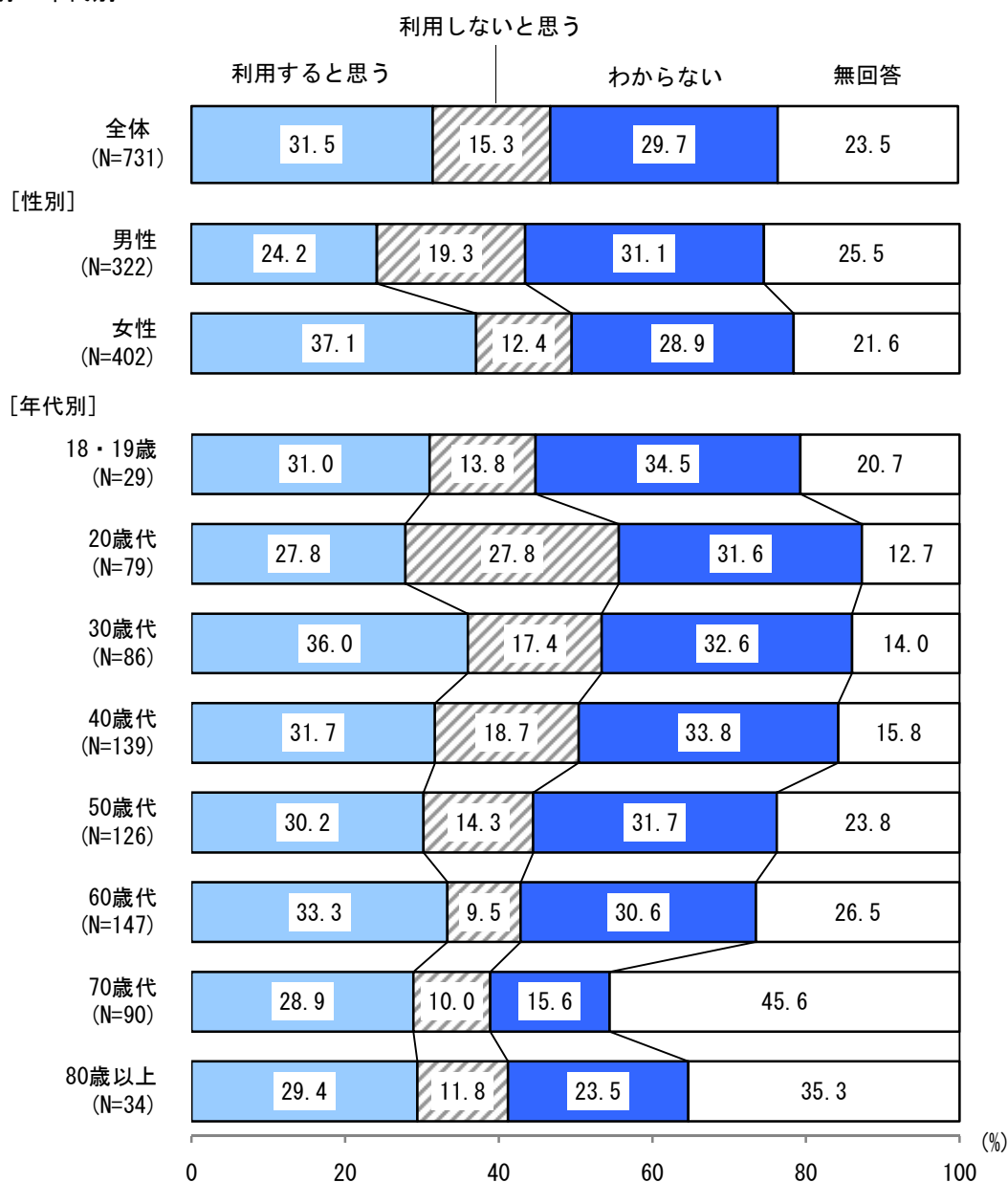
年代別でみると、18・19歳は「便数」と「運賃」が同率で最も多くなっており、20～50歳代と70歳代は「自宅からバス停までの距離」が、60歳代と80歳以上は「便数」が、それぞれ最も多くなっている。

地域別でみると、長野地域や西地域、加賀田地域、美加の台地域は「便数」が最も多く、東地域と千代田地域は「自宅からバス停までの距離」が、南花台地域は「運賃」が、それぞれ最も多くなっている。

(20) 改善されて利便性の高いバスが運行された場合の利用有無

問28 問27の点が改善され、あなたにとって利便性が高いと思われるバスが運行された場合、利用しますか。(○は1つ)

■ 性別・年代別

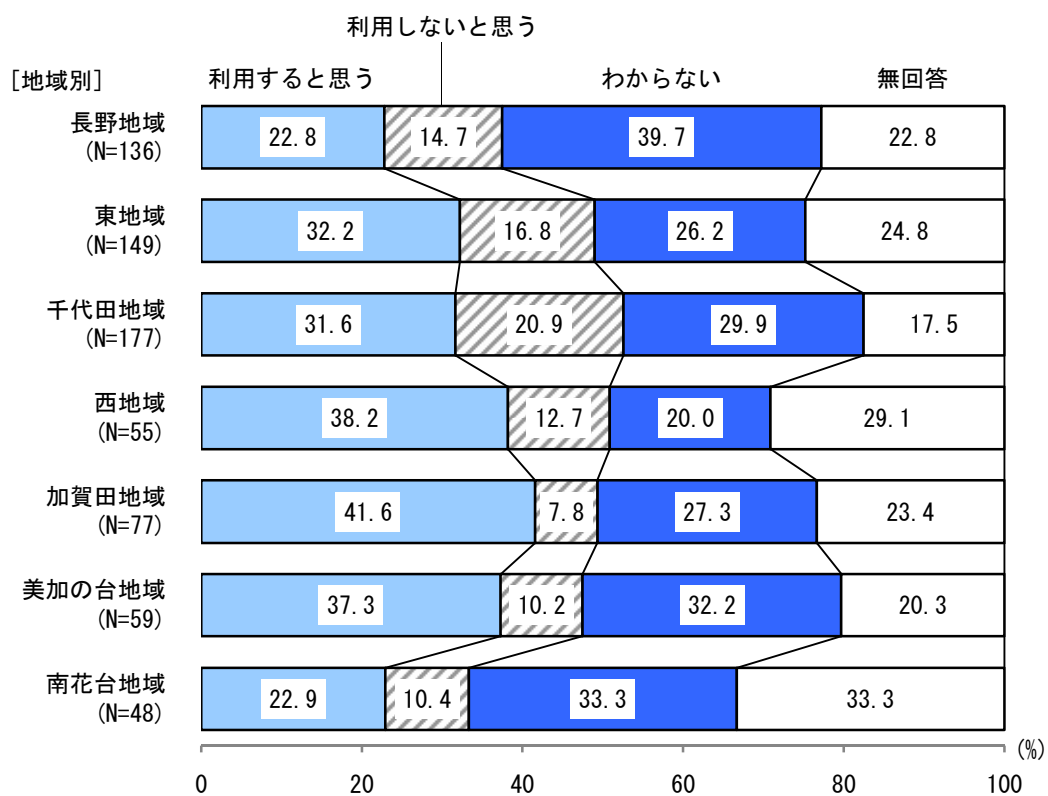


改善されて利便性の高いバスが運行された場合の利用有無について、「利用すると思う」が31.5%で最も多く、次いで「わからない」が29.7%、「利用しないと思う」は15.3%となっている。

性別でみると、「利用すると思う」は、男性24.2%、女性37.1%で、女性のほうが12.9ポイント高くなっている。

年代別でみると、いずれの年代も「利用すると思う」が3割前後を占めており、なかでも30歳代は36.0%で最も高くなっている。しかし、20歳代では「利用しないと思う」が27.8%で他の年代に比べ高くなっている。

■ 地域別

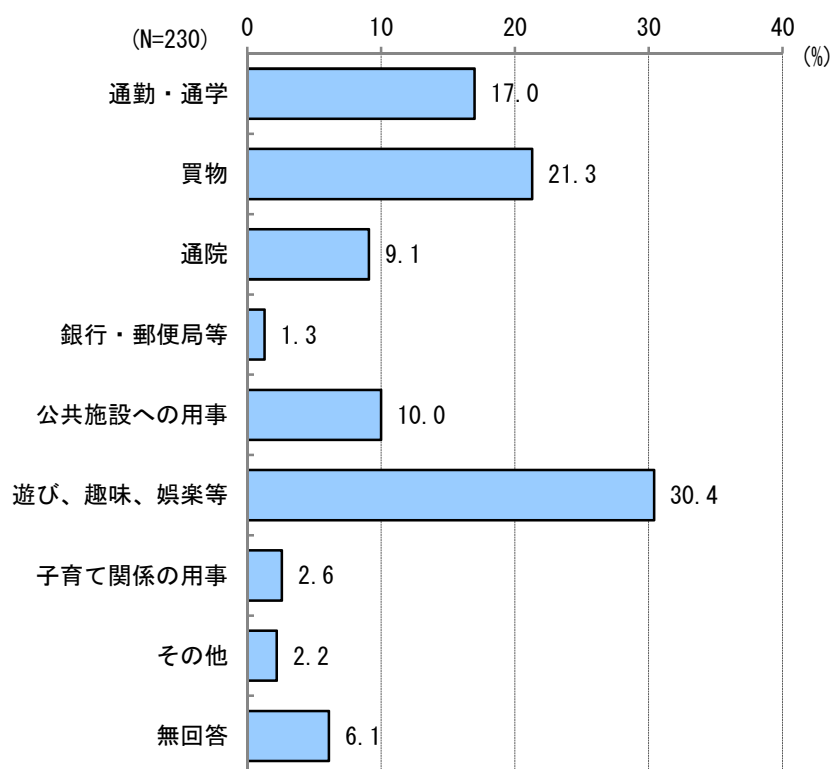


地域別でみると、「利用すると思う」は、加賀田地域が41.6%で最も高く、次いで西地域が38.2%、美加の台地域が37.3%となっている。

(21) 利便性の高いバスを利用する場合の主目的

【問28で「1. 利用すると思う」を選んだ方におうかがいします。】

問29 あなたにとって利便性の高いバスを利用する場合、「①どのような目的で」「②誰と」「③どこに行くのに」「④いつ」「⑤どのくらいの頻度」で利用すると思いますか。主な利用目的を下から2つ選んで回答欄に記入してください。次にそれら目的ごとに②～⑤について選択肢の中から該当する番号を選んで○印をつけてください。



利便性の高いバスが運行された場合、利用すると思うと回答した人に、その主目的をたずねると、「遊び、趣味、娯楽等」が30.4%で最も多く、次いで「買物」が21.3%、「通勤・通学」が17.0%となっている。

目的別【同伴者、目的地、平日・休日、利用頻度】

(人)

	N	②主に誰と									
		夫婦	父親・母親	兄弟・姉妹	祖父・祖母	子ども	孫	友人	近所の人	自分ひとり	その他
全 体	216	44	8	3	1	24	-	20	-	110	1
通勤・通学	39	-	-	-	-	-	-	1	-	37	-
買物	49	16	3	2	1	5	-	3	-	16	-
通院	21	8	2	-	-	-	-	-	-	11	-
銀行・郵便局等	3	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-
公共施設への用事	23	4	1	-	-	2	-	-	-	15	-
遊び、趣味、娯楽等	70	16	2	-	-	10	-	15	-	26	1
子育て関係の用事	6	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-
その他	5	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-
	N	③どこに行くのに									
		周千 辺代 田 駅 前	周河 辺内 長 野 駅 前	周三 日市 駅 前	キ市 ツ役 クス ・ 周 辺	ま・消 ろ奥防 の河本 郷内部 周く周 辺ろ辺	周南 辺花 台 地 域	そ市 内 他 の 地 域			
全 体	216	28	51	37	31	9	5	47			
通勤・通学	39	6	8	11	3	1	-	10			
買物	49	8	15	10	4	2	1	5			
通院	21	3	8	1	1	-	1	5			
銀行・郵便局等	3	2	1	-	-	-	-	-			
公共施設への用事	23	-	1	1	17	1	-	2			
遊び、趣味、娯楽等	70	8	14	13	5	4	3	22			
子育て関係の用事	6	-	4	1	1	-	-	-			
その他	5	1	-	-	-	1	-	3			
	N	④いつ		⑤利用頻度							
		平日	休日	週5 日程 度	週に 数回	月に 数回	半年 に数 回	年に 一回 程度			
全 体	216	137	63	30	53	84	37	5			
通勤・通学	39	35	4	25	7	5	-	-			
買物	49	36	8	3	25	15	3	1			
通院	21	15	2	-	1	11	8	-			
銀行・郵便局等	3	3	-	1	-	1	1	-			
公共施設への用事	23	13	8	1	4	12	5	-			
遊び、趣味、娯楽等	70	29	36	-	14	35	17	3			
子育て関係の用事	6	3	3	-	2	4	-	-			
その他	5	3	2	-	-	1	3	1			

※無回答は全て除く。

※無回答は全て除く。

目的別にみると、②主に誰とでは、いずれの目的も「自分ひとり」が多くなっており、買物では「夫婦」が同率で多くなっている。

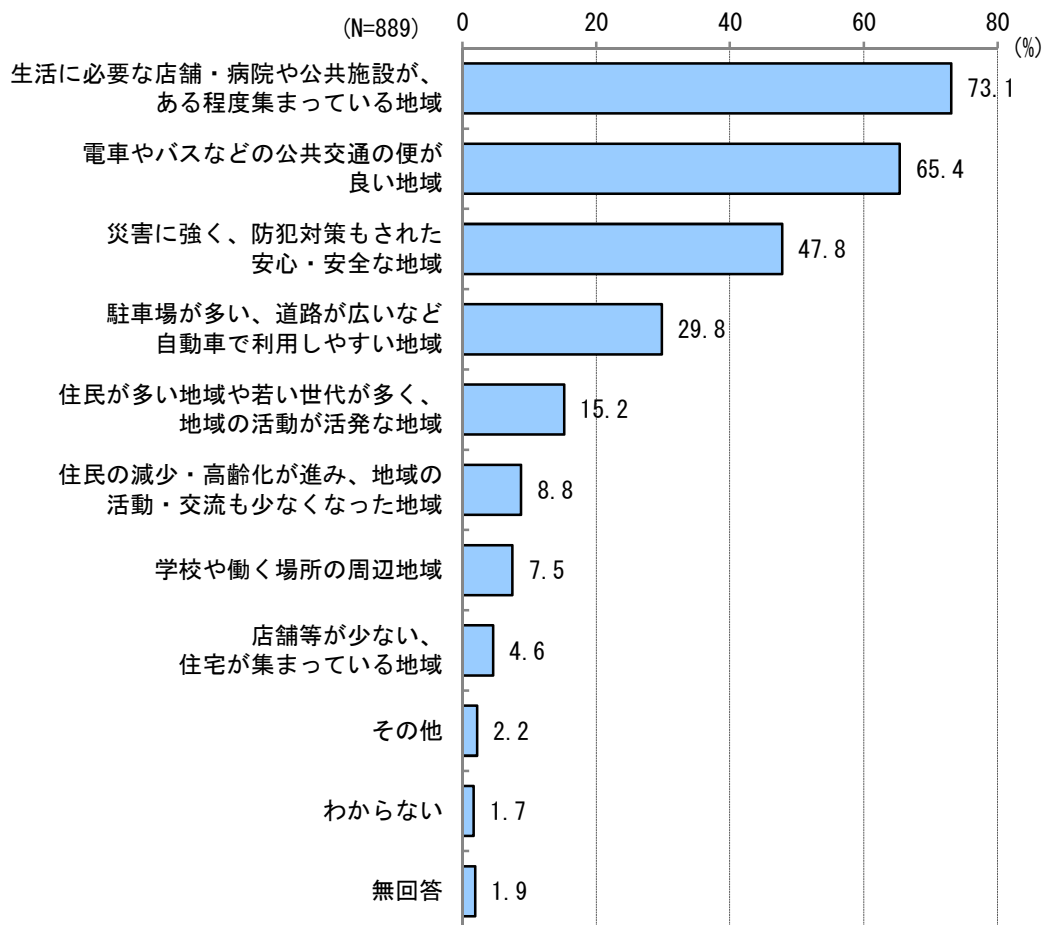
③どこに行くのにでは、通勤・通学は「三日市駅前周辺」が最も多く、買物や通院は「河内長野駅前周辺」が、遊び、趣味、娯楽等は「市内その他の地域」が最も多い。

④いつでは、通勤・通学や買物、通院、公共施設への用事は「平日」のほうが多く、遊び、趣味、娯楽等では「休日」のほうが多くなっている。

⑤利用頻度では、通勤・通学は「週5日程度」、買物は「週に数回」、通院や公共施設への用事、遊び、趣味、娯楽等では「月に数回」が最も多くなっている。

(22) 拠点として施設を集約すべき地域

問30 あなたは、10年後、20年後も住み続けられるまちを考えたとき、どのような地域を拠点として施設を集めていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)



拠点として施設を集約すべき地域については、「生活に必要な店舗・病院や公共施設が、ある程度集まっている地域」が73.1%で最も多く、次いで「電車やバスなどの公共交通の便が良い地域」が65.4%、「災害に強く、防犯対策もされた安心・安全な地域」が47.8%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

													(%)					
		N	集まっ てい る地 域	生活に 必要 な店 舗・ 病 院	電車 やバ スな どの 公 共 交 通	災害 に強 く、 防 犯 対 策 も	すい な 地 域	駐 車 場 が 多 い 、 道 路 が 広 い	活 発 な 地 域	住 民 が 多 い 、 地 域 の 活 動 が 活 発 な 地 域	少 な く な っ た 地 域	住 民 の 減 少 ・ 高 齢 化 が 進 み 、 地 域 の 活 動 が 活 発 な 地 域	域 学 校 や 働 く 場 所 の 周 辺 地	集 ま っ て い る 地 域	店 舗 等 が 少 な い 、 住 宅 が	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全体		889	73.1	65.4	47.8	29.8	15.2	8.8	7.5	4.6	2.2	1.7	1.9					
性別	男性	387	69.8	64.9	42.6	34.1	17.6	8.8	5.9	4.7	3.1	1.8	2.1					
	女性	494	75.7	66.0	52.0	26.7	13.4	8.9	8.9	4.7	1.6	1.6	1.6					
年代別	18・19歳	43	65.1	65.1	44.2	25.6	14.0	7.0	18.6	7.0	-	4.7	-					
	20歳代	94	77.7	60.6	46.8	30.9	23.4	6.4	9.6	5.3	3.2	1.1	-					
	30歳代	99	68.7	52.5	54.5	36.4	21.2	7.1	17.2	7.1	5.1	1.0	3.0					
	40歳代	159	72.3	70.4	41.5	38.4	15.7	5.7	10.7	4.4	2.5	1.3	1.3					
	50歳代	151	76.2	67.5	48.3	30.5	14.6	9.3	7.9	3.3	2.0	1.3	2.0					
	60歳代	187	76.5	71.7	48.7	28.9	12.8	12.8	0.5	4.8	1.1	1.1	0.5					
	70歳代	110	70.0	61.8	55.5	20.0	10.9	10.0	1.8	2.7	1.8	2.7	3.6					
	80歳以上	44	68.2	61.4	36.4	11.4	6.8	9.1	2.3	4.5	2.3	4.5	9.1					
地域別	長野地域	170	69.4	58.2	47.6	35.9	15.3	8.2	11.2	5.9	5.3	1.8	2.9					
	東地域	178	75.3	68.0	49.4	27.5	12.9	10.1	6.7	4.5	0.6	2.8	1.7					
	千代田地域	189	77.2	62.4	51.3	30.7	11.6	7.4	8.5	2.6	3.7	1.6	2.1					
	西地域	76	64.5	64.5	36.8	34.2	13.2	13.2	5.3	6.6	1.3	-	1.3					
	加賀田地域	95	76.8	60.0	48.4	23.2	23.2	6.3	7.4	5.3	2.1	1.1	1.1					
	美加の台地域	69	78.3	78.3	53.6	31.9	17.4	5.8	2.9	4.3	-	-	1.4					
	南花台地域	75	73.3	73.3	42.7	22.7	16.0	14.7	5.3	5.3	-	4.0	-					

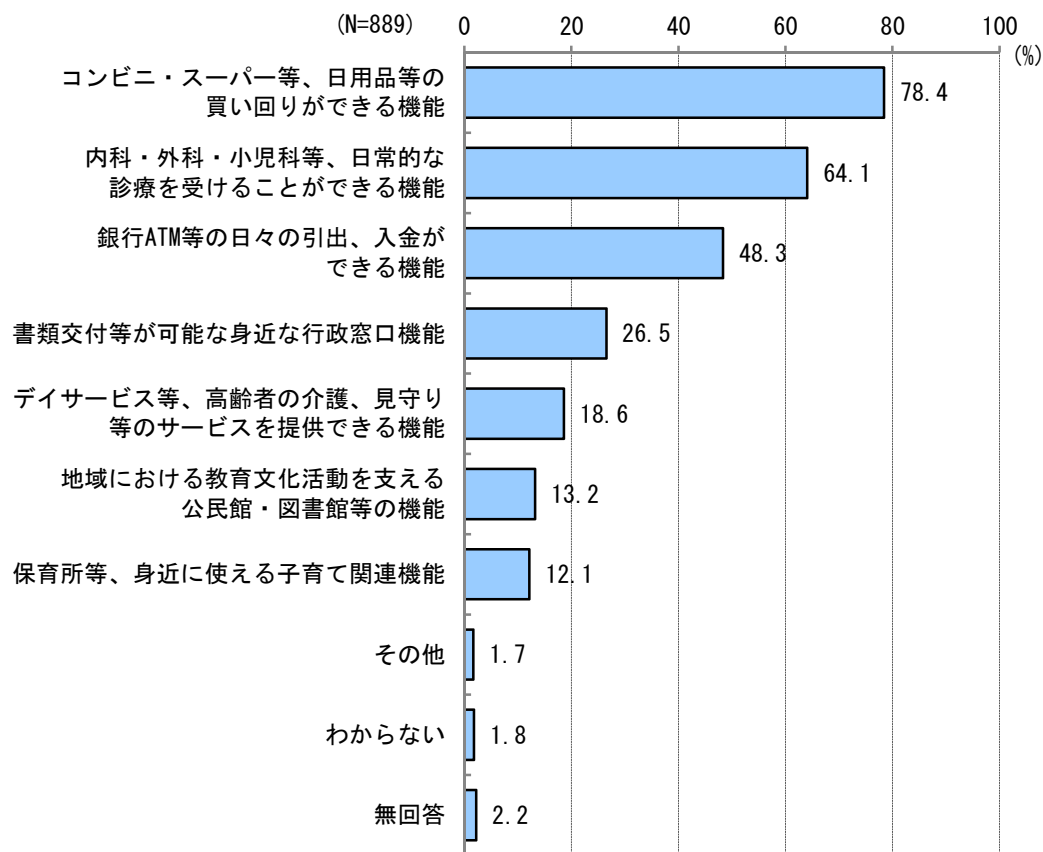
性別でみると、男性は「駐車場が多い、道路が広いなど自動車で利用しやすい地域」が女性に比べ7.4ポイント高くなっている。一方、女性は「災害に強く、防犯対策もされた安心・安全な地域」が男性に比べ9.4ポイント高くなっている。

年代別でみると、いずれの年代も「生活に必要な店舗・病院や公共施設が、ある程度集まっている地域」が6～7割台で最も多く、18・19歳は同率で「電車やバスなどの公共交通の便が良い地域」も多くなっている。また、20～30歳代は「住民が多い地域や若い世代が多く、地域の活動が活発な地域」が2割台で他の年代に比べ高くなっている。

地域別でみると、いずれの地域も「生活に必要な店舗・病院や公共施設が、ある程度集まっている地域」が最も多く、西地域や美加の台地域、南花台地域は同率で「電車やバスなどの公共交通の便が良い地域」が多くなっている。また、加賀田地域では「住民が多い地域や若い世代が多く、地域の活動が活発な地域」(23.2%)が他の地域に比べ高くなっている。

(23) 徒歩圏内に必要な都市機能

問31 次の都市機能の中で、徒歩圏（歩いて10分程度）内に必要な機能は何ですか。
（○は3つまで）



徒歩圏内に必要な都市機能については、「コンビニ・スーパー等、日用品等の買い回りができる機能」が78.4%で最も多く、次いで「内科・外科・小児科等、日常的な診療を受けることができる機能」が64.1%、「銀行ATM等の日々の引出、入金ができる機能」が48.3%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

(%)

		N	日用品等の買い回りができる機能	コンビニ・スーパー等、日常的な診療を受けることができる機能	内科・外科・小児科等、日常的な診療を受けることができる機能	銀行ATM等の日々の引出、入金ができる機能	書類交付等が可能な身近な行政窓口機能	介護、見守り等のサービスを提供できる機能	デイサービス等、高齢者の介護、見守り等のサービスを提供できる機能	館等の機能	地域における公民館・図書館を支える公民館・図書館	子育て関連機能	保育所等、身近に使える子育て関連機能	その他	わからない	無回答
	全体	889	78.4	64.1	48.3	26.5	18.6	13.2	12.1	1.7	1.8	2.2				
性別	男性	387	78.0	66.1	43.2	26.6	19.4	12.1	11.4	2.1	2.8	2.1				
	女性	494	78.9	63.0	52.6	26.5	17.6	14.0	12.8	1.2	1.0	2.2				
年代別	18・19歳	43	76.7	46.5	46.5	18.6	18.6	16.3	11.6	—	7.0	—				
	20歳代	94	86.2	61.7	48.9	28.7	5.3	12.8	18.1	4.3	2.1	—				
	30歳代	99	77.8	61.6	44.4	24.2	9.1	12.1	33.3	4.0	1.0	1.0				
	40歳代	159	82.4	64.8	54.7	26.4	14.5	11.9	10.1	1.9	1.9	3.1				
	50歳代	151	80.1	70.9	49.7	25.8	19.9	12.6	9.3	2.0	1.3	2.0				
	60歳代	187	80.7	69.0	48.7	32.6	19.3	14.4	7.5	—	1.1	1.1				
	70歳代	110	68.2	60.9	44.5	25.5	31.8	14.5	6.4	—	0.9	4.5				
	80歳以上	44	61.4	56.8	36.4	15.9	40.9	9.1	2.3	—	4.5	9.1				
地域別	長野地域	170	79.4	60.0	47.1	25.3	21.8	13.5	15.9	2.9	1.2	3.5				
	東地域	178	82.0	71.9	50.6	21.9	17.4	13.5	12.4	1.1	2.8	1.7				
	千代田地域	189	75.1	63.5	42.9	31.7	16.4	13.8	16.4	2.6	1.1	2.6				
	西地域	76	76.3	60.5	43.4	34.2	19.7	13.2	5.3	—	—	—				
	加賀田地域	95	82.1	64.2	49.5	22.1	14.7	13.7	8.4	1.1	1.1	3.2				
	美加の台地域	69	82.6	68.1	53.6	17.4	14.5	11.6	7.2	2.9	1.4	1.4				
	南花台地域	75	74.7	60.0	58.7	34.7	21.3	10.7	9.3	—	5.3	—				

性別でみると、女性は「銀行ATM等の日々の引出、入金ができる機能」が男性に比べ9.4ポイント高くなっている。

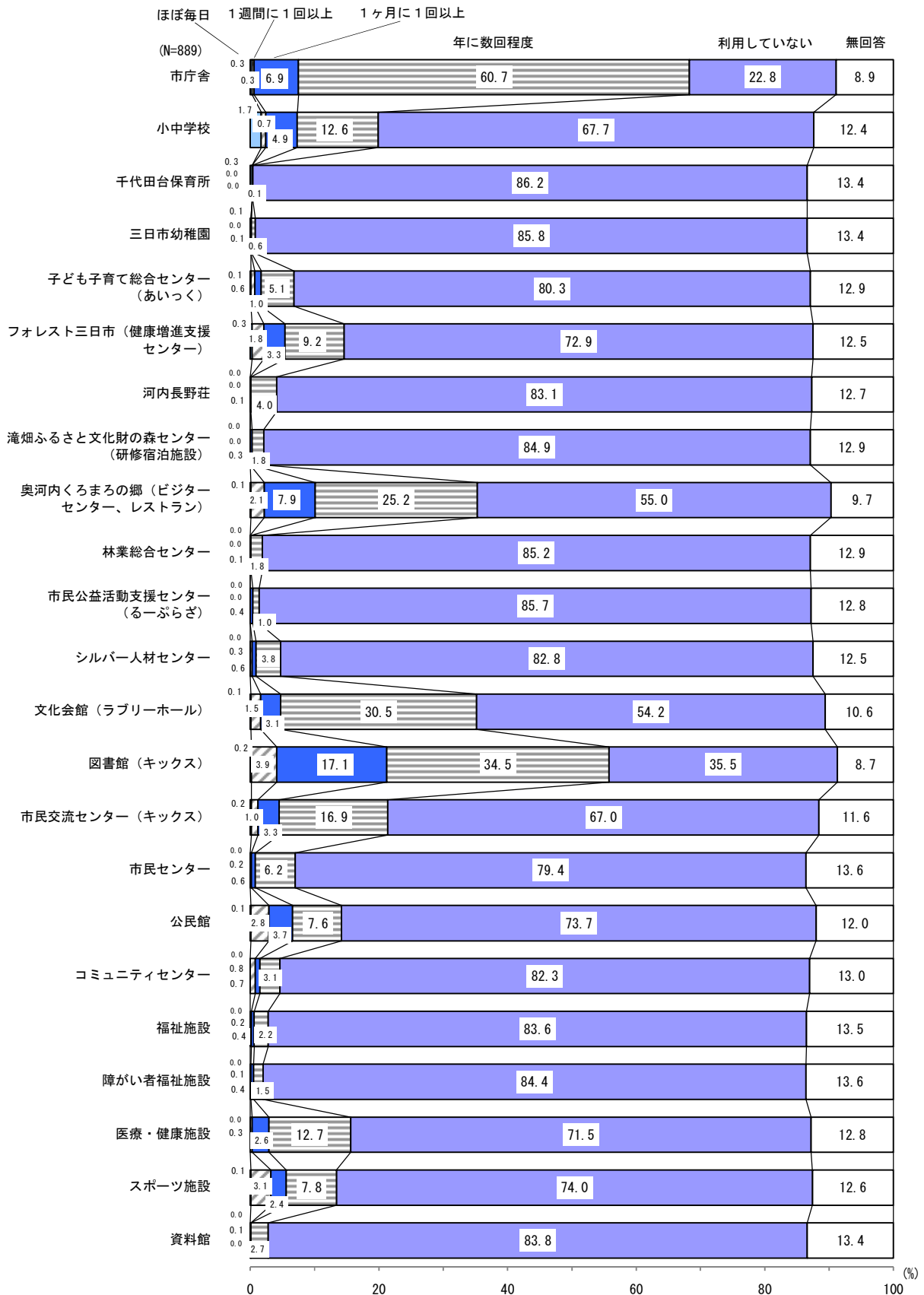
年代別でみると、いずれの年代も「コンビニ・スーパー等、日用品等の買い回りができる機能」が最も多くなっている。また、30歳代は「保育所等、身近に使える子育て関連機能」、40歳代は「銀行ATM等の日々の引出、入金ができる機能」、60歳代は「書類交付等が可能な身近な行政窓口機能」が、それぞれ他の年代に比べ高くなっており、50～60歳代では「内科・外科・小児科等、日常的な診療を受けることができる機能」が7割前後と高く、70歳以上の年代になると「デイサービス等、高齢者の介護、見守り等のサービスを提供できる機能」が3～4割台に上昇している。

地域別でみると、いずれの地域も「コンビニ・スーパー等、日用品等の買い回りができる機能」が最も多くなっている。また、東地域では「内科・外科・小児科等、日常的な診療を受けることができる機能」が71.9%と高くなっている。

2. 公共施設について

(1) 公共施設の利用頻度

問32 あなたは過去1年間で、公共施設をどのくらい利用されましたか。公共施設の種類ごとに、該当する番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

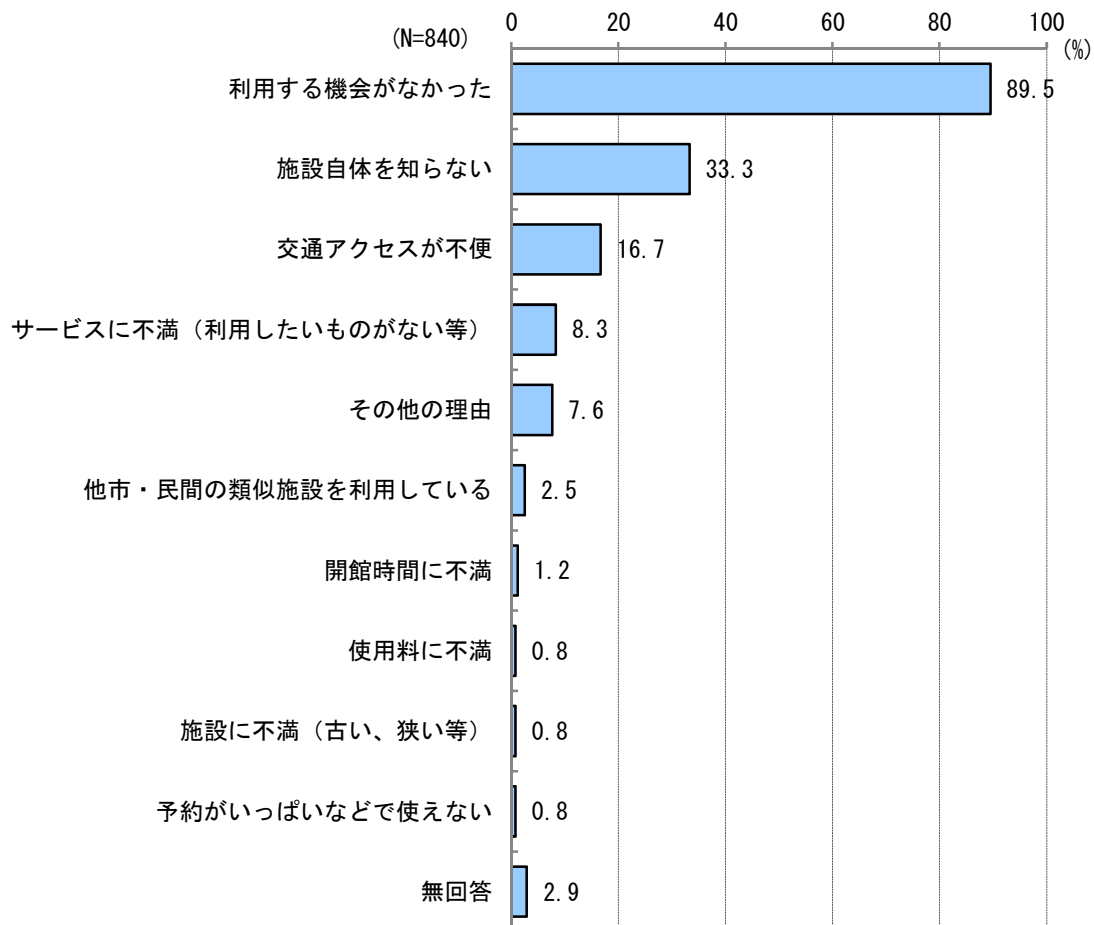


公共施設の利用頻度について、[市庁舎]を除いた公共施設は「利用していない」が最も多くなっている。「年に数回程度」では、[市庁舎]が60.7%で最も高く、次いで[図書館（キックス）]が34.5%、[文化会館（ラブリーホール）]が30.5%、[奥河内くろまろの郷（ビジターセンター、レストラン）]が25.2%、[市民交流センター（キックス）]が16.9%となっている。また、月に1回以上利用している割合では、[図書館（キックス）]が21.2%で最も高く、次いで[奥河内くろまろの郷（ビジターセンター、レストラン）]が10.1%、[市庁舎]が7.5%、[小中学校]が7.3%となっている。

(2) 公共施設の利用頻度が低い理由

【問32で「年に数回程度」「利用していない」を選んだ方におうかがいします。】

問33 その理由に該当する番号に○印をつけてください。(○は3つまで)



公共施設の利用頻度が低い人に、その理由をたずねると、「利用する機会がなかった」が89.5%で最も多く、次いで「施設自体を知らない」が33.3%、「交通アクセスが不便」が16.7%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

(%)												
	N	利用する機会がなかった	施設自体を知らない	交通アクセスが不便	サービスに不満(利用したいものがない等)	他市・民間の類似施設を利用している	開館時間に不満	使用料に不満	施設に不満(古い、狭い等)	予約がいっぱいなどで使えない	その他の理由	無回答
全体	840	89.5	33.3	16.7	8.3	2.5	1.2	0.8	0.8	0.8	7.6	2.9
性別												
男性	369	90.8	32.8	14.4	7.0	3.3	1.6	0.3	1.1	0.8	7.3	3.5
女性	465	89.2	34.0	18.1	9.2	1.7	0.9	1.3	0.6	0.9	7.3	2.4
年代別												
18・19歳	41	92.7	36.6	9.8	9.8	2.4	-	-	-	-	2.4	2.4
20歳代	93	93.5	41.9	10.8	7.5	5.4	1.1	1.1	-	1.1	4.3	-
30歳代	98	93.9	38.8	10.2	13.3	2.0	1.0	-	1.0	1.0	5.1	2.0
40歳代	155	93.5	35.5	13.5	11.0	3.2	1.9	1.3	1.3	-	4.5	1.9
50歳代	148	93.9	39.2	15.5	9.5	1.4	0.7	-	1.4	2.0	7.4	2.0
60歳代	170	90.6	28.2	19.4	4.1	1.8	1.8	0.6	-	-	9.4	2.4
70歳代	98	74.5	20.4	28.6	8.2	1.0	1.0	3.1	2.0	2.0	14.3	8.2
80歳以上	35	65.7	17.1	28.6	-	2.9	-	-	-	-	17.1	8.6
地域別												
長野地域	163	90.8	29.4	12.3	7.4	2.5	1.8	0.6	0.6	-	7.4	3.1
東地域	170	88.8	30.6	18.2	8.8	2.9	-	1.8	0.6	0.6	5.9	5.3
千代田地域	182	87.9	41.2	18.1	7.7	1.6	0.5	1.1	1.6	1.1	6.6	0.5
西地域	70	87.1	31.4	11.4	10.0	2.9	-	1.4	-	1.4	8.6	4.3
加賀地域	87	88.5	32.2	18.4	10.3	3.4	3.4	-	1.1	1.1	10.3	2.3
美加の台地域	67	97.0	37.3	14.9	6.0	4.5	-	-	-	-	9.0	3.0
南花台地域	69	88.4	27.5	20.3	10.1	1.4	2.9	-	1.4	2.9	7.2	1.4

性別でみると、男女とも「利用する機会がなかった」が9割前後と高く、ほとんど差はみられない。

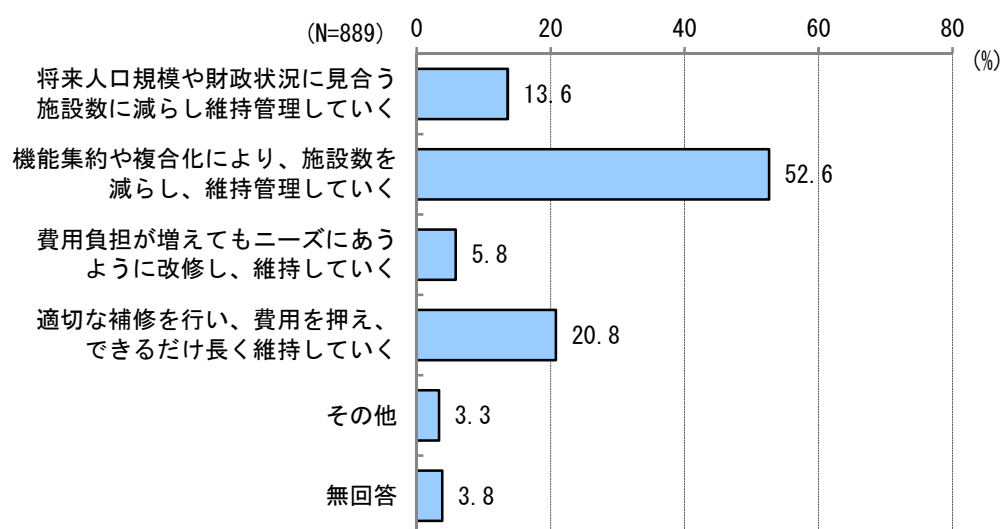
年代別でみると、いずれの年代も「利用する機会がなかった」が最も多くなっている。また、「施設自体を知らない」が18～50歳代で4割前後となっており、70歳以上の年代になると「交通アクセスが不便」が3割程度に上昇している。

地域別でみると、いずれの地域も「利用する機会がなかった」が8～9割台と高くなっている。千代田地域では「施設自体を知らない」が41.2%と他の地域に比べ高くなっている。

(3) 今後の公共施設の整備の方向性

問34 本市では今後の人口減少、少子高齢化による市税収の減収や、医療・介護にかかる社会保障関係経費の増加などを踏まえ、今あるすべての公共施設を現状のまま将来にわたり維持していくことは困難となっています。

(1) 今後の公共施設の整備の方向性について、あなたの考えに近いものを1つ選び、該当する番号に○印をつけてください。(○は1つ)



今後の公共施設の整備の方向性について、「機能集約や複合化により、施設数を減らし、維持管理していく」が52.6%で最も多く、次いで「適切な補修を行い、費用を抑え、できるだけ長く維持していく」が20.8%、「将来人口規模や財政状況に見合う施設数に減らし維持管理していく」が13.6%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

								(%)	
		N	維持管理していく	将来人口規模や財政状況に見合う施設数に減らし維持管理していく	機能集約や複合化により、施設数を減らし、維持管理していく	費用負担が増えてもニーズにあうように改修し、維持していく	適切な補修を行い、費用を押え、できるだけ長く維持していく	その他	無回答
全体		889	13.6	52.6	5.8	20.8	3.3	3.8	
性別	男性	387	13.7	52.2	5.9	20.2	3.4	4.7	
	女性	494	13.0	53.6	5.7	21.5	3.0	3.2	
年代別	18・19歳	43	20.9	37.2	7.0	25.6	7.0	2.3	
	20歳代	94	6.4	61.7	13.8	16.0	2.1	-	
	30歳代	99	13.1	57.6	5.1	20.2	3.0	1.0	
	40歳代	159	14.5	58.5	3.8	18.2	1.3	3.8	
	50歳代	151	11.3	58.9	7.9	15.2	4.0	2.6	
	60歳代	187	14.4	52.9	4.3	21.4	3.7	3.2	
	70歳代	110	16.4	39.1	2.7	30.9	3.6	7.3	
	80歳以上	44	18.2	27.3	2.3	29.5	4.5	18.2	
地域別	長野地域	170	15.3	54.1	4.7	21.2	1.2	3.5	
	東地域	178	12.4	55.6	6.2	18.5	3.9	3.4	
	千代田地域	189	16.4	51.3	6.9	20.1	2.1	3.2	
	西地域	76	15.8	53.9	2.6	19.7	6.6	1.3	
	加賀田地域	95	9.5	43.2	4.2	29.5	7.4	6.3	
	美加の台地域	69	8.7	65.2	7.2	14.5	1.4	2.9	
	南花台地域	75	12.0	48.0	9.3	22.7	4.0	4.0	

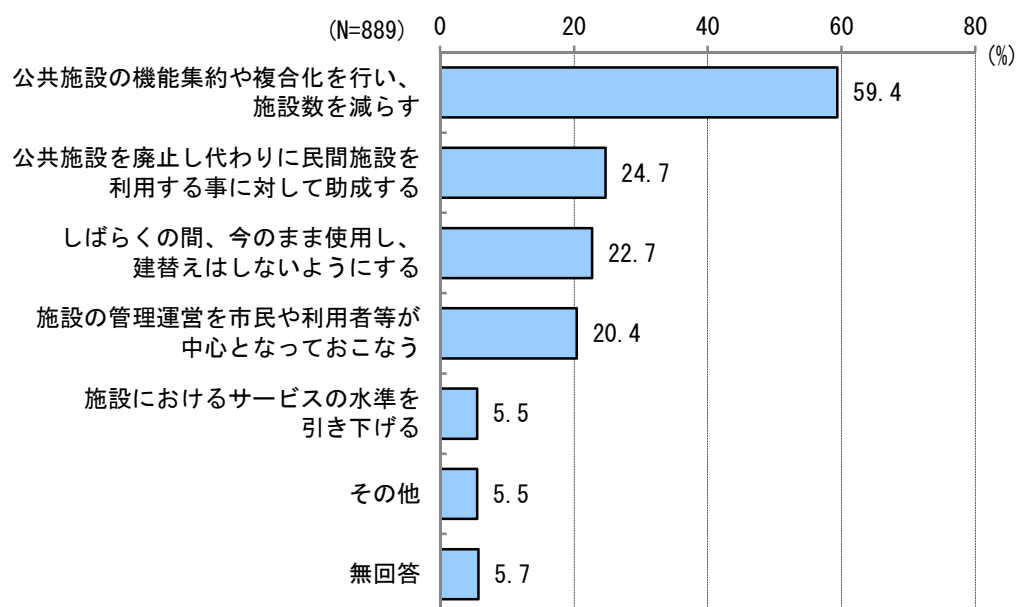
性別でみると、男女とも「機能集約や複合化により、施設数を減らし、維持管理していく」が最も多く、大きな差はほとんどみられない。

年代別でみると、18～70歳代は「機能集約や複合化により、施設数を減らし、維持管理していく」が最も多く、特に20～60歳代は5～6割台と高くなっている。また、20歳代は他の年代に比べて「将来人口規模や財政状況に見合う施設数に減らし維持管理していく」（6.4％）は低くなっているが、「費用負担が増えてもニーズにあうように改修し、維持していく」（13.8％）では高くなっている。70歳以上の年代になると「適切な補修を行い、費用を押え、できるだけ長く維持していく」が3割前後に上昇しており、80歳以上では29.5％で最も多い。

地域別でみると、いずれの地域も「機能集約や複合化により、施設数を減らし、維持管理していく」が最も多くなっており、なかでも美加の台地域は65.2％と他の地域に比べ高くなっている。また、加賀田地域と美加の台地域は「将来人口規模や財政状況に見合う施設数に減らし維持管理していく」が1割未満と他の地域に比べ低くなっているが、加賀田地域では「適切な補修を行い、費用を押え、できるだけ長く維持していく」が29.5％と他の地域に比べ高くなっている。

(4) 今後の取組みとして必要な対策

(2) 今後、業務の効率化や職員配置の適正化、維持管理費の削減などの取組みに加えて、さらなる対策が必要です。あなたの考えに近いものを選び、番号に○印をつけてください。(○は3つまで)



今後の取組みとして必要な対策について、「公共施設の機能集約や複合化を行い、施設数を減らす」が59.4%で最も多く、次いで「公共施設を廃止し代わりに民間施設を利用する事に対して助成する」が24.7%、「しばらくの間、今のまま使用し、建替えはしないようにする」が22.7%、「施設の管理運営を市民や利用者等が中心となっておこなう」が20.4%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

(%)

		N	複合化を行い、施設数を減らす	公共施設の機能集約や複合化	民間施設を利用する事に対して助成する	公共施設を廃止し代わりに民間施設を利用する事	しばらくの間、今のまま使用し、建替えはしないようにする	利用者等が中心となっておこなう	施設の管理運営を市民や利用者等が中心となっておこなう	施設におけるサービスの水準を引く	その他	無回答
	全体	889	59.4	24.7	22.7	20.4	5.5	5.5	5.7			
性別	男性	387	61.8	25.6	20.4	22.2	6.5	5.9	5.7			
	女性	494	58.3	24.3	23.9	18.8	4.9	5.1	5.9			
年代別	18・19歳	43	37.2	23.3	32.6	18.6	2.3	2.3	4.7			
	20歳代	94	67.0	24.5	17.0	18.1	8.5	9.6	2.1			
	30歳代	99	63.6	35.4	20.2	21.2	4.0	5.1	3.0			
	40歳代	159	60.4	30.2	22.6	12.6	6.9	5.0	6.3			
	50歳代	151	67.5	28.5	17.2	18.5	2.6	7.3	4.0			
	60歳代	187	59.9	16.0	23.5	24.1	6.4	5.9	7.0			
	70歳代	110	50.9	17.3	28.2	29.1	6.4	1.8	7.3			
	80歳以上	44	43.2	25.0	31.8	22.7	4.5	4.5	15.9			
地域別	長野地域	170	60.0	22.4	23.5	20.6	5.9	5.3	4.7			
	東地域	178	61.8	25.3	22.5	18.0	5.6	3.9	5.1			
	千代田地域	189	61.9	22.2	21.2	22.8	3.2	3.7	3.7			
	西地域	76	65.8	27.6	25.0	18.4	5.3	7.9	1.3			
	加賀田地域	95	52.6	23.2	27.4	17.9	8.4	8.4	12.6			
	美加の台地域	69	56.5	31.9	15.9	26.1	4.3	4.3	10.1			
	南花台地域	75	53.3	26.7	26.7	14.7	8.0	10.7	4.0			

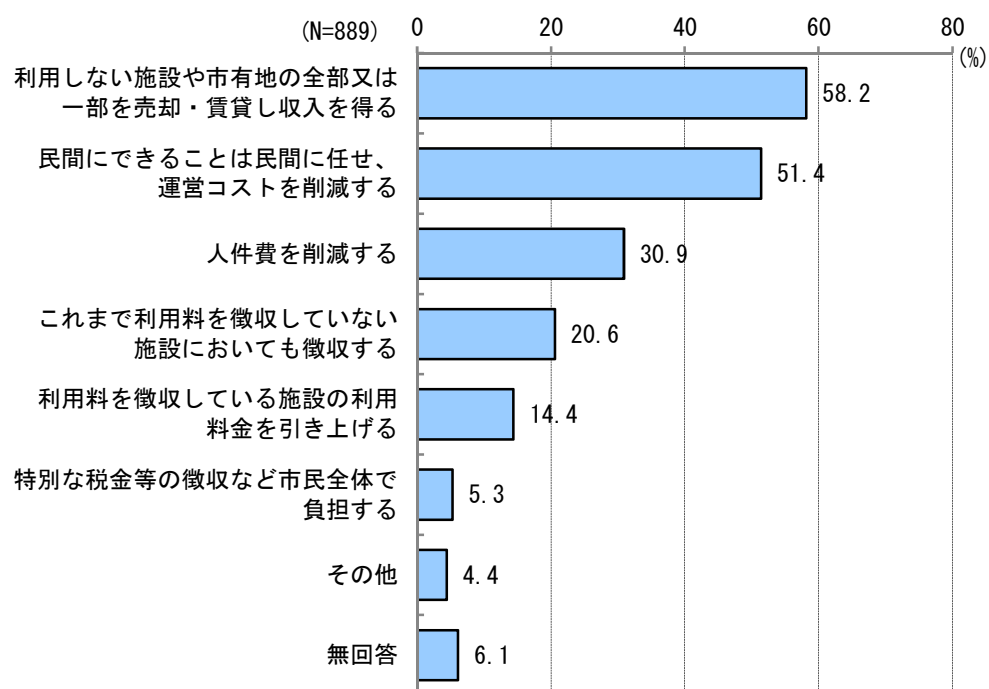
性別でみると、男性は「施設の管理運営を市民や利用者等が中心となっておこなう」が女性に比べ3.4ポイント高い。女性は「しばらくの間、今のまま使用し、建替えはしないようにする」が3.5ポイント高くなっている。

年代別でみると、いずれの年代も「公共施設の機能集約や複合化を行い、施設数を減らす」が最も多く、20～70歳代は5～6割台と高くなっている。また、30歳代は「公共施設を廃止し代わりに民間施設を利用する事に対して助成する」(35.4%)が他の年代に比べ高くなっており、18・19歳と70歳以上の年代は「しばらくの間、今のまま使用し、建替えはしないようにする」が3割前後で、70歳代では「施設の管理運営を市民や利用者等が中心となっておこなう」(29.1%)が他の年代に比べ高くなっている。

地域別でみると、いずれの地域も「公共施設の機能集約や複合化を行い、施設数を減らす」が5～6割台で最も多くなっている。また、美加の台地域は他の地域に比べて「公共施設を廃止し代わりに民間施設を利用する事に対して助成する」(31.9%)は高く、「しばらくの間、今のまま使用し、建替えはしないようにする」では低くなっている。

(5) 維持管理費の削減や財源確保の面から必要だと思う取組み

(3)(2) 以外の対策で、維持管理費の削減や財源確保の面から必要だと思う取組みについて、あなたの考えに近いものを選び、番号に○印をつけてください。
(○は3つまで)



維持管理費の削減や財源確保の面から必要だと思う取組みについて、「利用しない施設や市有地の全部又は一部を売却・賃貸し収入を得る」が58.2%で最も多く、次いで、「民間にできることは民間に任せ、運営コストを削減する」が51.4%と半数を超えており、「人件費を削減する」が30.9%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

(%)

		N	賃貸し収入を得る	利用しない施設や市有地	減する	民間にできることは民間に任せ、運営コストを民間	人件費を削減する	徴収する	これまで利用料を徴収していない施設において	利用料を徴収している施設の利用料金を引き上げる	利用料を徴収している施設の利用料金を引き上げる	市民全体で負担する	特別な税金等の徴収など	その他	無回答
	全体	889	58.2	51.4	30.9	20.6	14.4	5.3	4.4	6.1					
性別	男性	387	58.9	51.2	32.6	23.3	18.6	5.9	6.2	5.9					
	女性	494	57.7	51.4	30.2	18.2	11.3	4.9	2.8	6.1					
年代別	18・19歳	43	55.8	48.8	25.6	9.3	7.0	11.6	-	-					
	20歳代	94	62.8	55.3	28.7	17.0	18.1	6.4	2.1	3.2					
	30歳代	99	71.7	52.5	32.3	17.2	11.1	2.0	5.1	4.0					
	40歳代	159	59.7	53.5	34.0	11.9	13.2	8.2	3.8	5.0					
	50歳代	151	57.0	53.0	31.8	19.9	14.6	4.6	4.6	5.3					
	60歳代	187	55.6	51.3	31.0	23.5	15.0	3.7	5.9	6.4					
	70歳代	110	52.7	49.1	30.0	37.3	19.1	6.4	5.5	7.3					
	80歳以上	44	43.2	34.1	27.3	25.0	11.4	-	4.5	25.0					
地域別	長野地域	170	61.2	49.4	32.4	20.6	11.2	4.1	5.3	4.7					
	東地域	178	55.1	51.1	29.2	23.6	11.8	4.5	3.9	5.6					
	千代田地域	189	60.3	50.3	34.4	15.3	13.2	4.8	2.6	9.0					
	西地域	76	56.6	48.7	27.6	27.6	19.7	9.2	2.6	3.9					
	加賀田地域	95	51.6	45.3	32.6	23.2	22.1	4.2	4.2	8.4					
	美加の台地域	69	63.8	60.9	23.2	13.0	11.6	5.8	10.1	2.9					
	南花台地域	75	54.7	54.7	38.7	22.7	20.0	6.7	6.7	4.0					

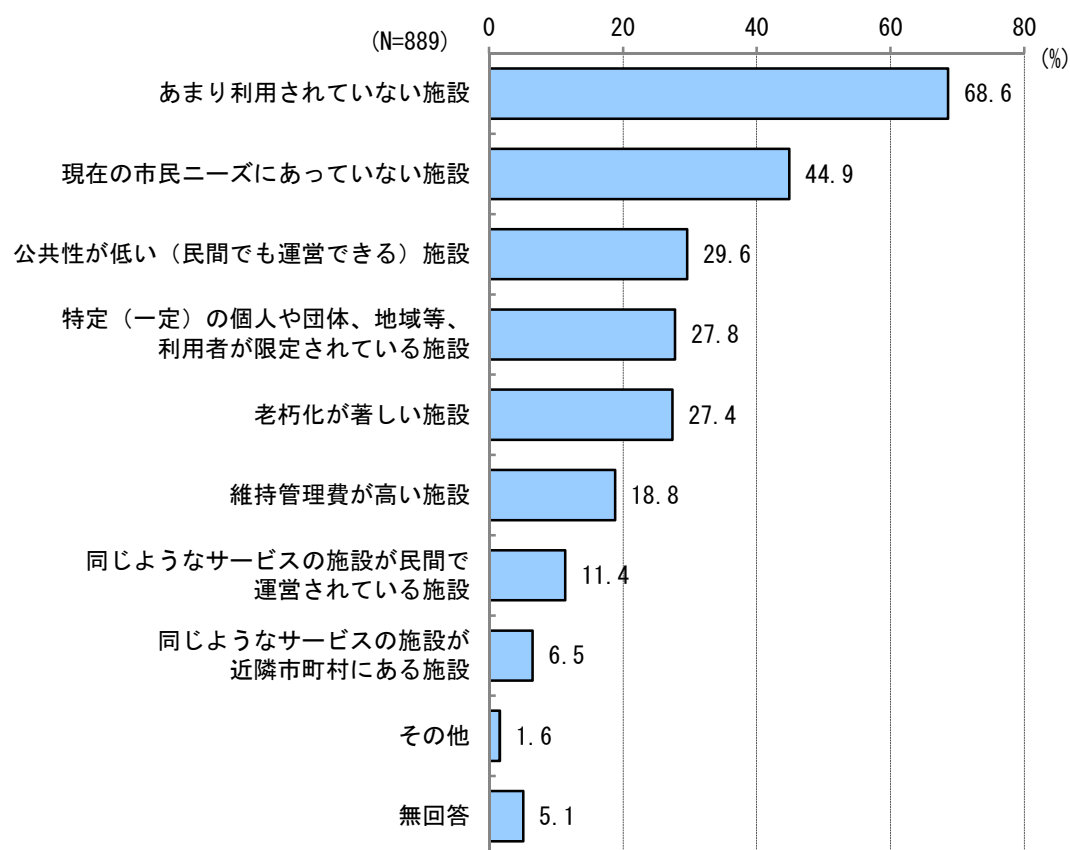
性別でみると、男性は女性に比べて「これまで利用料を徴収していない施設においても徴収する」が5.1ポイント、「利用料を徴収している施設の利用料金を引き上げる」が7.3ポイント高くなっている。

年代別でみると、いずれの年代も「利用しない施設や市有地の全部又は一部を売却・賃貸し収入を得る」が最も多く、なかでも30歳代は71.7%、20歳代は62.8%と高くなっている。また、70歳代では「これまで利用料を徴収していない施設においても徴収する」(37.3%)が他の年代に比べ高くなっている。

地域別でみると、いずれの地域も「利用しない施設や市有地の全部又は一部を売却・賃貸し収入を得る」が最も多く、南花台地域は同率で「民間にできることは民間に任せ、運営コストを削減する」も多くなっている。また、西地域や加賀田地域、南花台地域では「利用料を徴収している施設の利用料金を引き上げる」が2割前後となっている。

(6) 機能集約や複合化により施設数を減らす対象となる公共施設

(4) 今後、機能集約や複合化により、施設数を減らすとしたら、どのような公共施設を対象とすべきとお考えですか。あなたの考えに近いものを選び、番号に○印をつけてください。(○は3つまで)



機能集約や複合化により施設数を減らす対象となる公共施設については、「あまり利用されていない施設」が68.6%で最も多く、次いで「現在の市民ニーズにあっていない施設」が44.9%、「公共性が低い（民間でも運営できる）施設」が29.6%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

												(%)			
		N	施設 あまり 利用 されて いない	現在 の市 民ニ ーズ にあ つ て い な い 施 設	運 営 で 可 能 な 施 設	公 共 性 が 低 い （ 民 間 で も	特 定 （ 一 定 ） の 個 人 や 団 体 、 地 域 等 、 利 用 者 が 限 定 さ れ て い る 施 設	老 朽 化 が 著 し い 施 設	維 持 管 理 費 が 高 い 施 設	設 が 民 間 で 運 営 さ れ て い る 施 設	同 じ よ う な サ ー ビ ス の 施 設	設 が 近 隣 市 町 村 に あ る 施 設	同 じ よ う な サ ー ビ ス の 施 設	そ の 他	無 回 答
	全体	889	68.6	44.9	29.6	27.8	27.4	18.8	11.4	6.5	1.6	5.1			
性別	男性	387	68.5	47.5	33.1	32.8	22.5	16.5	13.4	7.0	1.3	4.9			
	女性	494	69.2	42.9	26.7	24.3	31.0	20.6	9.5	6.3	1.8	5.1			
年代別	18・19歳	43	83.7	37.2	16.3	11.6	27.9	16.3	9.3	16.3	2.3	2.3			
	20歳代	94	63.8	51.1	37.2	28.7	29.8	18.1	13.8	3.2	1.1	2.1			
	30歳代	99	68.7	53.5	30.3	17.2	33.3	13.1	15.2	7.1	2.0	2.0			
	40歳代	159	71.7	46.5	28.3	27.7	29.6	18.2	10.7	8.2	1.9	3.1			
	50歳代	151	65.6	49.7	30.5	29.1	33.8	18.5	11.3	5.3	—	6.0			
	60歳代	187	70.1	43.3	33.7	29.9	21.4	19.3	9.6	6.4	2.7	4.3			
	70歳代	110	71.8	37.3	25.5	37.3	25.5	23.6	11.8	2.7	1.8	7.3			
	80歳以上	44	50.0	22.7	18.2	29.5	9.1	25.0	9.1	11.4	—	22.7			
地域別	長野地域	170	72.9	49.4	28.2	19.4	32.4	22.4	9.4	7.6	1.2	3.5			
	東地域	178	62.9	41.0	30.3	34.3	32.6	18.0	13.5	5.6	2.2	4.5			
	千代田地域	189	69.8	45.0	30.2	24.9	25.9	19.6	12.7	5.8	0.5	5.8			
	西地域	76	64.5	52.6	27.6	31.6	23.7	17.1	13.2	10.5	2.6	2.6			
	加賀田地域	95	70.5	37.9	23.2	25.3	26.3	17.9	9.5	7.4	3.2	9.5			
	美加の台地域	69	69.6	49.3	37.7	27.5	21.7	14.5	7.2	1.4	2.9	5.8			
	南花台地域	75	72.0	44.0	34.7	33.3	20.0	18.7	10.7	5.3	—	5.3			

性別でみると、男性は女性に比べて「公共性が低い（民間でも運営できる）施設」が6.4ポイント、「特定（一定）の個人や団体、地域等、利用者が限定されている施設」が8.5ポイント高くなっている。一方、女性では「老朽化が著しい施設」が男性に比べ8.5ポイント高くなっている。

年代別でみると、いずれの年代も「あまり利用されていない施設」が最も多くなっている。また、20～30歳代は「現在の市民ニーズにあっていない施設」が5割台と高く、70歳代では「特定（一定）の個人や団体、地域等、利用者が限定されている施設」が37.3%と他の年代に比べ高くなっており、70歳以上の年代になると「維持管理費が高い施設」が2割台に上昇している。

地域別でみると、いずれの地域も「あまり利用されていない施設」が最も多くなっている。また、長野地域と東地域は「老朽化が著しい施設」、西地域は「現在の市民ニーズにあっていない施設」、美加の台地域と南花台地域は「公共性が低い（民間でも運営できる）施設」が、それぞれ他の地域に比べ高くなっている。

(7) 機能集約や複合化の対象とすべき公共施設とその理由

(5) (4) の対象とすべき公共施設で具体的なものがあれば、その施設名（または、公共施設の種類）と理由をお書きください。

【機能集約】

公共施設の種類	件数
・公民館	15
・フォレスト三日市（健康増進支援センター）	12
・奥河内くろまろの郷（ビジターセンター、レストラン）	11
・コミュニティセンター	10
・滝畑ふるさと文化財の森センター（研修宿泊施設）	9
・林業総合センター（木根館）	9
・市民公益活動支援センター（るーぷらざ）	9
・医療・健康施設	8
・市営住宅	8
・三日市幼稚園	7
・市民センター	7
・資料館	7
・河内長野荘	6
・福祉施設	6
・スポーツ施設	5
・千代田台保育所	4
・市民交流センター（キックス）	4
・子ども子育て総合センター（あいつく）	2
・シルバー人材センター	2
・文化会館（ラブリーホール）	2
・図書館（キックス）	1
・障がい者福祉施設	1
・その他（老人介護施設）	1

機能集約の対象とすべき公共施設として、『公民館』が15件で最も多く、理由は「キックスだけで十分」や「3～4ヶ所くらいに集約できる」などが挙げられている。続いて多いのは『フォレスト三日市（健康増進支援センター）』が12件となっており、理由は「医療・健康と類似している」などが挙げられている。

【複合化】

公共施設の種類	件数
・ 林業総合センター（木根館）	13
・ 資料館	11
・ フォレスト三日市（健康増進支援センター）	9
・ 滝畑ふるさと文化財の森センター（研修宿泊施設）	9
・ 子ども子育て総合センター（あいつく）	7
・ コミュニティセンター	7
・ 福祉施設	6
・ 小中学校	5
・ 千代田台保育所	5
・ 三日市幼稚園	5
・ 奥河内くろまろの郷（ビジターセンター、レストラン）	5
・ シルバー人材センター	4
・ 医療・健康施設	4
・ スポーツ施設	4
・ 市民公益活動支援センター（るーぷらざ）	3
・ 市民交流センター（キックス）	3
・ 市民センター	3
・ 障がい者福祉施設	3
・ 図書館（キックス）	2
・ 公民館	2
・ 市営住宅	2
・ 河内長野荘	1
・ 寺ヶ池公園管理事務所	1

複合化の対象とすべき公共施設として、『林業総合センター（木根館）』が13件で最も多く、理由として「滝畑ふるさと文化財の森センターや、比較的知名度の高い奥河内くろまろの郷等と複合化するべき」などが挙げられている。続いて多いのは『資料館』が11件となっており、理由として「滝畑ふるさと文化財の森センターや奥河内くろまろの郷、林業総合センターなどを集めて、子どもの勉強にもなるような施設にし、大阪市内外からの観光客を呼び込む」などが挙げられている。

(8) 機能集約や複合化を行う場合に充実させるべき機能等

(6) 今後、機能集約や複合化を行う場合に、充実させるべきとお考えの機能等があれば、その施設名（または、公共施設の種類）と機能等をお書きください。

公共施設の種類	件数
・スポーツ施設	10
・図書館（キックス）	9
・医療・健康施設	9
・奥河内くろまろの郷（ビジターセンター、レストラン）	7
・公民館	7
・シルバー人材センター	6
・フォレスト三日市（健康増進支援センター）	5
・市民センター	4
・小中学校	3
・滝畑ふるさと文化財の森センター（研修宿泊施設）	3
・市民公益活動支援センター（るーぷらざ）	3
・文化会館（ラブリーホール）	3
・福祉施設	3
・千代田台保育所	2
・三日市幼稚園	2
・子ども子育て総合センター（あいっく）	2
・河内長野荘	2
・市民交流センター（キックス）	2
・コミュニティセンター	2
・障がい者福祉施設	2
・資料館	2
・学校給食センター	2
・市庁舎	1
・林業総合センター（木根館）	1
・消防施設	1
・市営住宅	1
・その他（南河内のユートピア）	1
・その他（スーパー銭湯など）	1
（施設名の回答なし）	3

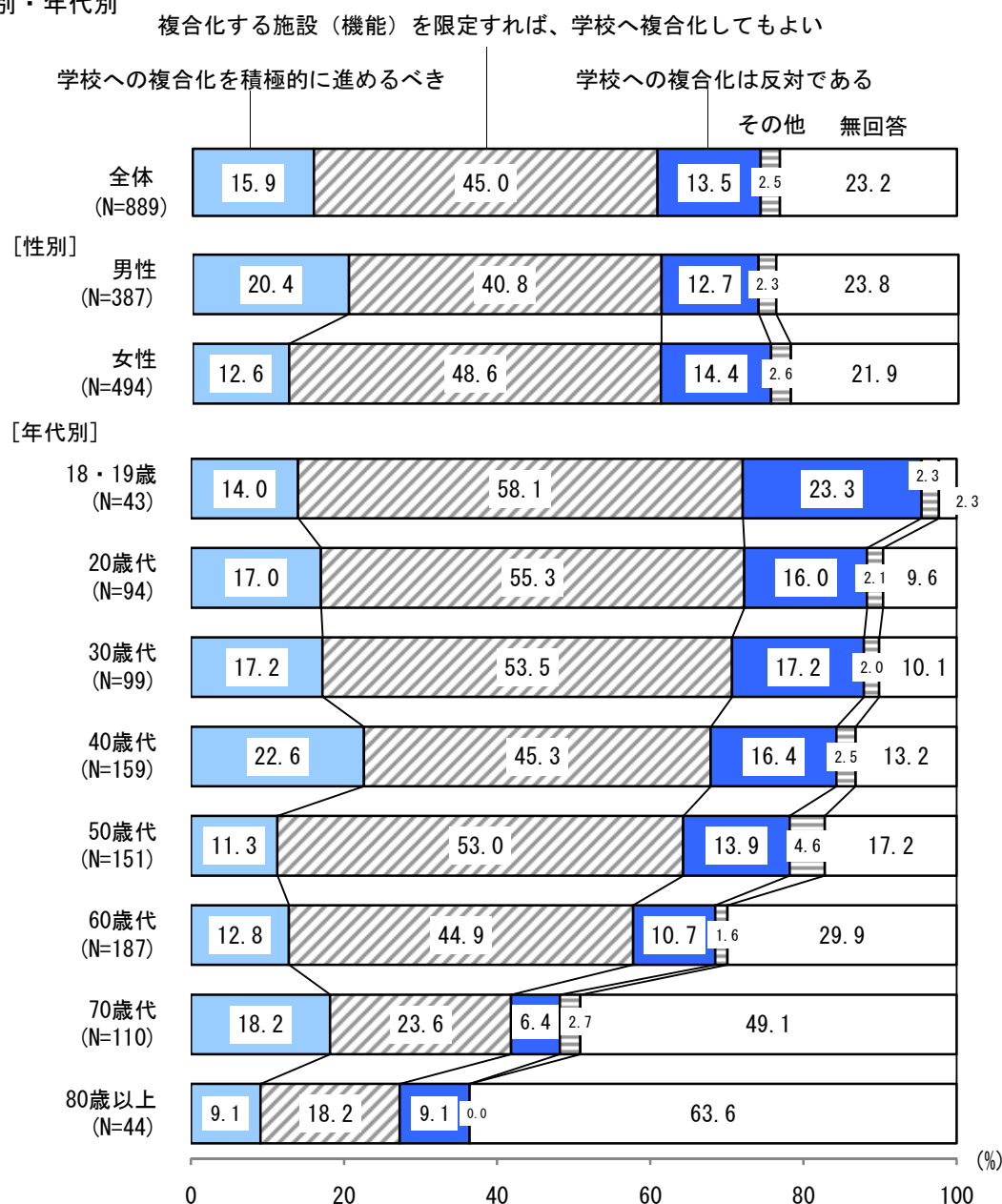
機能集約や複合化を行う場合に充実させるべき施設について、『スポーツ施設』が10件で最も多く、充実させるべき機能として「より利用しやすい体育館の改善」などが挙げられている。続いて『図書館（キックス）』と『医療・健康施設』がともに9件となっており、充実させるべき機能として『図書館（キックス）』は「自習室や相談窓口の整備」、『医療・健康施設』では「休日・夜間の救急医療」などが挙げられている。

(9) 小中学校と周辺の公共施設との複合化に対する考え

問35 小中学校は、地域活動等の拠点となる施設ですが、今後、子どもの減少に伴う空き教室の増加が見込まれます。今後、こういった空き教室の有効活用が考えられます。

(1) 教育面や防犯面の問題を考慮した上で、小中学校と周辺の公共施設との複合化について、あなたの考えに近いものに○印をつけてください。(○は1つ)

■ 性別・年代別

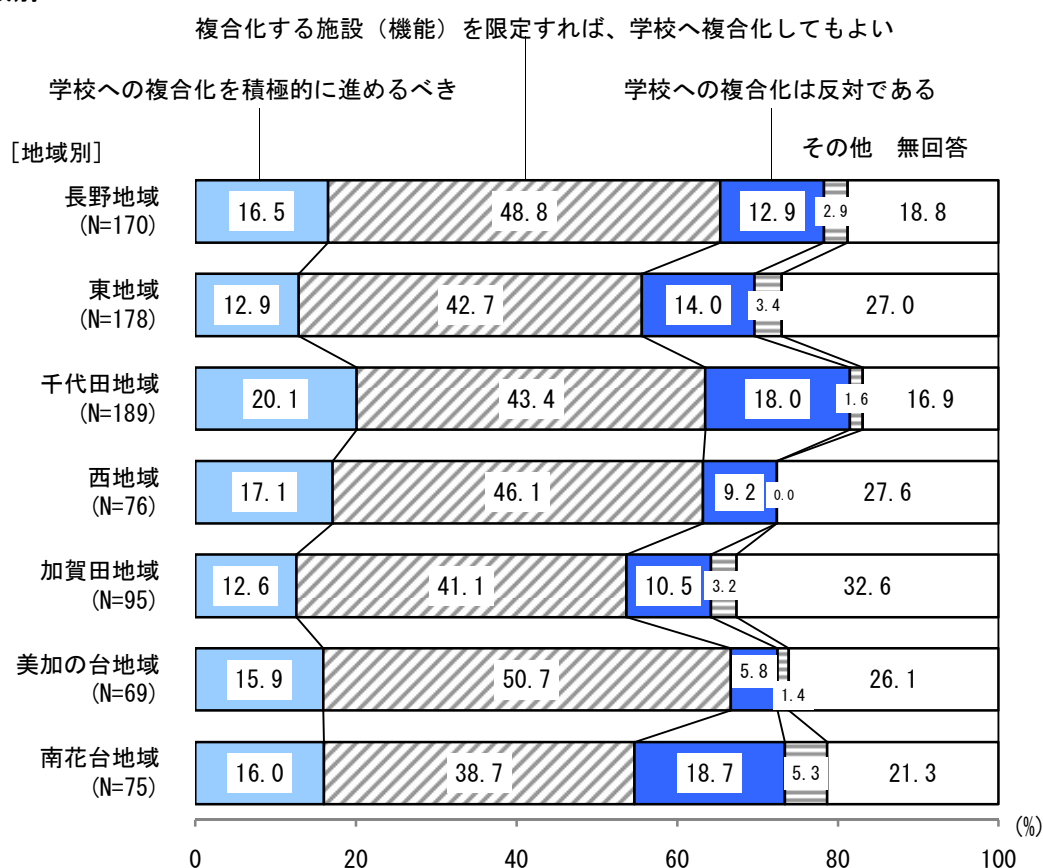


小中学校と周辺の公共施設との複合化に対する考えについて、「複合化する施設（機能）を限定すれば、学校へ複合化してもよい」が45.0%で最も多く、次いで「学校への複合化を積極的に進めるべき」が15.9%、「学校への複合化は反対である」は13.5%となっている。

性別でみると、男女とも「複合化する施設（機能）を限定すれば、学校へ複合化してもよい」が最も多く、男性40.8%、女性48.6%で、女性のほうが7.8ポイント高い。また、「学校への複合化を積極的に進めるべき」では、男性が20.4%で女性（12.6%）に比べ7.8ポイント高くなっている。

年代別でみると、いずれの年代も「複合化する施設（機能）を限定すれば、学校へ複合化してもよい」が最も多くなっている。また、「学校への複合化を積極的に進めるべき」では40歳代が22.6%で他の年代に比べ高くなっている。一方の「学校への複合化は反対である」は年代が上がるほど低下傾向にあるが、「無回答」は増加している。

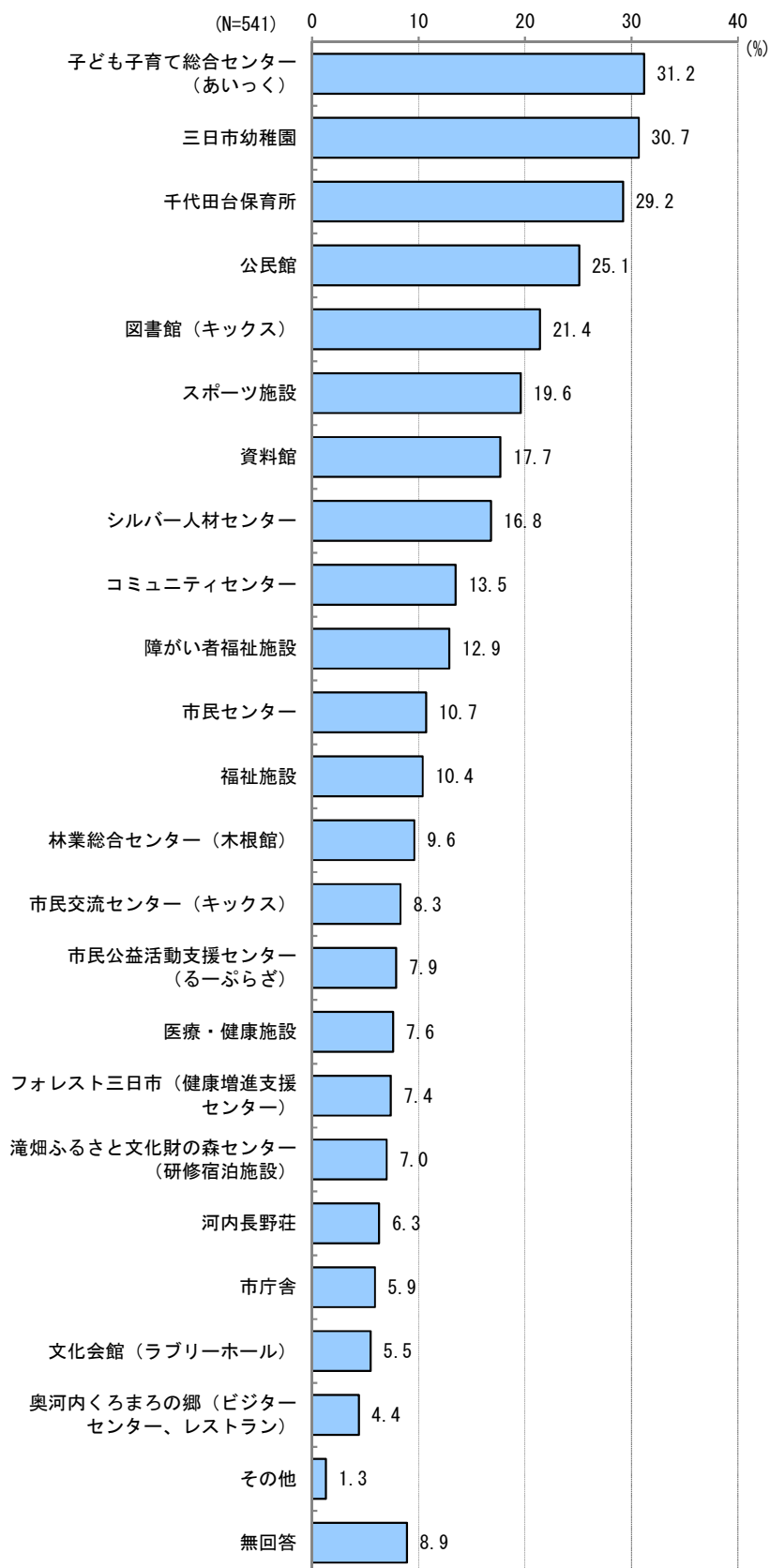
■ 地域別



地域別でみると、いずれの地域も「複合化する施設（機能）を限定すれば、学校へ複合化してもよい」が最も多く、なかでも美加の台地域は半数を占めている。また、「学校への複合化を積極的に進めるべき」では千代田地域が20.1%で他の地域に比べ高くなっている。一方の「学校への複合化は反対である」でも千代田地域が18.0%で他の地域に比べ高くなっており、南花台地域も18.7%と高くなっている。

(10) 学校へ複合化してもよいと考える公共施設の種類

【(1) で「1. 学校への複合化を積極的に進めるべき」または「2. 複合化する施設（機能）を限定すれば、学校へ複合化してもよい」を選択された方におうかがいします。】
 (2) 複合化してもよいと考える公共施設の種類を選び、番号に○印をつけてください。
 (○はいくつでも)



学校へ複合化してもよいと回答した人に、複合化してもよいと考える公共施設の種
類をたずねると、「子ども子育て総合センター（あいっく）」が31.2%で最も多く、次
いで「三日市幼稚園」が30.7%、「千代田台保育所」が29.2%、「公民館」が25.1%、
「図書館（キックス）」が21.4%となっている。

■ 性別・年代別・地域別

															(%)
		N	市庁舎	千代田台保育所	三日市幼稚園	子ども子育て総合センター（あいっく）	フォレスト三日市（健康増進支援センター）	河内長野荘	森センター（研修宿泊施設）	滝畑ふるさと文化財の森センター	奥河内くろまろの郷（ビクターセンター、レストラン）	根業林業総合センター（木根館）	市民公益活動支援センター（るーぷらざ）	シルバー人材センター	文化会館（ラブリール）
全体		541	5.9	29.2	30.7	31.2	7.4	6.3	7.0	4.4	9.6	7.9	16.8	5.5	
性別	男性	237	8.9	29.1	29.5	27.8	7.2	7.6	9.7	5.9	11.0	8.4	12.7	8.4	
	女性	302	3.3	29.5	31.8	34.1	7.6	5.3	4.6	3.3	8.3	7.6	20.2	3.3	
年代別	18・19歳	31	-	25.8	22.6	16.1	-	3.2	-	3.2	3.2	3.2	3.2	6.5	
	20歳代	68	4.4	32.4	38.2	27.9	4.4	7.4	7.4	4.4	7.4	2.9	10.3	7.4	
	30歳代	70	2.9	28.6	27.1	18.6	1.4	1.4	2.9	2.9	7.1	4.3	27.1	5.7	
	40歳代	108	11.1	36.1	38.0	40.7	11.1	5.6	8.3	3.7	14.8	10.2	25.0	5.6	
	50歳代	97	5.2	35.1	35.1	38.1	7.2	9.3	6.2	5.2	8.2	9.3	13.4	4.1	
	60歳代	108	7.4	23.1	24.1	28.7	12.0	7.4	10.2	6.5	11.1	13.0	13.0	5.6	
	70歳代	46	2.2	19.6	23.9	32.6	4.3	8.7	8.7	4.3	8.7	6.5	13.0	2.2	
	80歳以上	12	8.3	8.3	16.7	33.3	16.7	-	8.3	-	8.3	-	25.0	16.7	
地域別	長野地域	111	6.3	31.5	25.2	34.2	4.5	6.3	4.5	4.5	9.0	9.9	17.1	7.2	
	東地域	99	3.0	20.2	28.3	27.3	5.1	5.1	7.1	3.0	13.1	6.1	15.2	2.0	
	千代田地域	120	6.7	30.8	29.2	34.2	8.3	7.5	6.7	6.7	11.7	11.7	14.2	7.5	
	西地域	48	-	41.7	39.6	31.3	4.2	8.3	10.4	6.3	8.3	6.3	16.7	4.2	
	加賀田地域	51	9.8	21.6	23.5	21.6	13.7	7.8	11.8	5.9	11.8	5.9	23.5	7.8	
	美加の台地域	46	2.2	23.9	34.8	26.1	13.0	4.3	4.3	-	2.2	4.3	17.4	4.3	
	南花台地域	41	9.8	39.0	39.0	36.6	4.9	-	4.9	-	4.9	9.8	19.5	4.9	

		図書館（キックス）	市民交流センター（キックス）	市民センター	公民館	コミュニティセンター	福祉施設	障がい者福祉施設	医療・健康施設	スポーツ施設	資料館	その他	無回答
	全体	21.4	8.3	10.7	25.1	13.5	10.4	12.9	7.6	19.6	17.7	1.3	8.9
性別	男性	23.2	11.4	13.9	27.0	16.5	11.0	13.9	8.4	25.3	19.0	2.1	7.6
	女性	20.2	6.0	8.3	23.8	11.3	9.9	12.3	7.0	15.2	16.6	0.7	9.9
年代別	18・19歳	25.8	9.7	6.5	25.8	9.7	3.2	12.9	-	12.9	12.9	-	3.2
	20歳代	26.5	5.9	7.4	32.4	5.9	5.9	13.2	5.9	17.6	20.6	2.9	10.3
	30歳代	22.9	7.1	12.9	25.7	15.7	7.1	11.4	12.9	22.9	14.3	-	8.6
	40歳代	24.1	8.3	12.0	21.3	15.7	11.1	13.9	10.2	22.2	12.0	0.9	13.0
	50歳代	11.3	10.3	10.3	28.9	14.4	16.5	12.4	5.2	18.6	21.6	-	7.2
	60歳代	26.9	8.3	10.2	22.2	15.7	9.3	13.0	4.6	15.7	19.4	1.9	7.4
	70歳代	10.9	8.7	13.0	19.6	13.0	15.2	13.0	26.1	17.4	2.2	10.9	10.9
	80歳以上	25.0	8.3	16.7	33.3	8.3	-	-	8.3	25.0	41.7	8.3	-
地域別	長野地域	14.4	7.2	9.0	21.6	9.0	7.2	12.6	6.3	19.8	15.3	1.8	11.7
	東地域	25.3	6.1	9.1	28.3	15.2	10.1	9.1	8.1	21.2	26.3	-	8.1
	千代田地域	30.0	9.2	12.5	20.0	15.8	10.8	14.2	5.8	16.7	19.2	-	9.2
	西地域	12.5	6.3	6.3	29.2	12.5	12.5	10.4	6.3	22.9	14.6	-	12.5
	加賀田地域	21.6	7.8	11.8	35.3	15.7	13.7	15.7	13.7	21.6	17.6	3.9	9.8
	美加の台地域	19.6	8.7	10.9	21.7	13.0	10.9	13.0	8.7	19.6	17.4	4.3	8.7
	南花台地域	19.5	17.1	14.6	31.7	17.1	12.2	24.4	9.8	24.4	9.8	-	2.4

性別でみると、男性は「三日市幼稚園」が29.5%で最も多くなっており、「スポーツ施設」は女性に比べ10.1ポイント高くなっている。一方、女性では「子ども子育て総合センター（あいっく）」が34.1%で最も多く、男性に比べ6.3ポイント高くなっている。また、「シルバー人材センター」では、女性20.2%、男性12.7%で、女性のほうが7.5ポイント高くなっている。

年代別でみると、18・19歳は「千代田台保育所」や「図書館（キックス）」、「公民館」が同率で最も多くなっており、20歳代は「三日市幼稚園」、30歳代は「千代田台保育所」、40～70歳代では「子ども子育て総合センター（あいっく）」、80歳以上になると「資料館」が、それぞれ最も多くなっている。

地域別でみると、長野地域と千代田地域は「子ども子育て総合センター（あいっく）」、西地域は「千代田台保育所」、加賀田地域は「公民館」、美加の台地域は「三日市幼稚園」が、それぞれ最も多くなっており、東地域は「三日市幼稚園」と「公民館」、南花台地域は「千代田台保育所」と「三日市幼稚園」が、それぞれ同率で最も多くなっている。

(11) 学校への複合化を反対する理由

【(1) で「3. 学校への複合化は反対である」を選択された方におうかがいします。】
(3) その理由を記入してください。

①複合化することで安全性の確保が困難になる		件数
具体的 内容	教育・防犯面の問題を全て解決できると思わない	37
	教育の場へ不特定多数の人が訪れるのは、防犯・安全面が心配である	
	学校にいろんな人の出入があると、犯罪などが起こる可能性が高くなると思う	
	誰でも出入りできるようになると不審者などの侵入が不安	
	多くの人が小中学校を利用することになると不審者が入っても見つけにくくなり危険だから	
	子ども達の安全を考えると、第三者との接触は避けるべき	
	安全面を確実に確保できる気がせず、できたとしても最初の混乱が予想される	

②学校は教育の場として単独であった方がよい		件数
具体的 内容	学校は学校であって、何かと一緒にするべきではない	16
	学校のあるべき姿を守り、小・中・高と各年代の子ども達が学び、生活する場であってほしい	
	学校は学びの場所なので、他の施設等を入れるべきではない	
	学校には学校の役割がある	
	教育現場に部外者が入るべきでない	
	今までの形で問題を感じていない	

③子どもへの影響が懸念される		件数
具体的 内容	子どもに負担	12
	教育妨げにならないか心配、混乱を避けたい	
	児童同士の関係が薄くなる	
	子どもが落ち着いて勉強できない	
	子どもの学校が変わるのはかわいそう	

④その他		件数
地域が広がると、地域での生活や過疎化に影響を及ぼす		3
複合化ではなく、廃校にして後の利用を民間に託す		2
各学校に歴史や伝統があるので学校としてあり続けてほしい		2
空き教室が増える原因である少子化に対策を。小学生くらいの歳の転出率が高いのが問題		1
学校自体に問題が沢山あるのに他の施設と複合化しても複雑になるだけ		1
災害が起こった時の避難場所になると思うので、現状のままでもよいのでは		1
学生のいる世帯の住民や近隣の住民しか利用しないだろうと思うので		1
空き教室を利用する用途が無いように感じる		1
<例外> “統合化” として懸念する意見（通学が遠くなる等）		14

学校への複合化は反対であると回答した人に、その理由をたずねると、「複合化することで安全性の確保が困難になる」が37件で最も多く、次いで「学校は教育の場として単独であった方がよい」が16件、「子どもへの影響が懸念される」が12件となっている。

(12) 公共施設への取組みについて

問36 本市の公共施設への取組みについて、ご意見があればご自由に記入してください。

● 今後の公共施設の整備について	件数
くろまろの郷が観光地として発展するように取り組んでほしい	8
もっと公共施設の存在をアピールする	6
駅周辺の土地を有効利用して開発してほしい	6
高齢化の加速が予想されるので、高齢者向けの施設を整備してほしい	4
河内長野の魅力の一つが自然であるなら、そのものを生かすということを考える	4
体育館やスポーツ施設の充実に力を入れてほしい	4
災害時を考えた整備が望まれる	3
公共施設を一ヶ所に集めて交通手段を充実させる	3
既存のプールの開放や改修で利用できるようにしてほしい	3
他の自治体の公共施設に関する取り組みに学ぶ	2
図書館のさらなる充実を望む	2
ラブリールホールに有名なアーティストを呼ぶ等、活性化を図る	2
新しい施設等は不要	2
市民が気軽に自由に使えるスペースは必要	2
図書館は他市と比べても立派だと感じているので活発な取り組みを継続してほしい	2
公立の保育所を増やしてほしい	1
本庁は利用しづらいので分署を作してほしい	1
少子高齢化が進む中 町づくりの再構築が必要	1
林業総合センターを公的なホームセンターみたいなものにする	1

● 公共施設の機能集約・複合化について	件数
複合化を進め、学校を習い事、集会所、スポーツ等に利用する	7
学校の空き教室を高齢者サービスや高齢者と子どもがふれ合う機会に利用する	7
機能集約・複合化を進め、費用は適正な使途にする	6
今ある施設をむやみに廃止することはやめてほしい	3
学校の空き教室の活用について、児童及び生徒が安全に勉強できる環境であることが必須	2
公共施設の機能集約や複合化を実施する場合には高齢者、障害者の移動手段を考慮する必要がある	1

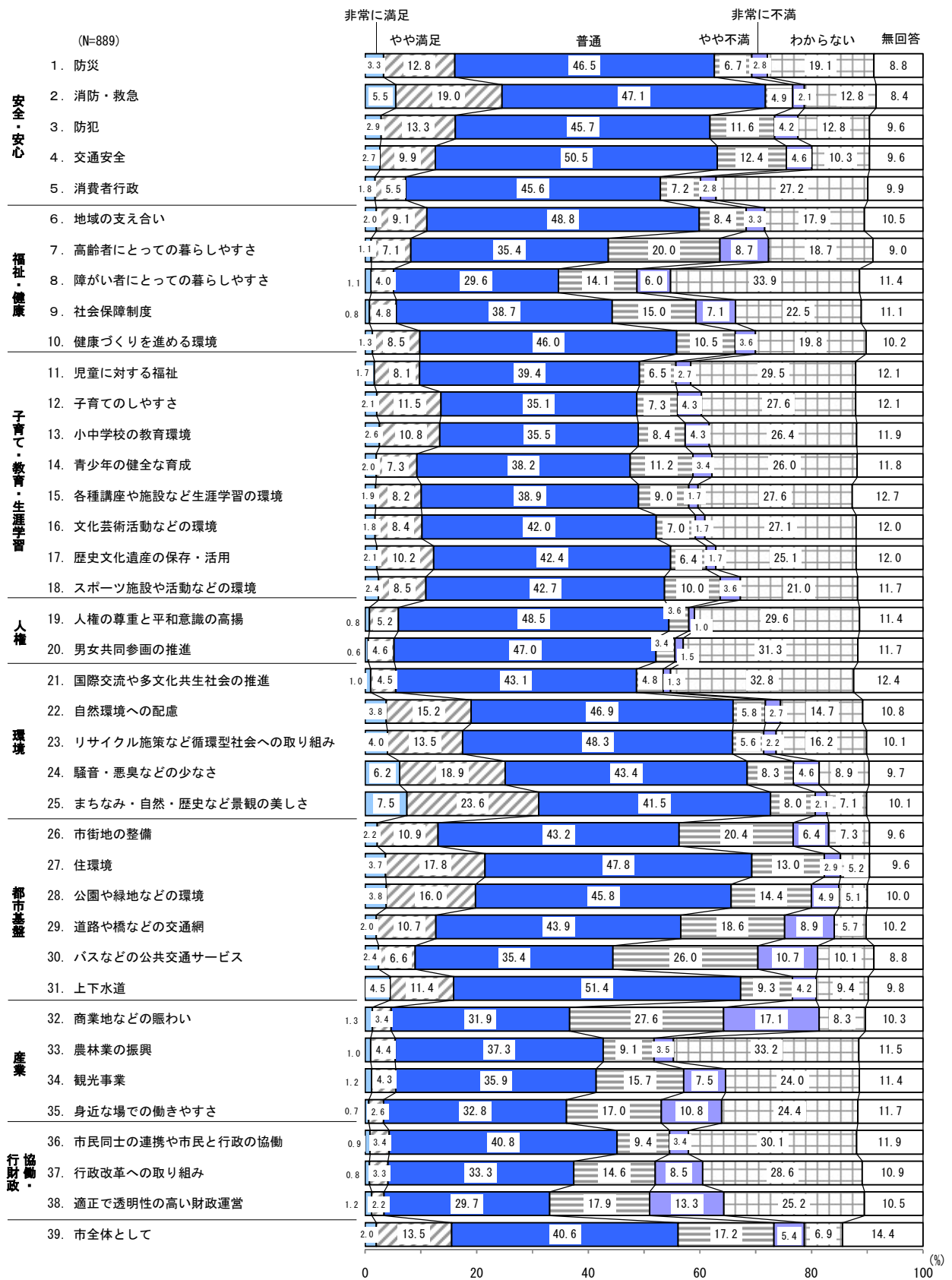
● 公共施設の現状への意見	件数
あいっくは良い施設、充実している	5
誰がどんな時に、利用するのかわからない施設がある	5
くろまろの郷について、中身が充実していない等	5
くろまろの郷は立地条件が悪い	4
限られた人しか利用しない公共施設等には不公平感を感じる	4
公園が汚れていたり、除草されていなかったりする	2
限られた世代向けの公共施設が多い	2
今後も公共施設の使用状況や活用の内容について知りたい	2
寺ヶ池公園に関しては、市外からの観光客も集客できる魅力的な公園となる要素がある	1

● 財政面について	件数
安定した収益のために企業誘致を行う	3
公共施設に維持管理が必要なのは当然であり、財源不足となる計画、運営に疑問を感じる	2
財政状況を考え、新たな設備投資はいらない	2
収支内訳をはっきり示して頂きたい	1

3. 市政全般について

(1) 現在の満足度

問37 あなたは、現在の河内長野市の生活環境等についてどの程度満足されていますか。またどの程度重要だと思われますか。次の項目についてあなたのお考えに最も近い番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

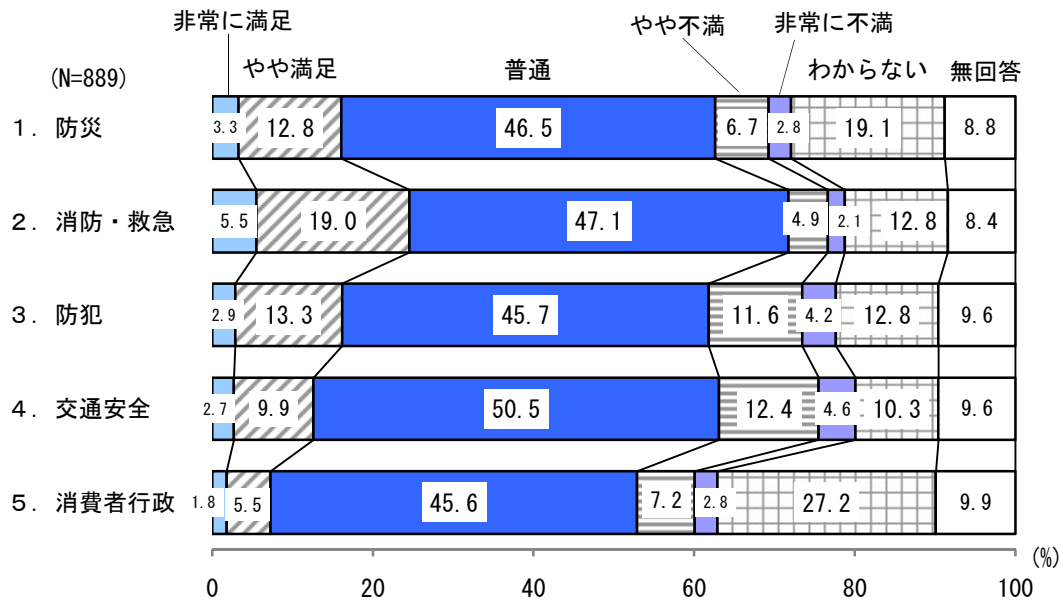


市政に対する現在の満足度については、「わからない」を除けば、すべての項目で「普通」が最も多くなっている。また、「非常に満足」では、[まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ] が7.5%で最も高く、次いで[騒音・悪臭などの少なさ] が6.2%、[消防・救急] が5.5%となっている。『満足』（「非常に満足」と「やや満足」の合計：以下同じ）割合では、[まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ] は31.1%、[騒音・悪臭などの少なさ] は25.1%、[消防・救急] は24.5%、[住環境] で21.5%となっている。

一方、『不満』（「やや不満」と「非常に不満」の合計：以下同じ）割合は、[商業地などの賑わい] が44.7%で最も高く、次いで[バスなどの公共交通サービス] が36.7%、[適正で透明性の高い財政運営] が31.2%となっている。

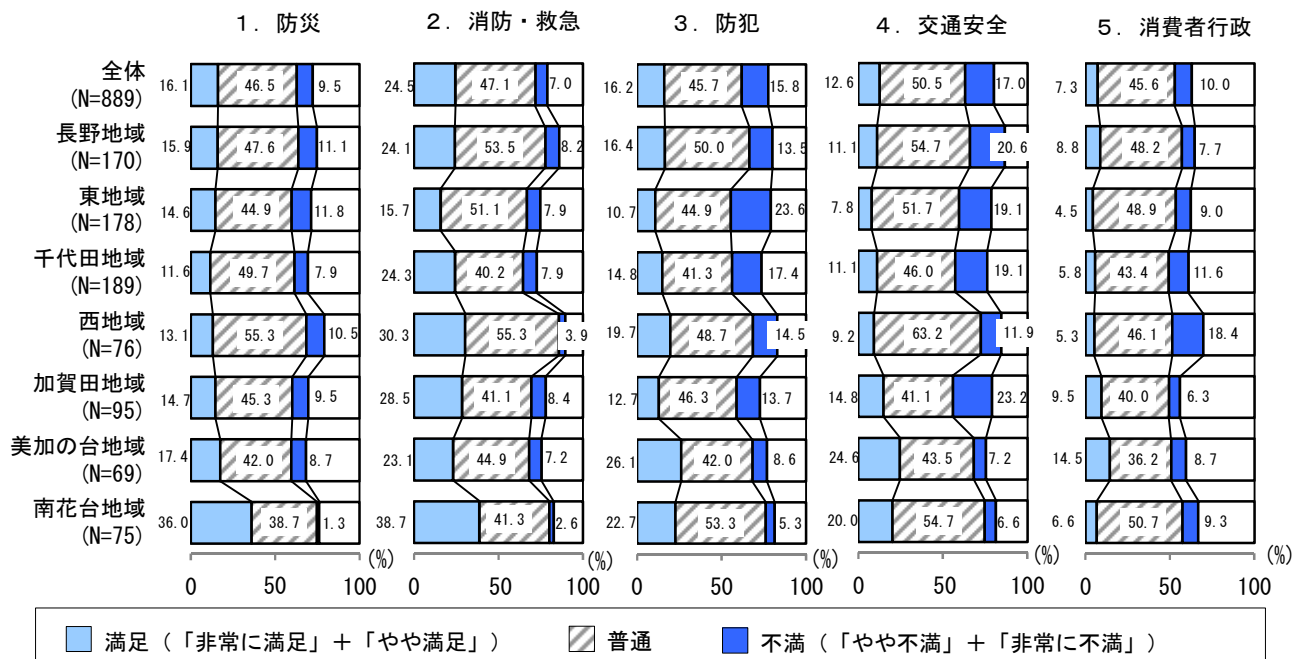
分野別でみると、【安全・安心】や【環境】などで満足度が高い傾向にあるが、【産業】や【協働・行財政】などは満足度が低い傾向にある。

【安全・安心】



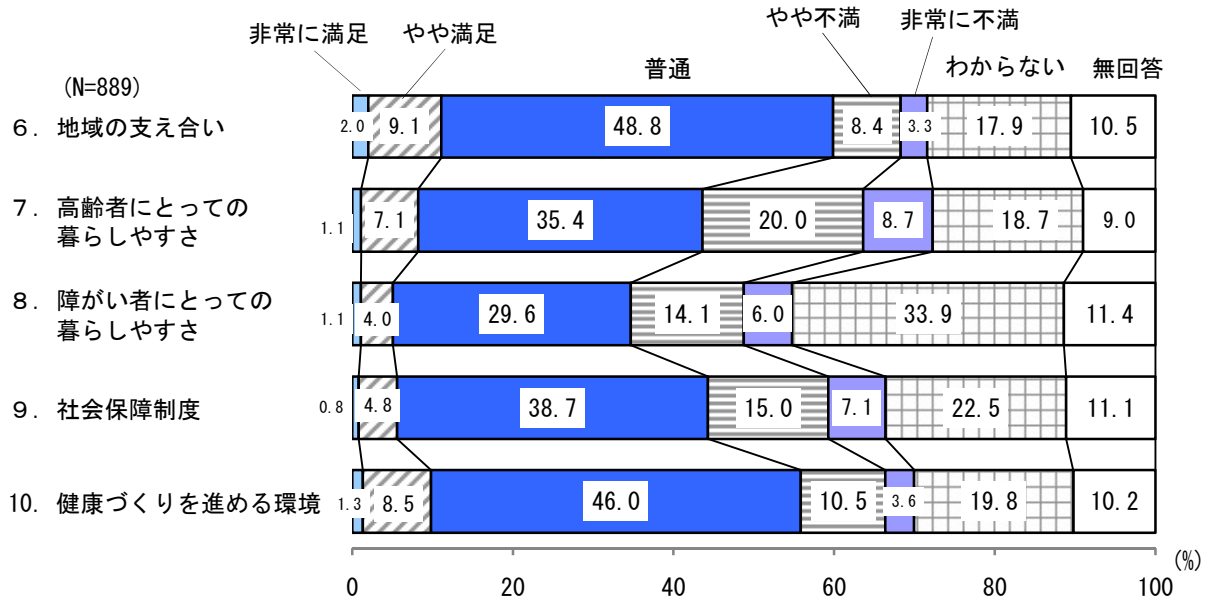
【安全・安心】の分野について、[消防・救急]が『満足』割合で24.5%、「非常に満足」では5.5%と他の項目に比べ高い。一方、『不満』割合で[交通安全]が17.0%、[消費者行政]が10.0%となっており、それぞれ『満足』割合を上回っている。

■ 地域別



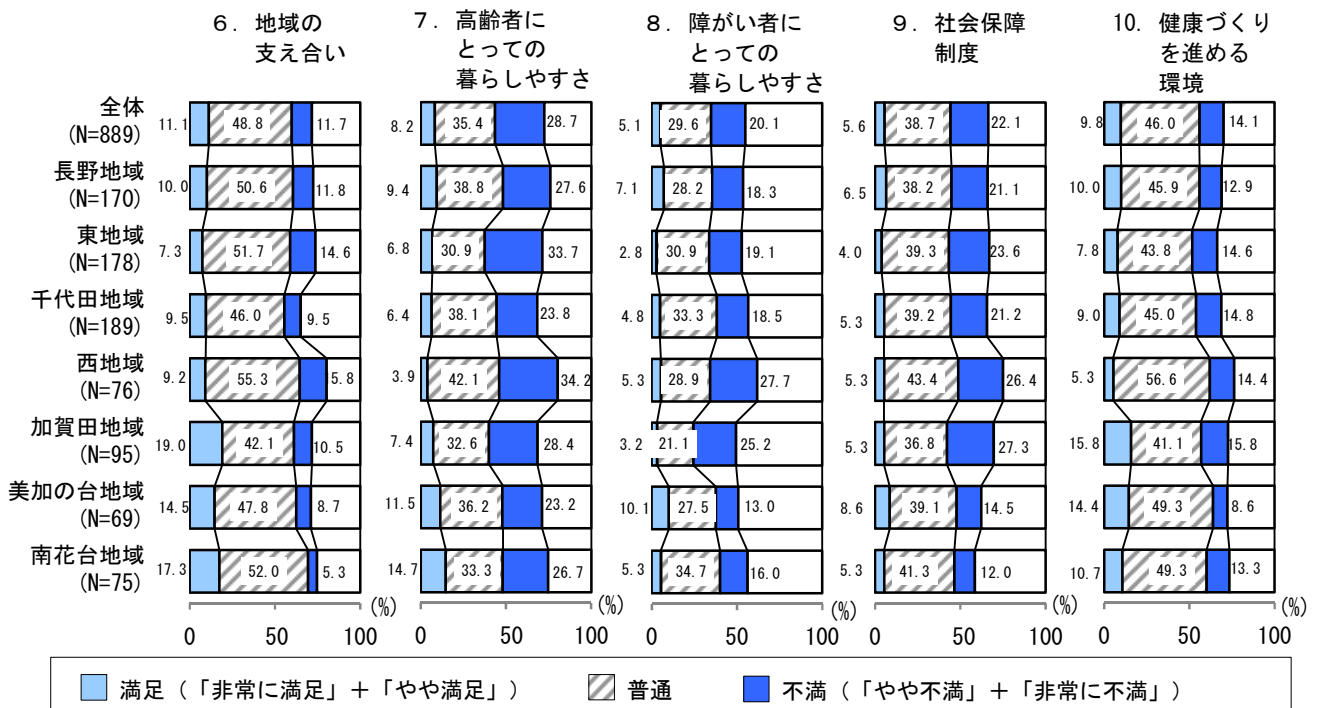
地域別でみると、『満足』割合は、[防災]と[消防・救急]で南花台地域（36.0%、38.7%）が、[防犯]や[交通安全]、[消費者行政]で美加の台地域（26.1%、24.6%、14.5%）が、それぞれ他の地域に比べ高くなっている。一方、『不満』割合では、[防犯]は東地域（23.6%）、[消費者行政]は西地域（18.4%）が、それぞれ他の地域に比べ高くなっており、[交通安全]では加賀田地域（23.2%）や長野地域（20.6%）、東地域（19.1%）、千代田地域（19.1%）が2割前後と高くなっている。

【福祉・健康】



【福祉・健康】の分野について、いずれの項目も『満足』割合より『不満』割合のほうが上回っており、なかでも「高齢者にとっての暮らしやすさ」の『不満』割合は28.7%と高くなっている。

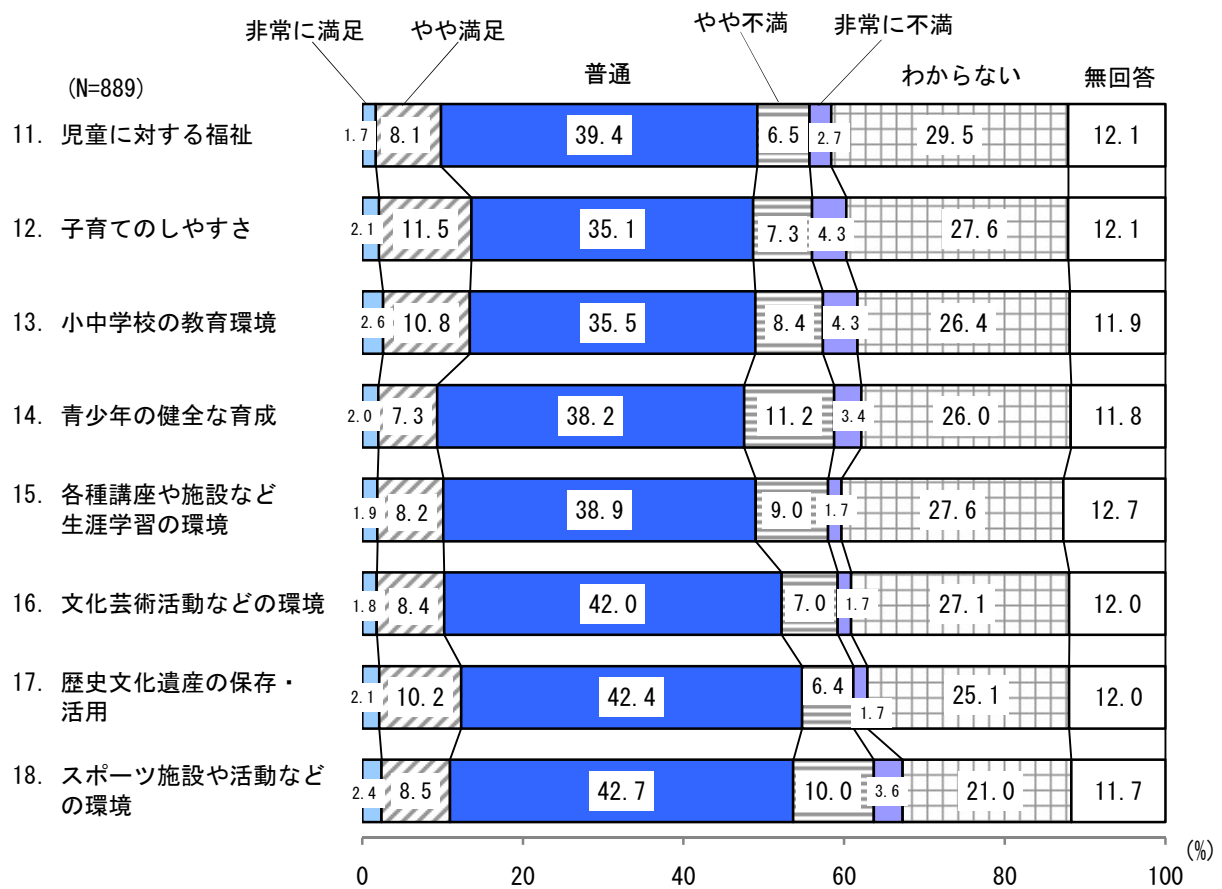
■ 地域別



地域別でみると、いずれの項目も『満足』割合が2割未満と低くなっている。

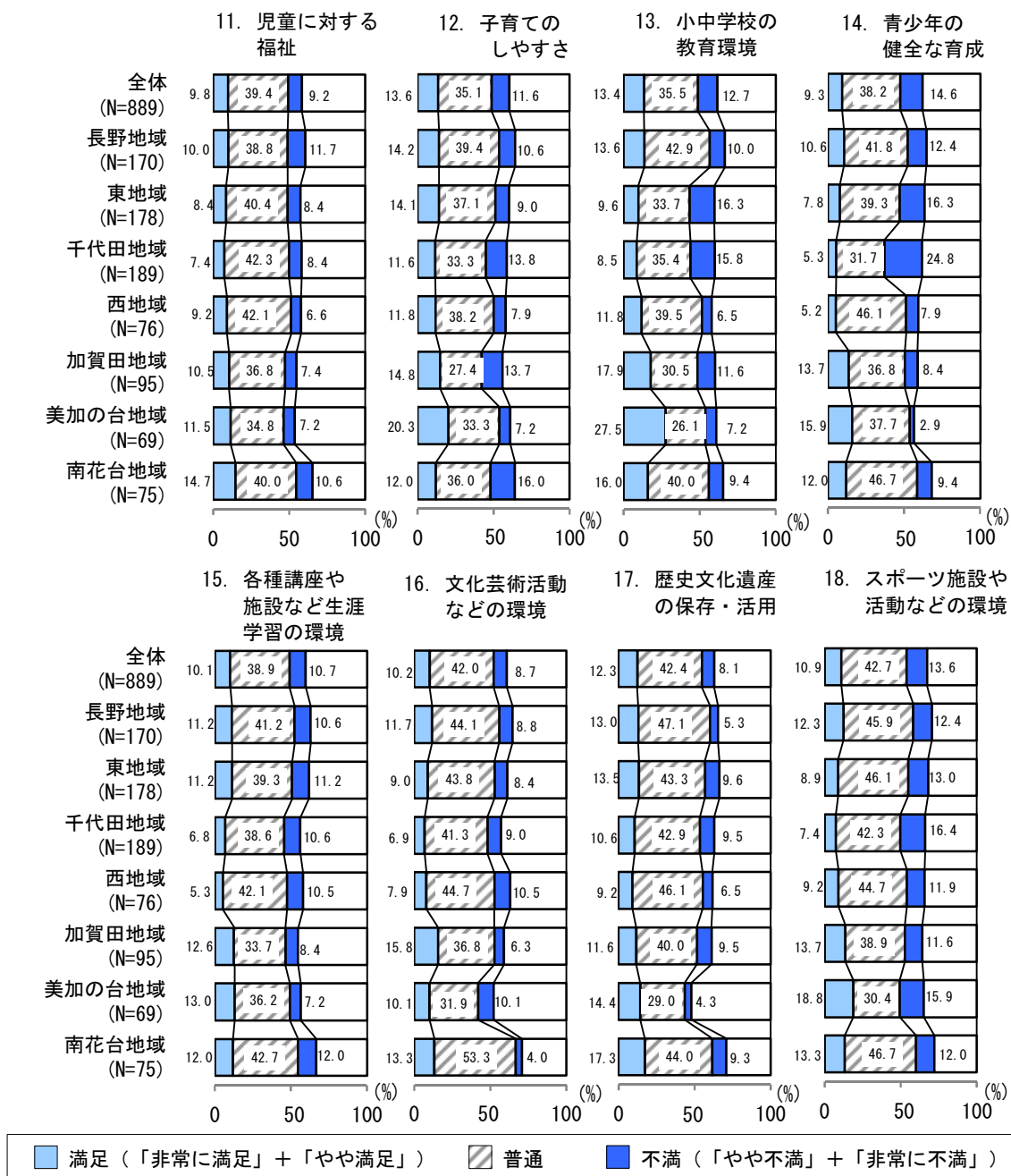
一方の『不満』割合では、「高齢者にとっての暮らしやすさ」がすべての地域も2割以上と高く、なかでも東地域と西地域は3割台となっている。「障がい者にとっての暮らしやすさ」と「社会保障制度」については、西地域と加賀田地域が『不満』割合で25%以上となっており、他の地域に比べ高くなっている。

【子育て・教育・生涯学習】



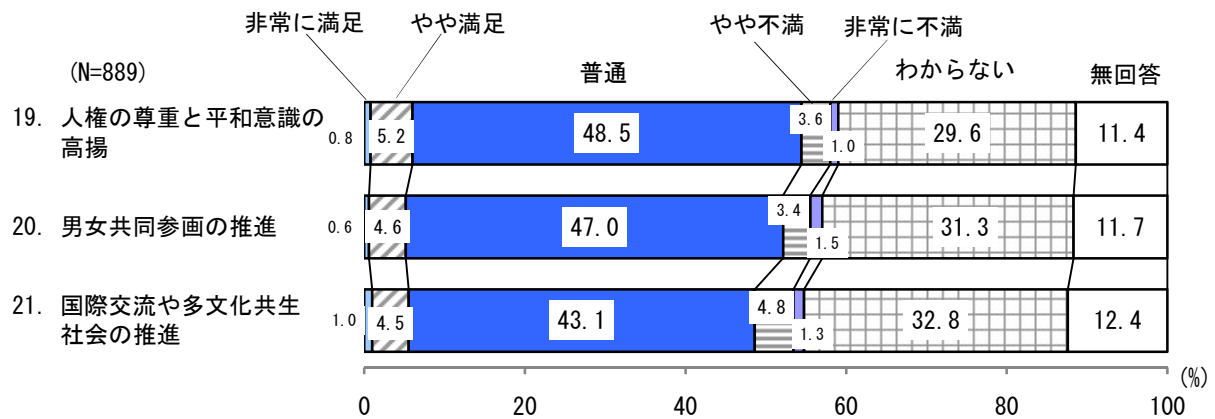
【子育て・教育・生涯学習】の分野について、『満足』割合では、[子育てのしやすさ]が13.6%で最も高く、次いで[小中学校の教育環境]が13.4%、[歴史文化遺産の保存・活用]が12.3%となっている。一方、『不満』割合では、[青少年の健全な育成]が14.6%、[スポーツ施設や活動などの環境]が13.6%となっており、それぞれ『満足』割合を上回っている。

■ 地域別



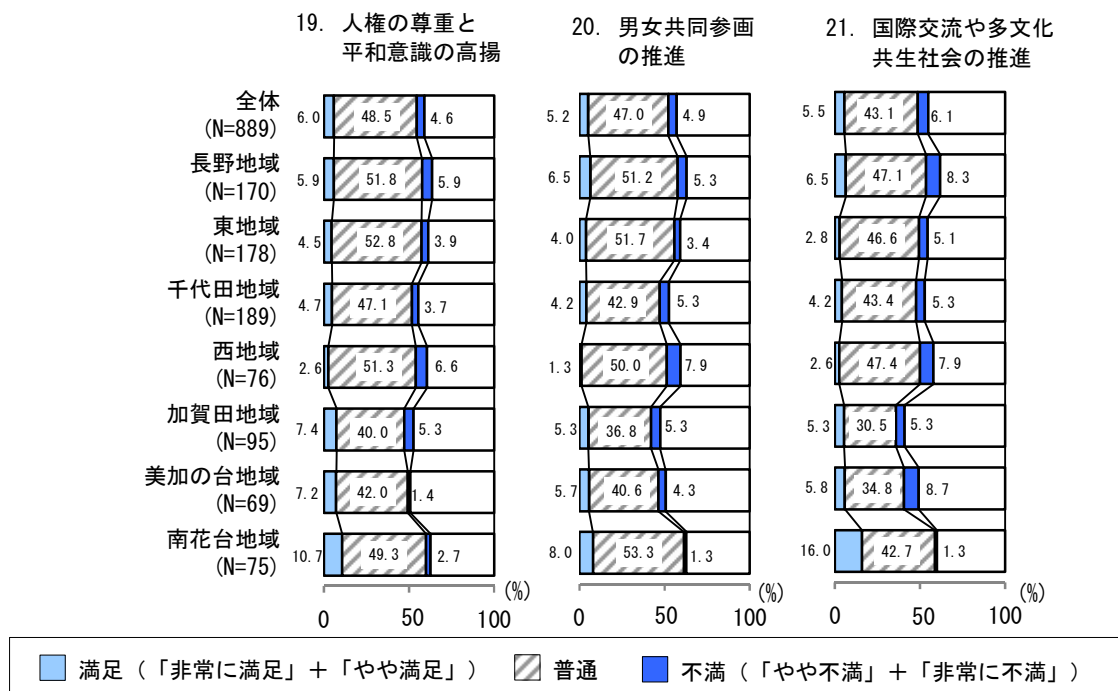
地域別でみると、『満足』割合は、[子育てのしやすさ] や [小中学校の教育環境]、[スポーツ施設や活動などの環境] で美加の台地域が他の地域に比べ高くなっており、なかでも [小中学校の教育環境] は27.5%と高くなっている。一方、『不満』割合では、[青少年の健全な育成] で千代田地域が24.8%と高くなっている。

【人権】



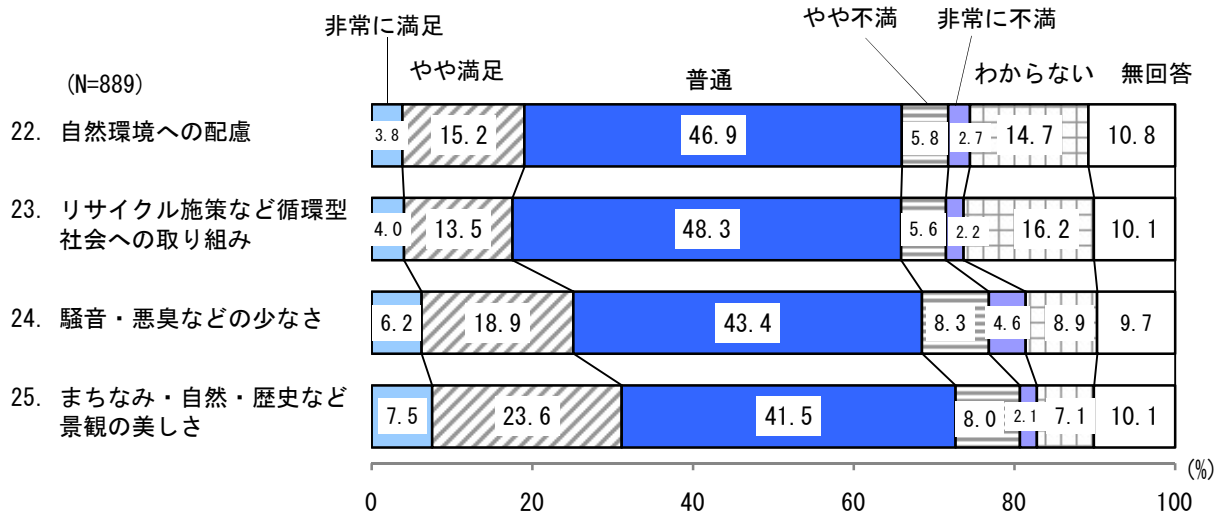
【人権】の分野について、いずれの項目も『満足』・『不満』の割合に、ほとんど差はみられない。

■ 地域別



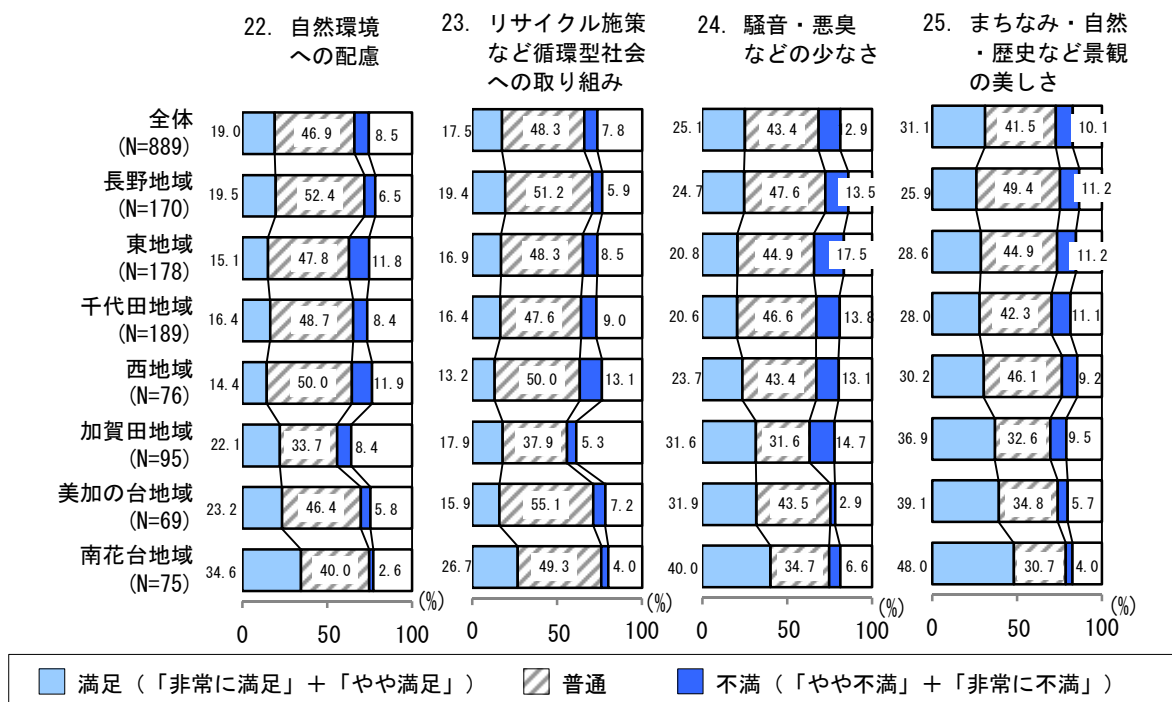
地域別でみると、『満足』割合は、[国際交流や多文化共生社会の推進]で南花台地域が16.0%と他の地域に比べて高くなっている。

【環境】



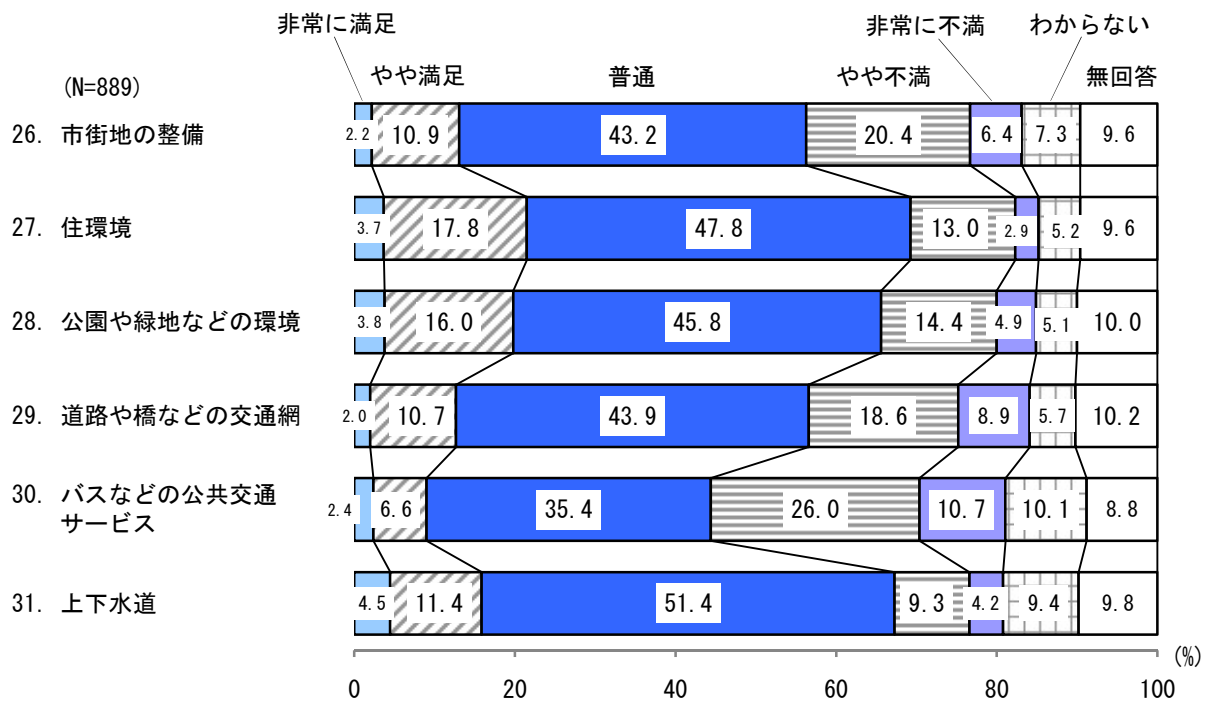
【環境】の分野について、『満足』割合が、[まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ] で31.1%、[騒音・悪臭などの少なさ] で25.1%と多くなっている。

■ 地域別



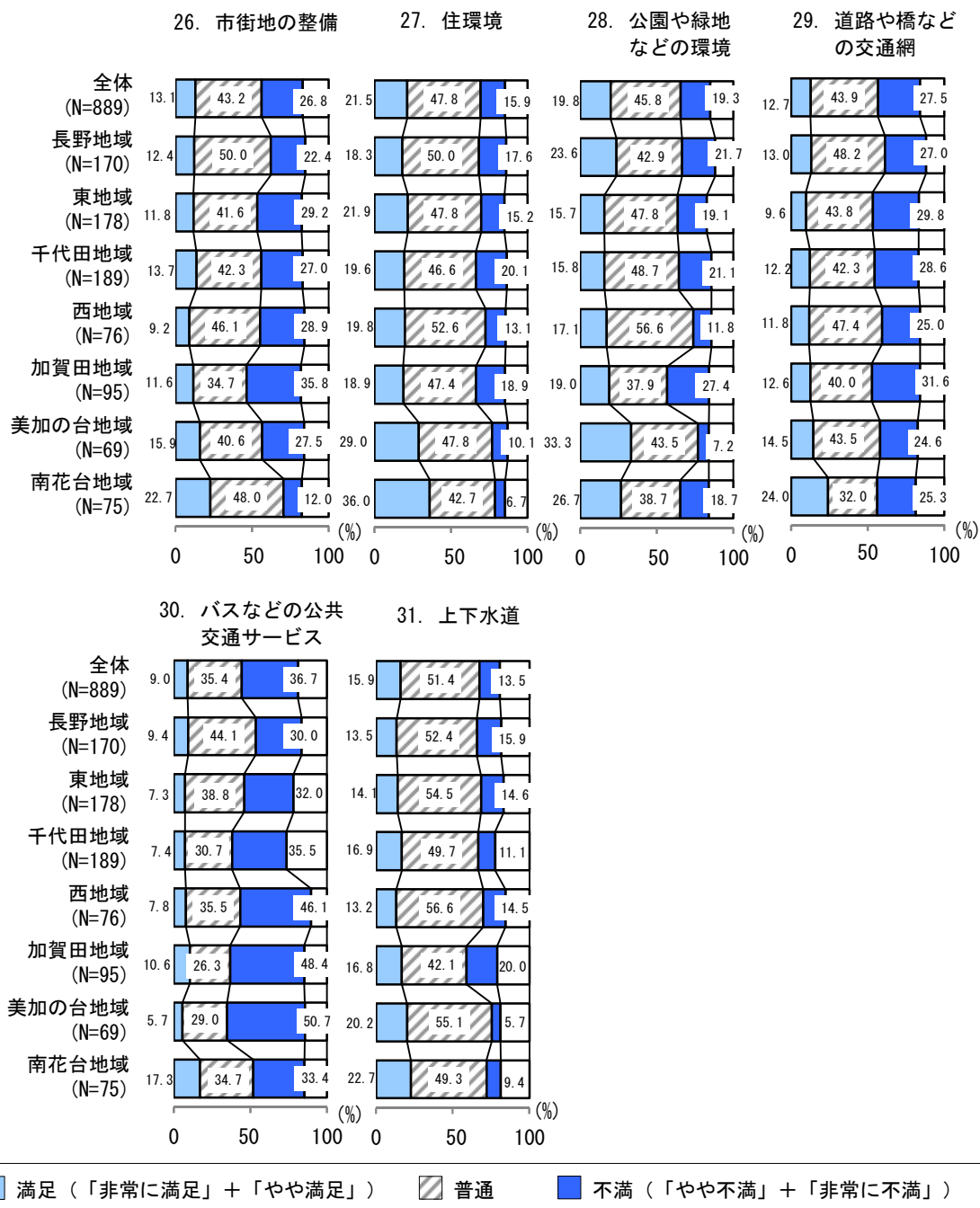
地域別でみると、いずれの項目も南花台地域の『満足』割合が最も高くなっており、なかでも[まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ]が48.0%と高くなっている。これに続いて、[自然環境への配慮]や[騒音・悪臭などの少なさ]、[まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ]では、美加の台地域と加賀田地域の『満足』割合が高くなっている。

【都市基盤】



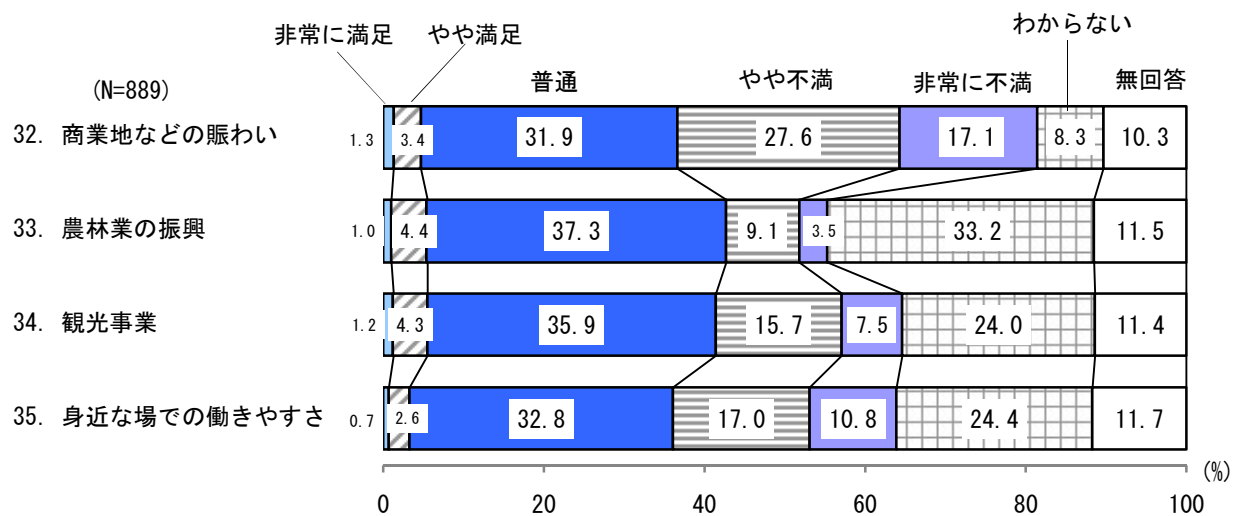
【都市基盤】の分野について、『満足』割合は、[住環境]と[公園や緑地などの環境]で2割前後と高くなっている。一方、『不満』割合では、[バスなどの公共交通サービス]が36.7%で最も高く、次いで[道路や橋などの交通網]が27.5%、[市街地の整備]が26.8%となっており、それぞれ『満足』割合を上回っている。

■ 地域別



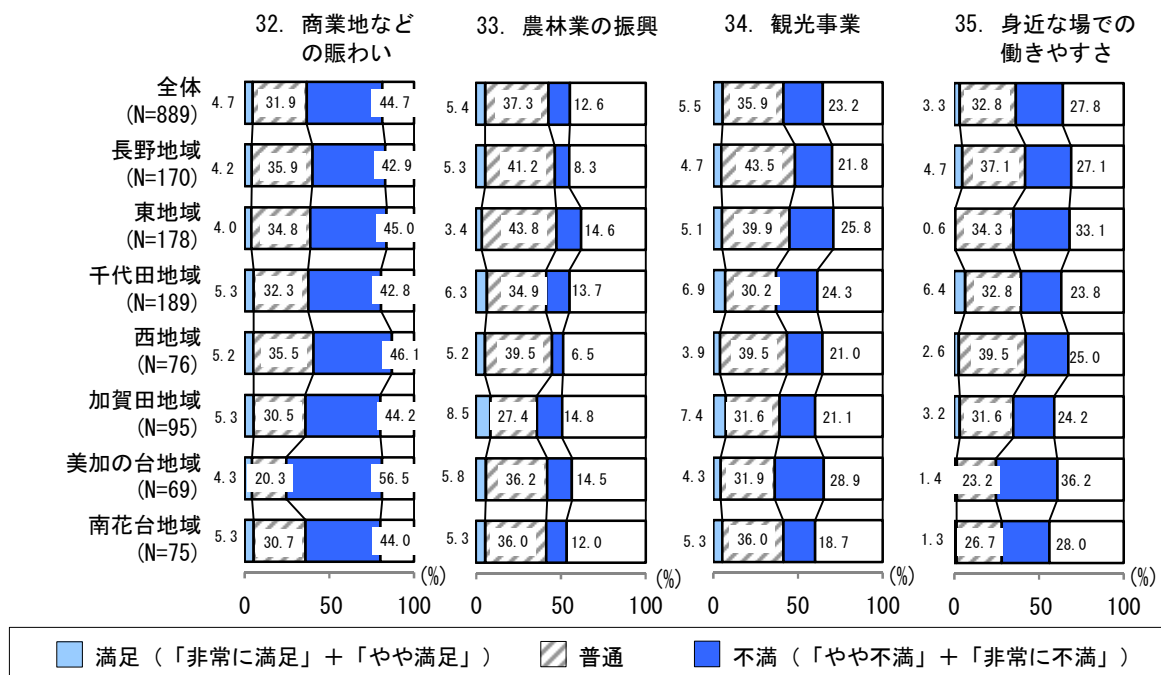
地域別でみると、『満足』割合は、[公園や緑地などの環境]で美加の台地域が33.3%と最も高くなっており、それ以外の項目では南花台地域が最も高く、なかでも[住環境]は36.0%となっている。一方、『不満』割合では、[市街地の整備]や[公園や緑地などの環境]、[上下水道]で加賀田地域が他の地域に比べ高くなっている。また、[道路や橋などの交通網]は、いずれの地域も『不満』割合が2～3割台と高くなっており、[バスなどの公共交通サービス]では、いずれの地域も『不満』割合が3割以上で、美加の台地域が50.7%、加賀田地域が48.4%、西地域が46.1%となっている。

【産業】



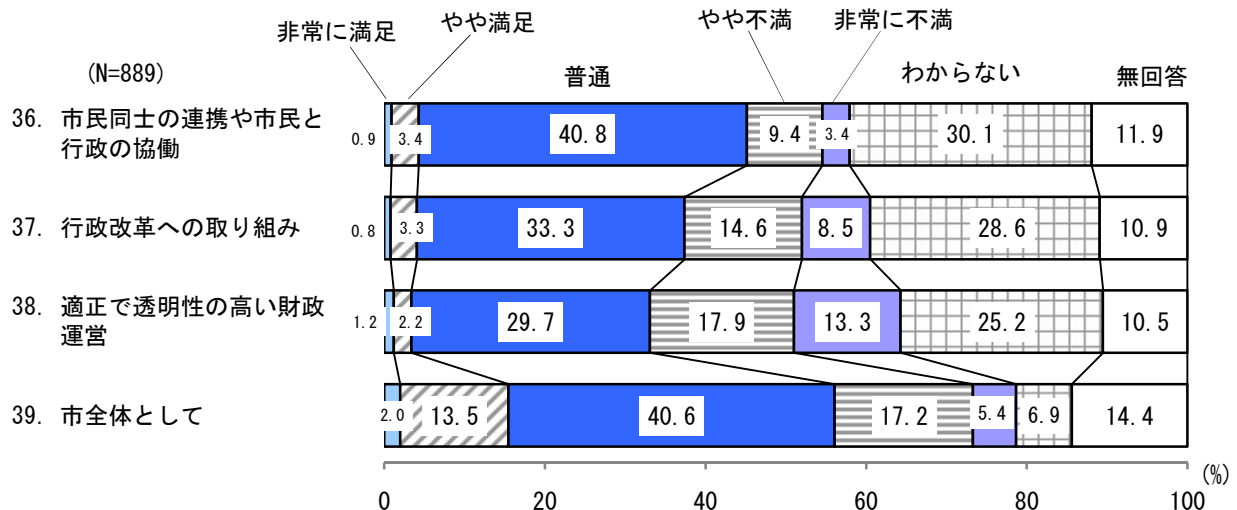
【産業】の分野について、いずれの項目も『不満』割合が多くなっており、なかでも「商業地などの賑わい」は44.7%と高く、「非常に不満」で17.1%を占めている。

■ 地域別



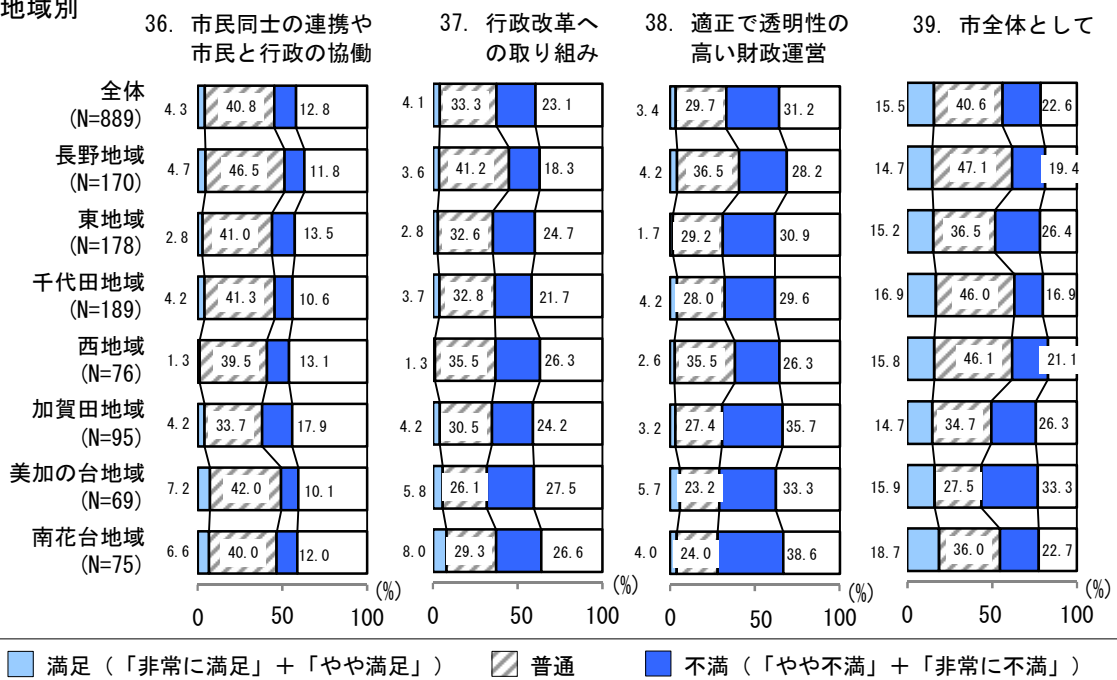
地域別でみると、『不満』割合が、いずれの地域も「商業地などの賑わい」で4～5割台、「観光事業」で2割程度、「身近な場での働きやすさ」で2～3割台と高くなっており、美加の台地域はそれぞれ56.5%、28.9%、36.2%と他の地域に比べ高くなっている。

【協働・行財政、市全体として】



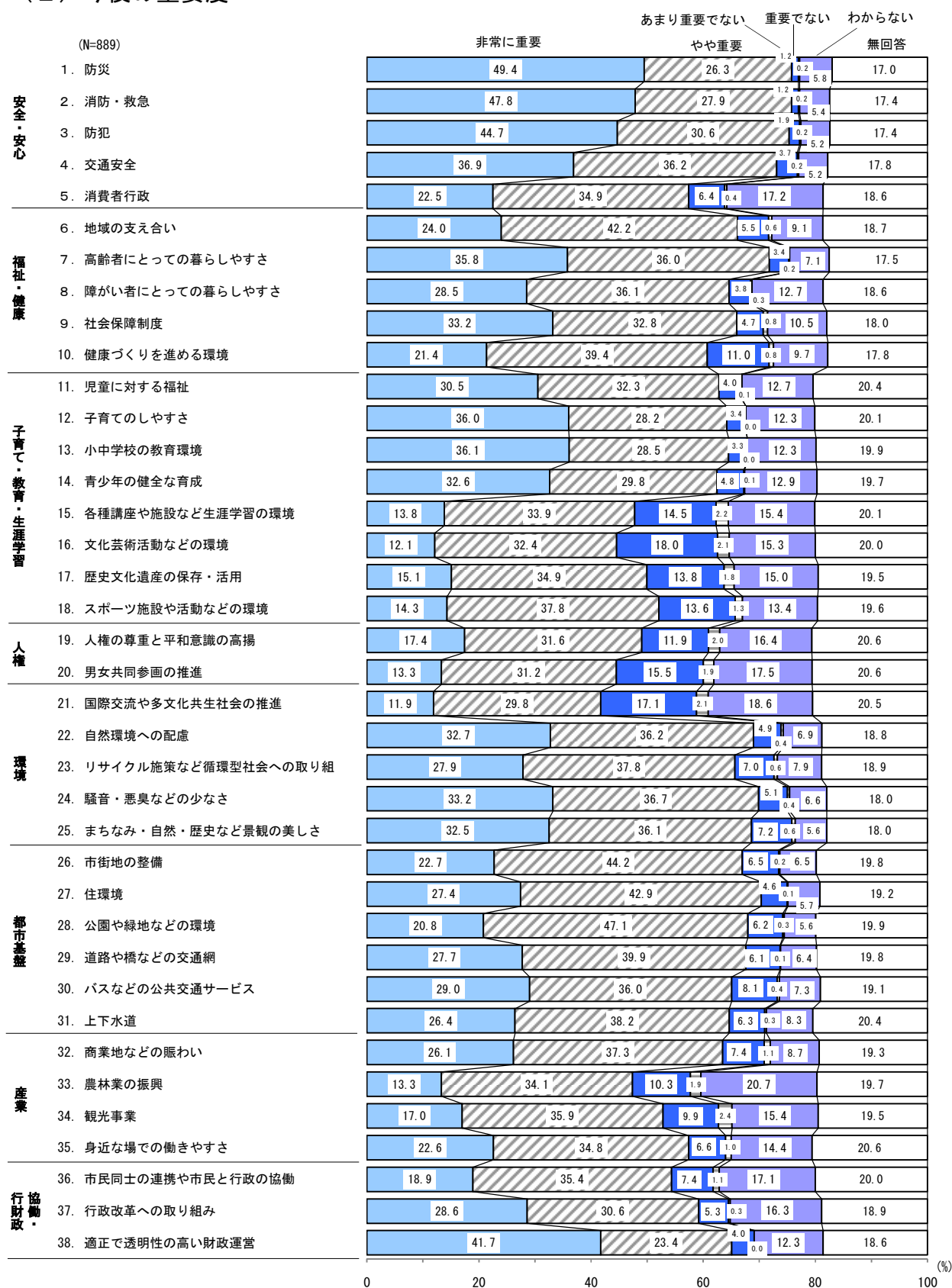
【協働・行財政、市全体として】の分野について、『不満』割合が、[適正で透明性の高い財政運営]で31.2%と最も高く、次いで[行政改革への取り組み]で23.1%、[市民同士の連携や市民と行政の協働]で12.8%となっており、いずれの項目も『満足』割合より上回っている。[市全体として]は、『満足』割合が15.5%に対し、『不満』割合は22.6%となっており、『不満』のほうが多くなっている。

■ 地域別



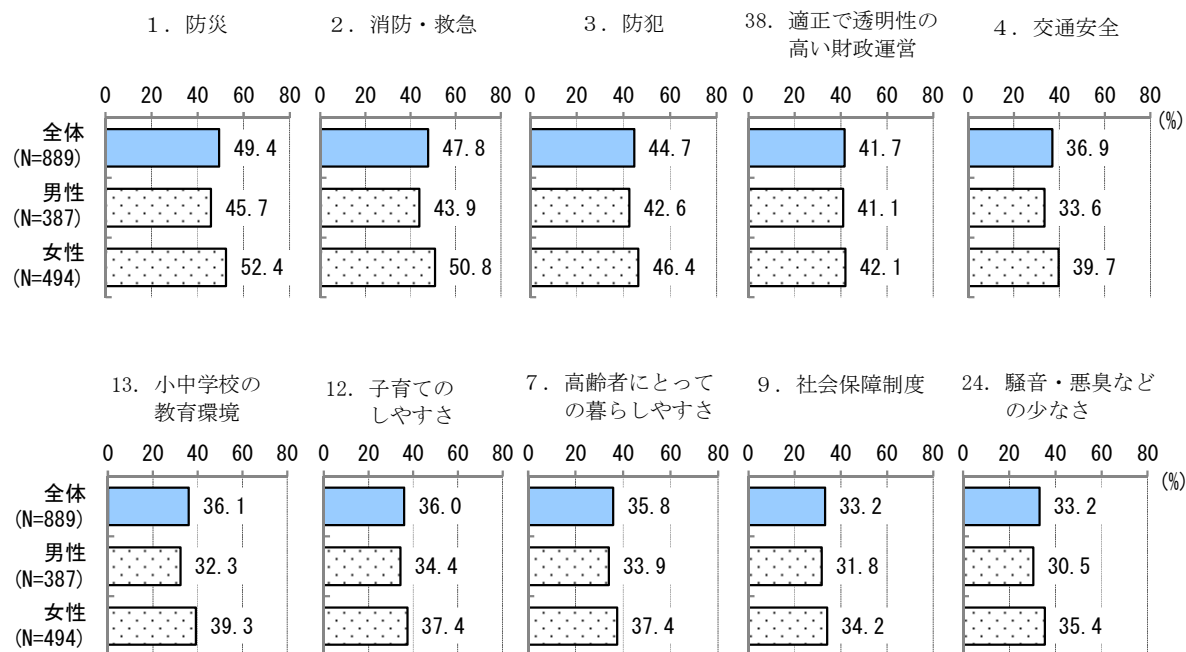
地域別でみると、『不満』割合は、いずれの地域も[行政改革への取り組み]で2割程度、[適正で透明性の高い財政運営]で3割前後を占めている。また、[適正で透明性の高い財政運営]の『不満』割合は、南花台地域が38.6%で最も高く、次いで加賀田地域が35.7%、美加の台地域が33.3%と高くなっている。[市全体として]では、いずれの地域も『満足』割合は1割台を占めているが、千代田地域を除く地域では『不満』割合のほうが上回っており、なかでも美加の台地域は33.3%と高くなっている。

(2) 今後の重要度



『重要』（「非常に重要」と「やや重要」の合計：以下同じ）割合では、[防災]と[消防・救急]がともに75.7%で最も高く、次いで[防犯]が75.3%、[交通安全]が73.1%、[高齢者にとっての暮らしやすさ]が71.8%となっている。

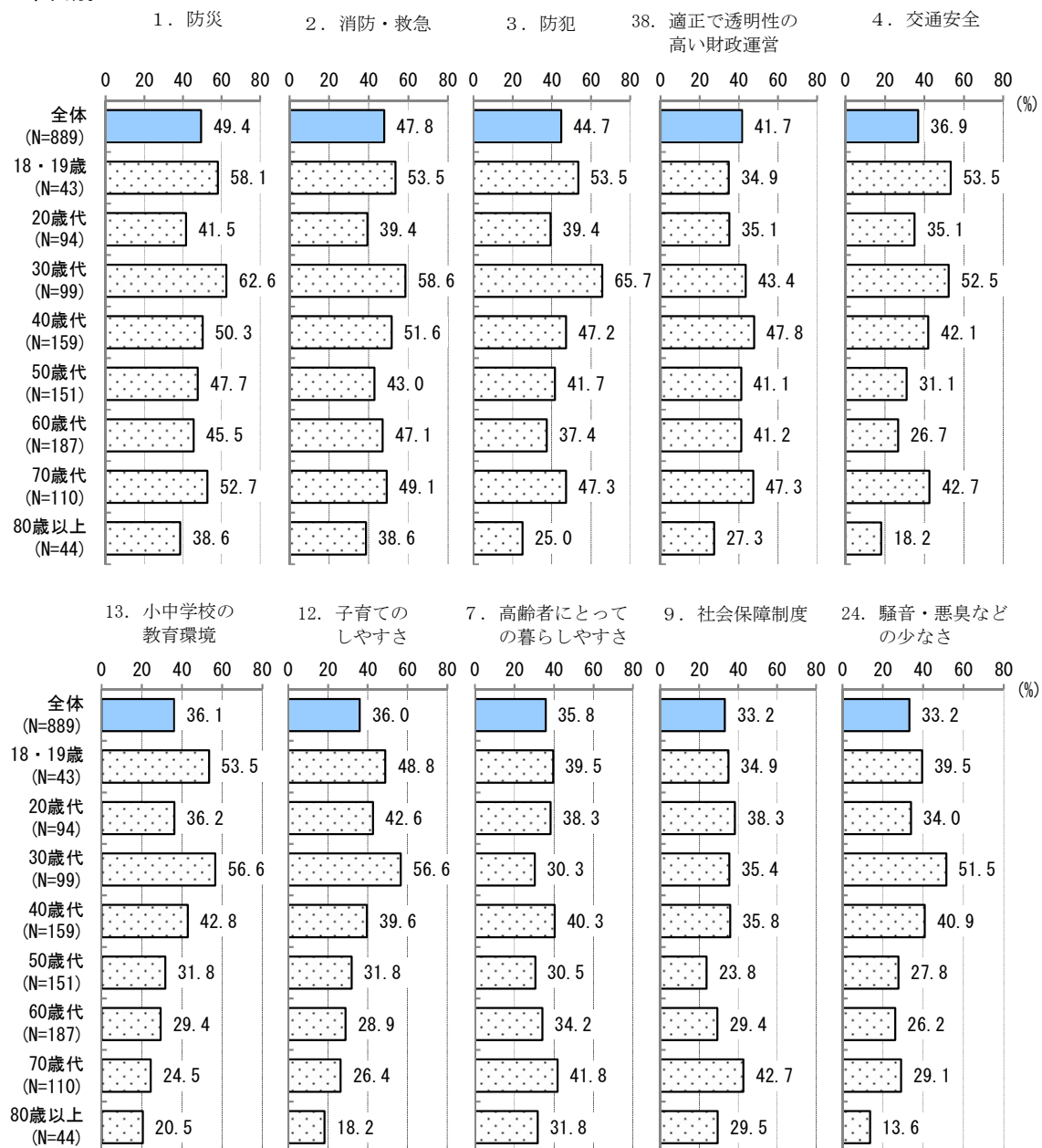
■ 性別



※「非常に重要」の上位10項目のみ表示。

市の政策の重要度について、5段階評価のうち「非常に重要」の回答のみを抽出し、上位10項目を性別でみると、いずれの項目も「非常に重要」の割合は、男性に比べ女性のほうが高くなっており、[小中学校の教育環境]では7.0ポイント差、[消防・救急]では6.9ポイント差、[防災]では6.7ポイント差となっている。

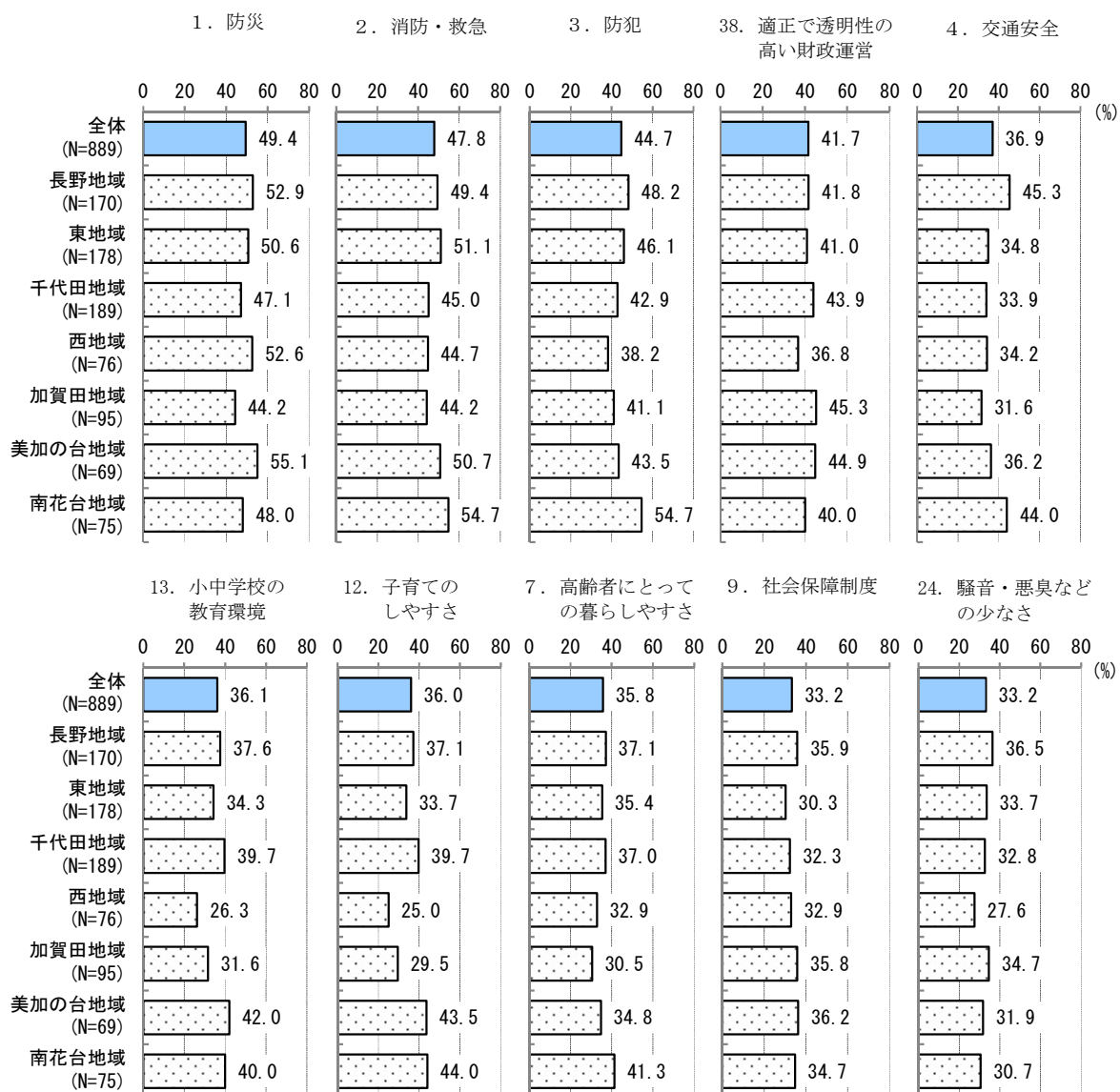
■ 年代別



※「非常に重要」の上位10項目のみ表示。

「非常に重要」の上位10項目を年代別でみると、18・19歳は「防災」が58.1%で最も多く、続いて「消防・救急」や「防犯」、「交通安全」、「小中学校の教育環境」がいずれも53.5%となっている。20歳代は「子育てのしやすさ」が42.6%で最も多く、次いで「防災」が41.5%、「消防・救急」が39.4%となっている。30歳代では「防犯」が65.7%で最も多く、次いで「防災」が62.6%、「消防・救急」が58.6%となっており、「小中学校の教育環境」と「子育てのしやすさ」も56.6%と多くなっている。40歳以上の年代になると、「防災」と「消防・救急」が1番目と2番目に多くなっている。

■ 地域別



※「非常に重要」の上位10項目のみ表示。

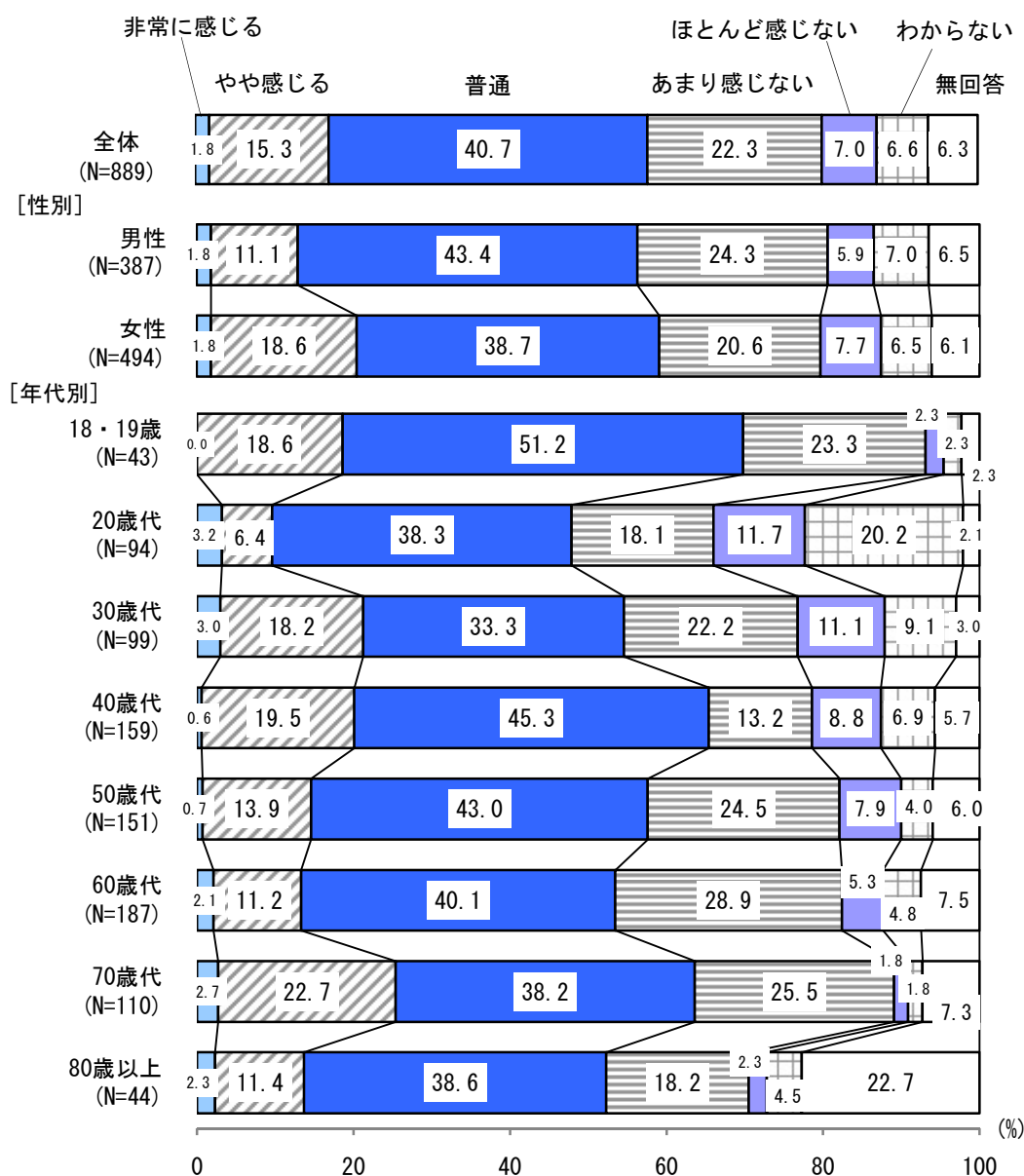
「非常に重要」の上位10項目を地域別でみると、南花台地域は「防犯」と「高齢者にとっての暮らしやすさ」がそれぞれ54.7%、41.3%で他の地域に比べ高くなっている。また、長野地域と南花台地域は「交通安全」がそれぞれ45.3%、44.0%で他の地域に比べ高く、美加の台地域と南花台地域では「小中学校の教育環境」と「子育てのしやすさ」が4割台となっている。

(3) 河内長野市に関する意識

問38 あなたは、次の項目について、どのように感じていますか。各項目についてあなたのお考えに近い番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

①地域のまちづくり活動が充実していると感じているか

■ 性別・年代別

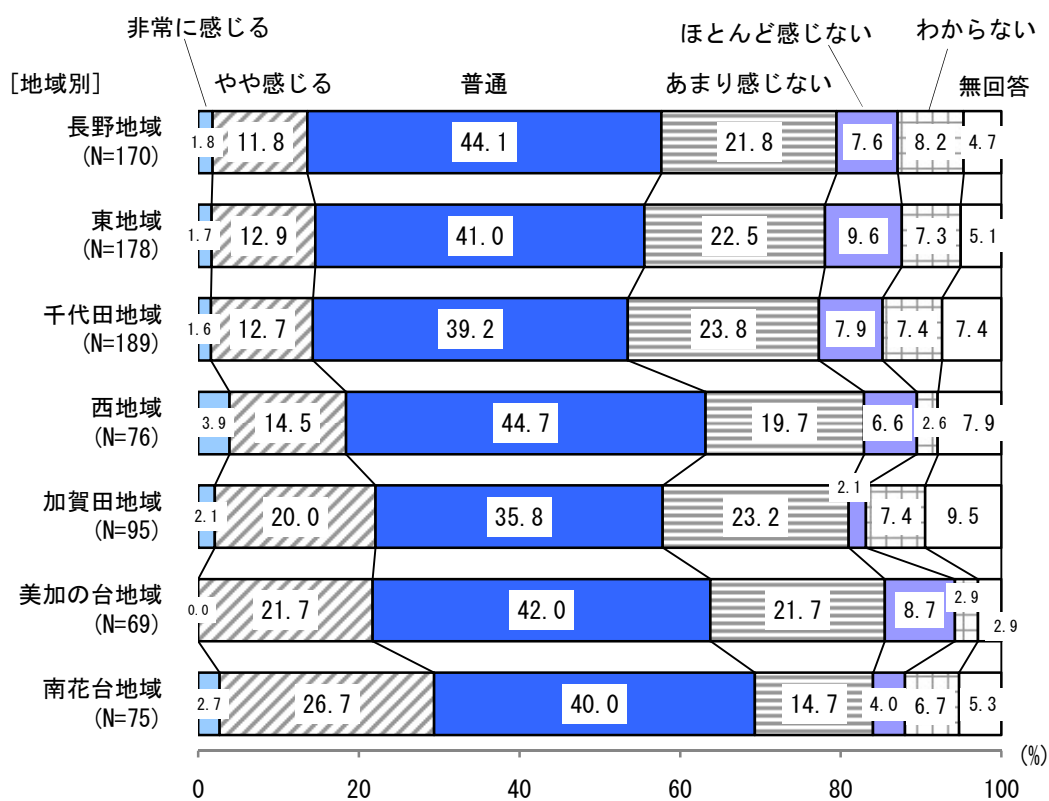


地域のまちづくり活動が充実していると感じるかについて、『感じる』（「非常を感じる」と「やや感じる」の合計：以下同じ）割合が17.1%に対し、『感じない』（「あまり感じない」と「ほとんど感じない」の合計：以下同じ）割合は29.3%となっており、充実していないと感じる人のほうが多くなっている。

性別でみると、『感じる』割合は、男性12.9%、女性20.4%で、女性のほうが多い。

年代別でみると、『感じる』割合は、70歳代が25.4%で最も高く、次いで30歳代が21.2%、40歳代が20.1%となっている。

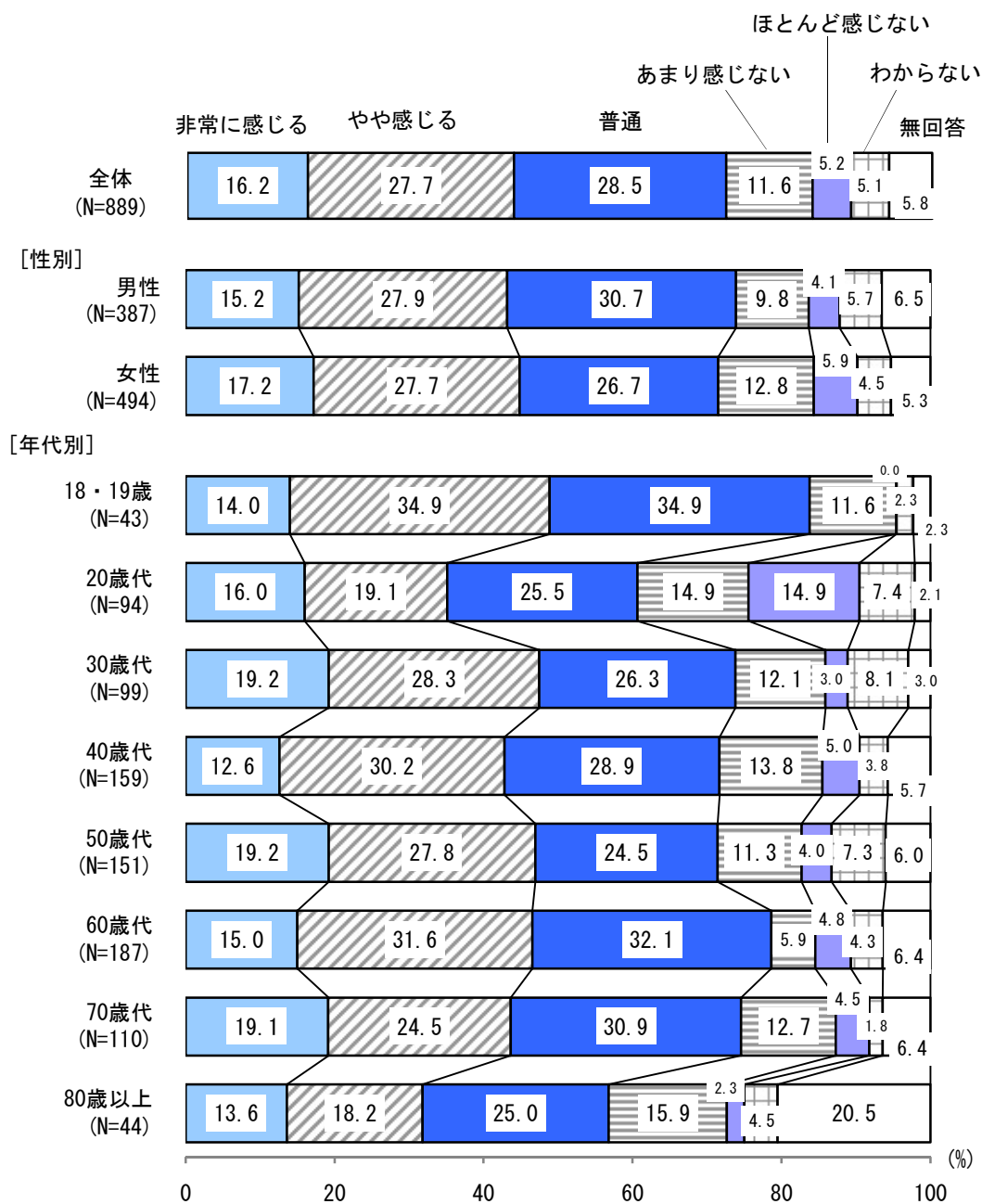
■ 地域別



地域別でみると、『感じる』割合は、南花台地域が29.4%と高く、『感じない』割合に比べ10.7ポイント多くなっている。しかし、その他の地域では『感じない』割合のほうが上回っている。

②河内長野市に住み続けたいと感じているか

■ 性別・年代別

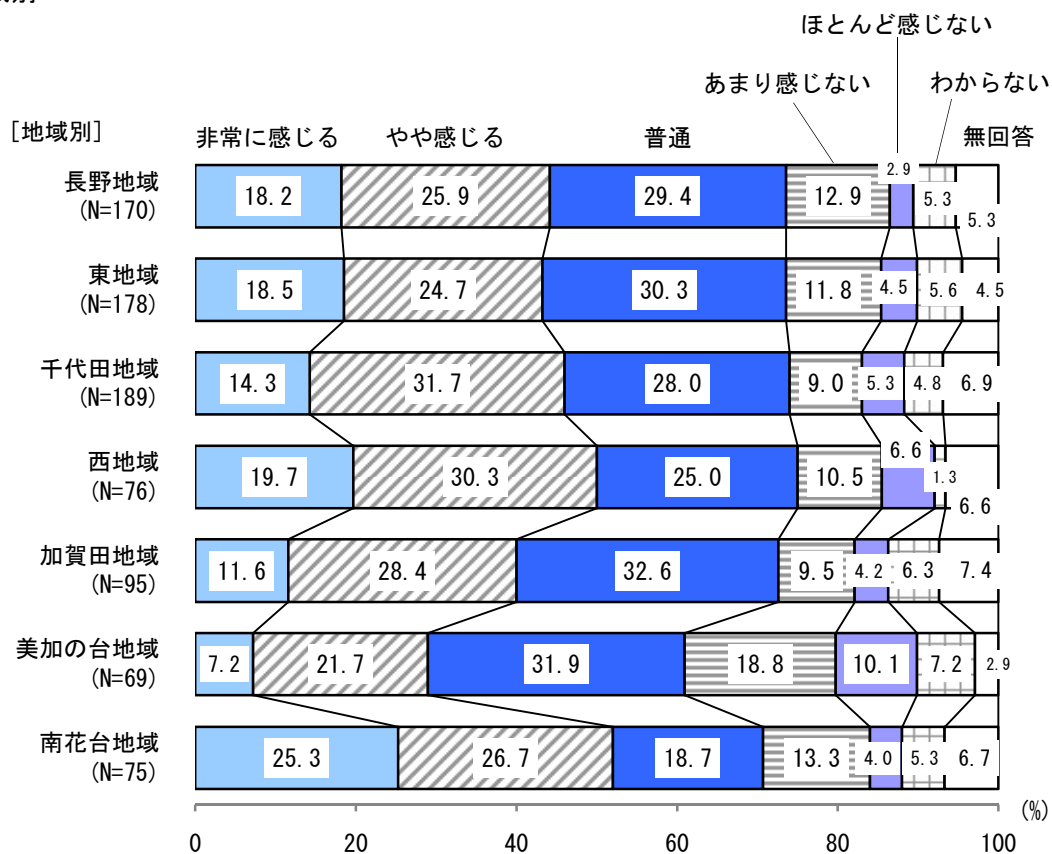


河内長野市に住み続けたいと感じているかについて、「普通」が28.5%で最も多くなっているが、『感じる』割合では43.9%と多くなっている。

性別でみると、男女とも『感じる』割合が4割台と占めており、僅かに女性のほうが高くなっている。

年代別でみると、『感じる』割合は、いずれの年代も3～4割台を占めているが、20歳代と「無回答」が多い80歳以上が3割台と他の年代に比べ低くなっており、20歳代では『感じない』割合が29.8%と他の年代に比べ10ポイント以上高くなっている。

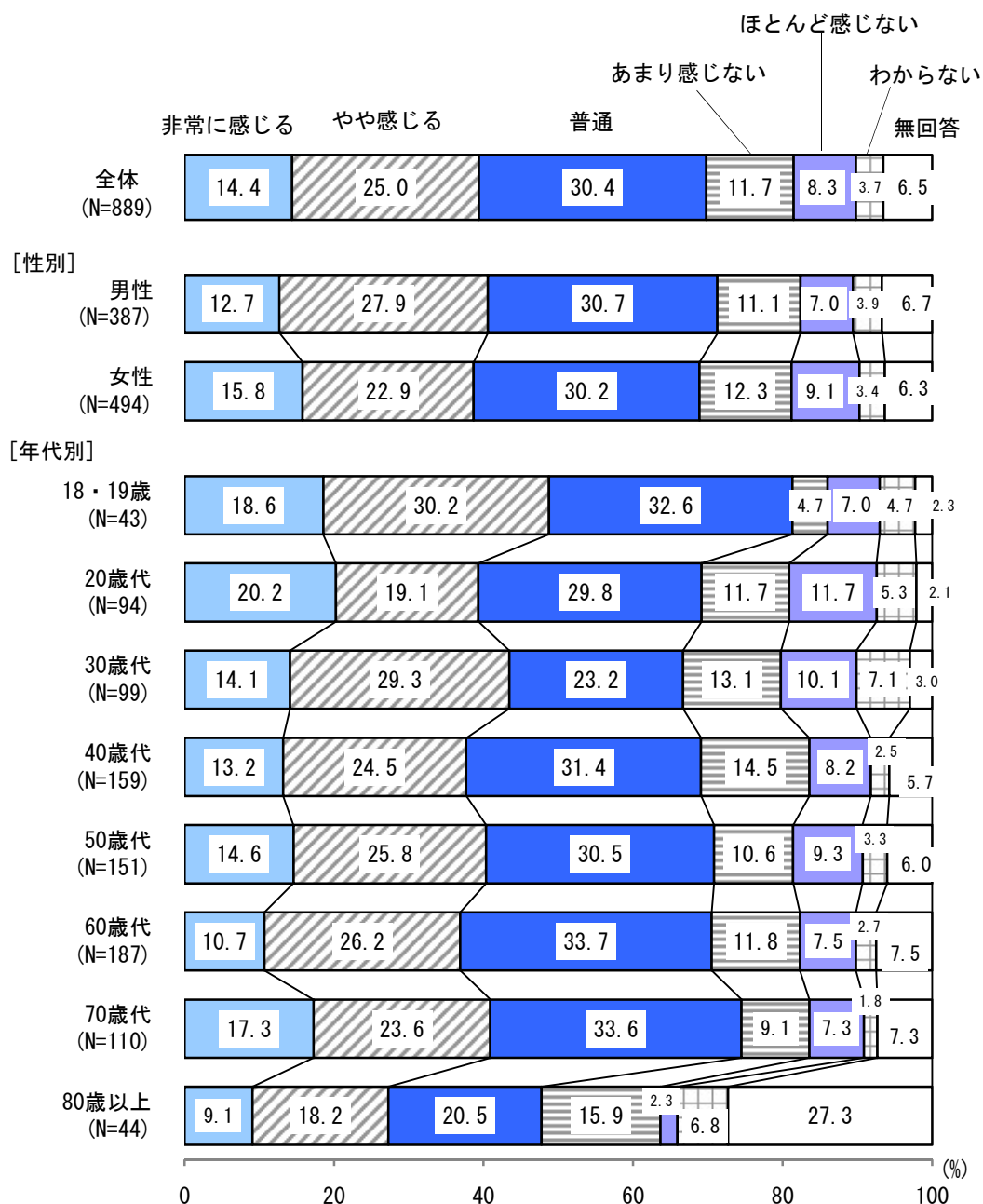
■ 地域別



地域別でみると、「非常に感じる」が南花台地域で25.3%と他の地域に比べ高くなっており、『感じる』割合では、美加の台地域を除く地域で4割以上を占め、なかでも南花台地域は52.0%、西地域は50.0%と高くなっている。美加の台地域は、『感じる』・『感じない』の割合がともに28.9%となっており、「普通」が31.9%で最も多くなっている。

③河内長野市に愛着と誇りを感じているか

■ 性別・年代別

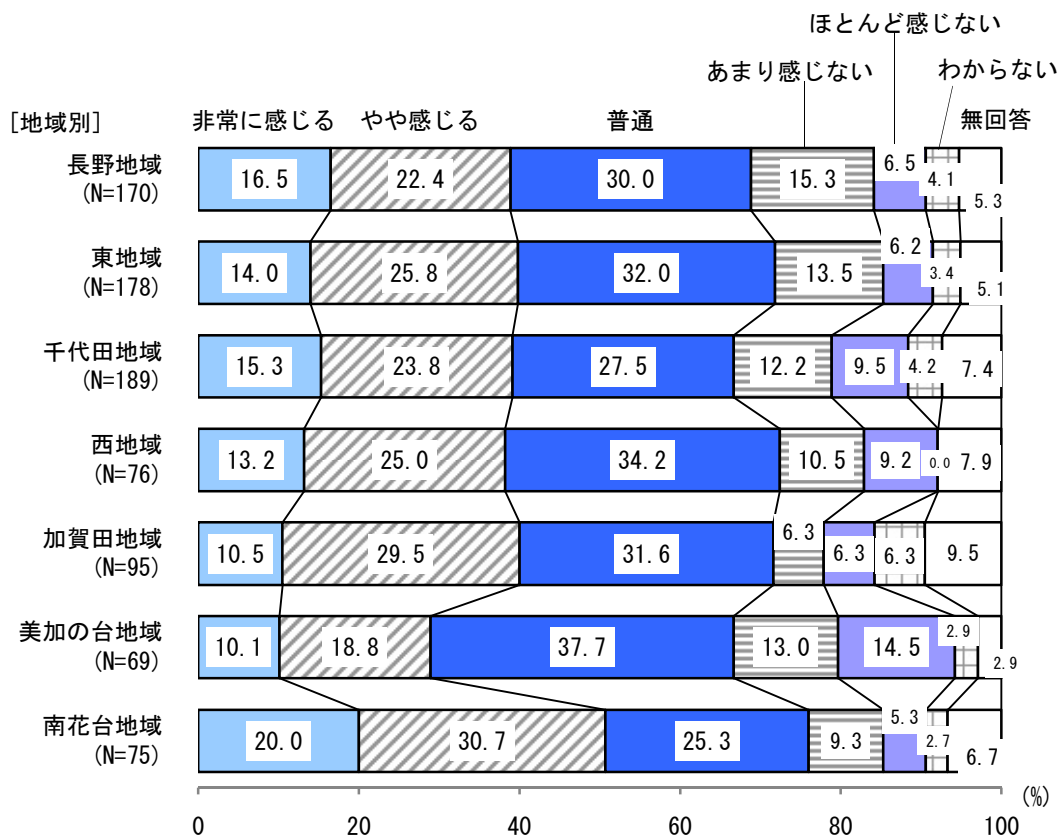


河内長野市に愛着と誇りを感じているかについて、「普通」が30.4%で最も多くなっているが、『感じる』割合は39.4%に対し、『感じない』割合は20.0%で、『感じる』割合のほうが19.4ポイント上回っている。

性別でみると、男女とも『感じる』割合が4割前後を占めており、僅かに男性のほうが高くなっている。

年代別でみると、『感じる』割合は、「無回答」が多い80歳以上を除く年代で4割前後を占めており、なかでも18・19歳が48.8%と高くなっている。

■ 地域別



地域別でみると、『感じる』割合は、長野地域や東地域、千代田地域、西地域、加賀田地域で4割前後を占めており、南花台地域では50.7%と高くなっているが、美加の台地域は28.9%と他の地域に比べ低く、『感じない』割合が27.5%と他の地域に比べ高くなっている。

IV. まとめ

1. 公共交通について

<ご近所との付き合い方>

約5割の人が「あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない」と答えており、直近1年間で近所の人と出かけたことがある人は、女性23.7%に対し、男性10.6%と低くなっている。また、近所の人への支援について「自分のできることなら、何らかのお手伝いをしてあげたい」人と「近所づきあいが少ないため、困っているかどうか気づくのが難しい」人は同程度となっているが、70歳代では「自分のできることなら、何らかのお手伝いをしてあげたい」が66.4%と他の年代に比べ高くなっている。

<ふだんの外出の状況について>

ふだんの外出状況をみると、交通手段として通勤・通学は「鉄道」が最も多いが、それ以外の目的では「自動車（運転）」が最も多くなっている。また、一人で外出する場合と比べて、誰かと一緒に外出した場合のほうが、滞在時間や消費行動が主に30～40歳代で増加傾向にあり、「楽しい」と感じる人が多くなっているが、60歳以上の年代になると「安心」と感じる人も多くなっている。ふだんの外出について、「満足」が、いずれの年代でも4～5割合で、「不満」より多くなっているが、地域により満足度に差が出ている。

また、不満と感じていることを具体的にたずねると、鉄道や道路環境に関する不満に比べて、バスに対する不満が多く、日常生活の外出の手段としてバスの重要性がうかがえる。

<路線バス等の利用状況・利用意向について>

日常生活における路線バス等の利便性について「便利」と感じる人は23.0%に対し、「不便」と感じる人は36.8%と多くなっており、地域別でみると、西地域や加賀田地域、美加の台地域で「不便」と感じる人が、それぞれ56.5%、47.3%、44.9%と高くなっている。路線バス等が不便に感じる理由として、全体的に「便数が少ない」が最も多くなっているが、20～40歳代の若年層で「時間がかかる」が、50歳以上の年代では「運賃が高い」を挙げる人が多い。また、千代田地域では「自宅からバス停が遠い」が最も多くなっている。一方で、路線バス等の地域公共交通の必要性を感じている人は全体の56.5%を占めており、特に18・19歳と60歳以上の年代で多く、これらの年代にとっては日常生活に必要性の高い移動手段と考えられる。

また、現在の本市のバス路線網の特徴である《鉄道駅を中心にバス路線網が形成された状態》については、全年代で「駅起点が妥当」や「駅周辺への外出がいちばん多いのでちょうどいい」といった肯定的意見が多い一方、60歳以上の年代では「駅ではなく市内を循環するバスが欲しい」といった要望も多くなっている。

なお、ふだんバスを利用していない人は全体の約8割を占めており、その理由として「車やバイク等の方が便利」や「歩いて目的地（駅など）へ行ける」、「便数が少なく利便性が悪い」が多くなっている。それらの人が、バスを利用するのに強く望む改善点として「便数」や「運賃」が全体的に多くなっているが、これらの点が改善された場合に利用しようと思う人は、31.5%にとどまっている。このことは、バスが車やバイク等の利便性を上回ることの難しさを示唆するものと思われるが、具体的な改善点が挙げられていることから、今後の利用環境の改善によっては、バスへの利用転換も見込まれる。

<本市に定住させるために求められる地域性について>

10年後、20年後も住み続けられるまちとして望まれることは「生活に必要な店舗・病院や公共施設が、ある程度集まっている地域」が73.1%で最も多く、徒歩圏内に必要な都市機能としても「買い回りができる機能」と「日常的な診療を受けることができる機能」が多くなっている。また、「電車やバスなどの公共交通の便が良い地域」も住み続けられるまちとして望まれる人が65.4%と多くなっている。

2. 公共施設について

<公共施設の利用状況について>

利用頻度について、[市庁舎]は「年に数回程度」で60.7%と多くなっているが、月に1回以上利用している施設では、[図書館（キックス）]が21.2%で最も多く、次いで[奥河内くろまろの郷（ビジターセンター、レストラン）]が10.1%、[市庁舎]が7.5%、[小中学校]が7.3%となっている。しかし、[市庁舎]と[図書館（キックス）]を除く公共施設を利用していない人は5割以上を占めている。利用頻度が少ない理由としては「利用する機会がなかった」が最も多く、「施設自体を知らない」が3割台となっている。

<今後の公共施設の整備の方向性について>

全体の半数以上の人々が「機能集約や複合化により、施設数を減らし、維持管理していく」方向性の考えに近く、今後必要な対策として「公共施設の機能集約や複合化を行い、施設数を減らす」取り組みや、「利用しない施設や市有地の全部又は一部を売却・賃貸し収入を得る」、「民間にできることは民間に任せ、運営コストを削減する」などの取り組みを支持する人が多くなっている。よって、機能集約や複合化により施設数を減らす対象となる公共施設は「あまり利用されていない施設」や「現在の市民ニーズにあっていない施設」が多く挙がっている。

<学校と公共施設との複合化について>

「複合化する施設（機能）を限定すれば、学校へ複合化してもよい」という考えが45.0%で最も多く、積極的な推進派が15.9%、反対派は13.5%、無回答が23.2%となっている。学校への複合化に肯定的な人が、複合化してもよいと考える公共施設として「子ども子育て総合センター（あいっく）」や「三日市幼稚園」、「千代田台保育所」といった子育て支援を主とする施設が多く挙げられている。一方、学校への複合化に否定的な人の意見として「安全性の確保」への不安が多く挙げられている。

3. 市政全般について

市の生活環境の満足度として、【安全・安心】や【環境】などの分野で満足度が高い傾向にあるが、【産業】や【協働・行財政】などの分野は満足度が低い傾向にある。

市の施策として重要度が高いものは、[防災][消防・救急][防犯][交通安全]といった【安全・安心】の分野が主に重視されている。他にも【環境】や【都市基盤】の分野も重要度が高くなっており、【福祉・健康】の分野では「高齢者にとっての暮らしやすさ」が比較的高くなっている。

地域のまちづくり活動が充実していると感じる人は全体で17.1%となっており、性別では女性が20.4%と高く、年代別では70歳代が25.4%、地域別では南花台地域が29.4%で、それぞれ最も高くなっている。

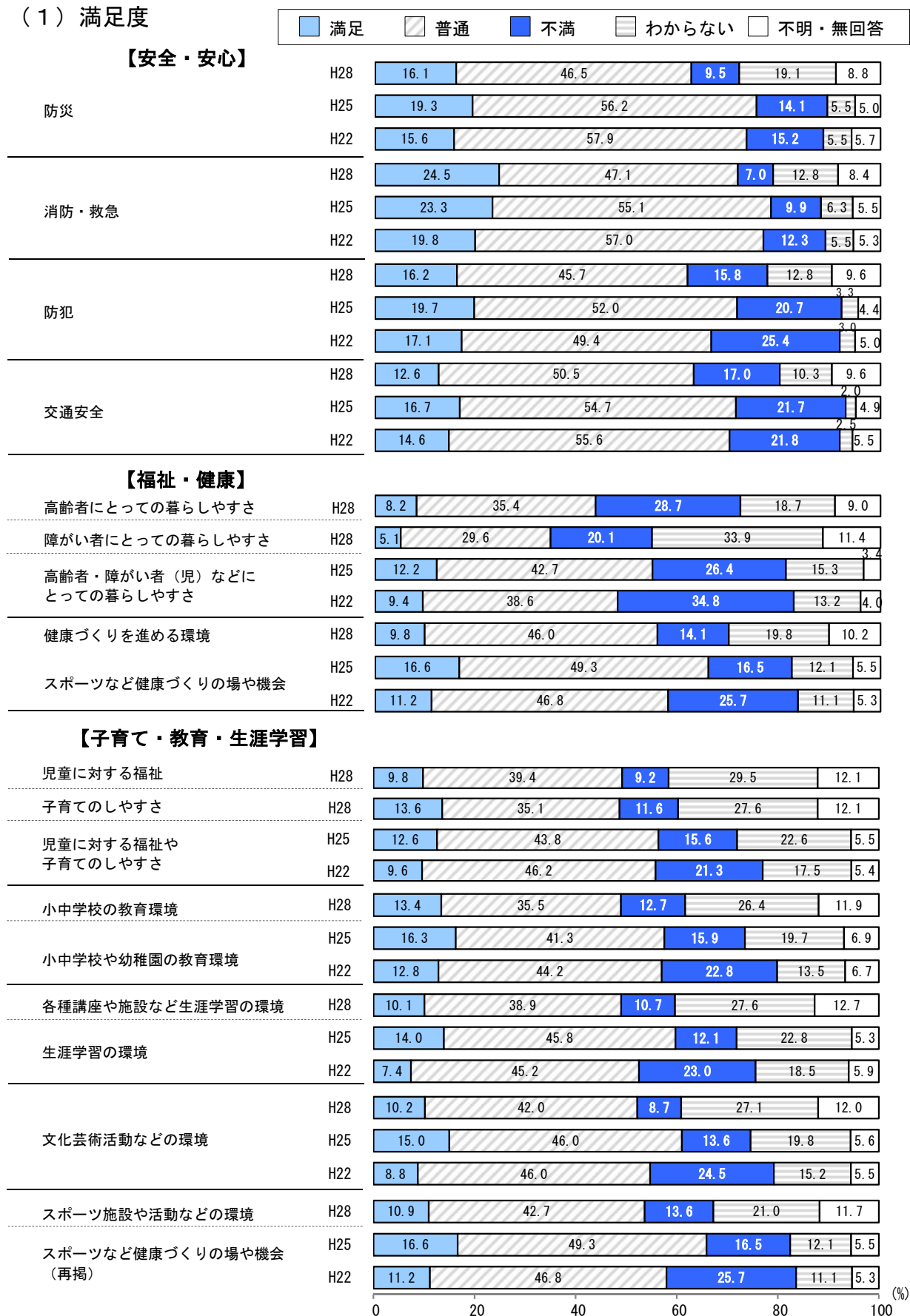
市に住み続けたいと感じている人は全体で43.9%を占めており、地域別でみると西地域と南花台地域は5割台と高くなっているが、美加の台地域は28.9%と他の地域に比べ低くなっている。

市に愛着と誇りを感じている人は全体で39.4%を占めており、年代別では18・19歳が48.8%で最も高く、地域別でみると南花台地域が50.7%を占めているが、美加の台地域は28.9%と他の地域に比べ低くなっている。

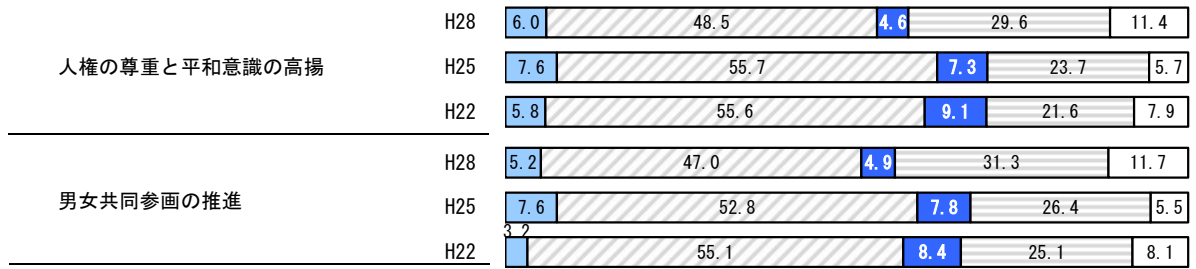
4. 経年比較

河内長野市の生活環境の満足度・重要度を問う質問は、昨年度の調査から内容を変更しているため、過去調査とは質問項目が異なる。

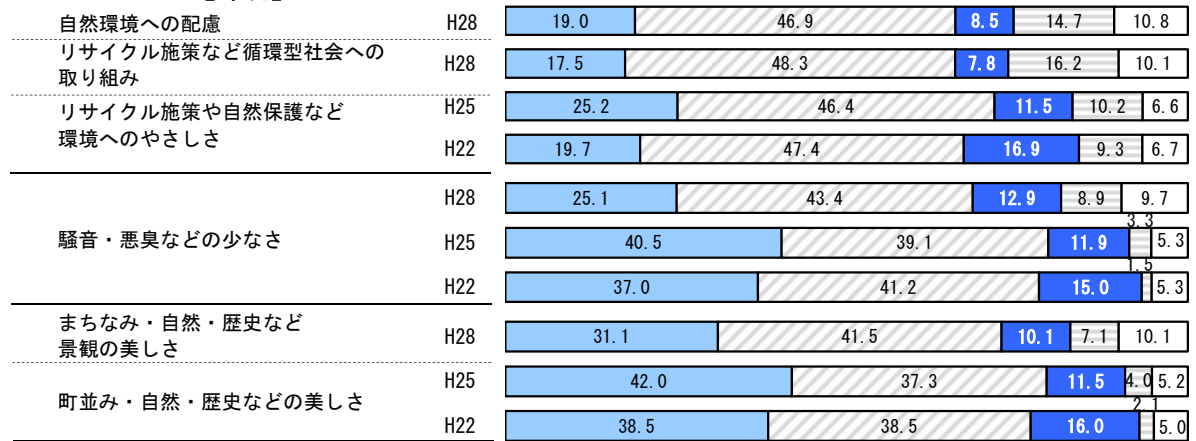
(1) 満足度



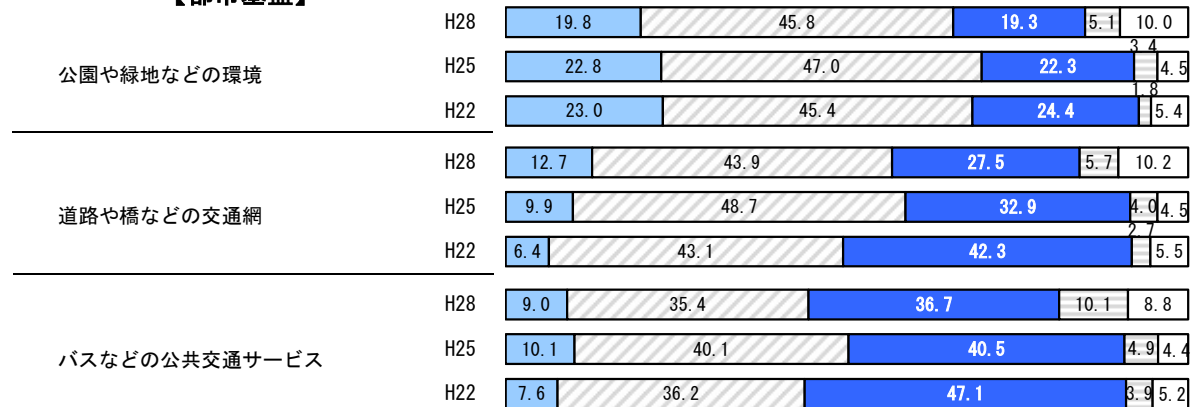
【人権】



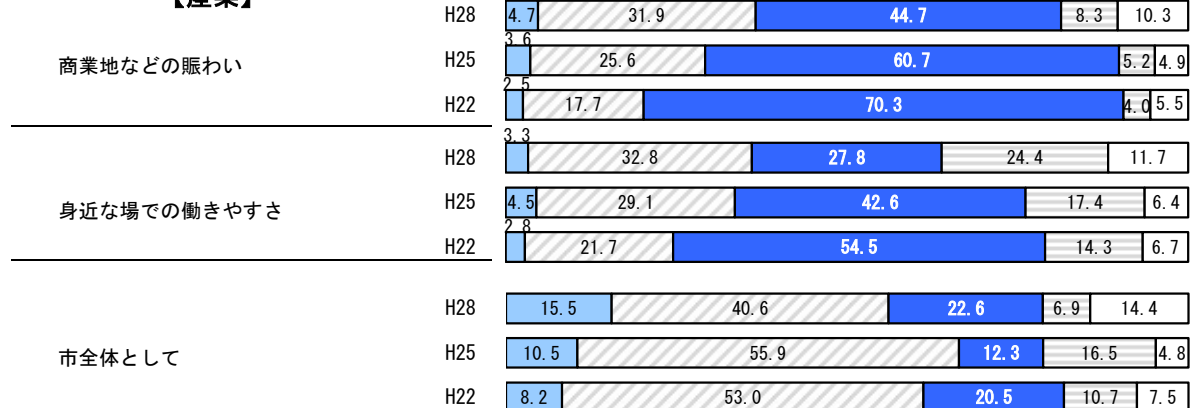
【環境】



【都市基盤】



【産業】

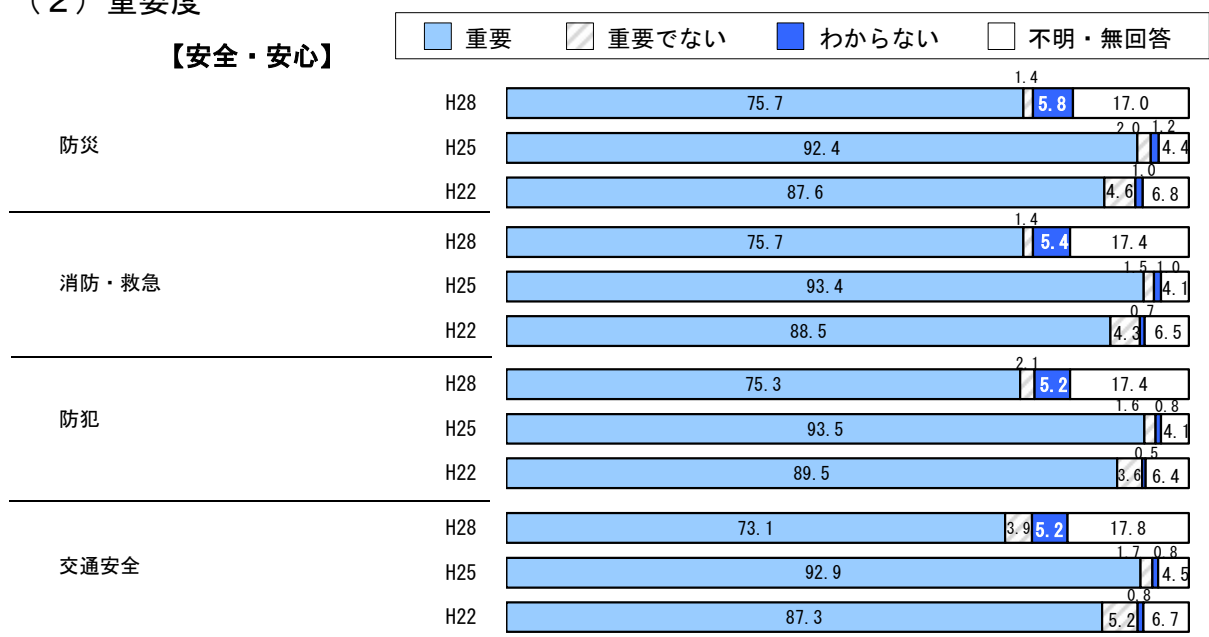


0 20 40 60 80 100 (%)

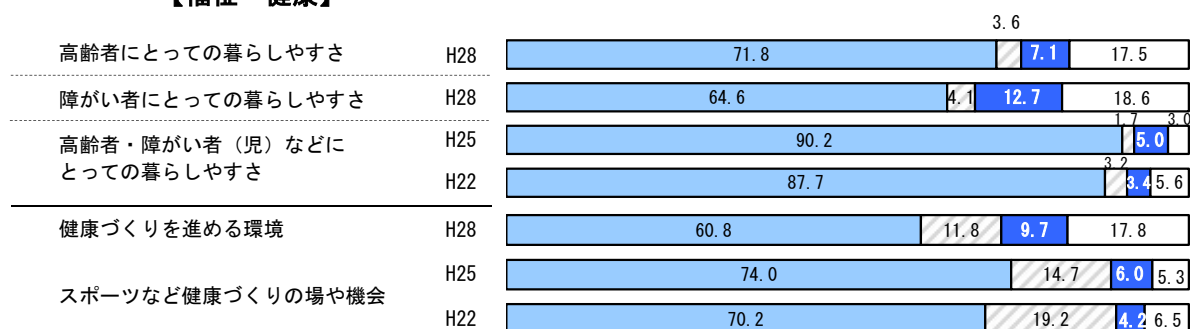
参考のために比較可能な項目を満足度について経年比較すると、多くの項目で「不満」の割合が減少しているが、「わからない」の割合の上昇が目立つ。

(2) 重要度

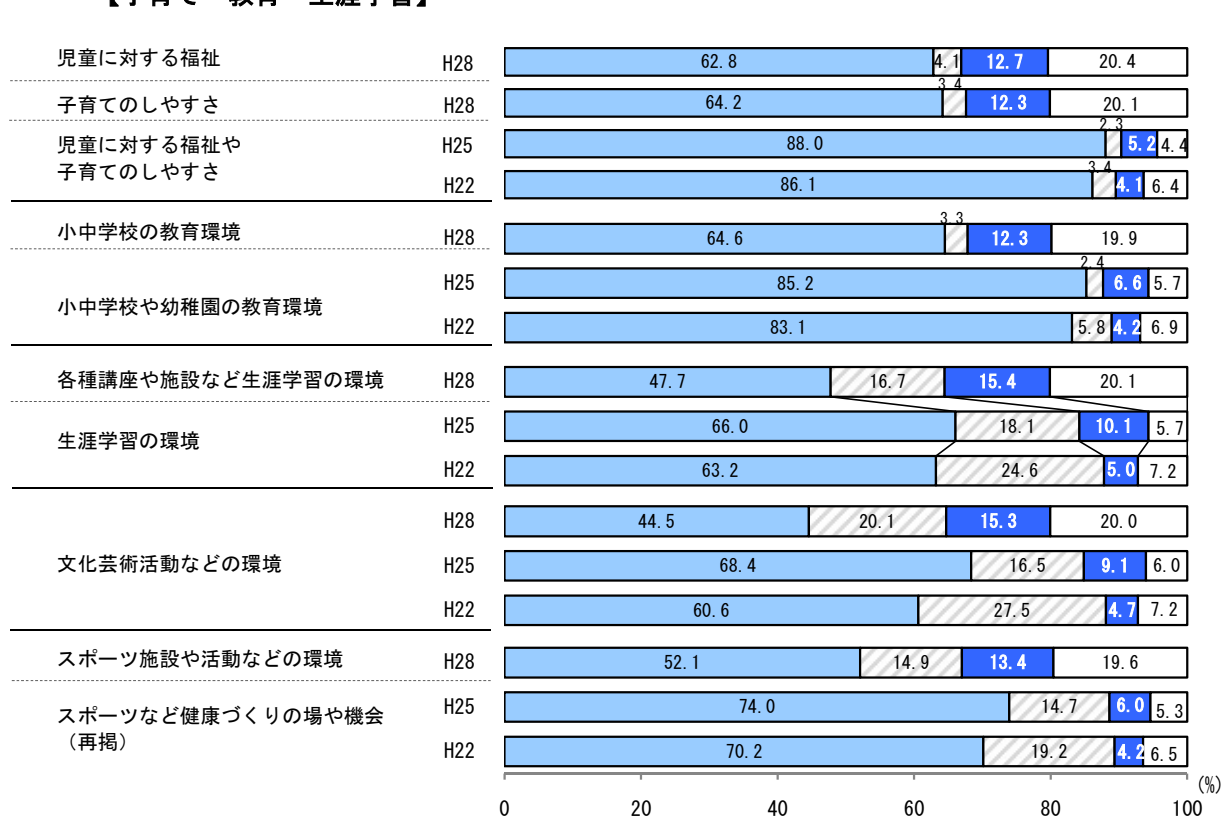
【安全・安心】



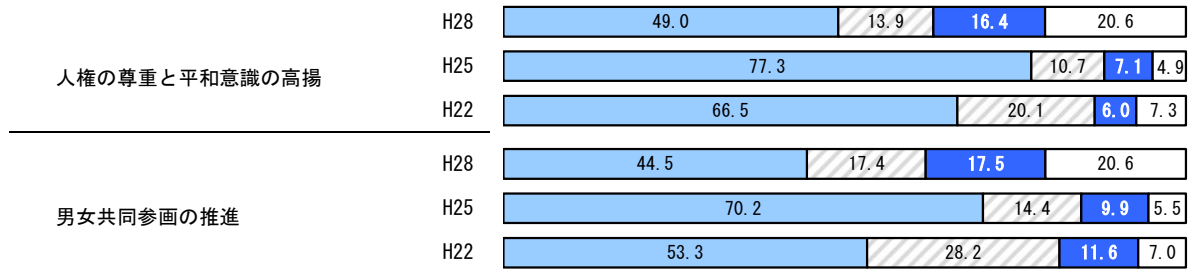
【福祉・健康】



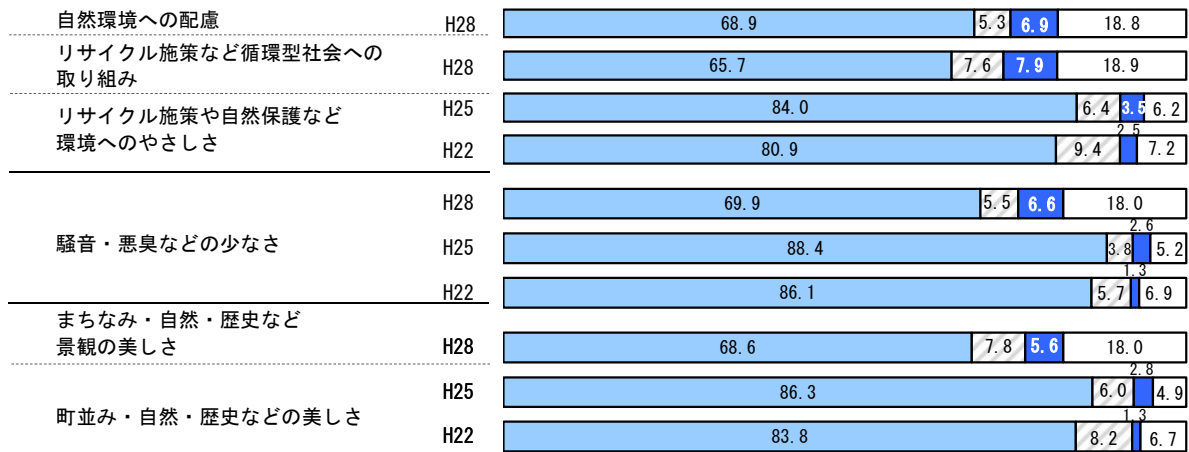
【子育て・教育・生涯学習】



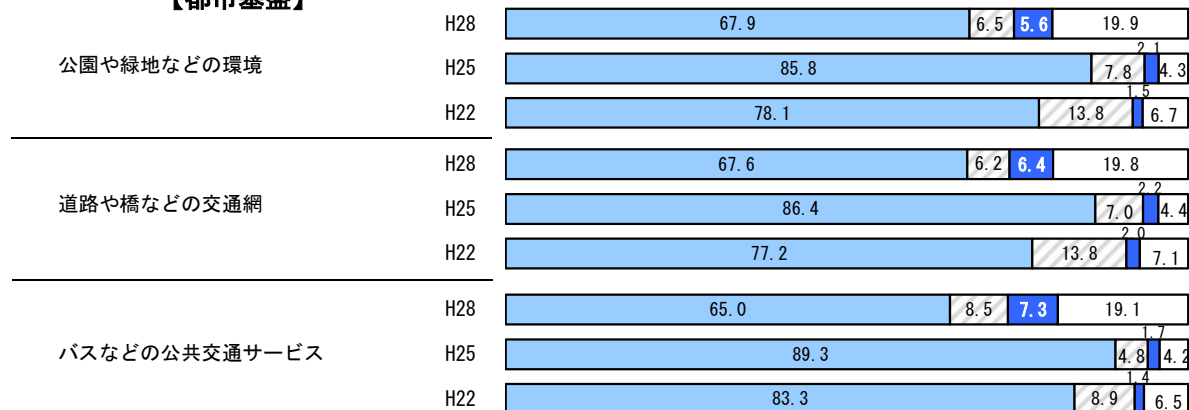
【人権】



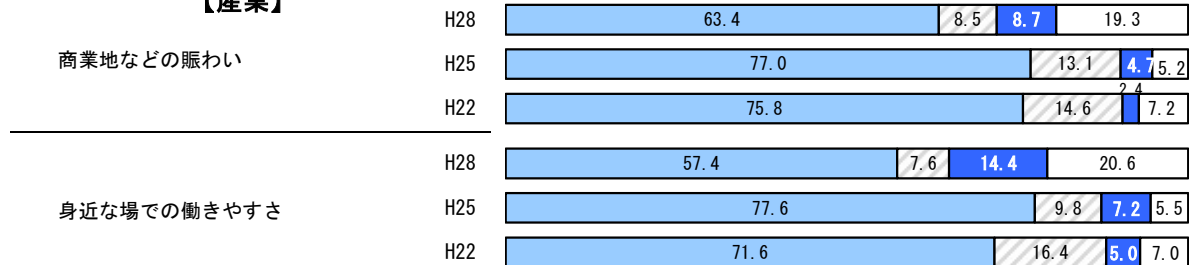
【環境】



【都市基盤】



【産業】



0 20 40 60 80 100 (%)

今回調査では、いずれの分野も「重要」の割合が、低い項目で4割台、高い項目では7割台と多くなっているが、経年比較すると減少しており、「わからない」の割合が上昇している。

V. 資料（調査票）

あなたの声を市政に
第43回河内長野市民意識調査

市政アンケート調査のお願い

市民のみなさんには、日頃から市政に対し、何かとご理解とご協力をたまわっております。ご意見を伺っています。

さて、今年も「市民の声」を市政に反映するため、18歳以上の市民のみなさんの中から2,000人の方々を無作為に選ばせていただき、アンケート調査を実施させていただきます。

今年は、2つのテーマ「公共交通」と「公共施設」について、市民のみなさんの率直なご意見を伺うことで、各施策をすすめるうえでの今後の参考資料にしたいと考えております。

アンケートの回答については、すべて統計的に処理し、報告書として市のホームページ、情報センターや図書館で閲覧していただくことができます。（報告書の公開は来年2月頃予定です。）また、この調査の目的以外には使用いたしません。

ご多忙の折とは存じますが、**8月22日（月）まで**にご回答くださいますよう、ご協力のほどお願い申し上げます。

※別紙く市政モニター募集のご案内にもご覧ください。

平成28年8月

河内長野市長



ご記入にあたってのお願い

●このアンケート調査は、平成28年6月30日現在の住民基本台帳から無作為に抽出した個人を対象としていますので、本人による記入が困難な場合を除き、封筒のあて名の方がご自身でご記入ください。

●回答は問1から順に、質問ごとに用意してある答えの中から、あなたのお考えにあてはまる番号、または項目に○をつけてください。「その他」に○をつけた場合は、（ ）内へ具体的に記入してください。

●記入後は同封の返信用封筒に入れて封をし、**名前を書かずに郵便ポストへご投函ください**。切手は不要です。（**市政モニターに申し込みをされる方は、別紙用紙も同封していただきます。**）

●このアンケート調査についてのお問い合わせなどがありましたら、下記までご連絡ください。

- ＜お問い合わせ先＞ 河内長野市役所（代表電話番号）0721-53-1111
- 設問 1～10 総合政策部 都市魅力戦略課（内線 567）
 - 設問 11～31 都市づくり部 都市創生課（内線 540）
 - 設問 32～36 総務部 資産活用課（内線 482）
 - 設問 37・38 総合政策部 都市魅力戦略課（内線 567）

【参考】市の主な公共施設

調査票12ページから13ページの記述回答のうち、「施設名または公共施設の種類」の記入については、下記一覧表の「1」から「28」より選んで記入してください。

公共施設の種類の	具体的な施設名
市庁舎	1. 市庁舎
小中学校	2. 小学校、中学校
千代田台保育所	3. 千代田台保育所
三田市幼稚園	4. 三田市幼稚園
子ども子育て総合センター（あいっく）	5. 子ども子育て総合センター（あいっく）
フォレスト三田市（健康増進支援センター）	6. フォレスト三田市（健康増進支援センター）
河内長野荘	7. 河内長野荘
滝畑ふるさと文化財の森センター（研修宿泊施設）	8. 滝畑ふるさと文化財の森センター（研修宿泊施設）
奥河内くるまろの郷（ビジターセンター、レストラン）	9. 奥河内くるまろの郷（ビジターセンター、レストラン）
林業総合センター（木根館）	10. 林業総合センター（木根館）
市民公益活動支援センター（るーぶらざ）	11. 市民公益活動支援センター（るーぶらざ）
シルバー人材センター	12. シルバー人材センター
文化会館（ラブリーホール）	13. 文化会館（ラブリーホール）
図書館（キックス）	14. 図書館（キックス）
市民交流センター（キックス）	15. 市民交流センター（キックス）
市民センター	16. 河内長野市駅前市民センター（ハッピーホ）
公民館	17. 公民館（川上、加賀田、高向、千代田、三田市、天見、天野、南花台）
コミュニティセンター	18. コミュニティセンター（小田山、加賀田、高向、千代田、三田市、天見、天野、南花台）
福祉施設	19. 福祉センター（錦漢苑）、地域福祉センター（小田山、加賀田、高向、千代田、三田市、天見、天野、南花台）
障がい者福祉施設	20. 障がい者福祉センター（あかみね、あかみね分館）
医療・健康施設	21. 保健センター、休日急病診療所、フォレスト三田市（乳幼児健診センター）
スポーツ施設	22. 武道館、市民総合体育館、赤峰市民広場、寺ヶ池公園プール
資料館	23. ふるさと歴史学習館（くろまろ館）、滝畑ふるさと文化財の森センター（資料館）
学校給食センター	24. 学校給食センター
寺ヶ池公園管理事務所	25. 寺ヶ池公園管理事務所
消防施設	26. 消防署（消防本署、北出張所、南出張所）
市営住宅	27. 市営住宅（桜ヶ丘、栄町、昭栄、三田市西）
環境衛生施設	28. 市営斎場、衛生処理場

◎上記の施設は延床面積300㎡以上を表記しています。市では上記のほか、事務所や車庫・倉庫、公衆トイレなどの小規模な施設を保有しています。

I. あなたご自身についておうえががしいします

問 1 あなたの性別についておうえください。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問 2 あなたの年齢についておうえください。 (○は1つ)

1. 18～19歳	2. 20～24歳	3. 25～29歳
4. 30～34歳	5. 35～39歳	6. 40～44歳
7. 45～49歳	8. 50～54歳	9. 55～59歳
10. 60～64歳	11. 65～69歳	12. 70～74歳
13. 75～79歳	14. 80～84歳	15. 85歳以上

問 3 あなたの家族構成についておうえください。 (○は1つ)

1. 単身 (ひとり暮らし)	2. 夫婦のみ世帯
3. 親子2世代世帯	4. 親子孫3世代世帯
5. その他 (具体的に)	)

問 4 あなたは、現在、結婚されていますか。 (○は1つ)

1. はい (婚姻の届出をしていますが、事実上婚姻関係にある場合も含む)
2. いいえ

問 5 あなたのご職業についておうえください。 (○は1つ)

1. 勤め人 (常勤)	2. 勤め人 (非常勤・パートタイム・アルバイトなど)
3. 商工・サービス業などの自営業・自由業	4. 農林漁業
5. 家事専従	6. 学生
7. 無職	8. その他 (具体的に)

【問5で「7. 無職」を選んだ方におうえががしいします。それ以外の方は問6へお進みください。】

問5-1 日常の自由時間に何かされていますか。 (○はい/つくても)

1. 地域のまちづくり活動※	2. 趣味・娯楽	3. 散歩・運動	4. 孫の面倒
5. 庭いじり・家庭菜園	6. 家事の手伝い	7. 特に何もしていない	
8. その他 (具体的に)			)

※地域のまちづくり活動：自治会・町内会、PTA、教育、青少年、環境、美化、福祉など、有償・無償を問わず、幅広く社会貢献活動のことをしています

【全員の方におうえががしいします。】

問 6 あなたはこの1年に地域のまちづくり活動※にどの程度参加されましたか。 (○は1つ)

1. 週に2～3回以上	2. 週に1回程度	3. 月に1回程度
4. 年に数回程度	5. 年に1回程度	6. ほとんどない

※地域のまちづくり活動：自治会・町内会、PTA、教育、青少年、環境、美化、福祉など、有償・無償を問わず、幅広く社会貢献活動のことをしています

問 7 地域のまちづくり活動に参加したいと思いますか。

1. 思う	2. 思わない	3. どちらとも言えない
-------	---------	--------------

問 8 住んでおられる地区は、次のどれに該当しますか。記入例を参考に地区名を1つ選び、右側の囲み内のあてはまる町名に○をつけてください。

【記入例】

地区名	町名
9 千代田地区	市町、木戸町、木戸東町、木戸1～3丁目、汐の宮町、千代田南町、向野町
地区名	町名
1 天野地区	天野町、下里町、緑ヶ丘北・中・南町
2 天見地区	天見、岩瀬、清水、流谷
3 小山田地区	小山田町、荘園町、千代田台町
4 加賀田地区	大矢船北・中・南・西町、加賀田、唐久谷、南ヶ丘
5 石仏地区	石仏、北・南青葉台
6 川上地区	石見川、太井、神ガ丘、河合寺、清見台1～5丁目、小深、寺元、鳩原、大師町、日東町
7 楠地区	あかしあ台1・2丁目、北・南貴望ヶ丘、楠ヶ丘、楠町東・西、自由ヶ丘、松ヶ丘東・中・西町、木戸西町1～3丁目
8 高向地区	旭ヶ丘、滝畑、高向、日野
9 千代田地区	市町、木戸町、木戸東町、木戸1～3丁目、汐の宮町、千代田南町、向野町
10 長野地区	上原町、上原西町、菊水町、寿町、栄町、昭栄町、末広町、長野町、錦町、西代町、西之山町、野作町、原町、原町1～6丁目、古野町、本多町、本町
11 南花台地区	南花台1～8丁目
12 美加の台地区	美加の台1～7丁目
13 三日市地区	上田町、小塩町、中・西・東片添町、喜多町、楠ヶ丘、三日市町

問 9 あなたが河内長野市にお住まいになって通算で何年になりますか。 (○は1つ)

1. 5年未満	2. 5～10年未満	3. 10～20年未満
4. 20～30年未満	5. 30～50年未満	6. 50年以上

問10 現在地にお住まいになられる前は、どちらにお住まいでしたか。(○は1つ)

1. 生まれてからずっと現在地に住んでいる

2. 現在地以外の河内長野市

3. 河内長野市以外の南河内地域 (富田林市・大阪狭山市・羽曳野市・藤井寺市・松原市・河南町・太子町・千早赤阪村)

4. 堺市

5. 大阪市

6. その他の大阪府 (具体的に)

7. 大阪府以外の都道府県または海外 (具体的な都道府県名、国名)

問11 ご近所の方との程度つながりを持たれていますか。(○は1つ)

1. 付き合いはまったくない

2. あいさつ程度の付き合いしかない

3. 日常的に立ち話をする程度の付き合いをしている

4. 時々、お互いの家で交流したり、外で一緒に食事を楽しんだりする人がいる

5. 互いに色々相談したり、生活面で協力し合う人がいる

問12 あなたは、この1年にご近所の方と一緒に出かけられたことがありますか。(○は1つ)
ある方は、主にどちらに行かれたのかを具体的に教えてください。

1. ある (どこへ (具体的に))

2. ない

問13 ご近所で困っておられる方がいた場合、ご自身ならどのような行動を行えると思いますか。(○は1つ)

1. 自分のできることなら、何らかのお手伝いをしてあげたい

2. 近所づきあいが少ないため、困っておられるかどうか気づくのがむずかしい

3. 特に何も行動しない

問14 あなたは運転免許を持っていますか。(○はいくつでも)

1. 普通免許

2. 自動二輪

3. 原動機付自転車 (原付)

4. 返納した

5. 取得したことがない

問15 車・バイクの保有状況について。(○はいくつでも)

1. 自分が自由に使える車がある

2. 自分が自由に使えるバイクがある

3. 家族にらせてもらう車がある

4. 家族にらせてもらうバイクがある

5. 車・バイクはない

Ⅱ. ふだんの外出状況についておうかがいします

問16 日常生活での主な外出について、次の(1)～(8)の外出目的ごとに「①目的地」「②頻度」「③利用交通手段」「④同伴者の有無」のそれぞれについて該当するものの番号を記入するか、番号に○印をつけてください。

① 目的地 か下 記の 番号を 記す 目的 を 記す 要 地 を 記 す	② 頻度 (○は1つ)							③ 利用交通手段 (○はいくつでも)							④ 同伴者		
	週に 1回 以上	週に 2回 以上	週に 3回 以上	週に 4回 以上	週に 5回 以上	週に 6回 以上	月 に 1回 以上	月 に 2回 以上	月 に 3回 以上	月 に 4回 以上	月 に 5回 以上	月 に 6回 以上	月 に 7回 以上	バス		自転車 (徒歩・ 自転車 同乗)	タクシー (乗車・ 自転車 同乗)
その目的での外出 がなければ×を記 入してください。	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2
(例)○○のための移動	2																
(1)通勤・通学																	
(2)食料品・日用品 等の買物																	
(3)通院																	
(4)銀行・ 郵便局等																	
(5)公共施設へ の用事																	
(6)遊び、趣味 娯楽																	
(7)子育て関係 の用事																	
(8) その他日常の移動																	

【目的地※一覧】

1. 千代田駅周辺
2. 河内長野駅周辺
3. 三田市町駅周辺
4. 市役所・キックス周辺
5. 消防本部周辺・奥河内くろまろの郷周辺
6. 南花台地域周辺
7. 河内長野市内のその他の地域
8. 近隣市 (富田林市・大阪狭山市)
9. 堺市内
10. 大阪市内
11. それ以外

※第5次総合計画で掲げる拠点を参考に選定しています

【問16で回答された「同伴者の有無」のうち、1つでも「同伴者あり」に○印をつけられた方におうかがいします。それ以外の方は問21へお進みください】

問17 主にどなたと一緒に外出（移動）されますか。（○はいくつでも）

1. 配偶者	2. 父親・母親	3. 兄弟姉妹
4. 祖父・祖母	5. 子ども	6. 孫
7. 友人	8. 近所の人	9. その他（ ）

問18 1人で外出される場合と比べて、誰かと一緒に外出した場合、外での滞在時間は増えますか。（○は1つ）

1. 大変増える	2. やや増える	3. どちらとも言えない
4. あまり増えない	5. 増えない	

問19 1人で外出される場合と比べて、誰かと一緒に外出した場合、消費行動は増えますか。（○は1つ）

1. 大変増える	2. やや増える	3. どちらとも言えない
4. あまり増えない	5. 増えない	

問20 誰かと一緒に外出について、感じられることはありますか。（○はいくつでも）

1. 安心	2. 楽しい	3. 割安	4. 煩わしい	5. 気疲れする
6. 割高	7. その他（具体的に）		8. 特にない	

問21 ご自宅から最寄りの鉄道駅及びバス停の名称と、現在の所要時間、望ましい所要時間をお答えください。また、鉄道については、最寄り駅までに行くためによく利用する交通手段の番号に○印をつけてください。

	最寄り駅・バス停の名称	現在の所要時間	望ましい所要時間	最寄りの鉄道駅までによく利用する交通手段（○は1つ）
鉄道駅		右で選択した交通手段で.....分		1. バス 2. 自動車（運転） 3. 自動車（同乗） 4. バイク・自転車 5. 徒歩 6. タクシー 7. その他（ ）
バス停		徒歩で.....分		

問22 あなたは、日常生活における外出（移動）についてどの程度満足されていますか。（○は1つ）

1. 大変満足	2. やや満足	3. どちらとも言えない
4. やや不満	5. 大変不満	

→ 問22-1へ

【問22で「4. やや不満」もしくは「5. 大変不満」を選んだ方におうかがいします】
問22-1 不満と感じておられることについて、具体的に記入ください。

--

Ⅲ. 市内のバス交通についておうかがいします

移動手段としての公共交通には、鉄道、バス（路線バスやコミュニティバス等）、タクシー等がありますが、ここでは主に市内の身近な移動手段としての中心的な役割を担っているバス交通について、おうかがいします。

問23 あなたの日常生活において、路線バス等の利便性についてどのように感じていますか。（○は1つ）

1. 大変便利	2. やや便利	3. どちらとも言えない
4. やや不便	5. 大変不便	

【問23で「4. やや不便」もしくは「5. 大変不便」を選んだ方におうかがいします】
→ 問23-1 不便に感じる理由は何ですか。下の選択肢の中から不便を強く感じているものを順に3つ選んで、下欄に番号を記入してください。

1 番目	2 番目	3 番目
------	------	------

1. 自宅からバス停が遠い	2. バス停から目的地が遠い
3. 時間がかかる	4. 便数が少ない
5. 運賃が高い	6. 鉄道や他のバスとの乗継ぎが悪い
7. 乗り心地が悪い	8. バス停施設（ベンチ等）が不便
9. 情報（乗り場、時刻表等）がわかりにくい	10. 段差や車いすへの配慮がない
11. その他（具体的に）	

【全員の方におうかがいします】

問24 あなたの現時点での日常生活において、路線バス等の地域公共交通の必要性を感じていますか。（○は1つ）

1. 大変必要性を感じる
2. どちらかといえば必要性を感じる
3. 必要性を感じないが、充実させてほしい（あればいいと思う）
4. 必要性を感じない
5. その他（具体的に）

問25 本市では、主に鉄道駅を起点に各住宅団地へバス路線網が形成されています。あなたは、この路線網についてどのような感じていますか。(○はいくつでも)

1. 駅周辺への外出がいちばん多いのどのくらいいい)

2. 行き先は人それぞれなので、駅起点が妥当)

3. バス等を乗り継いで目的地に行く必要があり不便)

4. 駅ではなく市内を循環するバスが欲しい)

5. 就職・定年等により、駅へ行く機会が減り、現在の生活スタイルに合わない)

6. 駅前よりも幹線道路沿いの商業施設等へ外出することが多く不便)

7. その他 (具体的に)

8. 特にない)

9. わからない)

【問26～問29までの質問は、ふだんバスを利用していない方におうかがいします。それ以外の方は問30へお進みください】

問26 あなたがバスを利用しない理由は何ですか。下の選択肢の中から理由として大きいものを順に3つ選んで、下欄に番号を記入してください。

1 番 目	2 番 目	3 番 目
-------	-------	-------

1. 歩いて目的地 (駅など) へ行ける)

2. 車やバイク等の方が便利)

3. 自宅からバス停までの距離が遠い)

4. 目的地の近くにバス停がない)

5. 便数が少なく利便性が悪い)

6. 運賃が高い)

7. バス路線 (どのバスに乗れば目的地へ行けるのか) や乗り場等がわかりにくい)

8. 段差や車いすへの配慮が少ない)

9. 運転者のサービスが悪い)

10. 乗り継ぎが不便)

11. その他 (具体的に)

問27 あなたは、どのような点が改善されれば、バスを利用しますか。下の選択肢の中から利用するのに改善を強く望むものを順に3つ選んで、下欄に番号を記入してください。

1 番 目	2 番 目	3 番 目
-------	-------	-------

1. 自宅からバス停までの距離)

2. バス停から目的地までの距離)

3. 便数)

4. 運賃)

5. 運行時間帯)

6. わかりやすさ (乗り場、時刻表等))

7. バス停施設 (ベンチ等))

8. 座席の広さ)

9. 鉄道や他のバス路線との乗継ぎ)

10. 乗り心地)

11. 段差や車いすへの配慮)

12. その他 (具体的に)

問28 問27の点が改善され、あなたにとって利便性が高いと思われるバスが運行された場合、利用しますか。(○は1つ)

1. 利用すると思う)

2. 利用しないと思う)

3. わからない)

→問30へお進みください。

【問28で「1. 利用すると思う」を選んだ方におうかがいします】

問29 あなたにとって利便性が高いバスを利用する場合、「①どのような目的で」「②誰と」「③どこに行くのに」「④いつ」「⑤どのくらいの頻度」で利用すると思いますか。主な利用目的を下から2つ選んで回答欄に記入してください。次にそれら目的ごとに②～⑤について選択肢の中から該当する番号を選んで○印をつけてください。

① 目的	② 主に誰と (○は1つ)					③ どこに行くのに (○は1つ)	④ いつ	⑤ 利用頻度 (○は1つ)																			
下記の目的から番号を記入	夫婦	父親・母親	兄弟・姉妹	祖父・祖母	子ども	友人	近所の人	自分ひとり	その他	千代田駅前周辺	河内長野駅前周辺	三日月駅前周辺	市役所・キヤークス周辺	消防河内本町・丸の郷周辺	南花台・城島周辺	市内その他の地域(※)	平日	休日に数回	月に数回	半年に数回	年に一回程度						
(例)	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5				
主目的1		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	1	2	1	2	3	4	5		
主目的2		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	1	2	1	2	1	2	3	4	5



【目的一覧】

1. 通勤・通学

2. 買物

3. 通院

4. 銀行・郵便局等

5. 公共施設への用事

6. 遊び、趣味、娯楽等

7. 子育て関係の用事

8. その他

IV. 今後のまちづくりについておうかがいします

将来の人口減少が見込まれる中、まちの機能を維持・向上していくために、生活に必要な施設を集めた拠点と、一定の居住者がまとまって住む市街地が、公共交通ネットワークによってつながるまちづくりが求められています。

問30 あなたは、10年後、20年後も住み続けられるまちを考えたとき、どのような地域を拠点として施設を集めていくべきだと思いますか。（○は3つまで）

- 1. 電車やバスなどの公共交通の便が良い地域
- 2. 駐車場が多い、道路が広いなど自動車で利用しやすい地域
- 3. 日常生活に必要な店舗・病院や公共施設が、ある程度集まっている地域
- 4. 店舗等が少ない、住宅が集まっている地域
- 5. 学校や働く場所の周辺地域
- 6. 住民が多い地域や若い世代が多く、地域の活動が活発な地域
- 7. 住民の減少・高齢化が進んでおり、地域の活動・交流も少なくなってきた地域
- 8. 災害に強く、防犯対策もされた安心・安全な地域
- 9. その他（具体的に）
- 10. わからない

問31 次の都市機能の中で、徒歩圏（歩いて10分程度）内に必要な機能は何ですか。（○は3つまで）

- 1. 書類交付等が可能な身近な行政窓口機能
- 2. デイサービス等、高齢者の日々の介護、見守り等のサービスを提供できる機能
- 3. 保育所等、身近に使える子育て関連機能
- 4. コンビニ・スーパー等、日用品等の買い回りができる機能
- 5. 内科・外科・小児科等、日常的な診療を受けることができる機能
- 6. 銀行ATM等の日々の引出、入金ができる機能
- 7. 地域における教育文化活動を支える公民館・図書館等の機能
- 8. その他（具体的に）
- 9. わからない

V. 公共施設のあり方についておうかがいします

現在、全国の自治体では、少子高齢化の影響により税収が減少する中、高度経済成長期に整備してきた公共施設が老朽化し、一斉に建替えや改修時期を迎え、建替えや改修にかかる多くの予算が必要になってきています。

また、医療・介護にかかる社会保障関係経費の増加により一層進むと見込まれ、歳入は減少し、歳出が増加するという非常に厳しい財政状況となっています。

こうした状況は本市も例外ではなく、現在ある公共施設を将来に向け、現状のまま維持・保有し続けることは、多くの予算を必要とするため困難な状況となっています。

このため、本市の人口規模や財政状況に見合う公共施設を見出し、維持していくため、施設の縮減や機能集約・複合化について検討することが緊急の課題となっています。

【公共施設の利用状況について】

問32 あなたは過去1年間で、公共施設をどのくらい利用されましたか。公共施設の種類のとに、該当する番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

公共施設の種類	利用頻度【過去1年間】			
	ほぼ毎日 1週間に 1回以上	1ヶ月に 1回以上	年に 数回程度	利用して いない
市庁舎	1	2	3	4
小中学校	1	2	3	4
千代田台保育園	1	2	3	4
三田市幼稚園	1	2	3	4
子ども子育て総合センター（あいっく）	1	2	3	4
フォレスト三田市（健康増進支援センター）	1	2	3	4
河内長野荘	1	2	3	4
海城ふさと文化財の森むか（研修宿泊施設）	1	2	3	4
奥河内くろまろの郷（ジャズバー、レストラン）	1	2	3	4
林業総合センター	1	2	3	4
市民公益活動支援センター（るーぶらぶ）	1	2	3	4
シルバー人材センター	1	2	3	4
文化会館（アトリウム）	1	2	3	4
図書館（わか）	1	2	3	4
市民交流センター（わか）	1	2	3	4
市民センター ※	1	2	3	4
公民館 ※	1	2	3	4
コミュニティセンター ※	1	2	3	4
福祉施設 ※	1	2	3	4
障がい者福祉施設 ※	1	2	3	4
医療・福祉施設 ※	1	2	3	4
スポーツ施設 ※	1	2	3	4
資料館 ※	1	2	3	4

※施設名の詳細については、別紙「市政アンケート調査のお願い」（裏面）一覧表をご参照ください

【問32で「年に数回程度」「利用していない」を選んだ方におうかがいします。】

問33 その理由に該当する番号に○印をつけてください。（○は3つまで）

1. 利用する機会がなかった
2. 施設自体を知らない
3. 交通アクセスが不便
4. 使用料に不満
5. 開館時間に不満
6. 施設に不満（古い、狭い等）
7. サービスに不満（利用したいものがない等）
8. 予約がいっぱいなどで使えない
9. 他市・民間の類似施設を利用している
10. その他（具体的に）

【公共施設の今後について】

問34 本市では今後の人口減少、少子高齢化による市税収の減少や、医療・介護にかかる社会保障関係経費の増加などを踏まえ、今あるすべての公共施設を現状のまま将来にわたり維持していくことは困難となっています。

(1) 今後の公共施設の整備の方向性について、あなたの考えに近いものを1つ選び、該当する番号に○印をつけてください。（○は1つ）

1. 今ある公共施設を機能アップなどの改修をせず現在の状態のまま、将来の人口規模や財政状況に見合った施設数に減らし、維持管理していく
2. 今ある公共施設を市民ニーズや配置、利用状況、管理方法などを考慮し、機能集約※や複合化※により、施設数を減らし、維持管理していく
3. 今ある公共施設は、市民のニーズにあっていないので、費用負担が増えてもニーズにあうように改修し、維持していく
4. 今ある公共施設は、適切な補修を行い、費用を抑え、できるだけ長く維持していく
5. その他（具体的に）

※機能集約：同じ機能をもつ複数の施設を一つの施設に集約し、施設数を削減すること

※複合化：異なる機能をもつ施設を一つにまとめて複合的に利用すること。一つの施設でさまざまなサービスが受けられるなどのメリットがある

(2) 今後、業務の効率化や職員配置の適正化、維持管理費の削減などの取組みに加えて、さらなる対策が必要です。あなたの考えに近いものを選び、番号に○印をつけてください。（○は3つまで）

1. 公共施設の機能集約や複合化を行い、施設数を減らす
2. 公共施設を廃止し、代わりに民間施設を利用することに対して助成する
3. 施設の管理運営を市民や利用者等が中心となっておこなう
4. 施設におけるサービスの水準を引き下げる
5. しばらくの間、今のまま使用し、建替えはしないようにする
6. その他（具体的に）

(3) (2) 以外の対策で、維持管理費の削減や財源確保の面から必要だと思ふ取組みについて、あなたの考えに近いものを選び、番号に○印をつけてください。

（○は3つまで）

1. 特別な税金等の徴収など市民全体で負担する
2. 利用料を徴収している施設の利用料金を引き上げる
3. これまで利用料を徴収していない施設においても徴収する
4. 民間にできることは民間に任せ、運営コストを削減する
5. あまり利用されていない施設や市有地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る
6. 人件費を削減する
7. その他（具体的に）

(4) 今後、機能集約※や複合化※により、施設数を減らすとしたら、どのような公共施設を対象とすべきとお考えですか。あなたの考えに近いものを選び、番号に○印をつけてください。（○は3つまで）

1. あまり利用されていない施設
2. 現在の市民ニーズにあっていない施設
3. 特定（一定）の個人や団体、地域等、利用者が限定されている施設
4. 老朽化が著しい施設
5. 維持管理費が高い施設
6. 公共性が低い（民間でも運営できる）施設
7. 同じようなサービスの施設が近隣市町村にある施設
8. 同じようなサービスの施設が民間で運営されている施設
9. その他（具体的に）

※機能集約：同じ機能をもつ複数の施設を一つの施設に集約し、施設数を削減すること

※複合化：異なる機能をもつ施設を一つにまとめて複合的に利用すること。一つの施設でさまざまなサービスが受けられるなどのメリットがある

(5) (4) の対象とすべき公共施設で具体的なものがあれば、その施設名（または、公共施設の種類）と理由をお書きください。

◎施設名（または公共施設の種類）の記入については、別紙「市政アンケート調査のお願い」（裏面）一覽表の「1」から「28」より選んで記入してください。

	施設名（公共施設の種類）	理由
機能集約		
複合化		

(6) 今後、機能集約や複合化を行う場合に、充実させるときとお考えの機能等があれば、その施設名（または、公共施設の種類）と機能等をお書きください。

◎施設名（または公共施設の種類の）の記入については、別紙「市政アンケート調査のお願い」（裏面）一覧表の「1」から「28」より選んで記入してください。

施設名（公共施設の種類の）	機能

【複合化について】

問35 小中学校は、地域活動等の拠点となる施設ですが、今後、子どもの減少に伴う空き教室の増加が見込まれます。今後、こういった空き教室の有効活用が考えられます。

(1) 教育面や防犯面の問題を考慮した上で、小中学校と周辺の公共施設との複合化について、あなたの考えに近いものに○印をつけてください。（○は1つ）

1. 学校への複合化を積極的に進めるべき ⇒ (2) へ

2. 複合化する施設（機能）を限定すれば、学校へ複合化してもよい ⇒ (2) へ

3. 学校への複合化は反対である ⇒ (3) へ

4. その他（具体的に）

【(1)で「1.学校への複合化を積極的に進めるべき」または「2.複合化する施設（機能）を限定すれば、学校へ複合化してもよい」を選択された方におかがいします。】

(2) 複合化してもよいと考える公共施設の種類の選び、番号に○印をつけてください。（○はいくつでも）

◎必要面積や法規制などの課題が考えられますが、これらは解決できると仮定した上でご回答ください。

1. 市庁舎

2. 千代田台保育所

3. 三日市幼稚園

4. 子ども子育て総合センター（あいっく）

5. フォレスト三日市（健康増進支援センター）

6. 河内長野荘

7. 滝畑ふるさと文化財の森センター（研修宿泊施設）

8. 奥河内くろまろの郷（ビジネス・レストラン）

9. 林業総合センター（木根館）

10. 市民公益活動支援センター（るーぶらざ）

11. シルバー人材センター

12. 文化会館（ラブリーホール）

13. 図書館（キックス）

14. 市民交流センター（キックス）

15. 市民センター ※

16. 公民館 ※

17. コミュニティセンター ※

18. 福祉施設 ※

19. 障がい者福祉施設 ※

20. 医療・健康施設 ※

21. スポーツ施設 ※

22. 資料館 ※

23. その他（具体的に）

※施設名の詳細については、別紙「市政アンケート調査のお願い」（裏面）一覧表をご参照ください

【(1)で「3.学校への複合化は反対である」を選択された方におかがいします。】

(3) その理由を記入してください。

【自由意見】

問36 本市の公共施設への取組みについて、ご意見があればご自由に記入してください。

Ⅶ. 市政全般に関連した内容についておうかがいします

問37 あなたは、現在の河内長野市の生活環境等についてどの程度満足されていますか。
またどの程度重要だと思われるか。次の項目についてあなたのお考えに最も近い番号に○をつけてください。(○は①②それぞれ1つ)

	①現在の満足度				②今後の重要度			
	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	わからない	非常に重要	やや重要	あまり重要でない
1. 防災	1	2	3	4	5	6	1	2
2. 消防・救急	1	2	3	4	5	6	1	2
3. 防犯	1	2	3	4	5	6	1	2
4. 交通安全	1	2	3	4	5	6	1	2
5. 消費者行政	1	2	3	4	5	6	1	2
6. 地域の支え合い	1	2	3	4	5	6	1	2
7. 高齢者にとつての暮らしやすさ	1	2	3	4	5	6	1	2
8. 障がい者にとつての暮らしやすさ	1	2	3	4	5	6	1	2
9. 社会保障制度※	1	2	3	4	5	6	1	2
10. 健康づくりを進める環境	1	2	3	4	5	6	1	2
11. 児童に対する福祉	1	2	3	4	5	6	1	2
12. 子育てのしやすさ	1	2	3	4	5	6	1	2
13. 小中学校の教育環境	1	2	3	4	5	6	1	2
14. 青少年の健全な育成	1	2	3	4	5	6	1	2
15. 各種講座や施設など生涯学習の環境	1	2	3	4	5	6	1	2
16. 文化芸術活動などの環境	1	2	3	4	5	6	1	2
17. 歴史文化遺産の保存・活用	1	2	3	4	5	6	1	2
18. スポーツ施設や活動などの環境	1	2	3	4	5	6	1	2
19. 人権の尊重と平和意識の高揚	1	2	3	4	5	6	1	2
20. 男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	6	1	2
21. 国際交流や多文化共生社会※の推進	1	2	3	4	5	6	1	2
22. 自然環境への配慮	1	2	3	4	5	6	1	2
23. リサイクル施策など循環型社会への取り組み	1	2	3	4	5	6	1	2
24. 騒音・悪臭などの少なさ	1	2	3	4	5	6	1	2
25. まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ	1	2	3	4	5	6	1	2

※社会保障制度：国民健康保険や国民年金などの社会保障や、生活保護制度等の公的扶助など、国民の生存権を確保することを目的とする制度のこと
※多文化共生社会：国籍や民族の異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築き、地域社会の構成員として共に生きていくことができる社会のこと

	①現在の満足度				②今後の重要度			
	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	わからない	非常に重要	やや重要	あまり重要でない
26. 市街地の整備	1	2	3	4	5	6	1	2
27. 住環境	1	2	3	4	5	6	1	2
28. 公園や緑地などの環境	1	2	3	4	5	6	1	2
29. 道路や橋などの交通網	1	2	3	4	5	6	1	2
30. バスなどの公共交通サービス	1	2	3	4	5	6	1	2
31. 上下水道	1	2	3	4	5	6	1	2
32. 商業地などの賑わい	1	2	3	4	5	6	1	2
33. 農林業の振興	1	2	3	4	5	6	1	2
34. 観光事業	1	2	3	4	5	6	1	2
35. 身近な場での働きやすさ	1	2	3	4	5	6	1	2
36. 市民同士の連携や市民と行政の協働※	1	2	3	4	5	6	1	2
37. 行政改革への取り組み	1	2	3	4	5	6	1	2
38. 適正で透明性の高い財政運営	1	2	3	4	5	6	1	2
39. 市全体として	1	2	3	4	5	6	1	2

※協働：市民・行政・事業者などが、お互いの立場を理解し、尊重し合いながら、対等な関係で、共通の目的を持って、まちづくりを進めること

問38 あなたは、次の項目について、どのように感じていますか。各項目についてあなたのお考えに近い番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	非常に感じる	やや感じる	普通	あまり感じない	ほとんど感じない	わからない
1. 地域のまちづくり活動※が充実していると感じている	1	2	3	4	5	6
2. 河内長野市に住み続けたいと感じている	1	2	3	4	5	6
3. 河内長野市に愛着と誇りを感じている	1	2	3	4	5	6

※地域のまちづくり活動：自治会・町内会、PTA、教育、青少年、環境、美化、福祉など、有償・無償を問わず、幅広く社会貢献活動のことをしています

◆ お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。◆

平成28年度
第43回 河内長野市民意識調査
＜公共交通＞と＜公共施設＞について

発行 河内長野市
発行年月日 平成29年（2017年）2月